

 **臨川書店**
出版図書
目録 2024

目 次

全集・叢書	i~vii
新刊	1
書誌・書目	6
仏教	
■辞典	7
■その他	8
神道	16
思想・聖書・教育	19
国語・国文学	
■古辞書・国語・国文学	20
■原典講読セミナー	33
■古典講演シリーズ	34
■近世日本風俗繪本集成	35
近代文学	
■文芸雑誌・婦人雑誌等	36
■全集	38
外国文学〈全集・叢書(欧文・訳本)〉	39
日本史	
■増補 史料大成(正・続)	45
■日記で読む日本史	47
■王朝時代の実像	50
■その他	51
東洋史・ユーラシア史・考古学	
■京大人文研東方学叢書	60
■映日叢書	62
■その他	63
文化人類学	
■フィールドワーク選書	71
■その他	74
社会・経済史・科学史	77
美術史	81
臨川選書	86
古版地図	90
版本地誌大系	91
地誌・郷土史料	92
* 刊行書目索引	97
* 全国販売協力店一覧	113

2023年1月～12月 新刊一覧



神奈川県立金沢文庫編

称名寺大蔵経

重要文化財 宋版一切経目録

長らく存在を知られながら入手困難であった「幻の目録」を、このたび改めて実施された悉皆調査の成果も盛り込み、新訂版として刊行！

■A4判・クロス装・本文640頁・口絵8頁

ISBN978-4-653-04510-6 [23/7]
64,900円(本体59,000円)

仏教タイムス(2023.9.14)
で紹介されました！



椎名宏雄著

宋元版禅籍の文献史的研究 第1巻

著者の宋元版禅籍の文献史に関する研究を全3巻にまとめる。宋元版禅籍研究に必携の書。第1巻には伝記・系譜、燈史、清規、綱要を収録。

■A5判・クロス装・本文832頁・モノクロ口絵4頁 ISBN978-4-653-04721-6 [23/11]
30,800円(本体28,000円)

中山一磨監修・編

寺院文献資料学の新展開 第4巻 安住院資料の調査と研究

増帛により中興された岡山・安住院。第四巻は、同寺所蔵の源氏物語・西行記などの伝来を解説する論文、および詳細目録により構成する。

■菊判・クロス表紙・カバー装・本文616頁・カラー口絵6頁 ISBN978-4-653-04544-1 [23/1]
28,600円(本体26,000円)

船山 徹著

東アジア仏教の生活規則

増補改訂 梵網経

最古の形と発展の歴史

長らく入手困難であった初版に、唐招提寺蔵、覚盛願経『梵網経』の研究を収録した増補改訂版。

■菊判・上製・552頁

ISBN978-4-653-04475-8 [23/3]
10,560円(本体9,600円)



船山 徹著

梵網經の教え

今こそ活かす梵網戒

平易な現代語訳に基づき、『梵網經』の教えとその特徴を解説する。混迷する現代の課題に本經の教えはどう応えるのか。

■ 四六判・並製・264頁

ISBN978-4-653-04476-5 [23/4]

1,980円(本体1,800円)



亀山隆彦著 好評2刷

平安期密教思想の展開

安然の真如論から覚鑿の身体論へ

空海以後、円仁や安然ら天台密教僧の試みを経て、真言宗僧覚鑿に到る過程において、即身成仏の思想はどのような深化を遂げたのか。

■ A5判・クロス装・320頁

ISBN978-4-653-04185-6 [23/2] [23/10]

12,100円(本体11,000円)



京都大学文学部国語学国文学研究室編

国語国文

〈92巻1号(1061号)～92巻12号(1072号)〉

刊行時からの精神を踏襲した「極めて自由な態度」で編集され、国語学国文学の最新の研究状況をリアルタイムで発信する好資料。

■ A5判・並製・48頁～64頁

ISBN978-4-653-04641-7～04652-3 [23/1～23/12]

各1,210円(本体1,100円)

* 92巻1号(1061号)～92巻3号(1063号)は1,100円(本体1,000円)



楊 昆鵬著

詩歌交響

和漢聯句のことばと連想

和漢聯句の独自の表現と連想方法を丁寧に分析し、多岐にわたる高度な専門知識をもつ作者の思い、文化的・社会的背景を明らかにする。

■ A5判・上製・420頁

ISBN978-4-653-04558-8 [23/2]

5,280円(本体4,800円)

学会通信 漢字之窓(第9号)
で紹介されました!



山根直子著

尾崎翠の詩学

尾崎翠の文学に存在する五つの鍵概念「告白」「象徴」「追憶」「分心」「対話」を用いて、その詩学の形成過程に迫る。

■ 四六判・上製・300頁

ISBN978-4-653-04563-2 [23/3]

4,290円(本体3,900円)



松園 斉著

中世の王家と宮家

〔王朝時代の実像15〕

皇子たちの中世

政治権力の解体・変容期に、中世の「家」はいかに形成されてきたのか。

■ 四六判・上製・248頁

ISBN978-4-653-04715-5 [23/6]

3,410円(本体3,100円)



高田時雄編

石濱純太郎 大壺読書記

美術新聞(2023.9.5)
で紹介されました!

〔映日叢書第5種〕

東洋の古語と西域出土の仏典・古文獻の研究者として活動した石濱純太郎(1888-1968、雅号：大壺)の読書記を中心とした遺文を集めた。

■ 菊判・上製・234頁

ISBN978-4-653-04255-6 [23/4]

5,500円(本体5,000円)



永塚憲治編

日本医史学会関西支部 第7回医譚賞受賞

養生思想II 房中術

『素女妙論』

〔京大人文研科学史資料叢書10〕

ユリイカ(2023.7)
で紹介されました!

人間は自然をどう理解したのか——中国科学史研究の最前線、京大人文研共同研究の成果を編む。

■ 菊判・クロス装・306頁

ISBN978-4-653-04750-6 [23/7]

14,300円(本体13,000円)



同編集委員会編

山田慶児著作集 第4巻 中国医学思想I

山田慶児(専門：東アジア科学史)の全貌がついに明らかに—第六回配本第四巻は「中国医学思想I」。解題担当は猪飼祥夫。

■ 菊判・クロス装・本文二段組442頁

ISBN978-4-653-04604-2 [23/6]

16,500円(本体15,000円)



同編集委員会編

藪内清著作集 第8巻 補遺／総索引

最終回配本第八巻は『補遺／総索引』。論考・寄稿文9本と年譜・著作目録を収録。総索引は人名・書名・事項名。解題担当は宮島一彦。

■ 菊判・クロス装・338頁

ISBN978-4-653-04438-3 [23/11]

14,300円(本体13,000円)



桑山正進著

ヒンドウクシュ南北歴史考古学叢攷

第Ⅱ巻 新興バーミヤーンの時代

第二回配本第Ⅱ巻は「新興バーミヤーンの時代」。ガンダーラ西方、アフガニスタン東部に関する17本の論考を収録。付索引。

■B5判・クロス装・512頁

ISBN978-4-653-04592-2 [23/1]

16,500円(本体15,000円)



桑山正進著

ヒンドウクシュ南北歴史考古学叢攷

第Ⅲ巻 玄奘三蔵の形而下

第三回配本第Ⅲ巻は「玄奘三蔵の形而下」。『大唐西域記』原資料提供者としての玄奘に関する論文ほか計19本の論考を収録。付索引。

■B5判・クロス装・506頁

ISBN978-4-653-04593-9 [23/5]

16,500円(本体15,000円)



近本謙介・影山悦子編

読売新聞(2024.3.3)で紹介されました!

玄奘三蔵がつなぐ中央アジアと日本

玄奘の足跡と記憶を追う——名古屋大学「文化遺産と交流史のアジア共創研究ユニット」による国際ワークショップの成果を書籍化!

■A5判・上製・376頁

ISBN978-4-653-04559-5 [23/12]

5,940円(本体5,400円)



諫早直人・向井佑介編

日本秦漢史研究(24)で紹介されました!

馬・車馬・騎馬の考古学

東方ユーラシアの馬文化

考古学研究と理化学的分析の成果のもと、馬の家畜化から車輻の導入、そして騎馬遊牧まで、馬と人がか歩んできた長い歴史を解きあかす。

■四六判・上製・312頁

ISBN978-4-653-04539-7 [23/3]

3,520円(本体3,200円)



佐川英治編

多元的中華世界の形成

東アジアの「古代末期」

東アジアの3～8世紀を「漢文化の継承と変容の時代」—中国の古典文明を基礎とした多元的な中華世界が東アジアの規模で拓かれていく時代—としてとらえ、広く周辺世界とのかかわりから歴史の展開を再定義する。

■A5判・クロス表紙・カバー装・360頁

ISBN978-4-653-04537-3 [23/2]

5,830円(本体5,300円)



東昇著

京都の産物

献上・名物・土産

京都(京都府全域)の各地域を軸に、近世・近代に特徴的な「献上・名物・土産」という枠組みから京都各地の産物をめぐる歴史を語る。

■ 四六判・並製・282頁

ISBN978-4-653-04564-9 [23/3]

2,750円(本体2,500円)



籠谷直人・川村朋貴編

近代東南アジア社会経済の国際的契機

18世紀から20世紀前半までのインドネシア群島、主にジャワ島の社会経済に多様な側面から迫り、その形成と変容を総合的に分析する。

■ A5判・上製・392頁

ISBN978-4-653-04718-6 [23/3]

6,050円(本体5,500円)



河合洋尚・松本雄一・山本 睦編

景観で考える

人類学と考古学からのアプローチ

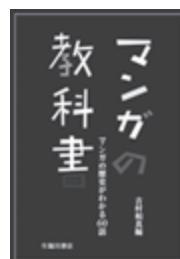
現在の学術的な潮流のなかでなぜ「景観」という概念が注目されているのか。「景観」論の思考方法とその研究成果を横断的に紹介する。

■ A5判・上製・280頁

ISBN978-4-653-04633-2 [23/12]

4,400円(本体4,000円)

重版



吉村和真編著/清水 勲・内記稔夫・秋田孝宏著

マンガの教科書

—マンガの歴史を知るための60話—

マンガとメディアの関わりからマンガ資料保存研究の重要性、地方マンガ文化にも触れた60話。

■ 四六判・並製・224頁

ISBN978-4-653-04016-3 [08/7][23/10]

2,200円(本体2,000円)

好評5刷

書誌・書目

人間文化研究機構／国立歴史民俗博物館
ライデン国立民族学博物館編
松井洋子／マティ・フォーラー責任編集

ライデン国立民族学博物館蔵
ブロムホフ蒐集目録

ブロムホフの見せたかった日本
Japan through the Eyes of Blomhoff: The Blomhoff
Collection at the National Museum of Ethnology, Leiden

■ B5判・上製・本文304頁・カラー口絵16頁
10,120円(本体9,200円)
〈残部僅少〉

ライデン国立民族学博物館に所蔵されるブロムホフ・コレクションは、1817-23年に出高オランダ商館長を務めたブロムホフが日本滞在中に蒐集した品々で、衣服・生活道具・工芸品など庶民の日用品を中心としたコレクションである。本書では、これらの蒐集品についてブロムホフが残した手稿目録を翻刻・翻訳。19世紀初頭に来日したオランダ人が、江戸時代の日本から何を持ち帰り、それをどのように位置付けたのか。当時の日本の物質文化の実態と異文化への眼差しのありようを、蒐集者自身の語りから紐解く。付解説。

ISBN978-4-653-04126-9 [16/3]

永井如雲編

國文學名家肖像集

■ B5判・クロス装・196頁(多色刷7点・単色刷65点)・貼函入
13,200円(本体12,000円)
〈残部僅少〉

編者が蒐集した2千余点に及ぶ肖像画の中から典拠が確実に画図の精緻な72家を厳選、歿年順に編成されたもの。柿本人麻呂、藤原定家、吉田兼好、近松門左衛門、十返舎一九ほか、上代より近世に至る著名な国文学者の肖像集成。うち7点は多色刷を用い、巻末には小伝及び筆蹟を付す。国文学参考補助資料として重要。

ISBN978-4-653-02404-0 [92/7]

朝倉治彦・大和博幸編

享保以後 **江戸出版書目** 新訂版

■ A5判・クロス装・本文622頁・口絵2頁
17,087円(本体15,534円)

開版販売認可記録簿『割印帳』を翻刻した、江戸中期以後の書籍目録ともいうべき必携の一冊。書物を列記するだけではなく、書物吟味の内容も詳記、当時の出版情勢を浮き彫りにする。東京国立博物館本を底本に旧版(未刊国文資料別巻)を全面改版補訂し、原本に準じた組方に正して、新たに作者名・板元名索引を加えた新訂増補版。

ISBN978-4-653-02594-8 [93/12][00/5]

横山 重等編

か えん
果園文庫蔵書目録

■ B5判・クロス装・198頁(図版9枚)・丹緑本彩色見本1葉付・貼函入
10,145円(本体9,223円)
〈残部僅少〉

近世小説・絵入版本の蒐集においては、個人所有の文庫中屈指の存在であった小田久太郎氏の蔵書1,121点を収録、うち主要書382点には詳細な書誌解説付。嵯峨本の謡曲百番をはじめ、仮名草子約100種、西鶴本20余種等には、稀観書が多く含まれ、更に菱川師宣などの挿絵本の珍本も少なくない。

ISBN978-4-653-02406-4 [92/8]

神奈川県立金沢文庫編

称名寺大蔵経

重要文化財 宋版一切経目録

■ A4判・クロス装・本文640頁・口絵8頁
64,900円(本体59,000円)

長らく存在を知られながら入手困難であった「幻の目録」を、このたび改めて実施された悉皆調査の成果も盛り込み、新訂版として刊行する。目録篇は、新発見断簡類の情報を追加しただけでなく、諸典籍ごとの基礎データや総画索引を掲載。論文篇では最新の研究動向と再調査の結果をふまえた論文7篇を収録する。巻頭カラー口絵も充実。

ISBN978-4-653-04510-6 [23/7]

仏教 (辞典)

アプテ編

梵英辞典 改訂増補版

Apte, Vaman Shivaram; THE PRACTICAL SANSKRIT-ENGLISH DICTIONARY

■ 176×130mm・コンパクト版・特製擬革装・1,904頁

16,500円(本体15,000円)

徹底した実用語辞典を目指して編纂された本書は梵語文献全体の語彙を取めながら、徒に膨大にならぬよう見出し語の意味のうち類似のものを集めて番号を打ち、梵語原文を多数引用してその箇所を明記するなど、利用者への便が考慮されている。1957～1959年の改訂増補版(全3冊・絶版)を底本とした唯一の縮刷携帯版である。

ISBN978-4-653-00038-9 [78/4][14/4]

ダス編

蔵英辞典

Das, Chandra; TIBETAN-ENGLISH DICTIONARY

■ 159×112mm・コンパクト版・特製擬革装・1,388頁

9,900円(本体9,000円)

西蔵語の先駆者ケーレシ・チョマの指摘に従い、梵語を加えることによって西蔵語学習者の用に供するように編集された比類のない最も有用な辞典。特にインドのほとんどすべての仏教書を含む西蔵の広範な文献に対して完全な説明を加えると共に、現代生活用語及び西蔵固有の慣用語を収録している。

ISBN978-4-653-00034-1 [69/10][12/2]

イエシュケ編

蔵英辞典

Jäschke, H. A.; A TIBETAN-ENGLISH DICTIONARY

■ 166×112mm・コンパクト版・特製擬革装・696頁

7,150円(本体6,500円)

聖書のチベット語訳という使命を受けたイエシュケが、インドのヒマラヤ文化圏に滞在した12年間に蒐集した資料、語彙を基にして完成させたのが本書である。時を経て今なお世界中で活用される本書は、他のチベット語辞典に比較して、言語学的、文法学的正確さ、用例的正確さ、出典明記等の点で優れた特徴を持つ。付巻末英蔵索引。

ISBN978-4-653-01165-1 [85/4][08/6]

チャンドラ編

蔵梵辞典

Chandra, Lokesh; TIBETAN-SANSKRIT DICTIONARY

■ 168×124mm・コンパクト版・特製擬革装・2,580頁

26,950円(本体24,500円)

西蔵語を翻訳してそれに梵語をあて、辞典の形式にまとめた唯一にして最初のもの。単語、複合語、熟語、成句をはじめ天文学、医学、図像学、韻律学、詩形学、哲学等の専門学術用語を含む総収録語数は20万語に及ぶ。原本12冊を使い易いコンパクト1巻本として完全復刻。世界で最も権威ある蔵梵辞典。

ISBN978-4-653-00781-4 [76/12][09/2]

チャンドラ編

蔵梵辞典補遺

Chandra, Lokesh; TIBETAN-SANSKRIT DICTIONARY SUPPLEMENTARY VOLUME

■ 168×124mm・コンパクト版・特製擬革装・2,150頁

26,950円(本体24,500円)

本書は、圧倒的な語彙数で知られるチャンドラ編『蔵梵辞典』(1961年刊)の未収録語句を中心に編集・刊行された補遺版である。全7巻にわたる原本を、使い易いコンパクトサイズ1巻本で複製。『蔵梵辞典』を補完する、充実した蔵-梵語のシソーラスとして、関連分野の研究者必携の書といえる。

ISBN978-4-653-03930-3 [09/7]

仏教

椎名宏雄著

宋元版禅籍の文献史的研究 全3巻

■ A5判・クロス装・平均830頁(分売可)

予価各巻30,800円(本体28,000円)

著者の宋元版禅籍の文献史に関する研究を全3巻にまとめる。論文約100、解題類130、目録・講演集10、総計240編に及ぶ宋元版禅籍の文献史に関する著述を伝記・系譜、燈史、清規、綱要、詩文、偈頌、語録、公案、注解、目録、講義録に分類しまとめた研究者必携の書。〈詳細は巻頭頁〉

ISBN978-4-653-04720-9 [23/11~]

柳田聖山・椎名宏雄共編

禅学典籍叢刊 本巻11巻13冊 別巻1冊

■ 本巻A4判/別巻B5判・クロス装・平均500頁・付解題(分売可)

全14冊 各巻24,750円~49,280円

(本体22,500円~44,800円)

(第1巻・第2巻・第4巻・第5巻・第8巻・別巻 品切)

中国仏教の漢文テキストは大半が歴代の大蔵經に収録されているが、禅仏教研究者にとって重要な文献はまだ相当数未収録で、その研究は禅学の重要な一分野をなす。本叢書はこれら蔵外テキストを中心に禅学関連の稀書・重要書の善本を、五山版・宋版を軸に国内外より集成、影印刊行する。

ISBN978-4-653-03640-1 [99/4~01/7]

- 第1巻 宗門統要集・統集宗門統要・仏祖宗派総図 品切
- 第2巻 雪竇明覚大師語録・仏法大明録・五味禅・儒家十馬図 他 品切
- 第3巻 伝法正宗記・夾註輔教編・冥枢会要 24,750円(本体22,500円)
- 第4巻 正法眼蔵・大慧普覚禅師普説・大慧普覚禅師年譜・宗門武庫輯釈 品切
- 第5巻 禅林僧宝伝・註石門文字禅・冷齋夜話・天厨禁臠 品切
- 第6巻 宗門補遺集・宗門門相集・祖源通録撮要・大蔵一覽集 他 49,280円(本体44,800円)
- 第7巻 禅門拈頌集 28,050円(本体25,500円)
- 第8巻 禅林類聚 品切
- 第9巻 無門関白雲鈔・無門関春夕鈔・無門関萬安鈔・無門関の新研究 他 31,350円(本体28,500円)
- 第10巻 上 點鉄集(第一冊~第七冊) 29,700円(本体27,000円) (残部僅少)
- 第10巻 下 點鉄集(第八冊~第十冊)・句双紙抄・方語・寸鉄録 他 33,000円(本体30,000円) (残部僅少)
- 第11巻 襟帯集・江湖風月集略註・江湖集夾山鈔・首書 江湖風月集 他 39,600円(本体36,000円)
- 別巻 菩提達摩四行論・注般若波羅密多心經・七祖法堂記・四家録 他 品切

シルヴァン・レヴィ訳編

大乘莊嚴經論

Mahāvāna-Sūtrālamkāra

<Rinsen Buddhist Text Series IV>

■ A5判・紙装・588頁

全2冊 7,260円(本体6,600円)

本書は空性の否認と真如の肯定・三性説等の諸理論、菩薩の階位・波羅蜜等の大乘の実践道を述べており、唯識思想研究のための基本的論書である。弥勒あるいは無着の作による詩頌と後に世親によって加えられた散文注疏からなる。レヴィによってサンسكريット校訂本と仏訳が公刊され、長く入手不可能にあった名著の待望の再刊。

ISBN978-4-653-00949-8 [83/12][03/5]

梶山雄一著

梶山雄一仏教哲学論集

Y.KAJIYAMA; STUDIES in BUDDHIST PHILOSOPHY (Selected Papers)

■ B5判・並製・本文502頁・著作目録7頁・索引122頁

〈普及版〉(並製) 9,900円(本体9,000円)

難解な空思想を多方面から考察し大乘仏教の中心思想の解明に迫る、仏教思想研究の泰斗梶山雄一博士の珠玉の欧文論集。全欧文論文21篇にサンسكريット索引を付す、仏教思想を研究する上で不可欠の書である。斯界の要望に応え、89年の初版に補訂を加え普及版にて復刊する。(英文)

ISBN978-4-653-03954-9 [05/3]

カナーダ編/チャンドラーナンダ註/宮元啓一訳註

ヴァイシェーシカ・スートラ

—古代インドの分析主義的实在論哲学—

■ 四六判・上製・264頁

2,860円(本体2,600円)

古代インド哲学ヴァイシェーシカ学派の根本教典『ヴァイシェーシカ・スートラ』を、現存最古の註釈書を元に読み解く。全体の構成がわかりにくく難解とされてきた本経典を、最古の註釈書、チャンドラーナンダの解釈によって、スートラの全編を理解しようと試みる。随所に訳者註釈を加えた初めてのインド实在論哲学書現代語訳註。

ISBN978-4-653-04037-8 [09/7]

椎名宏雄編

五山版中国禅籍叢刊 全12巻

■B5判・クロス装・平均690頁(分売可)

全13冊 341,000円(本体310,000円)

第1巻	燈史1(景德伝燈録・嘉泰普燈録)	26,400円
第2巻	燈史2(上巻:伝法正宗記・聯燈会要 下巻:五燈会元)	全2冊 48,400円
第3巻	燈史3ほか(僧宝正統伝・五家正宗贊、仏祖宗派総図・祖庭事苑・大藏経綱目提要録)	27,500円
第4巻	綱要(宗鏡録)	33,000円
第5巻	綱要・清規(林間録 付 新編林間後録・大慧普覚禪師宗門武庫 付 雪堂行和尚拾遺録・禪門宝訓集 感山雲臥記談・重修人天眼目集・叢林公論・人天宝鑑・緇林宝訓・枯庵和尚漫録 重脩補註禪苑清規・無量壽禪師日用清規・叢林校定清規総要・勸修百文清規)	25,300円
第6巻	語録1(少室六門・達磨三論・六祖壇経・禅源諸詮集都序・黄檗山断際禪師伝心法要 鎮州臨济惠照禪師語録・雲門匡真禪師広録・開福寧禪師語録・仏果圓悟真覺禪師心要 虎丘陵和尚語録・応庵和尚語録・密庵和尚語録・松源和尚語録・破庵語録・曹源和尚語録 蓮庵和尚語録)	28,600円
第7巻	語録2(癡絶禪師語録 付 曹源和尚語録・仏鑑禪師語録・断橋和尚語録・兀庵和尚語録・石溪録 無門語録・北磻語録・物初和尚語録・大川和尚語録・介石禪師語録)	19,800円
第8巻	語録3(虚堂和尚語録・蘭溪和尚語録・希叟和尚語録・高峰和尚語録・横川和尚語録 月江和尚語録・清拙和尚語録・清拙和尚禅居集・笑隱和尚語録・了菴和尚語録)	30,800円
第9巻	語録4(平石和尚語録・愚菴禪師語録・天目中峯和尚広録 天目中峯普応国師法語/天目中峯広慧禪師語・因師集賢語録)	24,200円
第10巻	詩文・尺牘(鐔津文集・雪峯空和尚外集・蒲室集疏・北磻和尚外集・北磻文集・北磻詩集 黄龍山南禪師書尺集・靈源和尚筆語・大慧普覚禪師書)	24,200円
第11巻	詩文・詩話(禅門諸祖師偈頌・寒山詩集・祖英集・葭葦摘藁・雪峯和尚統集・白雲集・碧山堂集 滄居藁・全室外集・滄游集・雪蘆藁・金玉編・江湖風月集・独庵外集統藁・石門決覺範天厨茶藁)	22,000円
第12巻	公案・注解(仏果圓悟禪師碧巖録・拈八方珠玉集・正法眼蔵・大光明蔵・無門関・金剛經解義 金剛般若波羅蜜経註解 付 般若波羅蜜多心経註解・禅宗永嘉集(行靖注))	30,800円

ISBN978-4-653-04150-4 [12/6 ~ 18/3]

同 編集委員会編

(編集委員) 阿部泰郎・石井修道
末木文美士・高橋秀榮・道津綾乃

中世禅籍叢刊 本巻12巻 別巻1巻

■菊判・クロス装・平均650頁(分売可)

全13冊 各巻16,500円~30,800円

(本体15,000円~28,000円)
(別巻 残部僅少/第12巻 品 切)

第1巻	栄西集(改偏教主決・重修教主決・結縁一遍集・胎口決・釈迦八相・栄西自筆文書)	16,500円
第2巻	道元集(示了然道者法語・真字正法眼蔵・正法眼蔵山水経・大悟・嗣書・正法眼蔵十方 羅漢講式・宝慶記・御遺言記)	19,800円
第3巻	達磨宗(朱衣達磨像・朱衣達磨図・達磨大師像・達磨宗六祖舍利および舍利容器 九条袈裟 大慈果料 能忍相伝・禅家説・成等正覚論・正法寺文書[旧三宝寺文書] 広福寺伝衣付臘状・悟性論・達磨和尚親心破相論・血脈論・達磨和尚秘密傳・兼知死期秘法 小経蔵目録)	22,000円
第4巻	聖一派(秘経決・東寺印信等口決・灌頂秘口決・禅宗九根機口決・仏通禪師行状)	24,200円
第5巻	無住集(聖財集・逸題無住問書)	18,700円
第6巻	禅宗清規集(禅苑清規・入衆日用・瑩山清規・坐禅儀)	20,900円
第7巻	禅教交涉論(溪風拾葉集・七天狗経(詞書)・顯密問答鈔・教月文集・雜要鈔 第三 真禪融心義下)	27,500円
第8巻	中国禅籍集(一)(金剛經解義・一体同親分・金剛般若讃)	19,800円
第9巻	中国禅籍集(二)(六祖壇経・牛頭山初法融禪師信心銘・頓悟入道要門論・明州大梅山常禪師語録 香巖頌・裴休拾遺問・勸發菩提心文)	23,100円
第10巻	稀観禅籍集(見性成仏論・覚性論・百文禪師広説/法門大綱・宗鏡録要処・養心抄・禅宗法語 明心・正法眼蔵打聞・禅宗詩文集・嘉泰普灯録・舍利礼文・宋人參詣匡王山之時礼拝文 伝心法要)	30,800円
第11巻	聖一派 続(菩提心論隨文正決・大日経疏住心品問書・安養寺流印信)	27,500円
第12巻	稀観禅籍集 続(大日経義釈見聞 巻七、巻九・瑜祇経見聞 第一・三院灌頂釈・密宗超過仏祖決 結縁一遍集(増補再録)・逸題無住問書断簡(補遺)・宗鏡録注解断簡・禅祖頌・厭世論 心性罪福因縁集)	品 切
別 巻	中世禅への新視角『中世禅籍叢刊』が開く世界	19,800円

栄西・道元の入宋以降に、密教や諸宗教学との関わりをなかで独自の発展を遂げた日本中世の初期禅宗。その謎多き思想の実態を物語る新発見の古写本や断簡類などをはじめ、真福寺・称名寺(金沢文庫)を中心に各地の寺院・文庫が所蔵するこの時代の貴重写本を横断的に紹介。それぞれの影印・翻刻に加えて、第一線の研究者による詳細解説を付す。

ISBN978-4-653-04170-2 [13/4 ~ 19/7]

宮井里佳・本井牧子編著 **第30回新村出賞受賞**

金蔵論 本文と研究

■ A5判・上製・848頁

16,500円(本体15,000円)

『今昔物語』の出典として、かねて国文学研究上注目されてきた『金蔵論』について、本文篇として現存する写本のうち大谷大本・興福寺本を影印、さらに韓国梵魚寺本、敦煌本を加えた翻刻、校訂を行い、研究篇として最新の論考を収録する。今後の研究に資する重要資料。

ISBN978-4-653-04120-7 [11/3]

田中良昭・椎名宏雄・石井修道監修

唐代の禅僧 全12巻

■ 四六判・上製・平均250頁

予価各巻3,300円(本体3,000円)

禅の源流を辿る——7世紀から10世紀、主に唐代を中心とした時代の禅者たちの、瑞々しい力に満ちた言葉・生き方に光をあてる。一般にあまり知られていないものの、禅の流れの上で重要な位置を占める禅僧を取り上げ、混迷する現代社会へその息吹を伝えるべく一流の執筆陣が語録をやさしく読み解き、禅僧たちの思想と生涯に迫る画期的シリーズ。

ISBN978-4-653-03990-7 [07/4～]

- | | | | |
|------------------|---------------------|-------|------------------|
| *第1巻 「慧能」 えのう | — 禅宗六祖像の形成と変容 | 田中良昭著 | 品切 |
| *第2巻 「神会」 じんね | — 敦煌文献と初期の禅宗史 | 小川隆著 | 品切 |
| *第3巻 「石頭」 せきとう | — 自己完結を拒否しつつけた禅者 | 石井修道著 | 3,300円(本体3,000円) |
| 第4巻 「百文」 ひやくじょう | | 西口芳男著 | |
| *第5巻 「滄山」 いさん | — 滄山の教えとは何か | 尾崎正善著 | 2,860円(本体2,600円) |
| *第6巻 「趙州」 じょうしゅう | — 飄々と禅を生きた達人の鮮かな風光 | 沖本克己著 | 品切 |
| *第7巻 「洞山」 とうざん | — 臨済と並ぶ唐末の禅匠 | 椎名宏雄著 | 3,300円(本体3,000円) |
| *第8巻 「臨濟」 りんざい | — 外に凡聖を取らず、内に根本に住せず | 衣川賢次著 | 3,630円(本体3,300円) |
| *第9巻 「雪峰」 せっぽう | — 祖師禅を実践した教育者 | 鈴木哲雄著 | 3,080円(本体2,800円) |
| *第10巻 「曹山」 そうざん | | 佐藤孝幸著 | |
| *第11巻 「雲門」 うんもん | — 立て前と本音のはざまに生きる | 永井政之著 | 3,080円(本体2,800円) |
| *第12巻 「法眼」 ほうげん | | 土屋太祐著 | |
- 〈*印は既刊〉

同編集委員会編

牧田諦亮著作集 全8巻

■ 菊判・クロス装・平均440頁〈分売可〉

全8冊 96,800円(本体88,000円)

国内外の仏教写本調査の足跡により、また疑経研究というジャンルの開拓により、そして、中国仏教史研究、朝鮮史研究、浄土教研究などの広範かつ膨大な功績によって知られる仏教史研究の泰斗、牧田諦亮の研究の全貌を明らかにする待望の著作集である。

ISBN978-4-653-04200-6 [14/7～16/11]

- | | |
|--|--------------------|
| 第1巻 疑経研究(中国仏教における疑経の研究・中国仏教史と疑経 他) | 12,100円(本体11,000円) |
| 第2巻 中国仏教史研究1(中国仏教史の流れ・筆論の流伝・慧遠とその時代 他) | 11,000円(本体10,000円) |
| 第3巻 中国仏教史研究2(第1部 隋唐仏教史の研究・第2部 観音信仰) | 9,900円(本体9,000円) |
| 第4巻 五代宗教史研究・中国近世仏教史研究(五代宗教史年表 他) | 14,300円(本体13,000円) |
| 第5巻 策彦入明記の研究(第1部 翻刻篇・解題・第2部 研究篇) | 15,400円(本体14,000円) |
| 第6巻 浄土教研究・徹底上人研究(善導大師と中国浄土教・徹底上人の生涯 他) | 11,000円(本体10,000円) |
| 第7巻 宋代仏教から現代仏教(第1部 民衆の仏教・第2部 明代より現代まで) | 12,100円(本体11,000円) |
| 第8巻 雑篇(補遺篇)・総索引(第1部 疑経・第2部 中国仏教その他) | 11,000円(本体10,000円) |

同編集委員会編

吉津宜英著作集 全4巻

■ 菊判・クロス装・平均500頁

予価各巻16,500円(本体15,000円)

南北朝隋唐時代の仏教、とりわけ華嚴思想に関する研究において若くして画期的な論文を次々と発表し、注目された吉津宜英博士。生前博士自身が遺した著作集の構想『慧遠教学の研究』を中心に、広く道元まで視野に入れた東アジア仏教全体の研究においてさまざまに有益な問題提起を行ってきた著作群を網羅的に収録する。

ISBN978-4-653-04430-7 [18/7～]

- | | |
|--|--------------------|
| *第1巻 浄影寺慧遠の思想史的研究(南北朝隋唐仏教の諸問題 他) | 16,500円(本体15,000円) |
| *第2巻 浄影寺慧遠と大乘起信論(『大乘起信論』注釈書の研究・『大乘起信論』の研究 他) | |
| *第3巻 華嚴思想の形成と展開(華嚴学派の概論・華嚴学派の文献研究・華嚴学派の思想研究 他) | |
| *第4巻 元暁・法融融合形態と東アジア仏教(元暁・法融融合形態から全一のアイデア 他) | |
- 〈*印は既刊〉

真福寺善本叢刊

第一期 全12巻
第二期 全12巻
第三期 全4巻

■ 菊判・クロス装・平均600頁〈分売可〉

〈第一期〉全12冊 各巻14,850円～18,150円
(本体13,500円～16,500円)

(第6巻・第7巻・第9巻・第10巻 品切)

〈第二期〉全13冊 177,870円(本体161,700円)

〈第三期〉全4冊 112,200円(本体102,000円)

(第4巻 残部僅少)

〈第一期〉国文学研究資料館編

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 第1巻 真福寺古目録集(聖教目録・大須真福寺宝生院経藏聖教目録 他) | 17,050円(本体15,500円) |
| 第2巻 法華經古注釈集(花文集・法華經勸進抄・往因類聚抄) | 17,050円(本体15,500円) |
| 第3巻 説経才学抄(諸聖教説釈・因縁処・説経才学抄) | 14,850円(本体13,500円) |
| 第4巻 中世唱導資料集(烏亡問答抄・諸調諷・安極玉泉集・肝心集) | 16,060円(本体14,600円) |
| 第5巻 中世仏伝集(釈迦如来八相次第・通俗釈尊伝記・金言類聚抄 他) | 16,280円(本体14,800円) |
| 第6巻 両部神道集(大日本国開闢本緑神祇秘文・両宮形文深釈 他) | 品切 |
| 第7巻 中世日本紀集(熱田宮秘釈見聞・神祇秘抄・天照太神御天降記 他) | 品切 |
| 第8巻 古文書集一(東大寺古文書・東大寺記録・東大寺衆徒參詣伊勢大神宮記) | 15,400円(本体14,000円) |
| 第9巻 中世高野山縁起集(高野山秘記・高野口決・高野山深秘 他) | 品切 |
| 第10巻 熊野金峯大峯縁起集(熊野権現金剛蔵王宝殿造功日記 他) | 品切 |
| 第11巻 擲金沙(擲金沙 中冊・下冊) | 15,730円(本体14,300円) |
| 第12巻 漢文学資料集(本朝文粹・本朝詩合・作文大体 残欠 他) | 18,150円(本体16,500円) |

〈第二期〉国文学研究資料館編

- | | |
|---|--------------------|
| 第1巻 真福寺古目録集二(諸阿闍梨真言密教部類惣録・東大院御前聖教目録 他) | 15,400円(本体14,000円) |
| 第2巻 講説論義集(維摩会記・公家最勝講聴聞集 他) | 12,100円(本体11,000円) |
| 第3巻 中世先徳著作集(真言付法華要抄・無名集・隠語集・覚禪抄 如法尊勝法 他) | 14,300円(本体13,000円) |
| 第4巻 中世唱導資料集二(富樓那集・書集作抄・類聚既驗抄・本朝諸社記 他) | 9,900円(本体 9,000円) |
| 第5巻 聖徳太子伝集(聖徳太子伝暦・仏法最初弘仁伝・松子伝) | 9,350円(本体 8,500円) |
| 第6巻 伝記験記集(往生浄土伝・空也誄・地藏菩薩應験記絵詞・日本法花験記・六字験記) | 14,300円(本体13,000円) |
| 第7巻 往生伝集(続本朝往生伝・拾遺往生伝・後拾遺往生伝・三外往生記 他) | 22,000円(本体20,000円) |
| 第8巻 伊勢神道集(大田命訓伝・伊勢二所太神宮神名秘書・大和葛城宝山記・神道簡要 他) | 16,500円(本体15,000円) |
| 第9巻 類聚神祇本源(類聚神祇本源 他) | 15,400円(本体14,000円) |
| 第10巻 東大寺本末相論史料一古文書集二(醍醐寺初度事書・東大寺具書 他) | 16,500円(本体15,000円) |
| 第11巻 法儀表白集(法則集・覚任表白集・十二巻本表白集巻第四) | 14,520円(本体13,200円) |
| 第12巻 性量集注(全十帖・巻三欠) | 17,600円(本体16,000円) |

〈第三期〉名古屋大学人類文化遺産学テクスト学研究センター監修/岡田莊司・伊藤 聡・阿部泰郎・大東敬明編

- | | |
|--|--------------------|
| 第1巻 神道古典(太神宮諸雑事記・諸道勅文〔長寛勅文〕・神祇講私記・御遷宮宮筋行事 他) | 26,400円(本体24,000円) |
| 第2巻 麗氣記(麗氣記〔正本〕・神体図・麗氣記〔副本〕・鏡図・宝鏡図注・法鏡図聞書 他) | 26,400円(本体24,000円) |
| 第3巻 御流神道(神祇秘記・御流神道父母代灌頂・御流神道内堂儀式・神道遷宮次第 他) | 28,600円(本体26,000円) |
| 第4巻 中世神道資料集(神一徳義抄・諸大事・太神宮本地・神道集 他) | 30,800円(本体28,000円) |

神奈川県立金沢文庫編

金沢文庫資料全書 全10巻

■ B5判・クロス装・平均330頁〈分売可〉

全10冊 各巻30,800円(本体28,000円)

(第1巻・第4巻・第7巻 残部僅少/第9巻 品切)

- | |
|--|
| 第1巻 禪籍篇(達磨和尚親心破相論・明州大梅山常禪師語録・香嚴頌・筠州黃栗山斷際禪師伝心法要 他) |
| 第2巻 華嚴篇(華嚴經義抄・華嚴經談玄決評・華嚴文殊誦・華嚴論節要・香象清涼両師面受旨抄 他) |
| 第3巻 天台篇(一)(重編天台諸文類集・大乘止観法門・法華三昧行法・天台小止観・涅槃經疏三徳指帰) |
| 第4巻 浄土篇(一)(往生要集鈔故上人・浄土三部經大意・別異弘願性戒抄・具三心義・極楽浄土宗義 他) |
| 第5巻 戒律篇(一)(教誡儀抄・結界唱相・結界法則・四分律注比丘尼戒本・十門口義・菩薩戒義記 他) |
| 第6巻 真言篇(一)(真乘要文・御遺告秘要抄・瑜祇經十二品大綱・瑜祇開心抄・五藏曼陀羅和会釈 他) |
| 第7巻 歌謡・声明篇〔(伽陀部)・〔讃嘆・和讃部)・〔声歌部)・〔朗詠部)・〔雜部)〕 |
| 第8巻 歌謡・声明篇 続〔(伽陀部) 続)〕・〔声明集部)・〔讃部)・〔三十二相・馬鳴調琴頌部)・〔講式部) 他) |
| 第9巻 寺院指図篇〔(第I類 灌頂)・〔第II類 修法)・〔第III類 指図)・〔第IV類 結界)・〔第V類 その他)〕 |
| 第10巻 戒律篇(二)(四分律行事鈔見聞集) |

能信上人の開山による真福寺は、奈良・平安・鎌倉から室町に至る15,000点に及ぶ稀観資料の収蔵で知られる。本叢刊はその古写本・文書類中未発表の典籍を中心に、資料価値の高いものを厳選して影印・翻刻。解題・索引を付して公開。国文学・仏教(密教)・神道研究者必携の第一級資料。

ISBN978-4-653-03466-7、03880-1、04470-3
[98/10～00/12, 04/1～11/3, 19/3～21/7]

鎌倉・南北朝時代にかけて金沢北条氏一門と称名寺の学僧が収集・学習した万余の典籍の中から厳選し、昭和49年から平成3年に総力を挙げて編集・発行された学術資料の復刻版。国宝の称名寺蔵・金沢文庫管理聖教類を取録。中世文化の研究に長く寄与しながら、入手困難となっていた重要資料を限定復刊する。

ISBN978-4-653-04400-0 [18/1]

中山一庵監修／落合博志・伊藤 聡・山崎 淳編

寺院文献資料学の^新展開 全12巻

■ 菊判・クロス表紙・カバー装・平均500頁(分売可)

予価各巻24,200円(本体22,000円)
(第9巻 品切)

神奈川県立金沢文庫編

称名寺大蔵経

重要文化財 宋版一切経目録

■ A4判・クロス装・本文640頁・口絵8頁

64,900円(本体59,000円)

齋藤智寛著

中国禅宗史書の研究

■ A5判・クロス表紙・カバー装・本文480頁・口絵4頁

8,800円(本体8,000円)

齊藤隆信著

令和4年度浄土宗学術賞受賞

隋東都洛陽上林園翻經館沙門

釈彦琮の研究

■ A5判・クロス装・本文664頁・カラー口絵4頁

13,200円(本体12,000円)

駒澤大学禅宗史研究会編著

慧能研究

慧能の伝記と資料に関する基礎的研究

■ B5判・上製・本文700頁・口絵17頁

23,100円(本体21,000円)

京都大学人文科学研究所編

中国宗教文献研究

■ B5判・クロス装・496頁

12,100円(本体11,000円)

船山 徹著

仏教漢語 語義解釈

漢字で深める仏教理解

■ 四六判・上製・372頁

3,960円(本体3,600円)

中央との関わりの中で注目される地方寺院の悉皆調査の成果を、論文および資料翻刻・解題により紹介。個々の資料分析にとどまらず、長きにわたって各寺院の経蔵に蓄積・伝存してきた聖教類の集合体としての意味を問うとともに、10カ寺近くに及ぶ寺院調査の成果を横断的に考察し、寺院間ネットワークの実態を明らかにする。〈詳細は巻頭頁〉
ISBN978-4-653-04540-3 [19/10]〜

長らく存在を知られながら入手困難であった「幻の目録」を、このたび改めて実施された悉皆調査の成果も盛り込み、新訂版として刊行する。目録篇は、新発見断簡類の情報を追加しただけでなく、諸典籍ごとの基礎データや絵画索引を掲載。論文篇では最新の研究動向と再調査の結果をふまえた論文7篇を取録する。巻頭カラー口絵も充実。
ISBN978-4-653-04510-6 [23/7]

『楞伽師資記』から『景德伝燈録』に至る燈史六種について、その個性を浮き彫りにし、祖統説の発展史からこぼれ落ちた思考の断片を救済する。敦煌文書や高麗古版本の読解を通して描き出されるのは、禅宗教団の根幹となる伝法・祖統の問題から、より通仏教的な実践や信仰へと広がる多彩な禅仏教の姿である。

ISBN978-4-653-04169-6 [20/12]

北周から隋にかけて特定の学派や宗派に属することなく、半僧半官の立場で国家仏教の主要な事業に参画し、その発展に寄与した釈彦琮。後世、師資相承を重んじる教団仏教が栄える中で埋没してしまった彦琮の偉大な功績を究明し顕彰する。それによって従来見落とされていた教団史観によらない隋代仏教の一面が明らかにされる。

ISBN978-4-653-04514-4 [22/1]

禅宗第六祖として禅宗史に大きな影響を与えた慧能には多くの逸話伝承が伝わる。慧能の伝記と資料に関する研究成果として、駒澤大学禅宗史研究会により昭和53年に刊行されながら長く入手困難だった『慧能研究』を、約120箇所にて及ぶ修正を加え、復刻刊行する。いまなお発展を続けている禅宗史研究、慧能研究における必携資料。

ISBN978-4-653-04411-6 [18/7]

「中国宗教文献研究国際シンポジウム」(2004)において発表された論文のうち21篇を若干の改訂を加えて出版(英文・中文は和訳にて掲載)。仏教・道教・景教・マニ教・イスラム教、各分野における国内外第一線の研究者が精緻な文献学的研究に基づき中国宗教の世界を解き明かす珠玉の論文集。巻末に索引を付す。

ISBN978-4-653-03933-4 [07/2]

南北朝隋唐から北宋にかけての仏教思想の根幹にかかわる五十の漢語を取り上げ、漢語における伝統的語義解釈と、原典におけるその語の意味と用例とを対比させ、中国・インド双方から二重の意味を付与された漢字仏教語の価値を究明する。語源探しや起源探しと袂を分かち、漢語文化圏における仏教受容史を解き明かす。

ISBN978-4-653-04516-8 [22/5][22/9]

船山 徹編

シリーズ 実践仏教 全5巻

■ 四六判・上製・平均250頁(分売可)

全5冊 15,620円(本体14,200円)

第 I 巻 菩薩として生きる 2,970円(本体2,700円)
 第 II 巻 現世の活動と来世の往生 2,970円(本体2,700円)
 第 III 巻 儀礼と仏像 3,520円(本体3,200円)

「理論」の枠組みに収まりきれない、具体的な「実践」そのものに焦点を当てた時、仏教の歴史や現状はどのように見えてくるのか。まったく新しい視点で仏教の歴史を扱います。

ISBN978-4-653-04570-0 [20/1 ~ 22/8]

第 IV 巻 教えを信じ、教えを笑う 3,080円(本体2,800円)
 第 V 巻 現代社会の仏教 3,080円(本体2,800円)

船山 徹著

東アジア仏教の生活規則

増補 梵網経

改訂 最古の形と発展の歴史

■ 菊判・上製・552頁

10,560円(本体9,600円)

東アジア仏教徒の日々の生活規則『梵網経』。中国で偽作されたその「最古」の形を策定し、明確な意図をもって書換えられた經典の歴史変遷に迫る。二十種をこえる経本の校勘から見えてくる偽作者の意図、そして經典の自律的發展史とは——長らく入手困難であった初版に唐招提寺藏、覚盛願経『梵網経』の研究を収録した増補改訂版。

ISBN978-4-653-04475-8 [23/3]

船山 徹著

梵網経の教え

今こそ活かす梵網戒

■ 四六判・並製・264頁

1,980円(本体1,800円)

現実社会に続く戦争とそこから生じる報復の連鎖にどう対処すべきか、いまこそ我々は古典の教えを新たに学ぶべきである——いまなお読み継がれる大乘仏教徒の生活規則『梵網経』。平易な現代語訳に基づき、その教えと特徴を解説する。混迷する現代の課題に本経の教えはどう応えるのか。『梵網経』下巻原文・全訳付。

ISBN978-4-653-04476-5 [23/4]

船山 徹著

仏教の聖者

史実と願望の記録

[京大人文研東方学叢書8]

■ 四六判・上製・242頁

3,300円(本体3,000円)

仏教の歴史のなかに聖者はいたのか、いなかったのか。素朴な問いに端を発する仏教の聖者への関心は、やがて信仰の内実へと繋がる大きな問いへと発展していく——仏教史に名を残す学派の祖師や学僧たちはどのような修行を行い、いかなる宗教的階位に到達したのか。原典資料を読み解き、誤った理解が蔓延する仏教の聖者観を問い直す。

ISBN978-4-653-04378-2 [19/5]

亀山隆彦著

好評2刷

平安期密教思想の展開

安然の真如論から覚鑿の身体論へ

■ A5判・クロス装・320頁

12,100円(本体11,000円)

日本密教に独自の成仏論といわれる「即身成仏」。空海以後、円仁や安然といった天台密教僧の試みを経て、平安末期に真言宗を中興したとされる覚鑿に到るプロセスのなかで、即身成仏の思想はどのような深化を遂げたのか。先行研究の成果を十分に踏まえた上で、多数の一次資料を渉猟し、考察を進める。

ISBN978-4-653-04185-6 [23/2][23/10]

末木文美士著

禅の中世

仏教史の再構築

■ 四六判・上製・336頁

3,630円(本体3,300円)

王権との対抗・協力から、個人の実践へ。南都焼討を乗り越えて、復興へ向かおうとする日本仏教史の転換点において、禅はどのように総合的な視座を獲得したのか。『中世禅籍叢刊』の編集刊行などを通し、新仏教対旧仏教、または顕密仏教対異端派といった二項対立的な見方を脱却し中世禅を捉えなおす必要を指摘してきた著者の研究の集大成となる一冊。

ISBN978-4-653-04168-9 [22/7]

末木文美士監修／榎本 渉・亀山隆彦・米田真理子編

中世禪の知

■ 四六判・並製・336頁

3,190円(本体2,900円)

豊饒な思想の源流へ—中国との交渉、密教との関連、諸宗との議論といった試行の中で、中世禪の教学はどのように形作られてきたのか。寺院・文庫調査の最前線における新資料の発見・紹介により、従来の仏教史の常識を覆し学界において注目を集めてきた『中世禪叢刊』のエッセンスを、平明な解説によって広く提供する。

ISBN978-4-653-04184-9 [21/7]

袁輪顕量編

仏典とマインドフルネス

負の反応とその対処法

■ 四六判・並製・320頁

品切

なぜマインドフルネスはストレス軽減につながるのだろうか。世界中で流行するマインドフルネスですが、意外なことにこの問いへの科学的解明は未だなされていません。多分野の研究者が協働し、マインドフルネスの源流である仏教の瞑想法を問い直した時、果たしてその答えはみえてくるのでしょうか。科学と仏教を架橋する待望の入門書。

ISBN978-4-653-04436-9 [21/5]

吉田 豊・古川攝一編

中国江南マニ教絵画研究

—Studies of the Chinese Manichaean paintings of South Chinese origin preserved in Japan—

■ A4判・上製・本文322頁・カラー口絵20頁

19,800円(本体18,000円)

2007年以降、日本国内で相次いで中国江南制作のマニ教絵画の現存が確認され話題となった。本書では、マニ教の宇宙観の全体像を表わす「宇宙図」ほか、国内の貴重なマニ教絵画全8点の精細なカラー図版と、内外の研究者による最新の研究成果を一書にまとめる。発見当時の興奮と謎の解明への期待に満ちた、マニ教研究必備の資料!

ISBN978-4-653-04117-7 [15/3]

ハンビッツ文化財団蔵／田中公明編

チベット仏教絵画集成

—タンカの芸術—

ART OF THANGKA from Hahn Kwang-ho Collection

■ B4判変型(320×260mm)・クロス装・平均240頁(カラー図各100点)豪華貼函入

第1～3巻 各14,300円(本体13,000円)

第4～7巻 各16,500円(本体15,000円)

全巻完結 全7巻揃108,900円(本体99,000円)

韓国ハンビッツ文化財団の所蔵するタンカ(軸装のチベット仏教絵画)のなかから特に優れた作品、歴史的・図像学的に貴重な作品を厳選し、すべてカラーで複製、それぞれに和文および英文の解説を付す。広範なコレクションを主題別に分類した、この分野初の専門的図録である。

(日本語版総発売元) ISBN978-4-653-03515-2,03639-5

-03732-3,-03800-9,-03960-0,-04124-5,-04127-6 [98/9～15/7]

向井佑介著

中国初期仏塔の研究

■ B5判・クロス表紙・カバー装・本文316頁・カラー口絵8頁

9,350円(本体8,500円)

塔はなぜ高くなったのか、双塔の伽藍はなぜ誕生したのか——日本考古学・古代史の分野において未解決の問題に解答を示しながら、インド起源の仏塔がいかに中国で受容され、朝鮮半島から日本へと伝播したかを解き明かす。考古資料、文献史料、図像資料の総合分析からみえてくる東アジアの寺院建築・伽藍配置がもつ本質的な意味とは。

ISBN978-4-653-04439-0 [20/3]

梶尾祥雲著／梶尾祥瑞編

大日経の研究

[梶尾祥雲全集別巻2]

■ B5判・背つきクロス装・本文546頁・口絵3枚

16,500円(本体15,000円)

梶尾祥雲博士の未発表の遺稿・論文より、大日経の和訳(計十三品)をはじめ、ブッダ・クフヤによる広釈、秘密曼荼羅品の対訳と釈、また大日経疏・義釈の現代語訳など16篇を収録。大日経の研究は、両部大経の一つとして、ひいては秘密仏教の理解に必要不可欠である。本書は最も基本的な素材として密教徒必読の書。

ISBN978-4-653-00954-2 [84/4][97/6]

梶尾祥雲著／梶尾祥瑞編

金剛頂経の研究

[梶尾祥雲全集別巻3]

■ B5判・背つきクロス装・本文512頁・口絵7枚

17,600円(本体16,000円)

金剛頂経は大日経と共に両部大経といわれながら、全体的究明は未だ果たされていない。本書には一貫してこれに取組まれた博士の「初会(初会)の金剛頂経」に関連した論文8篇を収録。殊に未刊論文の青蓮院蔵「六種曼荼羅略釈」の解明には園城寺秘蔵「五部心観」の見事な白描をほぼ原寸で取める。

ISBN978-4-653-01158-3 [85/6][97/6]

叡山文庫天海蔵／中野真麻理編・著

一乗拾玉抄影印 一乗拾玉抄の研究

■ A5判・クロス装・(影印) 770頁(研究) 360頁(分売不可)
全2冊 28,600円(本体26,000円)
(残部僅少)

長享2年、防州吉敷郡水上山興隆寺の僧徹海によって類聚された本書は、室町時代に盛行した『法華經』全巻にわたる「直談」の中でも初期に属するものである。「天下の孤本」と呼ばれ叡山文庫天海蔵に唯一残る明応2年の写本を影印複製、細心綿密な研究篇と共に刊行する。仏教經典研究、中世説話文学研究に必携の書。

ISBN978-4-653-03592-3 [98/12]

大久保道舟編

道元禪師全集

付別冊「増補 道元禪師眞筆集成」

■ B5判・クロス装・本文総1395頁・解題総69頁・索引総94頁・口絵5頁
全3冊 60,500円(本体55,000円)

道元禪師研究の最高権威・大久保道舟博士が禪師親撰に沿って編集された画期的全集。従来の『正法眼蔵』は本山版を底本とするのに対し、本書は道元禪師が親集された原初形態によって編成、その依用のテキストも近世以前の古写本を重用、その注記につとめている。昭和45年筑摩書房より刊行された全集の増補複製版。

ISBN978-4-653-01923-7 [88/10][02/3]

京都大学文学部国語学国文学研究室編
椎名宏雄・大槻 信解題

正法眼蔵

[兩足院叢書]

■ A5判・クロス装・960頁・函入・付解題2編

19,800円(本体18,000円)

日本曹洞宗の開祖・道元が後半生を費やして記し、哲学・思想を和文で表現した画期的文献「正法眼蔵」。その室町時代後期の古写本であり、奥書のあるものでは最古とされる建仁寺兩足院蔵60巻20冊を初影印。独自の奥書を持ちながらこれまで未紹介であった本書は、仏教史・日本思想史・日本語文章史など各界必読の資料である。

ISBN978-4-653-03968-6 [06/7]

大取一馬編

浄土真宗玉林和歌集

■ A5判・クロス装・250頁

5,500円(本体5,000円)

江戸中期の真宗の宗史家、先啓(1720-97)が編纂した『浄土真宗玉林和歌集』。法然・親鸞・蓮如等、真宗にまつわる僧侶の詠んだとされる歌を中心に、930余首の浄土真宗の和歌を集めた同書についての研究論文や書誌をまとめた(研究篇)、貴重な版本をもとに翻刻した(翻刻篇)に初索引を付す。

ISBN978-4-653-03754-5 [01/12]

中尾 堯著

読み解く『立正安国論』

■ 四六判・上製・302頁

2,860円(本体2,600円)

日蓮の代表的著作にして、法華經信仰による善政理念を掲げ、為政者に進言した『立正安国論』。現存する唯一の日蓮真蹟本(中山法華經寺恪護・国宝)の写真・原文・読下し文、著者による写真観想と現代語訳・解説をはじめハンディな一冊に凝縮した充実の内容。歴史学・古文書学的視点を変え、原本に忠実に、丁寧な解説で読み解く。

ISBN978-4-653-03988-4 [08/1][09/5]

井原今朝男著

増補 中世寺院と民衆

■ 四六判・上製・368頁

〈書籍版〉3,960円(本体3,600円)
〈電子書籍版〉配信中

戦争、飢饉、疫病が人々を絶え間なく襲った中世、寺院はどのような場として存在したのか。鎌倉新仏教の各教祖や教義、また権門寺院中心の研究に限られていた従来の中世仏教像を見直し、宗派・学派・規模の違いを越えた「中世寺院」のありのままの姿を探る。好評を博した初版本に中世寺院の国際性と外交僧の活躍等を加えた増補版。

ISBN978-4-653-04036-1 [09/1][13/6]

中前正志著

神仏靈驗譚の息吹き

—身代わり説話を中心に—

■ 四六判・上製・356頁

2,860円(本体2,600円)

涙を流す不動尊、女の髪を手巻きつけた地藏、矢を持った地藏……一般的な像とは異なるこうした神仏の姿にはどのような由来があるのか。「身代わり」をキーワードに、古代から近世、仏教から金光教まで幅広く神仏がその不思議な力によって信者を助ける靈驗譚を集め、丁寧に資料を読み解き考察を加える。

ISBN978-4-653-04078-1 [11/8]

神 道

名古屋大学人類文化遺産テキスト学術センター監修
岡田莊司・伊藤 聡・阿部泰郎・大東敬明編

真福寺善本叢刊 第三期 全4巻 〈神道篇〉

■ 菊判・クロス装・平均500頁

全4冊 112,200円(本体102,000円)
(第4巻 残部僅少)

- | | |
|--|--------------------|
| 第1巻 神道古典(太神宮諸雜事記・諸道勸文〔長寛勸文〕・神祇講私記・御選宮筋傍行事 他) | 26,400円(本体24,000円) |
| 第2巻 麗氣記(麗氣記〔正本〕・神体図・麗氣記〔副本〕・鈔図・宝鈔図注・法鈔図関書 他) | 26,400円(本体24,000円) |
| 第3巻 御流神道(神祇秘記・御流神道父母代灌頂・御流神道内堂儀式・神道還宮次第 他) | 28,600円(本体26,000円) |
| 第4巻 中世神道資料集(神一徳義抄・諸大事・太神宮本地・神道集 他) | 30,800円(本体28,000円) |

ISBN978-4-653-04470-3 [19/3 ~ 21/7]

宮地直一監修/福山敏男等編・解説

神 社 古 圖 集

■ A4判・クロス装・374頁・カラー口絵2点
モノクロ図版130枚(折図18点)

28,600円(本体26,000円)

古来、信仰のためや鑑賞あるいは実用上の目的などから、さまざまな社頭景観図が描かれてきた。本書は、神道資料としてはもとより、歴史・風俗資料としても貴重な104点130枚の古絵図を集成、現在亡失等で披見不可能なものも数多く含む。更に詳細な「解説」と「神社古図一覧」を付す。昭和17年刊の名著の復刻。

ISBN978-4-653-01819-3 [89/1][07/3]

半井真澄編/出雲路敬直解説

神 職 寶 鑑

■ 菊判・クロス装・本文288頁・カラー図版56頁
付解説

10,780円(本体9,800円)

神社建築・装飾・調度・諸祭祀の式礼・起居・祝詞等を150点に上る彩色図版を用いて詳細かつ的確に紹介した、出雲路興通氏ら明治期神道の碩学による神道規範の集大成を復刻する。神社故実や神道史の研究者には見逃せない好資料である。復刊に当たり神社故実変遷を分析した解説を付す。

ISBN978-4-653-01878-0 [89/8][07/3]

大江 篤編

皇位継承の歴史と儀礼

■ 四六判・並製・168頁

2,200円(本体2,000円)

社会や政治、宗教や文化に深く関わりながら時代とともに変化してきた皇位継承儀礼が、どのように意識され、伝えられてきたのか。古代から近代にいたるまでの記録を読み解き、その奥に潜む事実や思想に迫る。園田学園女子大学の2019年度公開講座「歴史セミナー」の「天皇即位をめぐる歴史と文化」を書籍化。

ISBN978-4-653-04332-4 [20/2]

出雲路通次郎著

大 禮 と 朝 儀

付 有職故実に関する講話

■ A5判・クロス装・628頁・写真4頁

7,700円(本体7,000円)
(残部僅少)

斯界の泰斗が、即位礼・大嘗祭など大礼の諸儀及び御調度に関して詳述、重宝な有職故実語彙集付。今日では得がたいこれらに関する正確な基本的知識を得る意味で、最も信頼すべき最良の資料といえる。さらに「有職の精神について」「有職の装束」など、同著者による有職故実に関連した講話の貴重な遺稿をも付し完璧を期した。

ISBN978-4-653-01722-6 [88/4]

近藤啓吾著

續山崎闇齋の研究

〔神道史研究叢書〕

■ A5判・クロス装・340頁・写真図版2枚

8,800円(本体8,000円)

垂加神道の唱道者、山崎闇齋の学問を探究する第一部と、闇齋の周辺や門流に関して詳述する第二部から成る論集。神道思想史に屹立する碩学闇齋の説の拠って立つところ、目標、そしてその実践の迹を究明する。前著『山崎闇齋の研究』にひきつづき、筆者畢生の闇齋研究の集大成。巻末に人名・書名索引を付す。

ISBN978-4-653-02178-0 [91/2]

近藤啓吾著

續々山崎闇齋の研究

〔神道史研究叢書〕

■ A5判・クロス装・364頁・口絵2点・付人名、書名索引

10,230円(本体9,300円)

ISBN978-4-653-03004-1 [95/4]

近藤啓吾著

増訂 浅見綱齋の研究

〔神道史研究叢書〕

■ A5判・クロス装・480頁・写真図版1枚

12,100円(本体11,000円)

ISBN978-4-653-02143-8 [90/6]

近藤啓吾著

若林強齋の研究

〔神道史研究叢書〕

■ A5判・クロス装・399頁・写真図版2頁

6,820円(本体6,200円)

ISBN978-4-653-02102-5 [79/3]

近藤啓吾著

續若林強齋の研究

〔神道史研究叢書〕

■ A5判・並製・132頁・口絵1頁

3,080円(本体2,800円)

ISBN978-4-653-03301-1 [97/5]

中山広司著

山鹿素行の研究

〔神道史研究叢書〕

■ A5判・クロス装・416頁・写真図版1枚

8,250円(本体7,500円)

〈残部僅少〉

ISBN978-4-653-02106-3 [88/1]

梶山孝夫著

水戸派国学の研究

〔神道史研究叢書〕

■ A5判・クロス装・752頁

15,400円(本体14,000円)

ISBN978-4-653-03618-0 [99/1]

近藤啓吾著

小野鶴山の研究

〔神道史研究叢書〕

■ A5判・クロス装・218頁

6,270円(本体5,700円)

ISBN978-4-653-03804-7 [02/4]

正篇・続篇にひきつづき、神道思想上に屹立する山崎闇齋の学問を解明する。闇齋の思索が著書『中臣祕風水草』に凝結されている事実を核心として、闇齋の更なる真像に迫る渾身の作。日本の儒学から進んで、独自の垂加神道を樹立した山崎闇齋の学問を探求する著者畢生の研究を集大成する。

浅見綱齋は山崎闇齋門下にして、闇齋の神道説などに服さなかったため破門されたが、師の学問を最も忠実に継承発展させた崎門三傑の一人である。本書は綱齋の伝記としてその生涯をたどり、さらにその学問、学者としての本質を究明、従来の疑問点を多く解明している。詳細な年譜・索引が付されている。

若林強齋は浅見綱齋に崎門儒学を学び、やがて神道に傾倒した江戸中期の儒学者・神道家。ここでは強齋の人物・学問・交友・門流を中心に述べ、終章では強齋墓域修理記録について言及する。図版8点。巻末に附録として『若林家譜』『古先生手澤書目』、更に年譜・書名・人名索引を付した詳細な研究書。

強齋の人物像や家系・交友から説き、その学問・思想を解明した『若林強齋の研究』の続編。未だ研究されることのなかった『詩集伝師説』『中庸章句師説』の二つの師説についての詳細な論考を取める。朱子の説を尊重し、闇齋・綱齋の思想を踏まえながら、独自の思想を深化させた強齋の思索の過程を考察した著作。

本書では山鹿素行の家系まで溯ってその生涯を追い、多方面からの素行解釈を試み、素行と赤穂義士・吉田松陰との関係についても考察する。附篇として明治・大正・戦前・戦後の時代別に素行関係の論文梗概を紹介、分析を加える。また、素行略年譜や著述読書一覧等、多彩な資料を付し、「変ゼザル」山鹿素行像を探った意欲的な著。

近世の水戸藩において形成され、明治維新の思想的基盤ともなった「水戸学」を、従来着目されなかった国学との関連から捉え、新たに「水戸派国学」として国学史上に位置づける。吉田活堂をその中心に据え、藤田東湖、会沢正志斎などの国学観にもふれながら、新発見の史料を駆使して水戸学に流れる国学的要素に初めて論及した意欲作。

京都崎門派後継者の一人であり、幕末尊王論へと繋がる思想の流れを形成した江戸時代の朱子学者・小野鶴山。『孟子講義』『書経講義』及び弟子・中山善我の『論語師説』を読み解くことで、鶴山の朱子学への深い造詣や、国家の行く末を案じ批判する見識と勇気を浮き彫りにし、あわせて崎門派の真面目をも描き出す、著者渾身の力作。

神道

真弓常忠著

真弓常忠著作選集

■ 四六判・上製・平均340頁

第1巻 論考篇『古代祭祀の探求』 品切
第2巻 随筆篇『祭祀の系譜』 2,420円
第3巻 小説篇『大海人皇子秘話』 2,530円
第4巻 補遺『神道の今昔』 2,530円(残部僅少)

住吉大社宮司をつとめる著者の長年の研究論文・随筆・小説・講演から、住吉大社御鎮座千八百年を記念して特に住吉大社にかかわるものを厳選して収録する。学術的な論考、一般人にもわかりやすい随筆、そして臨場感溢れる歴史小説、多方面にわたる業績の集大成ともいえる著作集。

ISBN978-4-653-04121-4,
-04122-1, -04123-8, -04125-2 [11/3 ~ 12/11]

真弓常忠著

古代祭祀の構造と発達

■ A5判・上製・320頁

4,180円(本体3,800円)

太古より日本民族が奉祀してきた神祭り一祭祀の形態は、きわめて豊かな多様性ととも驚くべき類似と永い伝統を持続していまに保っている。上賀茂神社の御阿礼神事や、大嘗祭・新嘗祭、対馬のエビス信仰や沖ノ島の祭祀遺跡、祇園祭の発達と構造など、祭祀の原初の姿と現代における意義を考察し、その本質に迫って解き明かした書。

ISBN978-4-653-03306-6 [97/10]

真弓常忠著

祭祀と歴史と文化

■ A5判・上製・312頁

4,180円(本体3,800円)

神道研究における神々の呼名や神話、神道の儀礼の歴史的起源を探求し、明らかにすることによって神道の本質に迫る。また伝統的国家儀礼について詳述すると共に、政教分離となった後の社会的問題点と、現代社会において神社が果たすべき役割について述べる。神道祭祀の歴史を民俗学的・社会的観点から検証する論文集。

ISBN978-4-653-03755-2 [02/4]

大江 篤著

日本古代の神と霊

■ A5判・上製・314頁

5,060円(本体4,600円)
(残部僅少)

「神」「霊」に関わる「祟」「怨霊」、そして「供養」をキーワードに、古代の史料を読み解く。天変地異・政変がひき起こす争乱や人智を超えた怪異に曝されて生きた人々が認知・畏怖した「神」「霊」の存在と、その背後に隠された、歴史的事実を探る試み。「神」と「霊」が照射する、古代の人々の心のうちにせまる意欲作。

ISBN978-4-653-03967-9 [07/2]

中前正志著

神仏霊験譚の息吹き

—身代わり説話を中心に—

■ 四六判・上製・356頁

2,860円(本体2,600円)

涙を流す不動尊、女の髪を手に巻きつけた地藏、矢を持った地藏……一般的な像とは異なるこうした神仏の姿にはどのような由来があるのか。「身代わり」をキーワードに、古代から近世、仏教から金光教まで幅広く神仏がその不思議な力によって信者を助ける霊験譚を集め、丁寧に資料を読み解き考察を加える。

ISBN978-4-653-04078-1 [11/8]

思想・聖書・教育

フランス国立図書館蔵／ブランシュヴィック編

パスカルパンセ〈草稿ファクシミリ版〉

Original des PENSÉES DE PASCAL. Fac-similé du manuscrit 9202 (Fonds Français) de la Bibliothèque Nationale

■ 草稿445×315mm・260枚片面刷・函装、本文445×312mm・260頁
背つき装・付和文解説(広田昌義)165,000円(本体150,000円)
〈残部僅少〉

文学研究に作者自筆稿は常に重要であるが、殊にパンセの場合、未定稿を寄せ集めた遺稿集といった性格から、その研究には草稿本を綿密に読み解くことが不可欠の作業である。本書は原本の細部まで忠実に伝える1905年刊の肉筆原稿写真版の完全複製であり、パスカル研究に新しい視野をひらきうる貴重な書。(仏文)

ISBN978-4-653-01388-4 [86/6]

オリヴェタン仏訳／久米あつみ解説

旧・新約聖書 1535年版

LA BIBLE D'OLIVÉTAN (Neufchâtel, 1535)

■ B4判・背革特装・854頁・付和文解説

143,000円(本体130,000円)

カトリック教会が正典としたラテン語訳 Vulガータ版によらず、旧約はヘブライ語、新約はギリシャ語の原文から直接オリヴェタンが初めて仏訳したもの。本書は特に聖書学と宗教改革史の研究に必須の文献であると同時に、16世紀フランス語研究のための貴重な資料でもある。世界の稀覯本として著名な1535年初版の完全複製。(仏文)

ISBN978-4-653-02382-1 [92/4]

中山淳子著

グリムのメルヒェンと明治期教育学

—童話・児童文学の原点—

■ A5判・上製・452頁

8,800円(本体8,000円)

日本におけるグリムのメルヒェンとヘルバート学派教育学との関係の端緒が明治の御雇ドイツ人教師が用いた『第一学年』にあると特定し、グリムのメルヒェンのドイツ教育界での扱われ方と日本での変形を分析する。さらに日本におけるグリムのメルヒェン受容や近代児童文学、教育学係童話集、童話作家や研究書を『第一学年』を踏まえて見直した、これらの分野の根幹に寄与する一冊。

ISBN978-4-653-04004-0 [09/4]

本山幸彦編著

明治前期学校成立史

■ A5判・クロス装・444頁・折込付図9枚

9,570円(本体8,700円)

日本の中等教育の初期的な成立過程を高知、山口、鹿児島、福岡、新潟、長野、愛知、山形、千葉の9県別に鋭く分析する。そこには、各地域が独自の豊かな教育的土壌を活かして自主的に中等学校を作り上げようとした姿が実証的に明らかにされる。中等教育史研究の基本となる書。昭和40年刊(未来社)に改訂を加えて復刻する。

ISBN978-4-653-02164-3 [90/11]

古辞書・国語・国文学

京都大学文学部
国語学国文学研究室 編/阪倉篤義解題

天治本 新撰字鏡 増訂版

附享和本・群書類従本

[古典・古辞書叢刊1]

■ B5判・クロス装・928頁

19,800円(本体18,000円)

昌泰年間(898～901)の末か、延喜のはじめ頃までに僧昌住によって編纂されたと考えられる、我が国人の考案に成る和名注のある最も古い辞書の一つ。昭和19年の初版本に享和本・群書類従本を加え、新たに解題と漢字部首索引を付した本書は、古代語研究の資料として絶大な価値を有する。
ISBN978-4-653-00029-7 [67/12][99/11]

京都大学文学部
国語学国文学研究室 編

天治本 新撰字鏡国語索引

享和本

[古典・古辞書叢刊2]

■ B5判・クロス装・280頁

8,800円(本体8,000円)

新撰字鏡の天治本及び享和本に見える和訓、並びにこれに準ずると認めべき語を、50音順に配列標出し、特にその中の複合語については、その構成要素からもこれを検索しうるように作成されている。本文は天治本を底本とし、享和本と対校の結果も示す。旧版の誤りを正し、新たに見出し語の漢字に振仮名を付して再刊。

ISBN978-4-653-00566-7 [58/11][99/11]

京都大学文学部
国語学国文学研究室 編/濱田 敦解題

諸本集成 倭名類聚抄 外篇

日本地理志料一和名類聚抄國郡郷里部箋注

[古典・古辞書叢刊12]

■ B5判・クロス装・874頁

18,700円(本体17,000円)

福岡良弼の大著「日本地理志料」71巻を取める。「日本地理志料」は、10巻本和名抄に欠けている国郡郷里部の箋注として、実質的には、椋斎の箋注和名抄の続篇と言うべきもので、古代地名についての、比類のないすぐれた文献である。また地名辞書としても役立つように、内務省地理局編の「和名類聚抄地名索引」を影印して付した。

ISBN978-4-653-00508-7 [77/9][94/7]

京都大学文学部
国語学国文学研究室 編/阪倉篤義解題

諸本集成 倭名類聚抄 索引篇

[古典・古辞書叢刊4]

■ B5判・クロス装・530頁・解題16頁

12,100円(本体11,000円)

本篇には、阪倉篤義博士編になる国語索引一和訓・見出し漢字索引をはじめ、元和本・高山寺本の地名仮名索引および地名漢字索引の5種と、同博士執筆の詳細な解題を付す。更に「本文篇補遺」として、「箋注倭名類聚抄校讎並異体字弁」および、光緒丙午年に中国人楊守敬が校刊した、いわゆる5巻本の「下総本」を影印、附録とした。

ISBN978-4-653-00509-4 [68/9][99/1]

ヴァチカン図書館・京都大学文学部国語学
国文学研究室共同出版/岸本恵実翻刻・解説

ヴァチカン図書館蔵 葡日辞書

■ 菊判横綴・上製・函入・影印182頁・新組312頁

13,970円(本体12,700円)

本書はアルファベット順に並べたポルトガル語の見出しにイエズス会式のローマ字綴りで日本語訳を付した対訳辞書で、他に類を見ない貴重なキリシタン資料である。今回初めて紹介されるヴァチカン図書館所蔵写本の全影印にあわせ、翻刻・日本語索引・解説を付し利用の便を図った。国語史・キリシタン史・中世史研究の貴重資料。

ISBN978-4-653-03607-4 [99/11]

吉田金彦著

古辞書と国語

■ A5判・上製・420頁

8,800円(本体8,000円)

国語学の大家として知られる著者が、長年にわたって研究を積み重ねてきた『類聚名義抄』、『韻字集』ほか古辞書についての研究論文を精選。名著とされる「図書寮本類聚名義抄出典攷」など、現在では参照困難となっている論考を、改訂のうえ収録した。関連分野の研究者にとって必携の書である。

ISBN978-4-653-04059-0 [13/5]

京都大学文学部国語学国文学研究室編

国語國文

(83巻7号(959号)～)

■ A5判・並製・48～64頁・毎月刊行

通常号1,210円(本体1,100円)

(変更の可能性があります)

83巻7号(959号)・83巻8号(960号) 各922円(本体838円)〈残部僅少〉

84巻4号(968号)・84巻5号(969号) 各4,400円(本体4,000円)(木田章義教授退職記念特輯号)

〈84巻5号(969号)は品切〉

86巻4号(992号)～86巻6号(994号) 各3,520円(本体3,200円)(大谷雅夫教授退職記念特輯号)

87巻1号(1001号) 1,430円(本体1,300円)(1000号記念特輯号)〈残部僅少〉

83巻9号(961号)～88巻8号(1020号) 各990円(本体900円)

〈88巻5号(1017号)・88巻6号(1018号)・88巻7号(1019号)は残部僅少／88巻8号(1020号)は品切〉

88巻9号(1021号)～92巻3号(1063号) 各1,100円(本体1,000円)

92巻4号(1064号)～93巻3号(1075号) 各1,210円(本体1,100円)

ISBN978-4-653-04259-4～04308-9 -04419-2～04428-4 -04449-9～04466-6 -04477-2～04499-4 -04640-0～04655-4

大正15年(1926)の創刊以来、実証的な研究を重んじる立場から画期的な論文を掲載しつづけ、国語国文学の分野に貢献してきた「国語國文」を平成二十六年に継承。本書は、刊行時からの精神を踏襲した「極めて自由な態度」で編集され、国語学国文学の最新の研究状況をリアルタイムで発信する好資料である。 [14/7～]

京都大学文学研究科編

日本語の起源と古代日本語

■ A5判・並製・280頁

3,630円(本体3,300円)

日本語は、系統関係の不明確な言語といわれてきた。国語学・比較言語学の専門研究者は、文法構造や音韻の比較から、日本語を様々な言語や語族と関連づけようとしてきた。本書は日本語の起源に関する最もまとまった研究成果である。

ISBN978-4-653-04224-2 [15/3] [17/11]

仲村康太郎・成田健太郎校訂・訳注

毘沙門堂蔵 篆隸文体

■ 菊判・クロス装・256頁(うちカラー・影印56頁)

9,900円(本体9,000円)

中国南齊・蕭子良撰『篆隸文体』。多数の意匠化された装飾文字を記録したいわば書体の見本帳であり、その独自性において重要な価値を有する。中国では伝存せず、京都山科の毘沙門堂蔵写本(国指定重要文化財)が唯一の伝本とされる。本書では、写本全紙の影印をフルカラーで掲載し、翻刻、訳注を附す。

ISBN978-4-653-04566-3 [24/2]

京都大学黄氏口義研究会編

抄物を読む

—『黄氏口義』提要と注釈—

■ 菊判・並製・本文432頁・カラー口絵2頁

5,720円(本体5,200円)

国語学・国文学・中国文学・中国哲学の研究者による長年にわたる『黄氏口義』研究の成果として、第1部:提要、第2部:影印・翻刻注釈からなる。「提要」は『黄氏口義』を読み解くための基礎知識を網羅するのみならず、抄物全般の入門・資料集としての機能を有し、中世にまつわる多くの分野の研究に寄与する必携の書。

ISBN978-4-653-04577-9 [24/2]

建仁寺両足院蔵

伊藤東愼・大塚光信・安田 章共編

両足院蔵 日本書紀抄

■ A5判・クロス装・影印522頁・函入・付解説(小林千草)

15,400円(本体14,000円)

古来、書紀抄物の講筵は連綿と行われてきたことは周知のことで、これらの開書間には様々な相違点があることは早くから注目されてきた。中でも注目すべき吉田兼俱・清原宣賢講の開書系写本を影印する。国語学・国語史の資料としてのみならず、文学史・思想史的な活用も期されるべき書。解説増補版。

ISBN978-4-653-01316-7 [86/2] [05/2]

京都大学文学部国語学国文学研究室編

椎名宏雄・大槻 信解題

正法眼蔵

〔両足院叢書〕

■ A5判・クロス装・960頁・函入・付解題2編

19,800円(本体18,000円)

日本曹洞宗の開祖・道元が後半生を費やして記し、哲学・思想を和文で表現した画期的文献「正法眼蔵」。その室町時代後期の古写本であり、奥書のあるものでは最古とされる建仁寺両足院蔵60巻20冊を初影印。独自の奥書を持ちながらこれまで未紹介であった本書は、仏教史・日本思想史・日本語文章史など各界必読の資料である。

ISBN978-4-653-03968-6 [06/7]

京都大学文学部国語学国文学研究室編
木田章義解説

林宗二自筆 **毛詩抄** (毛詩環翠口義)
〔兩足院叢書〕

■ A5判・クロス装・総1,500頁・函入・付難読箇所一覧
全2冊 30,800円(本体28,000円)

室町時代、「名譽ノ内外ノ和漢ノ学者」と評せられた「徳頭屋宗二」こと林宗二の手になる「毛詩」(詩経)の注釈書。本書は建仁寺兩足院に所蔵される自筆本の影印に解説を付したものの。国語・国語史研究のみならず、室町期の文学、文化史研究にも有用な貴重資料。

ISBN978-4-653-03955-6〔05/1〕

京都大学文学部国語学国文学研究室編
太田 亨解説

柳 文 抄
〔兩足院叢書〕

■ A5判・クロス装・804頁・函入
16,500円(本体15,000円)

永祿8年(1565)、林宗二によって書写された兩足院本「柳文抄」(全6冊)を影印、解説を付す。現存二本中の一本である本「柳文抄」は、禪林を代表する文筆僧たちの注解、散逸資料の引用を含んだ柳宗元研究の画期的資料。当時の世相や禪林事情、日本語事情をうかがい知ることができる仏教史・日本語研究の重要資料である。

ISBN978-4-653-04038-5〔10/5〕

上田萬年校訂/佐佐木信綱解説
小島憲之新解説並びに索引

類 聚 古 集 本文篇4冊
索引篇1冊

■ A5判・クロス装・本文篇影印総2,802頁・解説46頁・索引篇124頁
全5冊 71,554円(本体65,049円)
〈残部僅少〉

平安時代後期、藤原敦隆により編纂された最初の万葉集類聚書。分類の書としてのみならず、本文の上からも他の万葉集古写本とともに重要な資料であり、平安後期の書として書道史の上でも重んじられている。復刊にあたり、頭注に歌番号を附し索引1冊を加えて、その収載頁・分類項目を検索可能とし、より学術資料として充実させた。

ISBN978-4-653-00087-7〔74/6〕〔92/7〕

木下正俊著

万 葉 集 論 考

■ A5判・374頁・函入
8,250円(本体7,500円)

万葉集研究の碩学である著者の、半世紀に及ぶ業績を集大成。「飛鳥の神奈備」「難訓『家吉閑』」巻第十七に見られる対立異文の発生」など、各誌に発表された論文等を加筆・集成し、最終章に生い立ちから万葉集との出会い、これまでの研究生活について綴った「私の万葉集研究半世紀并せて後書き」を収録する。付索引。

ISBN978-4-653-03728-6〔00/7〕

国立歴史民俗博物館蔵/館蔵史料編集会編

貴重典籍叢書 歴史篇18冊
文学篇22冊

■ 菊判・クロス装・平均550頁・貼函入(分売可)

文学篇 全22冊 297,550円(本体270,500円)

- 第1巻《勅撰集1》古今和歌集 俊成本 14,300円
- 第2巻《勅撰集2》拾遺抄・三奏本 金葉和歌集 他 16,500円
- 第3巻《勅撰集3》後拾遺和歌抄 14,850円
- 第4巻《勅撰集4》新古今和歌集 13,860円
- 第5巻《勅撰集5》新古今和歌集 卷一～四・新勅撰和歌集 19,250円
- 第6巻《私撰集》続詞花和歌集・今撰和歌集・玄玉和歌集 16,500円
- 第7巻《私家集1》大江千里集・藤原性規集・伯母集 他 12,100円
- 第8巻《私家集2》玉吟集 三～五 12,100円
- 第9巻《私家集3》権大納言俊光集・為富卿詠 他 9,790円
- 第10巻《私家集4》隣女和歌集 17,600円
- 第11巻《中世定数歌》後柏原院宸翰点取和歌恋 他 11,000円
- 第12巻《歌学書1》袖中抄 一～七巻 12,100円
- 第13巻《歌学書2》袖中抄 八～十五巻 12,100円
- 第14巻《歌学書3》袖中抄 十六～二十巻 12,100円
- 第15巻《歌学書4》奥義抄上・辭案抄・并蛙抄 他 13,200円

千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館が所蔵する貴重典籍(写本)のうち、「高松宮家伝来禁裏本」「田中稜氏旧蔵典籍古文書」を中心に、重文5点、重美3点を含む善本を精選、影印、解説を付し影印・公刊する。本邦初刊の史料を多数含む本書は、わが国の歴史・文学研究に大いに寄る重要資料である。

〈〈歴史篇〉詳細は52頁をご覧ください〉〉

歴史篇 全18冊 221,650円(本体201,500円)

- 第1～6巻 令集解 全6冊 揃75,900円(本体69,000円)
- 第7～11巻 続日本紀 全5冊 揃65,450円(本体59,500円)
- 第12～18巻 延喜式 全7冊 揃80,300円(本体73,000円)
- 〈歴史篇〉 ISBN978-4-653-03520-6〔98/11～01/10〕
- 〈文学篇〉 ISBN978-4-653-03564-0〔99/1～02/9〕

大谷雅夫著

和漢聯句の楽しみ

芭蕉・素堂両吟歌仙まで

■ A5判・並製・338頁

3,300円(本体3,000円)

連歌の中に五言の漢詩句をまじえる和漢聯句は、室町の代々の天皇、公家、禪僧や連歌師らが熱中し、江戸の芭蕉も遊んだ文芸である。和と漢の言葉が交錯し、映発し、融合するところ、そこには思いがけなくも豊穣な世界が生まれた。難解にも見えるその表現を分かりやすく解きほぐす本書は、日本文学と文化を理解し、味わうために必読必携の一書である。
ISBN978-4-653-04415-4 [19/11]

楊 昆鵬著

詩 歌 交 響

和漢聯句のことばと連想

■ A5判・上製・420頁

5,280円(本体4,800円)

詩と歌の融合によって題材の個性が増幅し、新たな価値を生み出す和漢聯句。和漢聯句の独自の表現と連想方法を丁寧に分析し、多岐にわたる高度な専門知識をもった作者たちの思いとその文化的・社会的背景を明らかにする。和漢聯句研究の新たな成果として必読の一書。
ISBN978-4-653-04558-8 [23/2]

京都大学 国文学研究室 編
中国文学研究室

良基・絶海・義満等一座 和漢聯句譯注

■ 四六判・上製・本文256頁・カラー口絵5頁

3,520円(本体3,200円)

連歌の泰斗二条良基と五山文学の双壁養堂周信・絶海中津が一座する唯一の和漢聯句を翻刻、注釈・解題を付す。本和漢聯句は、聯句連歌の隆盛期、南北朝中後期において作品の全容が明らかな数少ない資料の一つ。当時の武家の最高権力者足利義満が参加し、連歌史・五山文学史にとって重要であることは勿論、政治的にも興味深い資料。
ISBN978-4-653-04067-5 [09/3]

京都大学 国文学研究室 編
中国文学研究室

かんもん 看聞日記紙背 和漢聯句譯注

—「応永二十五年十一月二十五日和漢聯句」を読む—

■ 四六判・上製・本文256頁・モノクロ口絵2頁

3,520円(本体3,200円)

中世の日記史料として名高い『看聞日記』紙背に残る和漢聯句を翻刻・訳注し、解説を加える。和歌・連歌・俳諧・漢文学・和漢比較文学の貴重資料であることは勿論、室町中期の政界に重要な位置を占めた伏見宮貞成親王と近臣たちとの交流を知りうる文化史・政治史の重要資料。中世に関わる諸研究分野にとって広く有益な一冊。
ISBN978-4-653-04077-4 [11/2]

京都大学 国文学研究室 編
中国文学研究室

室町前期 和漢聯句作品集

■ A5判・上製・本文328頁・口絵1頁

3,960円(本体3,600円)

京都大学大学院文学研究科21世紀COEプログラム「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」研究会の成果。全国各所に散在する和漢聯句・和漢聯句作品中、享祿以前迄(～1532)に成立した98点の翻刻。立ち遅れている和漢聯句研究の進展に寄与するだけでなく、室町期の公家、五山僧の研究者や俳諧の愛好者にとっても極めて有用な書。
ISBN978-4-653-04007-1 [08/3]

京都大学 国文学研究室 編
中国文学研究室

室町後期 和漢聯句作品集

■ A5判・上製・364頁

4,400円(本体4,000円)

科学研究費「和漢聯句の研究」の成果。「室町前期和漢聯句作品集」に引き続き和漢聯句流行の最盛期である室町後期(天文～文禄年間/1532～1596)の和漢・漢和聯句作品を翻刻、『前期』の補遺を付す。「前期」と併せ、室町以前の作品のすべてを網羅的に収録する初の集成。和漢聯句研究に必携の基礎資料。
ISBN978-4-653-04068-2 [10/3]

京都大学和漢聯句研究会

慶長・元和 和漢聯句作品集

■ A5判・上製・316頁

4,620円(本体4,200円)

和漢聯句作品集の中で、慶長・元和年間(1596～1624年)に催行されたことが確かであり、すでに存在が確認されているもの74点の翻刻を掲載する。『室町前期和漢聯句作品集』『室町後期和漢聯句作品集』に続く本書の刊行により、和漢聯句作品の研究基盤が資料面で整備されることとなる。
ISBN978-4-653-04365-2 [18/2]

京都大学和漢聯句研究会

曼殊院藏 **和漢聯句作品集**

■ A5判・上製・322頁

5,060円(本体4,600円)

天台宗の門跡寺院、曼殊院に所蔵される和漢聯句作品のすべてを翻字、時代順に編成。文明11年(1479)以来、百年以上に亘る文化的営為の学習と保存を一望する。『室町前期和漢聯句作品集』、『室町後期和漢聯句作品集』、『慶長・元和和漢聯句作品集』を継ぐ本書刊行により、この時代の和漢聯句作品のほぼ全てが通覧可能となった。

ISBN978-4-653-04515-1 [22/2]

築瀬一雄編著

碧冲洞叢書 全100輯 全16冊

■ A5判・クロス装・平均604頁・本文孔版・付録目録・函入

全16冊 211,200円(本体192,000円)
〈残部僅少〉

主として碧冲洞主人、築瀬一雄氏が蔵する中古から江戸時代の稀覯写本(和歌・説話・随筆など多方面にわたる)の翻刻に、氏の研究の成果を加え、昭和33年より15年にわたって刊行された古典叢書(孔版)の復刻。本叢書でしか見られないものも多くあり、国文学研究資料の宝庫といえる。

ISBN978-4-653-03172-7 [95/12]

濱千代清編

和歌連歌用語辞書 **流木集** 廣注

■ A5判・クロス装・本文530頁(和歌・連歌・詩句索引20頁)

16,500円(本体15,000円)

『流木集』は、室町時代に宗養らの連歌作者たちによって次第に集成された、連歌に用いる歌語の注解を、いろは順に編んで完結させたもの。発句や付句を随所に挙げて実例を示した点で比類ない資料である。万治2年(1659)の写本を底本に、今回新たに50音順に編成、典拠・証歌・例句等にも広く注を施して利用の便を図った。

ISBN978-4-653-02514-6 [92/11]

木藤才蔵著

さゝめごとの研究

■ A5判・クロス装・453頁・索引21頁

9,292円(本体8,447円)
〈残部僅少〉

心敬の代表的著述『さゝめごと』の研究書として定評ある名著『校註さゝめごと』(昭和27年刊)に、さらに研究篇1章を書き加え、翻刻部頭註にも改訂を施すなど、全面的な補訂を加えた『さゝめごと』研究の決定版。心敬研究はもとより、連歌や中世文学をめぐる研究にも欠くことのできない基本文献といえる。

ISBN978-4-653-02165-0 [90/9]

井上敏幸著

貞享期芭蕉論考

■ A5判・クロス装・374頁

8,010円(本体7,282円)

貞享期(1684～1688)の芭蕉に焦点をあてた論文集。「『甲子吟行』跋文への疑義」から最近の論文まで14篇を収める。『甲子吟行』、『あつめ句』、『かしまの記』、『笈の小文』、真蹟写[近江・美濃路紀行]、『更科記行』の諸作品を扱い、貞享期全体を見通すものとなっている。続く元禄期の芭蕉の作品、創作上の問題点等を考えるうえでも重要な論考。

ISBN978-4-653-02376-0 [92/4]

京都大学文学部国語学国文学研究室編

京都大学蔵 **貴重連歌資料集** 全6巻7冊

■ A5判・クロス装・平均580頁・貼函入

全7冊 97,790円(本体88,900円)

複雑な式目や独特の座の世界を持つ連歌は、和歌の世界に新しい息吹を与え、近世の学問・文芸を産む源となった、日本文学の歴史における重要な分野である。京都大学所蔵の連歌資料を精選、影印・翻刻し、詳細な解題を付す。連歌研究のみならずひろく中世文芸研究に資する貴重資料。

ISBN978-4-653-03850-4 [01/12～04/2]

第1巻	連歌秘伝抄・初心求詠集・連歌初学抄・かたはし・連歌作法	13,200円(本体12,000円)
第2巻	萱草(谷村本)・萱草(頼原本)・老葉注・専順独吟	14,300円(本体13,000円)
第3巻	圓塵・軽塵・住吉法楽千句・宗長連歌自注(貞徳筆)	15,840円(本体14,400円)
第4巻	上 初学用捨抄・伊勢千句注(清家本)・伊勢千句注(谷村本) (『天正八年連歌』)	13,200円(本体12,000円)
	下 伊勢千句注(「長頼両吟千句集」)・伊勢千句注(「山田千句」)	13,200円(本体12,000円)
第5巻	伊庭千句・花千句・大原三吟	12,650円(本体11,500円)
第6巻	称名院追善千句注・賦山何連歌・懐旧之連歌(『紹巴連歌』他)	15,400円(本体14,000円)

同刊行会編／大谷篤蔵等解説

天明俳書集^{60種}_{合本8冊}

■ A5判・クロス装・平均450頁・貼函入
全8冊 128,156円(本体116,505円)
(残部僅少)

ISBN978-4-653-02239-8 [91/10]

母司朗編

近世俳諧の玉手箱^{上巻・下巻}

■ A5判・上製・上巻648頁・下巻632頁(分売可)
各巻9,900円(本体9,000円)

蕪村・児童の書冊をはじめ、江戸時代宝暦末より寛政初に至る時期を代表する稀覯俳書を主として刊行地別に編成、影印に付し、解説を加える。それぞれの俳人たちの懐かしい版下筆蹟や初版初刷の香もかけを伝えるとともに、天明俳書特有の文化的香気の再現を図る。60篇66冊を収録。カラー口絵各巻1～2葉付。

京都府立京都学・歴史館に所蔵される新免安喜子氏旧蔵の古典籍(伊藤松宇旧蔵本)のうち、四五〇点ほどにおよぶ連歌俳諧書の中から学術的に価値の高いものを選び、翻刻と影印によって広く研究の益を供するものである。近年までその存在が殆ど知られていなかった、連歌俳諧研究のための重要資料である。

ISBN978-4-653-04553-3 (セット)[22/9]

松野陽一著

東都武家雅文壇考

■ A5判・上製・510頁
4,950円(本体4,500円)

十七世紀中ごろ以降、藩毎に上方公家で歌学を学び詠作能力を身につけた地下歌人を藩歌壇の指導者格に迎え、高い水準の歌作が行われるようになった。本書はこの時期から幕末に至る江戸武家歌壇を対象とした江戸の堂上系の武家歌壇についての基礎研究書である。従来近世和歌史における未開拓領域における道標となるべき書である。

ISBN978-4-653-04112-2 [12/10]

管 宗次解説

百人一首一夕話^{ひとよがたり}

■ A5判・クロス装・総996頁・解題/年譜30頁・カバー付・二色刷
全2冊 20,292円(本体18,447円)
(残部僅少)

書目解題の大著『群書一覽』で知られる町人学者・尾崎雅嘉(1755～1827)の著した『百人一首一夕話』は、歌人の伝記や逸話、挿絵を収載した小倉百人一首の注釈書。従来知られてきた天保4年刊の板本とは大きな異同を含む自筆草稿の影印本。特に雅嘉自筆の挿絵と多くの逸話は注目される。近世文学・出版文化の研究に貴重な資料。

ISBN978-4-653-02588-7 [93/11]

京都大学文学部国語学国文学研究室編

京都大学蔵 むろまちものがたり^{全12巻}

■ A5判・クロス装・平均480頁・貼函入
全12冊 147,510円(本体134,100円)

室町物語、あるいは御伽草子は、様々な種類の版本、写本が残されているため、異本や別本も多く、これまでに編まれた叢書に漏れたものも多い。今回、京都大学の所蔵する約120種の室町物語から、新出のもの、未紹介のもの、写本を中心に、46種を厳選して影印、翻刻・解題を付す。

ISBN978-4-653-03740-8 [00/10～03/6]

第1巻	しづか(三種)・緑弥生・富士草紙	12,100円(本体11,000円)
第2巻	ふしおりのさし・雨やどり・仏鬼軍	12,100円(本体11,000円)
第3巻	しほやきぶんしやう・天竺物語・ほうざうひくのさし	12,100円(本体11,000円)
第4巻	ぎわう・車僧の巻物・祇園牛頭天王御縁起・白ぎくさし他	12,100円(本体11,000円)
第5巻	玉ものまへ・天神御縁起・東勝寺鼠物語	10,780円(本体 9,800円)
第6巻	さよひめ・いはや・ほうらい物語	14,300円(本体13,000円)
第7巻	ぶん正・たなばた・たまものまへ	13,200円(本体12,000円)
第8巻	まんぢう・諸虫太平記・魚太平記・草木太平記	13,750円(本体12,500円)
第9巻	きふねの本地・ふくらう・衣更着物語・紫式部の巻	12,100円(本体11,000円)
第10巻	たま藻のまへ・たまも・はちかつき・七くさ・付喪神	10,780円(本体 9,800円)
第11巻	四十二の物あらそひ・西行物語・かむ丞相・ぎわう物語	12,100円(本体11,000円)
第12巻	きふね・花みつ・ぶんしやう・たまみづ物語・所蔵目録	12,100円(本体11,000円)

管 宗次著

富士谷御杖の門人たち

■ 四六判・並製・244頁

2,860円(本体2,600円)

ISBN978-4-653-03799-6 [01/9]

管 宗次著

幕末明治 上方歌壇人物誌

■ 四六判・上製・292頁

2,563円(本体2,330円)

ISBN978-4-653-02580-1 [93/9]

大取一馬編

浄土真宗玉林和歌集

■ A5判・クロス装・250頁

5,500円(本体5,000円)

ISBN978-4-653-03754-5 [01/12]

観山文庫天海蔵／中野真麻理編・著

一乗拾玉抄影印
一乗拾玉抄の研究■ A5判・クロス装・(影印)770頁(研究)360頁(分売不可)
全2冊 28,600円(本体26,000円)
<残部僅少>

京都の近世後期から明治末期に栄えた、富士谷成章を祖と仰ぐ近世和歌の一派、北辺門。四具(文法)研究という独自の研究分野を持ち、類例を見ない歌論と歌風を確立しながら、これまで取り上げられることのなかった北辺門の人々の伝記と著述、和歌を中心に考察する。

言霊学者・高橋残夢、「歌の神」住吉大社神主・津守国美をはじめ、近世後期から明治期にかけて上方歌壇を支え、彩りながらも今まであまり取りあげられることのなかった歌人たちを紹介し、論考する。更に多数の自筆短冊のほか『宮古現存和歌者流 梅桜三十六家選』『浪華人物誌』など貴重資料も収録する。

江戸中期の真宗の宗史家、先啓(1720～97)が編纂した『浄土真宗玉林和歌集』。法然・親鸞・蓮如等、真宗にまつわる僧侶の詠んだとされる歌を中心に、930余首の浄土真宗の和歌を集めた同書についての研究論文や書誌をまとめた〈研究篇〉、貴重な版本をもとに翻刻した〈翻刻篇〉に初句索引を付す。

長享2年、防州吉敷郡水上山興隆寺の僧叡海によって類聚された本書は、室町時代に盛行した『法華経』全巻にわたる「直談」の中でも初期に属するものである。「天下の孤本」と呼ばれ観山文庫天海蔵に唯一残る明応2年の写本を影印複製、細心綿密な研究篇と共に刊行する。仏教經典研究、中世説話文学研究に必携の書。

古橋信孝編

大和物語新釈 上巻

■ A5判・クロス装・664頁

上巻20,900円(本体19,000円)

平安の都市生活が定着してきた当時において、その「ひらがな体」の文学は何を試みようとしていたのか。史実と創作の境界を越え、同時代文献を広く見渡しながら、新しい読みの地平を提示する。上巻は、一～一三〇段までの注釈を試みる。編者解説「大和物語新釈へ」を巻頭に描き、「大和物語登場人物像」の小事典を収録。

平安の都市生活が定着してきた当時において、その「ひらがな体」の文学は何を試みようとしていたのか。史実と創作の境界を越え、同時代文献を広く見渡しながら、新しい読みの地平を提示する。上巻は、一～一三〇段までの注釈を試みる。編者解説「大和物語新釈へ」を巻頭に描き、「大和物語登場人物像」の小事典を収録。

男装、入れ替わり、女帝、同性愛など特異な趣向をもつがゆえに奇異なものとして扱われてきた中世王朝物語について、いかに先行作品の影響を受け、また独自性をもったかを丹念に読み解き、その物語の成立に迫る。趣向や表現についての緻密な分析と歴史的・思想的背景に迫る大局的な考証をあわせもつ、研究者必読の一冊。

京都大学大学院・文学研究科編

世界の中の『源氏物語』

—その普遍性と現代性—

■ A5判・上製・290頁

3,960円(本体3,600円)

ISBN978-4-653-04069-9 [10/2]

金光桂子著

第13回関根賞受賞

中世の王朝物語 享受と創造

■ A5判・クロス装・410頁

11,000円(本体10,000円)

ISBN978-4-653-04337-9 [17/5]

えことば
絵詞研究会編

時雨物語絵巻の研究

■ A5判・クロス装・本文440頁・カラー口絵2頁
11,000円(本体10,000円)

絵詞研究会編

中宮物語絵巻の研究

■ A5判・クロス装・218頁・全図版カラー口絵
5,060円(本体4,600円)

伊藤信博／クレール＝碧子・ブリッセ／増尾伸一郎編

『酒飯論絵巻』影印と研究

文化庁本・フランス国立図書館本とその周辺

■ B5判・上製・本文424頁・カラー影印18頁
15,400円(本体14,000円)京都大学文学部国語学国文学研究室編
編集代表 日野龍夫

京都大学蔵 大物本稀書集成 全17冊 別巻1冊

■ 菊判・クロス装・貼函入・平均430頁・カラー挿絵入
全18冊 247,060円(本体224,600円)

第1巻	浮世草子(花鳥百談・北州列女伝 他)	12,650円
第2巻	談義本・滑稽本(老子形気・乗合噺 他)	12,650円
第3巻	読本 I (通俗医王善婆伝・両剣奇遇 他)	13,200円
第4巻	読本 II (国字磯物語・物草太郎 他)	14,300円
第5巻	軍記(曾我物語評判・小栗実記)	15,180円
第6巻	実録(金氏奇政録・照朝賢婦秘鑑)	12,100円
第7巻	雑話 I (古今大著聞集・石曲秘談抄)	14,300円
第8巻	雑話 II (本朝故事因縁集・本朝国語 他)	13,530円
第9巻	歌舞伎台帳(日本花赤城塩竈 他)	12,540円

京都大学文学部国語学国文学研究室編

京都大学蔵 頼原文庫選集 全10巻

■ A5判・上製・平均500頁(分売可)
全10冊 178,200円(本体162,000円)

第1巻	好色本・遊女評判記・仮名草子・浄瑠璃(好色松はやし 他)	17,600円(本体16,000円)
第2巻	浮世草子(子孫大黒柱・寛閑鑑引・庭訓染句車・謡曲百万車 他)	17,820円(本体16,200円)
第3巻	連歌 I ・俳諧 I (新板連歌新式増抄・便松集付索引)	16,500円(本体15,000円)
第4巻	連歌 II ・俳諧 II ・狂歌 I (以春独吟連歌集・郡山・久流留・狂歌訓 他)	18,150円(本体16,500円)
第5巻	俳諧 III ・狂歌 II (俳諧まかりかね・樽良翁文集・狂歌新玉集 他)	16,280円(本体14,800円)
第6巻	談義本・読本・軍書(相生玉手箱・拔参殘夢噺・川中島合戦評判 他)	16,500円(本体15,000円)
第7巻	戯作・漢籍 I (血屋錦浦名染著・憎哉鳥後篇よしや/浮世 他)	19,250円(本体17,500円)
第8巻	辞書・抄物・漢籍 II (和漢名数大全・叢林两部抄・李卓吾先生批点忠義水滸伝)	19,800円(本体18,000円)
第9巻	雑書 I (大雑書・暦占・随筆 I) (毎年暦考見付[天明八年伊勢暦]・大雑書 他)	17,600円(本体16,000円)
第10巻	雑書 II (地誌・随筆 II)・総目録(陶犬新書・頼原文庫目録 他)	18,700円(本体17,000円)

本書は奈良絵本「しぐれ物語」の最古本とされる絵巻についての影印/釈文・現代語訳/諸本対照表/論文からなる研究書である。平安・鎌倉時代の王朝物語の流れをくみ、その形を色濃く残し、また珍しい表現技法で描かれた本絵巻を、文学・美学の両視点から多角的に分析・研究した、物語史・美術史研究に有益な一冊である。

ISBN978-4-653-04229-7 [16/7]

白描物語絵の系譜をひく室町初期の優品「中宮物語絵巻」(京都国立博物館保管)を美術・文学の両面から研究した成果。残念ながら物語の後半は失われているが、悲恋物語であると推論されている。影印・翻字・釈文・現代語訳と、解説として「中宮物語絵巻について」(若杉準治)他、5本の論説から多角的に孤本「中宮物語絵巻」にせまる好者。

ISBN978-4-653-03966-2 [06/5]

16世紀前半に、狩野元信らによって制作されたとされる『酒飯論絵巻』。ユーモラスな絵巻の全貌を、文化庁本・フランス国立図書館本のカラー影印18ページによって一挙紹介するとともに、日本・フランスを中心とした内外の研究者が、文学・思想、美術史、風俗史・歴史の視点から分析。その豊かに文化的な背景を詳しく解説する!

ISBN978-4-653-04115-3 [15/2]

江戸中期から百数十年間、全国一の規模で貸本屋を営んでいた名古屋の大野屋惣八の旧蔵本を、京都大学附属図書館蔵本から未翻刻の文学書を中心に稀観善本を精選、翻刻(一部影印)。近世の貸本屋は図書館であり、学校でもあった。日本最大の貸本屋の蔵書を取めた本集成は、江戸文学・文化・風俗研究の基本文献として必備の双書。

ISBN978-4-653-02727-0 [94/4～97/1]

第10巻	歌書(和歌七部之抄・哥仙金玉抄 他)	15,950円
第11巻	連歌(玉拾集・山迹七字城)	13,750円
第12巻	絵本(珍画譜・画話耳鳥齋 他)	11,660円
第13巻	写本小説(三木章・双刀英雄談 他)	14,300円
第14巻	名古屋戯作(官邸珍話・中富返答 他)	14,850円
第15巻	仏書(念死念仏集・談義まじり 他)	14,300円
第16巻	教訓書(不可得物語・一体法利はなし 他)	15,290円
第17巻	語学(和漢初学便蒙(和漢新撰下学集))	10,560円
別巻	改訂京都大学蔵大惣本目録(補訂版)	15,950円

近世語研究を畢生の研究とした頼原退蔵博士が生涯にわたって収集し学んだ一大資料群、京都大学蔵頼原文庫から、従来未翻刻のもので学術的意義の高い稀観書を厳選して翻刻(一部影印、索引付)、巻末に詳細な解題を付して刊行する。文学作品のみならず実用書や抄物の類も積極的に採録する本書は、近世文学・語学研究に役立つ好資料。

ISBN978-4-653-04320-1 [16/12～19/3]

伊藤信博著

植物・食物の表象文化学

■ B5判・上製・360頁

19,800円(本体18,000円)

供物としての食物が重視され神仏・物の怪が未分化であった古代から、外食産業や博物学が進展を見せる近世まで。各時代の中で、食物や食材または薬の原料となる植物は、どのように人間とかわり、その社会にどのような位置を占めていたのか。文学作品や宗教テキスト、絵画作品などの分析を通して、思想史および文化史的に追及する。

ISBN978-4-653-04128-3 [22/2]

ローレンス・マルソー編・校注

絵入卷子本 伊曾保物語

翻刻・解題・図版解説

■ A5判・上製・296頁(翻刻解題他252頁+カラー 44頁)

品切

現存唯一の完本とされる絵入卷子本伊曾保物語(6巻本)について、全文翻刻、全挿図(38図・カラー)の紹介・解説を行い、解題を付す。世に知られる『伊曾保物語』であるが、絵入卷子本で現存するのは本書のみ。卷子本『伊曾保物語』はほかに天理図書館本(3巻本)があることが知られるが、その天理本とも特徴を異にする本書は『伊曾保物語』伝来の謎に迫る新資料。

ISBN978-4-653-04467-3 [21/1]

本巻 野間光辰編／新索引 木田章義監修・林泰弘編

新修 京都叢書

本巻23巻
新索引12巻

■ A5判・クロス装・本巻平均590頁・新索引総389頁

〈本巻〉各巻5,500円～10,450円(本体5,000円～9,500円)

(第2巻・第10巻 残部僅少／第23巻 品切)

〈新索引〉24・25巻 27,500円(本体25,000円)

「京童」「雀雀」等、京都に関わる江戸期の代表的な書物を集大成。洛中・洛外の社寺、名所旧跡、地誌、年中行事、諸職名匠、各町の由来、沿革と変遷など、近世京都の姿を余すところなく伝える。本文は原本との厳密な校訂を施し、異同は頭注に記した。新たに、「和歌・俳諧類索引」約4千項目を含む約5万項目を収録した新索引を刊行。

ISBN978-4-653-03944-0(全25冊)

-02596-2(本巻) -03943-3(新索引) [67/9～06/4]

母利司朗編

和食文芸入門

■ 四六判・並製・284頁

2,530円(本体2,300円)

2013年にユネスコ無形文化遺産に(和食)が登録され、2018年に和食文化学会が誕生した。和食文化への関心が高まり、その総合的な研究の進展が期待される中、これまでほとんど関心がはたらわれなかった古典文芸から日本の和食文化を探る。

日本の食文化についての意識と実態に迫る画期的な一冊。

ISBN978-4-653-04418-5 [20/9]

倉本一宏編

日本人にとって日記とは何か

〔日記で読む日本史1〕

■ 四六判・上製・276頁

3,080円(本体2,800円)

なぜ、日本ではさまざまな人々によって日記が残され、読まれてきたのか? 古代から中世・近世・近代の歴史、日記と物語・和歌といった文学作品との比較、はたまた日記の言語学、さらには現代の小中学生の日記や心理学からみた日記など。第一線の研究者たちが、日記文化の豊かな世界にいなごうシリーズ第1巻!

ISBN978-4-653-04341-6 [16/7]

石川久美子著

「ためし」から読む更級日記

漢文日記・土佐日記・蜻蛉日記からの展開

〔日記で読む日本史4〕

■ 四六判・上製・216頁

3,300円(本体3,000円)

文学・歴史の境界を越えて「日記」という大きな枠組から見えてくる、『更級日記』の本質とは? 日記録としての漢文日記の「先例主義」と日記文学の「ためし」を連関させ、相互の共通性・相違性を明らかにしつつ、読解の視点を提示する。

気鋭の若手研究者による、まったく新しい『更級日記』論。

ISBN978-4-653-04344-7 [18/10]

池田節子著

紫式部日記を読み解く

源氏物語の作者が見た宮廷社会

〔日記で読む日本史6〕

■ 四六判・上製・272頁

品切

平安文学を代表する女流作家・紫式部。栄華を誇る藤原道長の娘・中宮彰子のもとで、彼女が見たもの・感じたこととは何だったのか。そして、そこでの経験はどのように彼女の物語世界に昇華されたのか。謎とされる部分も多い『紫式部日記』を丹念に読み解き、紫式部自身の姿とその目に映る宮廷社会に迫る!

ISBN978-4-653-04346-1 [17/1]

中村康夫著

皇位継承の記録と文学

『栄花物語』の謎を考える

〔日記で読む日本史8〕

■ 四六判・上製・192頁

3,080円(本体2,800円)

ISBN978-4-653-04348-5 [17/7]

古橋信孝著

平安期日記文学総説

一人称の成立と展開

〔日記で読む日本史9〕

■ 四六判・上製・240頁

3,300円(本体3,000円)

壬申の乱以降『栄花物語』の時代にいたるまで、皇位継承に関わる事件はどのように意識されてきたのか。『万葉集』『懐風藻』などの歌集から、『源氏物語』などの物語・『大鏡』などの歴史物語を視野に入れながら、横断的にそれらの文献を読み解き、テキストに内包される当時の人々の歴史意識を明らかにする！

一人称、ひらがな体、日記の時間——古代文学を中心に日本の古典作品を渉猟し、豊かな学識・横断的な視点から古典の魅力を長年紹介してきた不世出の研究者が、『土佐日記』成立以降、平安期の代表的な作品について解説。日記文学が発明し、発展させてきた知性・感性の歴史をひもとく！

ISBN978-4-653-04349-2 [18/3]

曾我良成著

物語がつくった驕れる平家

貴族日記にみる平家の実像

〔日記で読む日本史12〕

■ 四六判・上製・210頁

3,080円(本体2,800円)

ISBN978-4-653-04352-2 [17/1]

一時は権勢を誇りながら、驕り高ぶり、遂には滅びた一族「平家」。長らく受け入れられてきたこれらの平家像は多分に『平家物語』の影響によるものだった。『玉葉』『小右記』などの貴族日記を丹念に読み解き『平家物語』と比較することで、物語がつくりだした平家像を浮かびあがらせ、従来の解釈とは異なる彼らの実像に迫る！

藤本孝一著

国宝『明月記』と藤原定家の世界

〔日記で読む日本史14〕

■ 四六判・上製・226頁

3,190円(本体2,900円)

ISBN978-4-653-04354-6 [16/7]

長年冷泉家時雨亭文庫にて古典籍の整理・調査にあたる、写本学第一人者の著者が、書物の形態から『明月記』の姿を明らかにし、藤原定家の価値を再解釈する。紙の継ぎ方や筆跡、裏打ち紙に書かれた文字など、実際に原本を手に取り調査した著者ならではの視点で、現存の『明月記』がどのように成立したのかを解き明かす。

鈴木貞美著

「日記」と「随筆」

ジャンル概念の日本史

〔日記で読む日本史19〕

■ 四六判・上製・296頁

3,300円(本体3,000円)

ISBN978-4-653-04359-1 [16/4]

『土佐日記』は紀行、『方丈記』は日記とみなされていた時代があった?! では、現在のようなジャンル概念はいつ、どのようにして築かれたのか。「日記」と「随筆」それぞれの概念の変遷を追うことで、現代の国語教育を通して、人びとのあいだに浸透しているジャンル概念や価値観から離れ、作品を見通す新たな視座を提供する。

倉本一宏・小峯和明・古橋信孝編

説話の形成と周縁

古代篇・中近世篇

■ 四六判・上製・296頁(古代篇)・304頁(中近世篇)

各3,520円(本体3,200円)

風土記・日本霊異記・今昔物語集から、巡礼記・軍記・古註釈さらには、説話の言説・メディア論まで。時空間やジャンル、虚実の壁を越えて、説話はいかに生成・発展してきたのか。文学・歴史の研究者が、一堂に集い、その過程と意味を明らかにする。

ISBN978-4-653-04511-3 (古代篇)、
-04512-0 (中近世篇) [19/5～19/6]

中前正志著

神仏霊験譚の息吹き

—身代わり説話を中心に—

■ 四六判・上製・356頁

2,860円(本体2,600円)

涙を流す不動尊、女の髪を手巻きつけた地藏、矢を持った地藏……一般的な像とは異なるこうした神仏の姿にはどのような由来があるのか。「身代わり」をキーワードに、古代から近世、仏教から金光教まで幅広く神仏がその不思議な力によって信者を助ける霊験譚を集め、丁寧に資料を読み解き考察を加える。

ISBN978-4-653-04078-1 [11/8]

重田みち編

「日本の伝統文化」を 問い直す

■ A5判・上製・512頁

7,700円(本体7,000円)

重田みち著

風姿花伝研究

■ A5判・上製・868頁

9,900円(本体9,000円)

長友千代治編・解説・索引

重宝記資料集成

本巻45巻
別巻総索引1巻

—生活史百科事典—

■ A5判・クロス装・平均450頁(分売可)

(本巻)45冊揃 437,140円(本体397,400円)
(第25巻 残部僅少)

長友千代治著

重宝記の調方記

—生活史百科事典発掘—

■ 四六判・上製・490頁

3,300円(本体3,000円)

安井眞奈美／ローレンス・マルソー編

想像する身体

上巻—「身体イメージの変容」
下巻—「身体の未来へ」

■ A5判・上製・上巻336頁・下巻344頁・各巻カラー口絵2頁(分売可)

各4,730円(本体4,300円)

本多朱里著

柳亭種彦 一読本の魅力

■ 四六判・上製・258頁

2,750円(本体2,500円)

ハク チャンギ
朴 贊基著

江戸時代の朝鮮通信使と日本文学

■ A5判・上製・282頁

3,520円(本体3,200円)

芸道など明治期以降「日本の伝統文化」と見なされてきた諸文化は、曖昧のままの認識のため歴史実態と大きな隔たりがあるのではないか——近代の言説により不可視化された文化の様々な側面を、「非近代の視点」「日本列島の外からの視点」をもって相対化し、東アジア諸学の連関的考察を試みる。京大人文研拠点共同研究の成果論文集。

ISBN978-4-653-04568-7 [24/3]

『風姿花伝』成立にいたる世阿弥の思考と著述過程を、禅や儒学、権力者との関係など、彼をとりまく多彩な文化環境に着目して全面的に明らかにする。本文改訂の痕跡を追究するダイナミックな文献学的手法で世阿弥能楽論研究を大きく刷新するとともに、足利義満・義持時代の文化に新たな光を照射する一冊。新校訂本文も付す。

ISBN978-4-653-04569-4 [24/2]

重宝記とは、近世から近代にかけて刊行・書写され、庶民の実用書として読まれてきた書物であり、内容は、家庭生活の事柄から医・薬方、農・工・商業、礼法、俗信など生活万般にわたる。庶民の知識・風俗・芸術など、社会生活の諸相を反映した第一等の文献資料「重宝記」約250点を精選して影印、各巻に解題・索引を付して公開(別巻総索引は品切)。(詳細は54頁)

ISBN978-4-653-03860-3 [04/8～09/3]

江戸時代から近代にかけて庶民向けに400点以上刊行された独習書「重宝記」。ハンディな懐中本から大型本まで形も様々なら、内容も常識・教養から農工業・医薬の専門知識、口伝・秘術まで多方面に及ぶ。「重宝記」とはなにかという基礎知識から説きおこし、代表的な書物を紹介した初めての「重宝記ガイドブック」。

ISBN978-4-653-03941-9 [05/9]

感染症、胎児観、中国医学、境界としての身体、セクシュアリティ、社会と身体、科学技術の発展——人文・社会科学と自然科学の叡智を結集した、国際日本文化研究センター共同研究「身体イメージの想像と展開—医療・美術・民間信仰の狭間で」の成果出版。既存の身体イメージを問い直し、次代を生きる身体の可能性を提示する。

ISBN978-4-653-04630-1 (セット) [22/12]

江戸時代のベストセラー戯作者、柳亭種彦。本書は、これまで注目されてこなかった彼の読本執筆期に焦点を当てる。彼の作風や特徴はどのようにして形成されたか。またなぜ読本執筆をやめたのか。絵師葛飾北斎や版元西村屋与八との交流、当時の出版界や戯作者たちの動向を明らかにするとともに、種彦の読本の魅力をさぐる。

ISBN978-4-653-03964-8 [06/5]

江戸時代の朝鮮通信使は、日本文学に様々な形で影響を与えた。当時の文化交流の実態を探りつつ、近世期流行した「唐人殺し」を中心に、通信使に取材した文学作品の成立・変遷過程を追う。2003年韓国学術院の優秀図書に選ばれた「朝鮮通信使と日本近世文学」を著者自身の手で翻訳・増補。韓国側からの視点を知る上でも意義ある一冊。

ISBN978-4-653-03965-5 [06/10]

チンクワン ベンウ キムユジン キムキョンスク
鄭光・裴聖祐・金裕正著／金京淑訳

倭語類解研究

■ A5判・上製・378頁

8,800円(本体8,000円)

ISBN978-4-653-04333-1 [16/6]

ハク チナン
朴 真完著

「朝鮮資料」による 中・近世語の再現

■ A5判・上製・464頁・函入

16,500円(本体15,000円)

18世紀初頭に韓国で刊行された日本語学習のための辞書『倭語類解』の書誌学的な特徴、語説ある編纂者について、語彙に反映される世界観等、広範な論考を取める。日本で通訳者の教育書として輸入・利用され、更には壬申倭乱により日本に移住させられた人々とその末裔の母国語学習にも利用されていく経緯は興味深い。

日本・朝鮮の両言語を熟知した著者による、「朝鮮資料」による中・近世語の再現の試みである。双方向の影響関係に着目し、歴史的な事柄、文化背景にまで踏み込んで両言語の分析を行うなど、「朝鮮資料」の新たな研究方法にも言及し、言語のみならず文学・歴史研究への活用をも示唆する本書は、広範な分野での研究に資するものである。

ISBN978-4-653-04113-9 [13/2]

鄭光著／廣剛・木村可奈子訳

李朝時代の外国語教育

■ A5判・並製・504頁

4,400円(本体4,000円)

(残部僅少)

朝鮮には周辺外国語(漢語、モンゴル語、日本語、女真語または満州語)の早期教育、集中的な反復教育、口語教育、変化への敏速な対応(修正補完システムの充実)、全国的かつ700年にわたる長期継続的な実施等、今日の発達した言語教育理論から見ても驚くほど整備された周辺語の教育システムがあった。アジア言語史研究必携の一冊。

ISBN978-4-653-04334-8 [16/7]

小野芳朗著

調と都市 一能の物語と近代化一

■ 四六判・上製・282頁

2,860円(本体2,600円)

都市形成史、環境史の研究者で、能役者でもある著者が独自の視点と知見で描き出す、能をとりまく人々と都市の物語。幕末から明治にかけての変動の時代、能役者だけにとどまらず、藩主として、官吏として、学者として、文人として、様々な形で能と関わった人々の人生を、能の調(しらべ)の織りなす空間の変遷と共に明らかにする。

ISBN978-4-653-04047-7 [10/11]

坪井秀人編

戦後日本を読みかえる 全6巻

■ 四六判・上製・平均270頁(分売可)

全6冊 各巻3,520円～4,180円

(本体3,200円～3,800円)

(第4巻 品切)

〈戦後〉は日本の内から外から、しかもそれぞれまったく違う力学のもとでその終末を迎えようとしているのかもしれない。しかし、このような現在だからこそ、〈戦後〉とはどのような時代だったのかを徹底的に検証し、考え直す時なのではないだろうか。人文学の知をここに集めて、臆することなく真っ向から〈戦後〉を読みかえることに挑んでみたい。一編者「序言」より一

ISBN978-4-653-04390-4 [18/6～19/3]

第1巻 敗戦と占領 3,520円(本体3,200円)

第2巻 運動の時代 3,520円(本体3,200円)

第3巻 高度経済成長の時代 4,180円(本体3,800円)

第4巻 ジェンダーと生政治 品切

第5巻 東アジアの中の戦後日本 3,520円(本体3,200円)

第6巻 バブルと失われた20年 3,520円(本体3,200円)

坪井秀人編

戦後日本の傷跡

■ A5判・上製・376頁

4,950円(本体4,500円)

傷跡——いまだ終わらない、完結しない過去、癒しがたく忘却することのできない経験が現在に息づく、現在進行形の語りによってしか語ることの出来ない、過去の時間と現在の時間が交錯する場所。戦争経験の傷跡を生き続けたアジアと日本の戦後社会を考察した24本の論考を収録。

ISBN978-4-653-04517-5 [22/2]

白方佳果著

泉鏡花作品研究

同時代背景の注釈的検討を通して

■ 四六判・上製・190頁

4,180円(本体3,800円)

泉鏡花は、「近代」という同時代の事象に強い関心を持ち、それらを作品中に積極的に取り入れていた。膨大な資料を博捜し、周到に考証を積み重ねることで鏡花作品の構想の源たる出来事や文献を突き止め、またそれらの様相を分析することにより作品の意図と本質に迫る。鏡花作品の価値と魅力の新たな一面を見出す画期的研究。

ISBN978-4-653-04416-1 [20/3]

山根直子著

尾崎翠の詩学

■ 四六判・上製・300頁

4,290円(本体3,900円)

尾崎翠文学に存在する五つの鍵概念「告白」「象徴」「追憶」「分心」「対話」を用いて代表作「第七官界彷徨」とその連なる作品群「歩行」「こほろぎ嬢」「地下室アントンの一夜」を読み解く。尾崎翠がどのようにその「詩学」を創り上げたかを明らかにし、翠文学の魅力に迫る。

ISBN978-4-653-04563-2 [23/3]

小田良弼著

詩的言語序説

■ A5判・クロス装・354頁

8,250円(本体7,500円)
(残部僅少)

本書は文芸と言語に関する論考の中から原本的文芸に関するもの13篇を取める。文芸現象はもともと言葉の世界に形成される芸術現象であり、これを捨象しては捉えられない。著者は、道元、親鸞やランボオ等を引き、「有時」としての言語行為の行為的自覚として成立し得る文学について明澄性と美的な論理の整合性を併せ持つ文章で綴る。

ISBN978-4-653-00791-3 [82/11]

国文学研究資料館編

明治開化期と文学

—幕末・明治期の国文学—

■ A5判・上製・304頁

4,620円(本体4,200円)

近世・近代という別の時代として線引きされてきた幕末から明治初期への国文学の流れを、歴史情勢・新聞投書・出版・書・俳諧・漢文学など様々なテーマでとらえ、その連続性を論証する。近代以前の文献資料を調査・収集してきた国文学研究資料館が新たに研究会を設け、三年の研究期間を経て発表する6篇の論文集。

ISBN978-4-653-03493-3 [98/3]

坪井秀人・瀧井一博・白石恵理・小田龍哉編

越境する歴史学と世界文学

■ A5判・上製・226頁

3,960円(本体3,600円)

移民、交易、翻訳、植民地文学、文化接触——新しい「世界」の捉え方を探求する、「国際日本研究」コンソーシアムの記録。旧来の西洋中心的な「アイデンティティ」観念は国民国家や冷戦構造の崩壊を受けて、どのように再編成されてゆくのか。テッサ・モーリス・スズキによる特別寄稿のほか、歴史・文学研究の旗手たちによる論文等を収録。

ISBN978-4-653-04388-1 [20/3]

牛村 圭編

文明と身体

■ 四六判・上製・296頁

3,960円(本体3,600円)

古代ローマから、第二次世界大戦まで。人類の歴史の流れで、人の自らの身体へのまなざしは如何なる変貌を遂げてきたのか。異文化異文明という他者どうしの出会いは、相互にどのような衝撃・変化を与えてきたのか。身体を一つの切り口にして、古今東西の事例に対して考察を加え、さらには近代日本の文明観を再検討する。

ISBN978-4-653-04397-3 [18/10]

【国文学研究資料館編 原典講読セミナー】

国文学研究資料館編／上野洋三著

近世宮廷の和歌訓練

—「万治御点」を読む—

〔原典講読セミナー 1〕

■ 四六判・並製・232頁

2,640円(本体2,400円)

これまで研究が進められていなかった江戸時代の和歌をテーマにした講義を取録。万治2年(1659)から寛文2年(1662)にかけて後水尾院が廷臣の詠歌を直接に添削した記録「万治御点」を読む。古今伝受を相伝することを目的としたこの点取によって、江戸時代の宮廷社会が和歌の存在意義の基盤となったことを明らかにする。

ISBN978-4-653-03587-9 [99/6]

国文学研究資料館編／浅田 徹著

百首歌

—祈りと象徴—

〔原典講読セミナー 3〕

■ 四六判・並製・214頁

2,640円(本体2,400円)

〈残部僅少〉

中世和歌の主流であった題詠(歌題を与えられて詠むこと)による三作品、源国信「懐旧百首」、慈円「早卒露膽百首」、京極為兼「鹿百首」を鑑賞。百首歌の規範として重要な古典「堀川百首」題を襲用して詠まれたこれらの作品を通して、百首歌の表現の特性を考える。更に、作者たちが百首歌を通して何をなそうとしたのかを読み取る。

ISBN978-4-653-03589-3 [99/7]

国文学研究資料館編／安藤正人著

江戸時代の漁場争い

—松江藩郡奉行所文書から—

〔原典講読セミナー 4〕

■ 四六判・並製・208頁

2,420円(本体2,200円)

鳥根県立図書館蔵の「松江藩郡奉行所文書」は、江戸時代後期に松江藩郡奉行所が扱った民事訴訟関係の文書で、事件ごとに「一件袋」と呼ばれる袋にまとめた、全国的にも貴重な形態を残している。この中から「藻刈争論一件」「二股大敷網場争論」という二つの事件に関する文書を読み、当時の庶民生活や裁判組織について明らかにする。

ISBN978-4-653-03637-1 [99/8]

国文学研究資料館編／田淵句美子著

阿仏尼とその時代

—「うたたね」が語る中世—

〔原典講読セミナー 6〕

■ 四六判・並製・256頁

2,750円(本体2,500円)

〈残部僅少〉

『十六夜日記』で知られる鎌倉中期の歌人、阿仏尼の日記文学「うたたね」を読み解く。表現の特徴や影響、当時の文化や時代背景をもとにした作品の位置付け、中世女性文化の担い手としての新しい阿仏尼像などについて解説。作品と著者阿仏尼についての検討を通して、その背後にある中世の文化を明らかにしていく。

ISBN978-4-653-03723-1 [00/8]

国文学研究資料館編／伊藤鉄也著

源氏物語の異本を読む

—「鈴虫」の場合—

〔原典講読セミナー 7〕

■ 四六判・並製・240頁

2,640円(本体2,400円)

二千円札の図柄にもなった「鈴虫」巻を題材にその詞書を読み、一般に知られた本文と異本との比較検討を通して、本文研究の現状と課題、異本研究の必要性を説く。未紹介資料「国冬本」の長大な異文を吟味、異本30種の対校資料を付し、『源氏物語』の本文研究に新たな光をあてる講義録。

ISBN978-4-653-03724-8 [01/7]

国文学研究資料館編／丑木幸男著

近代政党政治家と地域社会

〔原典講読セミナー 10〕

■ 四六判・並製・228頁

2,640円(本体2,400円)

デモクラシーの時代に生きた地方政治家が求めた理想の政治と社会の姿とは。明治から昭和にかけ群馬県から衆議院議員に四度当選、地域振興の発展にも尽力した高津仲次郎(立憲自由党・政友会所属)が残した日記と高津宛の書簡から、近代政治家の活動、地域社会との関わりを追い、その実態を明らかにする。

ISBN978-4-653-03727-9 [03/7]

【国文学研究資料館編 古典講演シリーズ】

国文学研究資料館編

すげうらばいたん
詩人杉浦梅潭とその時代

〔古典講演シリーズ 2〕

■ B6判・並製・280頁

3,080円(本体2,800円)

漢詩人であり、最後の箱館奉行としても有名な杉浦梅潭。平成6年から7年にかけて国文学研究資料館で行われた講演のうち、幕末・明治の動乱を生きた彼の生涯についての3編を前半に、流行語、政治小説、綿織新聞、庶民の識字力などさまざまなテーマから同時代の人々の心を探る4編を後半に収録する。

ISBN978-4-653-03485-8 [98/2]

国文学研究資料館編

歌

—文学との交響—

謡

〔古典講演シリーズ 4〕

■ B6判・並製・236頁

2,640円(本体2,400円)

日本文学の原点でもあり、古来人びともっとも親しみをもたれてきた「歌謡」。鎌倉時代の「早歌」と道行の関係、幻の歌謡集『宗安小歌集』の謎、中世の田植歌、沖繩の琉歌、近世沖繩宮廷における和歌の享受、画賛等絵画に書き加えられた近世歌謡など、さまざまな時代、さまざまな土地の歌謡を国文学の視点から解説。

ISBN978-4-653-03549-7 [00/1]

国文学研究資料館編

ジェンダーの生成

—古今集から鏡花まで—

〔古典講演シリーズ 8〕

■ B6判・並製・244頁

2,640円(本体2,400円)

情報処理技術により見えてくる古今集のジェンダー規範、ジェンダーの視点から読む源氏物語、女性和歌懐紙作法の変遷、政治小説に見る明治の女性活動家、新聞連載から紅葉・鏡花に至る「女」の物語——平安朝から明治期までの作品を、第一線で活躍中の研究者が「ジェンダー」「女性」という視点から捉えなおす5編を収録。

ISBN978-4-653-03909-9 [02/3]

国文学研究資料館編

田安德川家蔵書と高乗勲文庫

—二つの典籍コレクション—

〔古典講演シリーズ 9〕

■ B6判・並製・240頁

2,530円(本体2,300円)

国文学研究資料館に寄託・寄贈された、二つの典籍コレクション。有職故実・音楽・服飾・文学関係の貴重資料を持つ「田安德川家蔵書」、『徒然草』関連資料の宝庫「高乗勲文庫」。コレクションの成立、コレクション中の注目資料についての論考など6編を収録。附録として、館内で展示された各コレクションの重要書目一覧を付す。

ISBN978-4-653-03913-6 [03/3]

【近世日本風俗繪本集成】

(いずれも残部僅少)

歌川豊国画／享和2年刊

え ほん いま よう すがた
繪 本 時 世 粧

■ 217×155 mm・極彩色

全2冊 33,000円(本体30,000円)

初代歌川豊国の代表作。江戸後期の女性風俗を官女から遊里の情景や女性まで美麗で柔らかな味わいのある彩色摺で描き出す。各巻変化と照応を図った構成は、うねりのある流れを感じさせ、さながら風俗絵巻を繰り広げる思いを抱かせる。各図に名標が削除されずに在している稀觀の初摺本を底本に使用。 ISBN978-4-653-00403-5 [79/3]

西川祐信画／元文4年刊

え ほん あさ か やま
繪 本 浅 香 山

■ 270×179 mm

全1冊 5,170円(本体4,700円)

西川祐信は墨摺りの限界の中で、女性の衣裳美の描出に無類の技倆を発揮する。『絵本浅香山』では、上方の中流女性たちの歩み、振り向き、舞う、なよやかな姿と共に、着衣の柔さと模様豪華さを遺憾なく描きとめた。早い時期の代表的逸品。初版12丁本を基に、増補された4丁分を別に掲出する。 ISBN978-4-653-00404-2 [79/4]

鳥居清信画／元禄14年刊

ふう りゆう し ほう びよう ぶ
風 流 四 方 屏 風

■ 268×198 mm

全2冊 10,450円(本体9,500円)

役者絵に独自の位置を占める鳥居派を確立した清信の代表作。市川団十郎はじめ元禄中期の名優の舞台姿を半丁に一人ずつ、俳優名に定紋を添えて描く墨摺絵本。鳥居派の特徴の瓢箪足・蚯蚓描を随所に用い、発達期に向かう歌舞伎の力強さをよく表現する。現在2本しか知られていない稀本。板木屋七郎兵衛版より複製。

ISBN978-4-653-00406-6 [79/6]

西川祐信画／享保15年刊

え ほん とき わ ぐさ
繪 本 常 盤 草

■ 272×185 mm

全3冊 16,500円(本体15,000円)

毛利田庄太郎版行の祐信豪華本三点の第一作。多様な改竄本が流布しているが、複製は初版による。全体として高貴より中流、そして三都の遊女へと移る女性風俗図となっている。特に群像の処理に巧みで、人物が躍動し環境描にも優れる。各巻末に付された画法指南の短文には祐信の絵画観がうかがわれる。 ISBN978-4-653-00408-0 [79/9]

翠釜亭画／天明2年刊

すい ふう てい ぎ が ふ
翠 釜 亭 戯 畫 譜

■ 262×160 mm・淡彩色

全1冊 27,500円(本体25,000円)

上方役者絵の逸品。様々な歌舞伎狂言から役をとり、役者のあらゆる表情を雅味ある滑稽感に包んで的確に表現する。役者の配列は入念で、適宜役を散らし、あるいは同一芝居の中での役を左右の頁に並べるなど工夫がある。さらに各頁余白には朱印で俳優を押す。唐紙本と和紙本のうち、原初型の唐紙本が底本。

ISBN978-4-653-00416-5 [81/1]

鈴木春信画／明和7年刊

せい ろう び じん あわせ
青 樓 美 人 合

■ 270×180 mm・極彩色

全5冊 99,000円(本体90,000円)

吉原の遊女166人を選び、美人合わせの形態をとった春信絵本の代表作。全体を俳諧の5箇の景物、すなわち桜・子規・月・紅葉・雪の五部立ての冊に分ち、所収の遊女自作の句を画像上に配する。遊女の姿態・動作・調度等にも趣向を凝らし構図の変化を図り、錦絵同様の美麗な多色摺と相俟ってみごとな仕上がりを見せる。 ISBN978-4-653-00720-3 [81/11]

近代文学 (文芸雑誌・婦人雑誌等)

広津柳浪・須永金三郎編

やまと錦 自創刊号(明治21年)
至第13号(同22年)終刊

[臨川書店近代文芸雑誌複製叢書 第22次]

■ B6判変型・原裝復元・2巻・全13冊・別冊解説(岡保生)・総目次
全13冊 81,400円(本体74,000円)
〈残部僅少〉

広津柳浪・須永金三郎を編集人に迎え、東京・博文館より発行された文芸雑誌。柳浪や嵯峨のやおむろの言文一致体小説をはじめとする創作や、ツルゲーネフ等海外作品の翻訳、詩歌などを掲載し、多くの読者を魅了した。明治20年代はじめの文壇を知る貴重な資料でありながら、残存数の極めて希少な同誌を忠実に複製する。

ISBN978-4-653-03482-7 [98/2]

与謝野寛主幹／吉田精一解説

明星 自創刊号(明治33年)
至100号(同41年)終刊

[臨川書店近代文芸雑誌複製叢書 第1次]

■ 四六倍判(1～5号新聞版)全巻原寸大・10巻・別冊解説14頁
全100冊 825,000円(本体750,000円)
〈残部僅少〉

与謝野鉄幹を主幹とする東京新詩社の機関誌で、明治浪漫主義文学運動の中核となった詩歌雑誌。短歌の革新をはかり、晶子の「みだれ髪」が代表する「明星調歌風」を生み出すと共に、高村光太郎、北原白秋等近代日本歌史を飾る多くの俊才を輩出。明治ルネッサンスに君臨した文芸誌の最高峰である。華麗な原裝と多彩な挿入画を附す。

ISBN978-4-653-00271-0 [64/8～79/11]

宇野千代等編

復刻版 **スタイル** 自創刊号(昭和11年6月)
至6巻9号(同16年9月)迄

■ A4変形およびB5判・布装3巻入・付別冊(総目次・人名索引)
全64冊 495,000円(本体450,000円)

第1回配本：昭和11年6月～13年12月 全31冊 220,000円
第2回配本：昭和14年1月～15年11月 全23冊 187,000円
第3回配本：昭和15年12月～16年9月 全10冊 88,000円

「いかにおしゃれな生活をするか」をテーマに掲げ、日本初のファッション専門雑誌として創刊された本誌は、著名人の寄稿をはじめモード・映画・音楽・美容・料理など、女性生活を華やかに彩る情報を発信、画期的な誌面作りで後続誌に影響を与えた。昭和初期の女性史・文化風俗史等の貴重資料を原裝に忠実に復刻。

ISBN978-4-653-03787-3 [03/1～03/5]

保田與重郎主幹／表紙・挿画棟方志功

祖国 自創刊号(昭和24年9月)
至7巻1号(同30年2月)終刊

[臨川書店近代文芸雑誌複製叢書 第23次]

■ A5判(原寸大)布装2巻入・付別冊(解説[谷崎昭男]総目次・執筆著名索引)
全58冊 143,000円(本体130,000円)

敗戦後、公職追放の身であった保田與重郎は、「まさき会祖国社」より雑誌「祖国」を創刊、困難な状況の中で活発な文筆活動を行った。「祖国正論」「絶対平和論」等、無署名で発表された大作など報道・ジャーナリズムの偏向を糾し、学者・文化人らを論断して容赦ないその反戦後の姿勢を余すところなく伝える雑誌を全冊復刻。

ISBN978-4-653-03758-3 [02/11]

DVD-ROM 版

婦人画報

自創刊号(明治38年7月)
至戦前最終号(昭和19年4月)迄

〔臨川書店近代文芸・文化雑誌複製叢書 第2次〕

- 各回DVD-ROM4枚・検索用CD1枚
明治・大正期(創刊号～255号)
昭和期(256号～482号)

各配本935,000円(本体850,000円)
セット価格1,870,000円(本体1,700,000円)
*最新の動作環境についてはお問い合わせください

明治38年国木田独歩らにより創刊以来今日まで継続刊行される長寿雑誌。挿絵・写真を駆使した斬新な誌面づくりで明治・大正の女性ジャーナリズムをリードし、教育、服飾、美容、家庭、海外事情など幅広い分野を報じた。現在では閲覧さえ困難な本誌の創刊から戦前最終号までを画像データでデジタル化、検索用データベースを付す。

ISBN978-4-653-03920-4 [04/7～05/3]

マイクロフィルム版

婦人世界

自創刊号(明治39年)
至28巻5号(昭和8年)終刊

〔臨川書店近代文芸・文化雑誌複製叢書 第1次〕

- マイクロフィルム全69リール
目次(A5判) 6冊・別冊解説・著者別索引88頁
第1回配本: 明治39年～明治44年 12リール 1巻1号～6巻14号
第2回配本: 明治45年～大正6年 12リール 7巻1号～12巻14号
第3回配本: 大正7年～大正12年 12リール 13巻1号～18巻12号
第4回配本: 大正13年～昭和2年 12リール 19巻1号～22巻12号
第5回配本: 昭和3年～昭和5年 12リール 23巻1号～25巻12号
第6回配本: 昭和6年～昭和8年 9リール 26巻1号～28巻5号

各配本242,000円(本体220,000円)
セット価格1,452,000円(本体1,320,000円)
*受注製作のため納品までにお時間を頂戴します

明治39年実業之日本社(26巻12号より版元は婦人世界社に移動)より発刊された婦人の総合雑誌をマイクロ版で復刊。本誌は特に家庭婦人を対象とし、その「独立的精神」と社会活動の能力を培う、「実際の婦人」の啓蒙に進取的役割を果たした。また、性に対する問題を多載する等、時代を反映した。与謝野晶子等の女流文学者をはじめ秋声、白鳥等の執筆による文芸欄も充実。

ISBN978-4-653-02889-5 [94/11～96/8]

DVD-ROM 版

婦人公論

自創刊号(大正5年1月)
至戦前最終号(昭和19年3月)迄

〔臨川書店近代文芸・文化雑誌複製叢書 第3次〕

- 各回DVD-ROM2枚・検索用CD1枚
第1回配本: 大正5年1月～7年12月 1号(1巻1号)～208号(17巻12号)
第2回配本: 昭和8年1月～19年3月 209号(18巻1号)～346号(29巻3号)

各配本770,000円(本体700,000円)
セット価格1,540,000円(本体1,400,000円)
*最新の動作環境についてはお問い合わせください

女性の解放と自我の確立を目指し大正5年に創刊、通巻して恋愛・結婚・職業など婦人を取り巻く諸問題を論じ、主に知識層婦人に支持された本誌は、実用記事が多かった同時代の婦人雑誌の中で異彩を放っている。平成18年に創刊90周年を迎えた長寿雑誌の創刊号から戦前最終号までを検索用データベースを付けてデジタル画像で複製。

ISBN978-4-653-03923-5 [06/10～07/7]

マイクロフィルム版

改造

自創刊号(大正8年4月)
至戦前最終号(昭和19年6月)迄

〔臨川書店近代文芸・文化雑誌複製叢書 第4次〕

- マイクロフィルム全94リール・検索用CD1枚
第1回配本: 大正8年4月～大正13年12月 18リール 1巻1号～6巻12号
第2回配本: 大正14年1月～昭和4年12月 18リール 7巻1号～11巻12号
第3回配本: 昭和5年1月～昭和8年12月 15リール 12巻1号～15巻12号
第4回配本: 昭和9年1月～昭和11年12月 14リール 16巻1号～18巻12号
第5回配本: 昭和12年1月～昭和14年12月 14リール 19巻1号～21巻14号
第6回配本: 昭和15年1月～昭和19年6月 15リール 22巻1号～26巻6号

各配本495,000円(本体450,000円)
セット価格2,970,000円(本体2,700,000円)
検索用CD1枚 55,000円(本体50,000円)〈残部僅少〉

*但し、検索用CD単体でのご購入の場合は110,000円(本体100,000円)
*マイクロフィルムは受注製作のため納品までにお時間を頂戴します
*検索用CDの最新の動作環境についてはお問い合わせください

「改造」は、大正デモクラシーの昂揚期に創刊され、社会、経済、労働問題に関する特集テーマを掲げて急進的な総合誌として成長をとげた一方で、幸田露伴・志賀直哉他多くの作家の代表作を掲載するなど、文学面でも文芸文壇の中核を担った。近代の歴史、社会思想史、メディア史、文学史を研究する上で必備の基礎資料として長らく複製が待たれていた本誌の創刊号から戦前最終号まで全340冊・約157,000頁をマイクロフィルムで複製刊行。今日では閲覧の困難な別冊附録全冊のほか、広告頁や発刊時に切取処分を受けた記事も可能な限り収録する。

ISBN978-4-653-04100-9 [10/7～11/10]

検索用CD-ROM-04107-8 [11/10]

近代文学 (全集)

紅野敏郎・大久保典夫・高橋春雄・伴悦
柳沢孝子・宗像和重編

岩野泡鳴全集 全16巻 別巻1冊

■ 菊判・豪華布装・平均520頁・貼函入・口絵、月報付(分売可)

全17冊 163,680円(本体148,800円)

各巻価格詳細はお問い合わせください

明治の自然主義文壇の中でも特異な思想をもつ泡鳴の多岐にわたる著作を、小説・戯曲・詩・評論・随筆・翻訳などのジャンル別に編集。それぞれの単行本(初版)ごとに、ほぼ刊行の順に従って配列。単行本未収録作品についても博捜し、発表順に従い一括収録。泡鳴の精力的で幅広く、率直大胆な執筆活動を、新しい視点から編成する決定版全集。

ISBN978-4-653-02761-4 [94/10 ~ 97/7]

同刊行会編/代表 小林一郎
紅野敏郎

定本 花袋全集 全28巻 別巻1冊

■ 四六判・豪華布装・平均770頁・貼函入・口絵、月報付(分売可)

I 期 全16冊 132,880円(本体120,800円)

II 期 全13冊 124,850円(本体113,500円)

各巻価格詳細はお問い合わせください(第1巻 残部僅少)

旧全集から漏れた大正期の長篇小説を中心に67点を増補、全266篇を収録。浪漫主義から自然主義、理想主義へと傾倒していく軌跡を辿る。欠落の著しかった評論・随筆を重視、雑談発表の作品も博捜し収録に努めたほか、歴史小説など、広範囲にわたる増補によって、従来像から解き放たれた、花袋の全貌を明らかにする初の決定版全集。

ISBN978-4-653-02541-2、02746-1 [93/4 ~ 95/8]

中村真一郎・丸谷才一・安岡章太郎・佐藤方哉監修
牛山百合子・谷崎昭男・鳥居邦朗・中村三代司・松村友視編

定本 佐藤春夫全集 全36巻 別巻2冊

■ 菊判・豪華布装・平均470頁・貼函入・口絵、月報付(分売可)

全38冊 365,970円(本体332,700円)

各巻価格詳細はお問い合わせください

明治、大正、昭和と半世紀にわたって書き継がれた佐藤春夫の全著作をジャンル別、編年体で構成し、多面体の作家像を浮き彫りにする。詩歌、創作、評論、随筆、紀行、翻訳・翻案などのほか、初めて書簡を一括収録して、多くの文人たちと親交を結び、「門弟三千人」から敬慕された最後の文豪佐藤春夫の人間の魅力を伝える決定版全集。

ISBN978-4-653-03310-3 [98/4 ~ 01/9]

同編集委員会編

青木稔弥・須田千里・谷川恵一・十川信介
中川成美・宗像和重・山田俊治

山田美妙集 全12巻

■ A5判・上製・各巻平均500頁

予価各巻8,360円(本体7,600円)

* 第1巻	小説1 初期文集	明治19 ~ 22年頃の小説 『我楽多文庫』掲載の小説・韻文・雑文類	8,360円(本体7,600円)
* 第2巻	小説2	明治22 ~ 24年頃の小説	7,480円(本体6,800円)
* 第3巻	小説3	明治24 ~ 29年頃の小説	7,480円(本体6,800円)
* 第4巻	小説4	明治28 ~ 30年頃の小説	7,700円(本体7,000円)
* 第5巻	小説5	明治30 ~ 33年頃の小説	8,250円(本体7,500円)
* 第6巻	小説6	明治32 ~ 35年頃の小説	8,580円(本体7,800円)
* 第7巻	小説7	明治35 ~ 36年頃の小説	10,780円(本体9,800円)
* 第8巻	韻文・戯曲	初期文集収録以外の全韻文全戯曲	9,680円(本体8,800円)
* 第9巻	日本語表現 評論・随筆1	言文一致論、韻文論、辞書編纂法など 日本語表現に関する評論類 明治21 ~ 24年迄の評論、随筆、雑文類	8,800円(本体8,000円)
* 第10巻	評論・随筆2	明治25 ~ 43年迄の評論、随筆、雑文類	9,680円(本体8,800円)
第11巻	自筆資料/書簡・宛書簡/日記		
第12巻	補遺/著作目録/自筆資料目録/年譜/収録作品名索引		

(*印は既刊)

同展編集委員会編

日本近代文学館特別展

「草創期のメディアに生きて—

山田美妙没後100年展」図録

■ B5判・並製・30頁

1,650円(本体1,500円)

言文一致体小説の創始者として文学史に名を残す山田美妙は、明治文壇の流行作家であるとともに新しい日本語表現の開拓者でもあった。小説、新体詩、評論、随筆・演劇脚本・言語研究・日記・書簡など多岐にわたる美妙の業績を網羅的に収録する初の著作集であり、草創期の近代文学研究に不可欠な資料。各巻解題付。

ISBN978-4-653-04130-6 [12/4 ~]

2010年12月2日～11月27日に開催され好評を得た日本近代文学館特別展「草創期のメディアに生きて 山田美妙没後100年」の展示図録。言文一致体の先駆者として名を残す山田美妙(1868～1910)の多大な業績と、メディアに翻弄された波乱の生涯を、没後100年である2010年に振り返る試みである。(付 略年譜・略系図・展示資料目録)。

ISBN978-4-653-04110-8 [10/10]

外国文学

別府恵子編

ジョイス・キャロル・オーツ作品集

THE SELECTED WORKS OF JOYCE CAROL OATES

■ A5判・背つきクロス装・平均480頁

全12冊 143,000円(本体130,000円)

不条理と暴力に満ちた20世紀後半の生の諸相を鋭い筆で書き続ける作家、ジョイス・キャロル・オーツの多岐にわたる作品のなかから、代表作“them”ほか長・短編小説を厳選。評論集2篇を加えた15篇を収録する。復刻の底本には原則として初版を使用、現代アメリカ文学界を代表する女性作家の神髄にふれる本邦初の作品集。(英文)

ISBN978-4-653-03500-8 [98/7]

後藤昭次監修

バーナード・マラマッド全集

THE COMPLETE WORKS OF BERNARD MALAMUD

■ A5判・背つきクロス装・平均280頁

全12冊 104,500円(本体95,000円)

帝政ロシアで迫害を受け、ニューヨークに移住した両親を持つユダヤ系のバーナード・マラマッド(1914～1986)は、ユダヤの哀感、高いヒューマニズム、不幸なものへの限りない愛をその文学の基調とする。ペロウ、ロス、メイラーらとともに、50～60年代のユダヤ系作家隆盛の一角をなす彼の全作品を堪能できる本邦初の全集。(英文)

ISBN978-4-653-03590-9 [98/11]

中村紘一監修

ロバート・ペン・ウォレン長編小説全集

THE COMPLETE NOVELS OF ROBERT PENN WARREN

■ A5判・背つきクロス装・平均420頁

全10冊 127,600円(本体116,000円)

〈残部僅少〉

アメリカ南部出身のロバート・ペン・ウォレンは、理想と現実との相克に苦悩する人間の姿を描き続けた。ピュリッツァー賞受賞作*All the King's Men*をはじめとする長編10篇すべてを、初版を底本として体裁に若干の統一を加えて復刻。20世紀の混沌とした状況の中で、現実を見つめ、良心を貫いた文学者の魅力を検証する初の長編小説全集。(英文)

ISBN978-4-653-03289-2 [97/3]

板橋好枝・佐々木みよ子編

フラナリー・オコナー全集

THE COMPLETE WORKS OF FLANNERY O'CONNOR

■ A5判(11巻はA4変型)・背つきクロス装・各巻平均294頁

全11冊 138,835円(本体126,214円)

〈残部僅少〉

人生の神秘を見つめる一方で人生を一種のコメディとして捉えた、オコナーのユニークな文学世界を余すところなく伝える、世界で初めての全集。単行本として出された小説、書評集等に加え、未収録の短編やバージョンの異なる作品、書簡等を作品集や雑誌から可能な限り蒐集、インタビューや写真、関係者の追憶とともに収録する。(英文)

ISBN978-4-653-02412-5 [92/12]

大橋吉之輔編

1920～1930年代 アメリカ小説選集

第1集

AMERICAN FICTION BETWEEN THE WARS 1st Series

■ A5判・背つきクロス装・平均317頁

全8冊 66,000円(本体60,000円)

〈残部僅少〉

第一次大戦と第二次大戦の間のアメリカにおける目ざましい文芸の展開は、世界の文芸に強烈な衝撃を与え、その影響は今日にまで及んでいる。本選集はこの1920～1930年代の多彩な作品群の中から、現時点で代表的と思われる8点を厳選し、初版により復刻、この年代のアメリカ文学史を理解する糧となるだろう。(英文)

ISBN978-4-653-01859-9 [89/6]

大橋吉之輔編

1920～1930年代 アメリカ小説選集

第2集

AMERICAN FICTION BETWEEN THE WARS 2nd Series

■ A5判・背つきクロス装・平均320頁

全10冊 93,500円(本体85,000円)

〈残部僅少〉

両大戦間に刊行されたアメリカ小説の中から10点を選び収録する。大不況の下、未曾有の経済的・社会的危機を迎えながら、文学の領域では小説ジャンルを中心としてとみに活性化してゆく当時のアメリカ。本選集はその息吹を伝える秀作揃いで、アメリカ文学の裾野の広さを窺わせている。(英文)

ISBN978-4-653-02181-0 [91/5]

川本静子・須賀有加子共編

マーガレット・ドラブル作品集

THE WORKS OF MARGARET DRABBLE

■ A5判・背つきクロス装・平均270頁

全8冊 77,000円(本体70,000円)

女性作家たちが新しいジャンルの作品を生み出した1950・60年代以降のイギリスにおいて、日常を基盤に「女性の自立」という理想と現実との相克を鋭く描いた知的な作風で知られるドラブルの作品のうち、*The Millstone* (1965) など初期の代表的長編小説8篇を初版より影印複製。英国現代女性作家シリーズ第一弾。(英文)

ISBN978-4-653-03609-8 [99/4]

岡 照雄・海保真夫編

英国回想録叢書

English Memoirs Series

■ A5判・背つきクロス装・平均508頁・付和解題

全12冊 122,760円(本体111,600円)

〈残部僅少〉

17・18世紀の英国政界・宮廷生活を赤裸々に語る、「メモワールの世紀」の回想録文学集成。最大傑作と称されるハーヴィ卿の『ジョージⅡ世時代回想録』をはじめ、王党派による清教徒革命の側面史など、英国政治史の貴重な史料であると同時に文学としての魅力にも溢れ、人間性に対する興味を喚起してやまない名著の数々を取録する。(英文)

ISBN978-4-653-02564-1 [93/9]

小池 滋解説

ニューゲイトカレンダー大全

THE COMPLETE NEWGATE CALENDER

■ 菊判変型・クロス装・本文1,770頁・図版29枚・別冊和解説

全5冊 40,700円(本体37,000円)

〈残部僅少〉

ロンドンのニューゲイト監獄は13世紀に建てられ、1902年に取り壊されるまで有名無名の犯罪者が放り込まれていた。18～19世紀に書かれた彼らの伝記は推理小説の発達を促し、英国小説の傑作の花を咲かせる堆肥となった。本書はこれらを集成・校訂したナヴァール版(1926年刊)の復刻。庶民社会史・法制史の資料としても貴重。(英文)

ISBN978-4-653-00839-2 [83/5]

第10回日仏翻訳文学賞受賞

ロジェ・ギシュメール／廣田昌義／秋山伸子共編

モリエール全集 全10巻

■ 四六判・上製・平均360頁

全10冊 40,810円(本体37,100円)

〈いずれも残部僅少〉

「守銭奴」「タルチュフ」など、数々の名作を生み、古典喜劇を大成したモリエールの全戯曲33編ならびにバレエ台本・詩編など全作品を新たに翻訳、製作・発表年順に収録する。各巻に、最新の研究成果による評伝、各国の研究者による書き下ろし論文、資料、年表を付けて刊行する決定版全集。

ISBN978-4-653-03721-7 [00/4～03/3]

第1巻	〈バレエの笑劇〉トンデモ医者 他	3,520円
第2巻	〈社会への眼〉恋人の喧嘩 他	3,960円
第3巻	〈最初の成功〉お嫁さんの学校 他	4,180円
第4巻	〈仮面と欲望〉タルチュフ 他	4,510円
第5巻	〈恋と病い〉いやいやながら医者にされ 他	3,300円
第6巻	〈宮廷のための芸術〉メリセルト 他	3,630円

第7巻	〈金銭と結婚〉守銭奴 他	4,290円
第8巻	〈コメディ＝バレエの美学〉豪勢な恋人たち 他	4,400円
第9巻	〈総合的な喜劇へ〉スカパンの悪だくみ 他	4,840円
第10巻	〈資料編〉明治・大正期のモリエール 劇翻案・翻訳関係資料 他	4,180円

柏木隆雄・住谷裕文編

ジュール・ルナール全集 全16巻

《新訳・挿絵入》

■ 四六判・クロス装・平均400頁・口絵、挿絵入・月報付

〈いずれも残部僅少〉

人と自然のかかわりの中で、人間の真実とは何かをじっくり問うという、現代日本人が忘れがちな眼をもった作家ルナール。名作「にんじん」「葡萄畑の葡萄作り」や、日記文学の最高峰とされる「日記」をはじめ、未邦訳作品、書簡、文学政治論集等を含む全作品を清新明快な新訳でおくる決定版全集。

ISBN978-4-653-02778-2 [94/11～99/2]

第1巻	村の犯罪・わらじむし	5,060円
第2巻	薄ら笑い・ねなしかずら	5,060円
第3巻	カンテラ・にんじん	5,280円
第4巻	怪鳥・葡萄畑の葡萄作り	5,280円
第5巻	博物誌・田園詩	4,950円
第6巻	愛人・村の無骨な仲間たち、ラゴット	5,280円
第7巻	明るい眼・詩集・X……	5,280円
第8巻	別れも愉し・ヴェルネ氏 他	4,730円

第9巻	信心狂いの女・ローズの従兄弟 他	4,840円
第10巻	伝記資料・文学政治論集	4,620円
第11巻	日記Ⅰ(1887-1894)	品 切
第12巻	日記Ⅱ(1895-1898)	5,280円
第13巻	日記Ⅲ(1899-1902)	5,280円
第14巻	日記Ⅳ(1903-1905)	4,730円
第15巻	日記Ⅴ(1906-1910)	4,730円
第16巻	書簡選・日記索引・年譜	5,280円

第44回日本翻訳出版文化賞受賞

日本ヘルマン・ヘッセ友の会・研究会編・訳

ヘルマン・ヘッセ全集

(文学作品集)全16巻

■ 四六判・上製・平均380頁

『車輪の下』『デーミアン』『シッタールト』『荒野の狼』など数多くの名作を残し、青春の作家として、反体制的な作家として、老いに死に向き合う作家として、様々な顔を持つ作家ヘッセの文学作品を網羅、本邦初訳の初期作品を含む画期的全集。

ISBN978-4-653-03970-9 [05/4 ~ 14/4]

第1巻	青春時代の作品Ⅰ (真夜中の彼方一時間／ヘルマン・ラウシャー 他)	品切
第2巻	青春時代の作品Ⅱ (エリザベトへの手紙／アッシジのフランチェスコ 他)	品切
第3巻	ベーター・カーメンツィント／物語集Ⅰ (1900 ~ 1903) (幼年時代から／大理石材工場 他)	3,740円 (本体3,400円)
第4巻	車輪の下／物語集Ⅱ (1904 ~ 1905) (昔の太陽)で／ラテン語学校生／乾草月 他)	品切
第5巻	物語集Ⅲ (1906 ~ 1907) (秋の徒歩旅行／美しきかな青春／ベルトルト 他)	3,740円 (本体3,400円)
第6巻	物語集Ⅳ (1908 ~ 1911) (婚約／帰郷／世界改良家／クジャクヤママユ 他)	3,300円 (本体3,000円)
第7巻	ゲルトルト／インドから／物語集Ⅴ (1912 ~ 1913) (大旋風／プレッセルのあずまやで 他)	3,740円 (本体3,400円)
第8巻	ロスハルデクヌルプ／放浪／物語集Ⅵ (1914 ~ 1918) (夢の家 他)	3,520円 (本体3,200円)
第9巻	メルヒエン(イーリス 他)／物語集Ⅶ (1919 ~ 1936) (夕方に詩人が見たもの 他)	品切
第10巻	デーミアン／戯曲の試み (ハンスとヘートヴィヒ／ロメオ 他)	3,520円 (本体3,200円)
第11巻	子どもの心／クラインとワグナー／クリングゾルの最後の夏／伝説・寓話・たとえ話	3,300円 (本体3,000円)
第12巻	シッタールト／湯治客／ニルンベルクへの旅／物語集Ⅷ (1948 ~ 1955) (中断された授業時間 他)	3,740円 (本体3,400円)
第13巻	荒野の狼／東方への旅	品切
第14巻	ナルツィスとゴルトムント／牧歌 (庭でのひととき 他)	3,300円 (本体3,000円)
第15巻	ガラス玉遊戯	4,400円 (本体4,000円)
第16巻	全詩集 (付全詩集タイトル索引)	品切

日本ヘルマン・ヘッセ友の会・研究会編・訳

ヘルマン・ヘッセ
エッセイ全集 全8巻

■ 四六判・上製・平均370頁

ヘルマン・ヘッセの生涯にわたるエッセイを全8巻に収録。ラングの精神分析を受けていたヘッセの夢の記録、自伝、自作や同時代人についての追想、戦争について思う時代批評など、全編待望の新訳にて刊行する。名作の裏側もかいま見られるファン垂涎の全集。

ISBN978-4-653-04050-7 [09/1 ~ 12/2]

全8冊 30,250円 (本体27,500円)

第1巻	省察Ⅰ (折々の日記1／夢の記録)	3,520円 (本体3,200円)
第2巻	省察Ⅱ (折々の日記2／自伝と回顧)	3,740円 (本体3,400円)
第3巻	省察Ⅲ (自作を語る／友らに宛てて)	3,850円 (本体3,500円)
第4巻	追憶 (忘れ得ぬ人々)・随想Ⅰ (1899 ~ 1904)	3,740円 (本体3,400円)
第5巻	随想Ⅱ (1905 ~ 1924)	3,850円 (本体3,500円)
第6巻	随想Ⅲ (1925 ~ 1956)	3,850円 (本体3,500円)
第7巻	文芸批評	3,850円 (本体3,500円)
第8巻	時代批評	3,850円 (本体3,500円)

田口義弘・飛鷹 節・山口知三・碓井信二編

ハンス・カロッサ全集 全10巻

■ 四六判・上製・平均300頁・口絵入

第1次世界大戦に取材した文学のうち、最高とされる『ルーマニア日記』をはじめ、その真摯な生き方の記録ともいえる文章で、人々に勇気と希望を与えてきたカロッサの作品を、初邦訳作も含め全篇新訳、親しみ易い装丁と共におくる決定版全集。

ISBN978-4-653-03120-8 [95/12 ~ 98/6]

(いづれも残部僅少)

☆ 第1巻	カロッサ全詩集 (書籍版)品切	☆ 第7巻	ルーマニア日記・イタリアの手記 (書籍版)品切		
第2巻	幼年時代・序曲-『幼年時代』初稿 他	3,740円	第8巻	狂った世界・1947年晩夏の日 他	3,960円
☆ 第3巻	青春の変転・逃走 他	3,630円	第9巻	日記(抄)	3,630円
☆ 第4巻	美しい惑いの年・学位授与 他	3,520円	第10巻	書簡集(抄)付年譜	3,960円
第5巻	指導と信従・若い医師のあの日	3,960円			
第6巻	医師ギオン・熟年の秘密	品切			

☆は電子書籍版にて配信中

佐々木 徹監修

ウイルキー・コリンズ傑作選 全12巻

■ 四六判・上製・平均300頁

全12冊 38,500円(本体35,000円)

(いずれも残部僅少)

第1巻 バジル	3,300円
第2巻 ならず者の一生・幽霊ホテル	3,410円
第3巻 ノー・ネーム(上)	2,640円
第4巻 ノー・ネーム(中)	2,860円
第5巻 ノー・ネーム(下)	2,750円
第6巻 アーマデイル(上)	3,300円

ディケンズと並んで19世紀後半のイギリスを代表する小説家であり、「近代長編推理小説の祖」ともいわれる作家、コリンズの中・長編小説8篇を精選、すべて新訳。1世紀以上の時を経てなお新鮮な物語の数々を紹介する初の本格的翻訳選集。

ISBN978-4-653-03620-3 [99/4～01/10]

第7巻 アーマデイル(中)	3,080円
第8巻 アーマデイル(下)	3,190円
第9巻 夫と妻(上)	3,410円
第10巻 夫と妻(下)	3,630円
第11巻 法と淑女	3,960円
第12巻 毒婦の娘	2,970円

フェアブル 『昆虫記』

付フェアブル伝

SOUVENIRS ENTOMOLOGIQUES:
Études sur l'Instinct et les Mœurs des Insectes

■ 菊判・背つきクロス装・平均410頁・図版(ダブルトーン) 176枚

全11冊 137,500円(本体125,000円)

(残部僅少)

昆虫に対する深い愛情に基づく精緻な観察と見事な実証的精神に彩られた『昆虫記』全10巻(挿絵入決定版)に、ルグロ編『フェアブル伝』1巻を加え、原文のまま愛蔵版として刊行する。別刷図版176枚も完璧に再現。平明な叙述のうちに豊かな詩趣を湛える本書は、一個の優れた文学作品ともいえる。

(仏文)

ISBN978-4-653-02150-6 [90/8]

辻本庸子・福岡和子編

あめりか いきものがたり

動物表象を読み解く

■ 四六判・上製・320頁

1,980円(本体1,800円)

日本アメリカ文学会にて好評を博したシンポジアの待望の書籍化。小説をはじめとして詩・演劇・映画など、アメリカ文化のなかで動物はどのように描かれてきたのか。そしてその意味するところは何か。環境文学・文化人類学の知見も交え、わかりやすく解き明かす。

ISBN978-4-653-04197-9 [13/7]

中村紘一著

メルヴィルの語り手たち

■ A5判・クロス装・330頁

5,126円(本体4,660円)

アメリカ文学最大の作品『白鯨』の作家、ハーマン・メルヴィル(1819～91)の主要な作品15篇(『タイビー』から『ペリー・バッド』まで)を〈語り〉という観点から論じる。〈なにが〉よりも〈どのように〉表現されているかについて多く語り、〈語り手〉、〈語り口〉あるいはシンボルのような(比喩的表現)の面白さを伝えてくれるユニークな論集。

ISBN978-4-653-02238-1 [91/12]

中村紘一著

アメリカ南部小説の愉しみ

～ウィリアム・スタイロン～

■ 四六判・上製・220頁・図版29点

2,970円(本体2,700円)

スタイロンの生地ヴァージニア州には、フォークナーに代表される文学的伝統がある。自作について〈南部派〉小説だとは考えていない、と語るスタイロンだが実際はどうなのか? 本書は、現在と過去を往復する独特の「語り」の技法、〈フラッシュバック〉など、彼の特徴に触れながら、作品の中のアメリカ南部を探り、その魅力に迫る。

ISBN978-4-653-03167-3 [95/11]

中村紘一著

ロバート・ペン・ウォレン

—アメリカ南部小説の愉しみ②—

■ 四六判・上製・296頁

3,190円(本体2,900円)

ケンタッキー州に生まれ、南部を舞台に理想と現実との相克に苦悩する人間を描き続けた作家、詩人、批評家であるロバート・ペン・ウォレン。ピューリッツァー賞受賞作『王の臣すべてを以てしても』をはじめとする長編小説および伝記を読み解き、作品にあらわれる風土を浮き彫りにする注目の論集。

ISBN978-4-653-03518-3 [98/8]

村上 東編

冷戦とアメリカ

覇権国家の文化装置

■ 四六判・上製・408頁

2,200円(本体2,000円)

日本ヘミングウェイ協会編

アーネスト・ヘミングウェイ

—21世紀から読む作家の地平—

■ A5判・上製・400頁

4,400円(本体4,000円)

櫻井正一郎著

イギリスに捧げた歌

～フィリップ・ラーキンを読む～

■ 四六判・上製・280頁・口絵入・図版33点

3,190円(本体2,900円)

アナトール・フランス著／杉本秀太郎訳

赤い百合

■ 背つきクロス装・カラー図版17枚・貼函入・訳者自筆署名入

〈特装版〉9,900円(本体9,000円)

訳詩 宇佐美 斉

自筆草稿

アルチュール・ランボー詩集

(メッサン版) —草稿複製篇・訳詩篇—

■ A4判変型(318×204mm)・背つきクロス装・各巻116頁・貼函入
全2冊 39,514円(本体35,922円)

〈残部僅少〉

鈴木健三解説

トランジション

自創刊号(1927年)

至27号(1938年)終刊

合本10冊

TRANSITION

Shakespeare and Co., Paris, & others

■ A5判・背つきクロス装・総6,232頁・写真図版入
付解説・作者別索引

全10冊 149,514円(本体135,922円)

〈残部僅少〉

櫻井正一郎編・著

The View from Kyoto: Essays on Twentieth-Century Poetry

■ A5判・上製・380頁

10,450円(本体9,500円)

なぜ「アメリカは素晴らしい」のか——文化表象としてのフィクションは、政治、メディア、テクノロジー、文壇といかなる関係を結び、いかにアメリカを描いてきたのか。3.11震災以降、フクシマ(核/原子力・放射線)の視点を盛り込みながら、二十世紀アメリカの文化と思考の遺産を再検証する。

ISBN978-4-653-04198-6 [14/3]

《ヘミングウェイ没後50年記念論集》

『老人と海』のマノリン少年は22歳だった？

一九六一年七月二日——その衝撃的な猟銃自殺から五〇年が過ぎた今、アメリカ文学の革新者アーネスト・ヘミングウェイの作品／主題を時系列に辿りながら、時代を超えて愛され続ける作家の地平を新鮮な視点で読み解く！

ISBN978-4-653-04111-5 [11/12][12/6]

最も英国的な詩人として英国人に愛されたフィリップ・ラーキン(1922～1985)を紹介する書き下し。4つの詩集から30篇を選び、味読する。作品の面白さのみならず、詩を通して見えてくる、ラーキンが愛した英国の伝統とその心に迫る。最終章にラーキンの20の名文句を原文とともに付し愛唱できる。英詩の世界が身近なものになる1冊。

ISBN978-4-653-03009-6 [95/6]

19世紀末のパリとフィレンツェを舞台に描かれる、華美で空虚な社交界に飽き足らない上流階級の貴婦人が繰り広げる官能的な恋愛模様。当時の政治、宗教、芸術など流行の最先端を盛りこんだ豊富な会話が魅力。京洛の仏文学者による完全新訳。特装版は限定199部・訳者自筆署名入。

ISBN978-4-653-03737-8 [01/6]

1919年にメッサン書房により刊行されたランボー自筆草稿本の完全ファクシミリ版を底本として再複製。綿密な調査に基づき翻訳された感受性溢れる訳詩の数々を瀟洒な組版で訳詩篇として添え、草稿との対照を可能にし、ランボーの詩のより豊かな味わいを呈する。ヴェルレーヌ筆写草稿を含む本書の文獻的重要性を証する解題付。(草稿仏文・訳詩和文)

ISBN978-4-653-02510-8 [92/11]

ユージン・ジョウラスとエリオット・ポールによって、1927年にパリで創刊された国際的季刊紙『トランジション』(全27号25冊)を合本10冊に完全復刻する。20世紀初頭の作家たちが、創造的な実験を試み、言語革命を起こした本誌を復刻することにより、個々の全集からは読みとることのできない、真のモダニズム運動を再現する。(英文)

ISBN978-4-653-03099-7 [95/9]

現代英米詩についての英文による評論集。ホロウェイ、ヴェンドラー、G・バリ、J・ロー、ブラッドショー、P・ロビンソン、S・クラーク、渡辺、櫻井、村形等19名が、エイッツからヒューズ、ヒニー等を経て4人の若手に及ぶ計20名の詩人を論じている。執筆者はすべて、98年に10周年を迎えた京都で行われたセミナーのメンバーと客員である。(英文)

ISBN978-4-653-03608-1 [98/11]

V. ビスティッチ著

岩倉具忠・岩倉翔子・天野 恵訳

ルネサンスを彩^{いろど}った人びと

ある書籍商の残した『列伝』

■ A5判・上製・580頁

5,170円(本体4,700円)

フィレンツェで活躍した書籍商V.ビスティッチ(1421～98)が残した『列伝(*Le Vite*)』の抄訳。著者が職業柄、直接交流を持った教皇、王侯、人文主義者たちの逸話がルネサンスの舞台裏を生きいきと伝える。ブルクハルトをはじめ多くの歴史家に引用されてきた一次史料の本邦初訳。「コジモ・デ・メディチ伝」ほか17篇。付人名索引。

ISBN978-4-653-03539-8 [00/5]

中山淳子著

グリムのメルヒェンと明治期教育学

— 童話・児童文学の原点 —

■ A5判・上製・452頁

8,800円(本体8,000円)

日本におけるグリムのメルヒェンとヘルバート学派教育学との関係の端緒が明治の御雇ドイツ人教師が用いた『第一学年』にあると特定し、グリムのメルヒェンのドイツ教育界での扱われ方と日本での変形を分析する。さらに日本におけるグリムのメルヒェン受容や近代児童文学、教育学係童話集、童話作家や研究書を『第一学年』を踏まえて見直した、これらの分野の根幹に寄与する一冊。

ISBN978-4-653-04004-0 [09/4]

【増補 史料大成 (正・続)】

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

花園天皇宸記 1・2
伏見天皇宸記

〔増補史料大成 第2・3巻〕

■ A5判・クロス装・本文平均317頁・解題8頁・口絵5枚
全2冊 11,660円(本体10,600円)
(残部僅少)

『花園天皇宸記』は延慶3年から元弘2年に及ぶ花園天皇の日記で、旧伏見宮家蔵の宸筆原本を正親町家伝本で補った。『伏見天皇宸記』は弘安10年から延慶4年に亘る伏見天皇の日記。旧伏見宮家伝来の8巻本に逸文を集めてこれを補った。鎌倉時代後半の政治史や宮廷文化を知る上でも重要な史料。

ISBN978-4-653-02201-5〔65/9〕〔98/4〕

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

中 右 記

〔増補史料大成〕

■ A5判・並製・紙カバー装・本文平均405頁

〈普及版〉全7冊 10,450円(本体9,500円)

『中右記』は藤原宗忠の日記で、宗忠公記、中右抄ともいう。寛治元年より書き始め、保延4年出家するまでに及ぶ。後世の規範ともなるような儀式、地方の状況、当時の風俗等を詳述しており、地方制度などの研究史料として不可欠のもの。本書は村上勘兵衛献納本を近衛・九条両家所蔵本で補った109冊本を定本として、完璧を期している。

ISBN978-4-653-03790-3〔01/8〕

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

三長記／同補遺

〔増補史料大成 第31巻〕

■ A5判・クロス装・本文277頁・解題10頁・口絵4枚

5,830円(本体5,300円)

(残部僅少)

『三長記』は三条長兼の日記で、後鳥羽天皇の建久年間より、土御門天皇の承元5年に至る約20年間の記録である。長兼は少納言入道信西の外孫で、典故に通じており、朝廷の儀礼を詳録している。また、近衛・九条両家の間の争権、法然上人の流罪事件等を伝える貴重な文献である。内閣文庫所蔵9冊本を底本とし、諸本により校訂した。

ISBN978-4-653-00549-0〔65/9〕〔00/2〕

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

平戸記 1・2／妙槐記

〔増補史料大成 第32・33巻〕

■ A5判・クロス装・本文平均281頁・解題14頁・口絵4枚
全2冊 13,200円(本体12,000円)

『平戸記』は参議民部卿、平経高の日記で、安貞元年より寛正4年に亘る。記事は概して簡単であるが、承久の乱、浄土教信仰の流行、朝廷関係等、重要な史実に関するものが多い。『妙槐記』は藤原師繼の日記で、寛元元年より文応元年に至る。大部なものと思われるが3冊のみ現存し、本書はそれに除目部題1冊と脱漏数篇を補って上梓した。

ISBN978-4-653-02385-2〔65/9〕〔00/6〕

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

勘仲記 1～3
冬平公記／匡遠記

〔増補史料大成 第34～36巻〕

■ A5判・クロス装・本文平均311頁・解題10頁・口絵5枚
全3冊 18,150円(本体16,500円)

『勘仲記』は勘解由小路兼仲の日記で、健治元年から正安2年に及ぶもの。持明院大覚寺の闘争、弘安の役等に関する重要記事が多い。『冬平公記』は関白藤原(鷹司)冬平の日記で、改元の勘文、歌会、時会等の記事が現存する。『匡遠記』は左大臣小槻匡遠の日記で、伝えられているのは全くの残闕であるが、建武中興前後の政治史の好史料とされる。

ISBN978-4-653-02377-7〔65/9〕〔00/2〕

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

親長卿記 1～3／同補遺
宣胤卿記 1・2／同補遺

〔増補史料大成 第41～45巻〕

■ A5判・クロス装・本文平均356頁・解題7頁・口絵6枚
全5冊 30,250円(本体27,500円)

『親長卿記』は甘露寺権大納言、藤原親長の日記で、文明2年から明応7年に亘る。応仁の乱前後の社会、政治の情勢や宮廷の有様を伝える重要な記録。『補遺』には寛正7年の記事を取める。『宣胤卿記』は中御門宣胤の日記で、応仁の乱後の政界の動き、京都の事情等に詳しい。現存の寛正7年、文正元年、文明12年から永正14年までの23巻を復刻。

ISBN978-4-653-02379-1〔65/9〕〔01/6〕

竹内理三編

愚管記

[増補續史料大成 第1～4巻]

■ A5判・クロス装・本文平均395頁・解題2頁・口絵10枚
全4冊 19,800円(本体18,000円)

北朝の公家第一人者のひとり、近衛道嗣の延元元年から永徳2年までの日記で、後深心院関白記とも称される。底本として陽明文庫蔵の26巻の写本を用い、文和3年の分を除目記で補った。更に『高嗣公記』裏の康安2年具注曆に記入された日記の部分に翻刻により加える。文化史上、貴重な記事が多く北朝の宮廷、貴族生活を知るには不可欠の史料。

ISBN978-4-653-00443-1 [67/8][00/6]

竹内理三編

晴右記 / 晴豊記

[増補續史料大成 第9巻]

■ A5判・クロス装・380頁・解題5頁・口絵4枚
6,600円(本体6,000円)

『晴右記』は、参議を経て権大納言正二位となった勤修寺晴右の日記である。永禄8年2月から7月、同10年11月から翌年2月、同13年正月から4月までの部分である。『晴豊記』は、勤修寺晴豊の日記で、天正6年9月から文禄3年までの部分である。晴豊は晴右の子で、武家伝奏の職にあった。当時の政治・社会の重要な事件を伝える貴重な日記。

ISBN978-4-653-00454-7 [67/8][02/9]

竹内理三編

建治三年記 / 永仁三年記 / 斎藤基恒日記 親基日記 / 親元日記 1～4

[増補續史料大成 第10～12巻]

■ A5判・クロス装・本文平均438頁・解題10頁・口絵3枚
全3冊 19,800円(本体18,000円)

『建治三年記』は鎌倉幕府問注所執事三善康有の日記(建治3年正月～12月)。「永仁三年記」は同執事太田時連の日記と推定される(永仁3年正月～8月)。このほか、室町幕府政所寄人と同政所執事代であった斎藤基恒・親基の日記『斎藤基恒日記』『斎藤親基日記』も収録。『親元日記』は同執事代蛭川親元の日記(寛政6年～文明17年)。

ISBN978-4-653-02734-8 [67/8][01/5]

益田 宗校訂

碧山日録

[増補續史料大成 第20巻]

■ A5判・クロス装・241頁・解題11頁
7,150円(本体6,500円)
〈残部僅少〉

臨済宗聖一派の僧太極(法諱未詳)の日記。記事は長録3年(1459)から応仁2年(1468)に及ぶが、寛正5年・文正元年・応仁元年の記事は全く現存しない。昭和初年、東京帝大で辻善之助博士が使用された謄写刷テキストを全面的に補訂し活字印刷に附した。新組に際し、日ごとに記事を改行し、披覧の便を計った。

ISBN978-4-653-00784-5 [82/12][00/2]

広野三郎編・解題

八坂神社記録

[増補續史料大成 第43～46巻]

■ A5判・クロス装・本文平均543頁・解題40頁・口絵16枚
全4冊 30,800円(本体28,000円)

京都八坂神社所蔵の古記録を編集した「八坂神社記録上・下」を4分冊にして復刊する。記載文書は社務の記事を中心とした社家記録(旧国宝)、祇園社の沿革史である社家々々記録(旧国宝)ほか三鳥居建立記、社家記録裏文書、祇園社記等で、貴重な古文書、古記録を収録、室町中後期の文化、政治、経済史研究に不可欠の書。

ISBN978-4-653-00491-2 [78/10][99/10]

益田 宗校訂

鎌倉年代記 / 武家年代記 鎌倉大日記

[増補續史料大成 第51巻]

■ A5判・クロス装・264頁・口絵4枚
〈書籍版〉品切 〈電子書籍版〉配信中

『鎌倉年代記』は寿永2年(1183)から正慶元年(1332)までの年代記で、各天皇の略伝、摂関・將軍・執権・連署・六波羅探題についての補任、略伝と裏書を収録。『武家年代記』は治承4年(1180)から明応8年(1499)までの年代記で、帝王・將軍・執権等の略歴並びに裏書を取める。『鎌倉大日記』も前二者と同類のもの。

ISBN978-4-653-00500-1 [79/9][98/4]

【倉本一宏 監修 日記で読む日本史 全 20 巻】

倉本一宏編

日本人にとって日記とは何か

〔日記で読む日本史1〕

■ 四六判・上製・276頁

3,080円(本体2,800円)

なぜ、日本ではさまざまな人々によって日記が残され、読まれてきたのか？古代から中世・近世・近代の歴史、日記と物語・和歌といった文学作品との比較、はたまた日記の言語学、さらには現代の小中学生の日記や心理学からみた日記など。第一線の研究者たちが、日記文化の豊饒な世界にいざなうシリーズ第1巻！

ISBN978-4-653-04341-6 [16/7]

山下克明著

平安貴族社会と具注暦

〔日記で読む日本史2〕

■ 四六判・上製・240頁

3,300円(本体3,000円)

中国よりもたらされ、古代中世の社会と深く関わった具注暦。中国での具注暦の成立から、日本での受容・変遷にいたる過程を検討するとともに、曆家賀茂氏の成立と暦の貴族社会への供給形態について解説。さらに、平安貴族が具注暦に日記を書きつけるようになった経緯に迫り、貴族社会・具注暦・日記の関係を明らかにする。

ISBN978-4-653-04342-3 [17/7]

古藤真平著

宇多天皇の日記を読む

天皇自身が記した皇位継承と政争

〔日記で読む日本史3〕

■ 四六判・上製・272頁

3,300円(本体3,000円)

現在逸文が伝わるのみだが、天皇が記した日記で最も古いものといわれ、重要視されてきた『宇多天皇御記』。そのなかから、関白藤原基経との政争である阿衡事件の経過や、宇多天皇が創始したとされる皇太子への壺切御剣下賜の由来など、「寛平の治」と讃えられる当時の宮廷の内幕を物語るさまざまな記事を丁寧に読み解く。

ISBN978-4-653-04343-0 [18/7]

石川久美子著

「ためし」から読む更級日記

漢文日記・土佐日記・蜻蛉日記からの展開

〔日記で読む日本史4〕

■ 四六判・上製・216頁

3,300円(本体3,000円)

文学・歴史の境界を越えて「日記」という大きな枠組から見えてくる、『更級日記』の本質とは？古記録としての漢文日記の「先例主義」と日記文学の「ためし」を連関させ、相互の共通性・相違性を明らかにしつつ、読解の視点を提示する。気鋭の若手研究者による、まったく新しい『更級日記』論。

ISBN978-4-653-04344-7 [18/10]

古瀬奈津子・東海林亜矢子著

日記から読む摂関政治

〔日記で読む日本史5〕

■ 四六判・上製・228頁

3,520円(本体3,200円)

后妃らの後宮の視点と天皇・男性貴族らの視点の両方から立体的にみえてくる、摂関政治の姿とは？摂関体制の道筋を確立した藤原忠平・穩子の時代に始まり、最盛期の道長の時代、そしてその後の終末期まで。『貞信公記』『九曆』『小右記』『御堂関白記』などの日記の読解を通して、摂関政治の構造とその変遷の実態に迫る。

ISBN978-4-653-04345-4 [20/6]

池田節子著

紫式部日記を読み解く

源氏物語の作者が見た宮廷社会

〔日記で読む日本史6〕

■ 四六判・上製・272頁

品 切

平安文学を代表する女流作家・紫式部。栄華を誇る藤原道長の娘・中宮彰子のもとで、彼女が見たもの・感じたこととは何だったのか。そして、そこでの経験はどのように彼女の物語世界に昇華されたのか。謎とされる部分も多い『紫式部日記』を丹念に読み解き、紫式部自身の姿とその目に映る宮廷社会に迫る！

ISBN978-4-653-04346-1 [17/1]

堀井佳代子著

平安宮廷の日記の利用法

『醍醐天皇御記』をめぐる

〔日記で読む日本史7〕

■ 四六判・上製・272頁

3,300円(本体3,000円)

理想的な「延喜の治」を実現し、聖帝と呼ばれた醍醐天皇。個人の日記というものがまだ定着していない時代にあって、なぜ彼は日記をつけるようになったのか。また、その私的な日記は、いかにして宮廷で共有され、後世にいたって多く引用されるようになったのか。謎多き日記の成立・受容の過程を解き明かす。

ISBN978-4-653-04347-8 [17/7]

中村康夫著

皇位継承の記録と文学

『栄花物語』の謎を考える

〔日記で読む日本史8〕

■ 四六判・上製・192頁

3,080円(本体2,800円)

壬申の乱以降『栄花物語』の時代にいたるまで、皇位継承に関わる事件はどのように意識されてきたのか。『万葉集』『懷風藻』などの歌集から、『源氏物語』などの物語・『大鏡』などの歴史物語を視野に入れながら、横断的にそれらの文献を読み解き、テキストに内包される当時の人々の歴史意識を明らかにする！

ISBN978-4-653-04348-5 [17/7]

古橋信孝著

平安期日記文学総説

一人称の成立と展開

〔日記で読む日本史9〕

■ 四六判・上製・240頁

3,300円(本体3,000円)

一人称、ひらがな体、日記の時間——古代文学を中心に日本の古典作品を渉猟し、豊かな学識・横断的な視点から古典の魅力を長年紹介してきた不世出の研究者が、『土佐日記』成立以降、平安期の代表的な作品について解説。日記文学が発明し、発展させてきた知性・感性の歴史をひもとく！

ISBN978-4-653-04349-2 [18/3]

上野勝之著

王朝貴族の葬送儀礼と伝事

〔日記で読む日本史10〕

■ 四六判・上製・292頁

3,300円(本体3,000円)

古代から中世へ——とりわけ葬送儀礼の仏教化が進む転機となった八世紀末から十二世紀までの時期において、こうした儀礼とそこに携わる人びとの意識はどのように変遷してきたのか。仏教との関わりを中心として、中国の文化・民間習俗などの影響も受けながら変化を遂げてきた当時の弔いの実態を明らかにする！

ISBN978-4-653-04350-8 [17/12]

森 公章著

平安時代の国司の赴任

『時範記』をよむ

〔日記で読む日本史11〕

■ 四六判・上製・216頁

品 切

摂関期～院政期にかけて活躍した官人、平時範。その国司(因幡守)赴任から離任までの一部始終をまとめて記述した貴重な日記『時範記』の当該箇所を丁寧に読み解き、『今昔物語集』『古事談』や『因幡国伊福部臣古志』などの資料も引きながら、国司交替の様子や国司・郡司(地方豪族)の関係の実態を明らかにする！

ISBN978-4-653-04351-5 [16/4]

曾我良成著

物語がつくった驕れる平家

貴族日記にみる平家の実像

〔日記で読む日本史12〕

■ 四六判・上製・210頁

3,080円(本体2,800円)

一時は権勢を誇りながら、驕り高ぶり、遂には滅びた一族「平家」。長らく受け入れられてきたこれらの平家像は多分に『平家物語』の影響によるものだった。『玉葉』『小右記』などの貴族日記を丹念に読み解き『平家物語』と比較することで、物語がつくりだした平家像を浮かびあがらせ、従来の解釈とは異なる彼らの実像に迫る！

ISBN978-4-653-04352-2 [17/1]

松蘭 斉著

日記に魅入られた人々

王朝貴族と中世公家

〔日記で読む日本史13〕

■ 四六判・上製・208頁

3,080円(本体2,800円)

院政期から戦国時代まで——いつの時代も一生懸命生きていた人々がいて、面白い人物がたくさん蠢いていた！栄華が過去のものになりつつある時に、決してあきらめず前向きに、押し寄せる時代の波に順応しながらたくましく生きていた個性豊かな貴族・公家たちの姿を、中世日記研究の第一人者がわかりやすく説き明かす。

ISBN978-4-653-04353-9 [17/4][20/4]

藤本孝一著

国宝『明月記』と藤原定家の世界

〔日記で読む日本史14〕

■ 四六判・上製・226頁

3,190円(本体2,900円)

長年冷泉家時雨亭文庫にて古典籍の整理・調査にあたる、写本学第一人者の著者が、書物の形態から『明月記』の姿を明らかにし、藤原定家の価値を再解釈する。紙の継ぎ方や筆跡、裏打ち紙に書かれた文字など、実際に原本を手に取り調査した著者ならではの視点で、現存の『明月記』がどのように成立したのかを解き明かす。

ISBN978-4-653-04354-6 [16/7]

松田泰代著

徳川日本のナショナル・ライブラリー

〔日記で読む日本史16〕

■ 四六判・上製・296頁

3,850円(本体3,500円)

御書物奉行の設置を契機に、徳川家の私文庫(プライベート・ライブラリー)から、国の統治機関たる幕府が維持・運営する国立図書館(ナショナル・ライブラリー)へと性格が変化した紅葉山文庫。その「御文庫」を守った役人たちの日記の記述から、近世の図書館運営と司書の働きの実態を明らかにする。

ISBN978-4-653-04356-0 [18/3]

下郡 剛著

琉球王国那覇役人の日記

福地家日記史料群

〔日記で読む日本史17〕

■ 四六判・上製・216頁

3,300円(本体3,000円)

近世琉球王家に仕えた福地家伝来の日記史料群を、豊富な写真とともに紹介。事前に記されていた「未来日記」、同一の人物によって書き分けられた複数の日記など、謎多き姿の日記はなぜそのような形で残されたのか? 日記の丁寧な読解と分析を通して、公と私のはざまに生きた役人たちの思想・心情や当時の社会の一面を明らかにする。

ISBN978-4-653-04357-7 [17/12]

佐野真由子著

クララ・ホイットニーが綴った明治の日々

〔日記で読む日本史18〕

■ 四六判・上製・292頁

3,630円(本体3,300円)

商法教師として来日した父ウィリアムや家族とともに、日本での生活をはじめたクララ・ホイットニー。明治という時代の激流のなかで時に翻弄されながらも、多くの日本人と交わり、いきいきと新たな社会を生きた少女の目に「日本」はどのように映ったのか。日記に綴られた彼女の暮らしをたどりつつ、明治の空気をリアルに再現する。

ISBN978-4-653-04358-4 [19/2]

鈴木貞美著

「日記」と「随筆」

ジャンル概念の日本史

〔日記で読む日本史19〕

■ 四六判・上製・296頁

3,300円(本体3,000円)

『土佐日記』は紀行、『方丈記』は日記とみなされていた時代があった?! では、現在のようなジャンル概念はいつ、どのようにして築かれたのか。「日記」と「随筆」それぞれの概念の変遷を追うことで、現代の国語教育を通して、人びとのあいだに浸透しているジャンル概念や価値観から離れ、作品を見直す新たな視座を提供する。

ISBN978-4-653-04359-1 [16/4]

【倉本一宏 監修 王朝時代の実像 全 15 巻】

倉本一宏編

王 朝 再 読

〔王朝時代の実像1〕

■ 四六判・上製・424頁

3,740円(本体3,400円)

平成の足掛け31年間に発表され、学界の高い評価を得た珠玉の論文のなかから、将来にわたって有益な資料を提供すると思われる論文や従来の学説を覆した画期的な論文など20篇を厳選収録。「王権」「政務と儀式」「生活」「家族」「精神世界」「地方」の六つに部類する。

ISBN978-4-653-04701-8 [21/7]

市川理恵著

京 職 と 支 配

平安京の行政と住民

〔王朝時代の実像2〕

■ 四六判・上製・260頁

3,410円(本体3,100円)

平安京の「都市民」の誕生によって、京職と呼ばれる官司の支配はどのように変わったのか。京・諸国のあいだの人々の流入・流出に対応して、官僚の直接支配から住民自治を介した間接支配へと移り変わる行政管理の実態を、精緻な資料の読解・分析により明らかにする。

ISBN978-4-653-04702-5 [21/7]

瀬戸まゆみ著

病 悩 と 治 療

王朝貴族の実相

〔王朝時代の実像3〕

■ 四六判・上製・240頁

3,630円(本体3,300円)

科学と呪術・宗教のあいだで、当時の医療はいかに行われていたのか。文学作品と古記録の記述を比較・分析し、医師による投薬や外的処置などの物質的な治療と、密教僧や陰陽師によって執り行われていた宗教的な治療とが両立していた、王朝貴族たちの医療文化の実態に迫る。

ISBN978-4-653-04703-2 [22/1]

山下克明著

陰 陽 道

術数と信仰の文化

〔王朝時代の実像5〕

■ 四六判・上製・240頁

3,740円(本体3,400円)

占術から祭祀へ、都市から地方へ、その発展のプロセスを明らかにする新たな陰陽道論。中国の術数や道教との関係、呪術宗教としての陰陽道の性格と位置づけ、さらには顕密仏教との関わりから陰陽道の概念・担い手・場の変容まで。従来の研究にはなかった視点で検討する。

ISBN978-4-653-04705-6 [22/7]

松蘭 斉著

中 世 の 王 家 と 宮 家

皇子たちの中世

〔王朝時代の実像15〕

■ 四六判・上製・248頁

3,410円(本体3,100円)

政治権力の解体・変容期に、中世の「家」はいかに形成されてきたのか。これまでの王家論ではほとんど研究対象とされてこなかった法親王以外の「俗体」の皇子たちに焦点をあて、彼らによる官家の形成過程を考察するとともに、中世的な王家の構造の実態を明らかにする。

ISBN978-4-653-04715-5 [23/6]

日本史

八坂神社文書編纂委員会編

新編 八坂神社文書

■ A5判・クロス装・(一) 716頁・(二) 280頁・口絵4頁
全2冊 19,800円(本体18,000円)

八坂神社に所蔵される膨大な文書類のうち、『新修 八坂神社文書 中世篇』編纂以後新たに整理発見されたものから中・近世文書及び鴨脚家文書を厳選し、編年順に収録した。文書に付された図も翻刻し、各巻巻末には花押・印章一覧を付した。中・近世期の神社史、社会・経済史研究に更なる進展をもたらす画期的資料である。

ISBN978-4-653-04087-3 [14/3]

八坂神社文書編纂委員会編

新編 八坂神社記録

■ A5判・クロス装・892頁
18,700円(本体17,000円)

『新修 八坂神社文書 中世篇』『新編 八坂神社文書』の続編で、京都の八坂神社に伝来する未刊の中・近世の諸記録を収録する。同社には下鴨神社の社家であった鴨脚家の記録や豊国神社に関わる記録も残されており、あわせ収録する。中・近世期の神社史、社会・経済史研究の更なる発展に貢献する史料集。

ISBN978-4-653-04309-6 [16/3]

八坂神社文書編纂委員会編

新修 八坂神社文書 中世篇

■ A5判・クロス装・344頁
8,140円(本体7,400円)

『増補八坂神社文書』編纂時に新たに発見された古代から近代に及ぶ数百点の記録のうち、文禄以前の265点を選び出し翻刻、編年順に収録する。モノクロ図版30点を収録するほか、本文末尾に「花押・印章一覧」、巻末に人名索引を付す。八坂神社研究はもとより、神祇史・宗教史・社会・経済史における貴重な史料。

ISBN978-4-653-03911-2 [02/8]

佐々木令信編

中右記人名索引

■ A5判・クロス装・平均529頁
全2冊 28,317円(本体25,743円)

寛治元年(1087)より保延4年(1138)に至る藤原宗忠の日記『中右記』に記載された延べ8万5千項目に及ぶ人名索引。位階・職名から没年等の記述まで抽出し、列記する。『増補 史料大成』所収本を底本に校訂し、年月日の前に巻数を表記、検索に至便なものとなっている。院政期研究・仏教史研究に必備の書。

ISBN978-4-653-02218-3 [93/11]

蔭木英雄編

蔭涼軒日録索引

■ A5判・クロス装・270頁
7,700円(本体7,000円)

室町時代の表裏を仔細に語る好資料『蔭涼軒日録』検索に待望の本書は、僧侶、俗人、寺社、荘園・鄉村、雑、の五部より成り、適切かつ豊富な注記も施されている。「日録」の多岐にわたる内容を縦横に探索し研究するために至便の書であり、室町時代史研究には必備の書といえる。底本は『続史料大成』所収本。

ISBN978-4-653-01857-5 [89/6][01/3]

東京大学文学部蔵／山田邦明解説

謙信公御書集 1冊
覚上公御書集 2冊

■ B5判・クロス装・「謙信公御書集」608頁・解説34頁
「覚上公御書集」(全2冊)総876頁(分売不可)
全3冊 66,000円(本体60,000円)
(残部僅少)

本書は、米沢藩に残された上杉謙信・景勝に關する2千点を越える史料を編年で集成した『謙信公御書集』『覚上公御書集』を影印刊行するもの。単に史料を並べるだけでなく、概要を示す文章を前に置き、また内容は御書にとどまらず様々な記事や伝承の類も収録する。越後戦国史のみならず、広く戦国・織豊時代研究の貴重な資料。

ISBN978-4-653-03544-2 [99/5]

国立歴史民俗博物館蔵/館蔵史料編集会編

貴重典籍叢書 歴史篇18冊
文学篇22冊

■ 菊判・クロス装・平均550頁・貼函入(分売可)

歴史篇 全18冊 221,650円(本体201,500円)

第1巻《令集解1》第一～第六	13,200円
第2巻《令集解2》第七～第十二	13,200円
第3巻《令集解3》第十三～第十八	13,200円
第4巻《令集解4》第十九～第二十八	12,100円
第5巻《令集解5》第二十九～第三十六	13,200円
第6巻《令集解6》第三十八・第四十 解題・校勘記	11,000円
第7巻《続日本紀1》第一～第十	13,200円
第8巻《続日本紀2》第十一～第二十一	14,850円
第9巻《続日本紀3》第二十二～第三十	13,200円
第10巻《続日本紀4》第三十一～第三十七	13,200円

時慶記研究会編・校訂

時慶記 全10巻

■ A5判・クロス装・平均300頁

第1巻(天正15・19、文禄2年)	9,900円(本体 9,000円)
第2巻(慶長5・7年)	8,800円(本体 8,000円)
第3巻(慶長8・9年)	9,240円(本体 8,400円)
第4巻(慶長10・14年)	9,680円(本体 8,800円)
第5巻(慶長15・18年)	12,100円(本体11,000円)
第6巻(慶長19・元和4年)	13,200円(本体12,000円)
第7巻(元和7・寛永5年)	15,400円(本体14,000円)
第8巻(寛永6・9年)	
第9巻(寛永14・15年)	
第10巻(寛永16年・総索引)	

角谷常子編

古代東アジアの文字文化と社会

■ A5判・クロス表紙・カバー装・292頁

4,950円(本体4,500円)

加藤謙吉・佐藤 信・倉本一宏編

日本古代の地域と交流

■ A5判・上製・288頁

4,400円(本体4,000円)

堀井佳代子著

平安前期対外姿勢の研究

■ A5判・上製・280頁

7,150円(本体6,500円)

千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館が所蔵する貴重典籍(写本)のうち、「高松宮家伝来禁裏本」[「田中稷氏旧蔵典籍古文書」]を中心に、重文15点、重美3点を含む善本を精選、影印、解題を付し影印・公刊する。本邦初刊の史料を多数含む本書は、わが国の歴史・文学研究に大いに寄る重要な資料である。(〈文学篇〉詳細は22頁をご覧ください)

〈歴史篇〉ISBN978-4-653-03520-6 [98/11~01/10]

〈文学篇〉ISBN978-4-653-03564-0 [99/1~02/9]

第11巻《続日本紀5》第三十八～第四十 解題・校勘記	11,000円
第12巻《延喜式1》第一～第六	11,000円
第13巻《延喜式2》第七～第十一	12,100円
第14巻《延喜式3》第十二～第十八	12,100円
第15巻《延喜式4》第十九～第二十五	11,000円
第16巻《延喜式5》第二十六～第三十三	11,000円
第17巻《延喜式6》第三十四～第四十二	11,000円
第18巻《延喜式7》第四十三～第五十 解題・校勘記	12,100円

織豊時代から江戸時代の変革期に生きた公家・西洞院時慶天文二一～寛永一六)の自筆日記を校訂、翻刻。天正一五年(一五八七)から寛永一六年(一六三九)までのうち約一七年分が残されている。医者であり、有名な歌人でもあった時慶の日常生活や、社交場としての禁裏御番の様子、禁裏や本願寺、大坂城、公家、連歌師と幅広い交際ぶりがつぶさに伺え、内容も政治・経済・社会・宗教・文芸・身辺雑記や気候・天変地異(地震)の記録と多岐にわたる。また、ひな祭りや阿国歌舞伎の最古記録としても名高く、動乱の時代を様々な角度から知ることのできる好資料である。

ISBN978-4-653-03760-6 [01/12~]

文字はさまざまな媒体に記される。本書ではその中でも石を主たる対象と位置付け、地域や時代をこえた比較研究を試みる。なぜ文字を残すのか、記録媒体として石を選ぶ／選ばないことは何を意味するのか。古代社会において展開された文字文化を通して、当時の社会、人的結合関係を明らかにする。

ISBN978-4-653-04381-2 [19/4]

列島各地域の古代史・交通史や東アジア・ユーラシアとの交流史から見てくる「日本古代」の姿とは?東西の第一線の研究者による日本古代史研究のあたらしい動向をふまえた発表に加えて、「そもそも日本に古代はあったのか」という井上章一氏の刺激的な議論も展開された、国際日本文化研究センターでのシンポジウムを書籍化!

ISBN978-4-653-04339-3 [16/5]

平安前期、日本と朝鮮半島諸国・中国の歴代王朝の使節による相互の外交はなぜ衰退し、あるいは途絶えたのか。当時の唐風化政策の変遷と関連付けながら、朝廷がどのように外国使節を位置づけ、外交を捉えていたのかといった「対外姿勢」の問題に着目し、精緻な史料読解・分析によって、その変化の実態と要因を解明する。

ISBN978-4-653-04412-3 [19/2]

近藤好和著

朝廷儀礼の文化史

節会を中心として

■ 四六判・上製・346頁

4,180円(本体3,800円)

平安初期～室町時代にかけて、朝廷のなかでの饗宴(節会)はどのように変遷したのか。当時の代表的な儀式書である『内裏儀式』『内裏式』『江家次第』の各正月三節会部分と『三節会次第』の内弁作法部分を、同時代の文献も横断的に見渡しながら註釈・詳説する。有職故実の根幹である公家故実の実態に迫る、著者渾身の一冊。

ISBN978-4-653-04338-6 [17/7]

大江 篤編

皇位継承の歴史と儀礼

■ 四六判・並製・168頁

2,200円(本体2,000円)

社会や政治、宗教や文化に深く関わりながら時代とともに変化してきた皇位継承儀礼が、どのように意識され、伝えられてきたのか。古代から近代にいたるまでの記録を読み解き、その奥に潜む事実や思想に迫る。園田学園女子大学の2019年度公開講座「歴史セミナー」の「天皇即位をめぐる歴史と文化」を書籍化。

ISBN978-4-653-04332-4 [20/2]

倉本一宏・小峯和明・古橋信孝編

説話の形成と周縁

古代篇・中近世篇

■ 四六判・上製・296頁(古代篇)・304頁(中近世篇)

各3,520円(本体3,200円)

風土記・日本霊異記・今昔物語集から、巡礼記・軍記・古註釈さらには、説話の言説・メディア論まで。時空間やジャンル、虚実の壁を越えて、説話はいかに生成・発展してきたのか。文学・歴史の研究者が、一堂に集い、その過程と意味を明らかにする。

ISBN978-4-653-04511-3 (古代篇)、
-04512-0 (中近世篇) [19/5～19/6]

中塚 武監修

気候変動から読みなおす日本史

全6巻

■ A5判・上製・平均300頁

全6冊 各巻3,960円(本体3,600円)
(第5巻 残部僅少/第2巻 品切)

古気候学・歴史学・考古学が連携し、気候変動から日本史を読みなおす。第1巻「新しい気候観と日本史の新たな可能性」、第2巻「古気候の復元と年代論の構築」、第3巻「先史・古代の気候と社会変化」、第4巻「気候変動と中世社会」、第5巻「気候変動から近世をみなおす―数量・システム・技術」、第6巻「近世の列島を俯瞰する―南から北へ」の全6巻。

ISBN978-4-653-04500-7 [20/6～22/6]

辻垣晃一・森 洋久編著

増補改訂 森幸安の描いた地図

〔日文研叢書〕

■ A4判・上製・464頁

19,800円(本体18,000円)

『森幸安の描いた地図』(2003年・日文研叢書29)の増補改訂版。江戸時代中期に地図の考証・収集・書写に大きな業績を残した森幸安の全容を明らかにする最新研究。国際日本文化研究センターのデータベースで詳細が閲覧できるQRコードを全掲載図版に配した。

ISBN978-4-653-04317-1 [16/3]

本巻 野間光辰編/新索引 木田章義監修・林泰弘編

新修 京都叢書

本巻23巻
新索引12巻

■ A5判・クロス装・本巻平均590頁・新索引総398頁

(本巻)各巻5,500円～10,450円(本体5,000円～9,500円)
(第2巻・第10巻 残部僅少/第23巻 品切)
(新索引)24・25巻 27,500円(本体25,000円)

「京童」「京雀」等、京都に関わる江戸期の代表的な書物を集大成。洛中・洛外の社寺、名所旧跡、地誌、年中行事、諸職名匠、各町の由来、沿革と変遷など、近世京都の姿を余すところなく伝える。本文は原本との厳密な校訂を施し、異同は頭注に記した。新たに、「和歌・俳諧類索引」約4千項目を含む約5万項目を収録した新索引を刊行。

〈詳細は95頁〉
ISBN978-4-653-03944-0(全25冊)
-02596-2(本巻)-03943-3(新索引) [67/9～06/4]

山本光正著

街道絵図の成立と展開

■ A5判・上製・本文332頁・口絵4頁

5,060円(本体4,600円)

近世に盛んに発行・製作された東海道を中心とする街道絵図について、総合的な系統分類を試みた初めての書。浮世絵や道中記、近代の絵画・鉄道沿線図も視野に入れ概観する。また、後世の多くの写本の原因と目される元禄以前刊行の希少な街道絵図2種「東海道細見図・西海陸細見図」「東海道駅路図・西海道船路図」の影印を収録。

ISBN978-4-653-03963-1 [06/6]

山本光正著

東海道の創造力

■ 四六判・上製・285頁

2,860円(本体2,600円)

『伊勢物語』第九段東下りから岡本かの子の短編『東海道五十三次』に至るまで、多くの歌枕・名所を持ち、多様な文学・美術作品を生み出してきた東海道。古代～近世の徒歩の「旅」と近代の鉄道等の交通手段を利用した「旅行」、作品により作り出された名所等の視点から、旅人たちの姿と作品創造の原動力となった東海道の魅力に迫る。

ISBN978-4-653-03969-3 [08/6]

武知京三著

近代日本と地域交通

—伊勢電と大軌系(近鉄)資本の動向—

〔日本資本主義史叢書〕

■ B6判・クロス装・335頁

4,070円(本体3,700円)

東への進出を目指す大阪電気軌道系(大軌系・近現鉄)資本が、三重県で伊勢電気鉄道を合併し、更に名古屋までの長距離都市間電鉄網を確立するまでの企業史の発展史。政府と鉄道企業との関係、経営理念・経営戦略等の多面的な分析とともに、わが国の鉄道政策を踏まえ、戦時交通統制問題も展望する。

ISBN978-4-653-02886-4 [94/12]

宮崎県立図書館編

宮崎県史料

■ A5判・クロス装・総4,226頁

全8冊 83,600円(本体76,000円)
〈残部僅少〉

高鍋藩と佐土原藩の藩史料を取録する。「高鍋藩史」は家中の動静、百姓逃散など藩が対処しなければならなかった諸事象万般を逐一記述する。「佐土原藩史」は嶋津家としての格式を備えた藩主や諸行事、幕府・諸藩との贈答を中心に藩政の動向を記録する。いずれも史料の価値は極めて高く、藩政史及び郷土史を研究する上で必備の史料。

ISBN978-4-653-03111-6 [95/10]

長友千代治著

重宝記の調方記

—生活史百科事典発掘—

■ 四六判・上製・490頁

3,300円(本体3,000円)

江戸時代から近代にかけて庶民向けに400点以上刊行された独習書「重宝記」。ハンディな懐中本から大型本まで形も様々なら、内容も常識・教養から農工業・医薬の専門知識、口伝・秘術まで多方面に及ぶ。「重宝記」とはなにかという基礎知識から説きおこし、代表的な書物を紹介した初めての「重宝記ガイドブック」。

ISBN978-4-653-03941-9 [05/9]

長友千代治編・解説・索引

重宝記資料集成

本巻45巻
別巻総索引1巻

—生活史百科事典—

■ A5判・クロス装・平均450頁(分売可)

〈本巻〉45冊揃 437,140円(本体397,400円)
(第25巻 残部僅少)

重宝記とは、近世から近代にかけて刊行・書写され、庶民の実用書として読まれてきた書物であり、内容は、家庭生活の事柄から医・薬方、農・工・商業、礼法、俗信など生活万般にわたる。庶民の知識・風俗・芸術など、社会生活の諸相を反映した第一等の文献資料「重宝記」約250点を精選して影印、各巻に解題・索引を付して公刊(別巻総索引は品切)。

ISBN978-4-653-03860-3 [04/8～09/3]

第1巻 《日用事典1》	9,240円	第16巻 《俗信・年曆1》	9,240円	第31巻 《商業・地誌1》	10,450円
第2巻 《日用事典2》	9,240円	第17巻 《俗信・年曆2》	9,020円	第32巻 《商業・地誌2》	11,000円
第3巻 《日用事典3》	8,250円	第18巻 《俗信・年曆3》	9,240円	第33巻 《料理・食物1》	9,900円
第4巻 《日用事典4》	8,030円	第19巻 《俗信・年曆4》	11,000円	第34巻 《料理・食物2》	9,900円
第5巻 《日用事典5》	12,100円	第20巻 《算法・経世1》	10,120円	第35巻 《料理・食物3》	9,680円
第6巻 《往来物1》	9,900円	第21巻 《算法・経世2》	9,570円	第36巻 《遊芸・遊里1》	8,800円
第7巻 《往来物2》	10,120円	第22巻 《算法・経世3》	10,450円	第37巻 《遊芸・遊里2》	10,120円
第8巻 《往来物3》	8,140円	第23巻 《医方・薬方1》	10,120円	第38巻 《遊芸・遊里3》	9,790円
第9巻 《往来物4》	8,580円	第24巻 《医方・薬方2》	9,240円	第39巻 《明治以降1》	10,450円
第10巻 《教養・教習1》	11,000円	第25巻 《医方・薬方3》	10,560円	第40巻 《明治以降2》	11,000円
第11巻 《教養・教習2》	10,450円	第26巻 《医方・薬方4》	9,020円	第41巻 《明治以降3》	8,800円
第12巻 《文字尽1》	10,340円	第27巻 《医方・薬方5》	9,680円	第42巻 《明治以降4》	9,240円
第13巻 《文字尽2》	9,020円	第28巻 《農業・工業1》	11,000円	第43巻 《明治以降5》	10,120円
第14巻 《礼法・服飾1》	9,240円	第29巻 《農業・工業2》	9,900円	第44巻 《明治以降6》	9,900円
第15巻 《礼法・服飾2》	8,360円	第30巻 《農業・工業3》	9,020円	第45巻 《明治以降7》	9,680円

田中家文書調査会編

宇和海浦方史料 三浦田中家文書

■ A5判・クロス装・平均600頁（分売可）
全4冊 51,700円（本体47,000円）

愛媛県宇和島市の田中家に伝存する文書は、近世庄屋文書の中でも随一の豊富な資料を有する。有力な網元でもあった同家の御用留的日記「御書出魁所此外珍事為覚悟代々記」や網元の経営記録で漁業史料の白眉「漁事繁栄記」等多数の文書を翻刻。宇和島藩政を反映する貴重な記録であり、漁村史から近世を照らし出す重要資料。〈詳細は96頁〉 ISBN978-4-653-03555-8〔01/2～04/2〕

秋道智彌著

明治～昭和前期

漁業権の研究と資料

■ B3判・クロス装・上巻372頁・下巻788頁（全2巻セット・分売不可）
68,200円（本体62,000円）

かつて水産庁に収蔵され、現在国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所が所蔵し、総合地球環境学研究所が写真を所持する『免許漁業原簿』および『漁場図』の情報を核として、日本漁業の基層と系譜とその多様性について論ずる大著の研究篇（上・下巻）と、精細なる大型影印版により『漁場図』の重要な部分を紹介する資料篇（下巻）によって構成。 ISBN978-4-653-04468-0〔21/7〕

大江 篤著

日本古代の神と霊

■ A5判・上製・314頁
5,060円（本体4,600円）
〈残部僅少〉

「神」「霊」に関わる「祟」「怨霊」、そして「供養」をキーワードに、古代の史料を読み解く。天変地異・政変がひき起こす争乱や人智を超えた怪異に曝されて生きた人々が認知・畏怖した「神」「霊」の存在と、その背後に隠された、歴史的事実を探る試み。「神」と「霊」が照射する、古代の人々の心のうちにせまる意欲作。 ISBN978-4-653-03967-9〔07/2〕

東アジア恠異学会編

き ぼく
亀 卜
歴史の地層に秘められた
うらないの技をほりおこす

■ B6判・上製・272頁

品 切

東アジアで古代より行われてきた古い「亀卜」。古代、中世では国家運営の重要な指針とされていたにも関わらず、亀卜の技法は秘事・口伝であったため、全容は明らかにされていない。恠異学はもとより、歴史学・動物学・民俗学・考古学など学際的な共同研究のもとで、ウラを読む技と知を考える。 ISBN978-4-653-03962-4〔06/5〕

東アジア恠異学会編

怪異学の地平

■ A5判・上製・356頁

品 切

本書は、「〔他〕の認識と恠異学」をテーマとした東アジア恠異学会の最新の研究成果論集である。恠異学の初発からの問題意識である「恠異」という語に関する「〈恠異〉をめぐる言葉の定着」、〈他〉の認識に係る「〈異〉〈他〉の広がり」と認識・「〈神仏〉と〈化物〉の間」の三部構成、十四編の論考及び京極夏彦氏による特別寄稿を収録する。 ISBN978-4-653-04448-2〔19/2〕

東アジア恠異学会編

怪異学の技法

■ A5判・上製・440頁

品 切

「恠異」はどのように起こったのか、「恠異」を人々はどう受けとめたのか、そして「恠異」の背後にひそむものは何か。史料に記された「恠異」は現在まで歴史学研究の枠外におかれ、正面から「恠異」をとりあげた研究は極めて少数であった。まさに際物たる「恠異」を歴史から汲み上げ正規の研究対象として読み解くことで、浮かび上がる新たな「歴史」を探る、新機軸の一書。 ISBN978-4-653-03846-7〔03/11〕〔07/1〕

安井眞奈美／ローレンス・マルソー編

想像する身体

上巻一「身体イメージの変容」
下巻一「身体未来へ」
■ A5判・上製・上巻336頁・下巻344頁・各巻カラー口絵2頁（分売可）
各4,730円（本体4,300円）

感染症、胎児観、中国医学、境界としての身体、セクシュアリティ、社会と身体、科学技術の発展——人文・社会科学と自然科学の叡智を結集した、国際日本文化研究センター共同研究「身体イメージの想像と展開—医療・美術・民間信仰の狭間で」の成果出版。既存の身体イメージを問い直し、次代を生きる身体の可能性を提示する。 ISBN978-4-653-04630-1（セット）〔22/12〕

鈴木由利子著

選択される命

子どもの誕生をめぐる民俗

■ A5判・上製・368頁

3,520円(本体3,200円)

いのちは、どこからはじまるのか。医療技術の発達にともなって、胎児を含む子ども親はどのように変化してきたのか。民俗学の視点から、墮胎・間引き、中絶・避妊、水子供養などの事象を統計的に分析するとともに、その時代時代のさまざまな出産の現場を経験してきた産婆たちへの取材を通して、私たちの胎児観・生命観の変遷を追う。

ISBN978-4-653-04399-7 [21/2]

井原今朝男著

増補 中世寺院と民衆

■ 四六判・上製・368頁

〈書籍版〉3,960円(本体3,600円)

〈電子書籍版〉配信中

戦争、飢饉、疫病が人々を絶え間なく襲った中世、寺院はどのような場として存在したのか。鎌倉新仏教の各教祖や教義、また権門寺院中心の研究に限られていた従来の中世仏教像を見直し、宗派・学派・規模の違いを越えた「中世寺院」のありのままの姿を探る。好評を博した初版本に中世寺院の国際性と外交僧の活躍等を加えた増補版。

ISBN978-4-653-04036-1 [09/1] [13/6]

重田みち編

「日本の伝統文化」を 問い直す

■ A5判・上製・512頁

7,700円(本体7,000円)

芸道など明治期以降「日本の伝統文化」と見なされてきた諸文化は、曖昧なままの認識のため歴史実態と大きな隔たりがあるのではないか——近代の言説により不可視化された文化の様々な側面を、「非近代の視点」「日本列島の外からの視点」をもって相対化し、東アジア諸学の連関的考察を試みる。京大人文研拠点共同研究の成果論文集。

ISBN978-4-653-04568-7 [24/3]

重田みち著

風姿花伝研究

■ A5判・上製・868頁

9,900円(本体9,000円)

『風姿花伝』成立にいたる世阿弥の思考と著述過程を、禅や儒学、権力者との関係など、彼をとりまく多彩な文化環境に着目して全面的に明らかにする。本文改訂の痕跡を追究するダイナミックな文献学の手法で世阿弥能楽論研究を大きく刷新するとともに、足利義満・義持時代の文化に新たな光を照射する一冊。新校訂本文も付す。

ISBN978-4-653-04569-4 [24/2]

橋本裕之著

王の舞の演劇学的研究

■ A5判・クロス装・函入・560頁

9,900円(本体9,000円)

長年にわたり著者が取り組んできた「王の舞」の研究に関する成果を集大成。中世前期に成立し、今日でも各地に分布している王の舞を、本書では主に芸能史と教育学的な観点から深く掘り下げる。王の舞という特定の民俗芸能を取り上げながら、民俗芸能研究を方法論的に深化させる意欲作。

ISBN978-4-653-04316-4 [17/3]

小川 仁著

シピオーネ・アマーティ研究

慶長遣欧使節とバロック期西欧の日本像

■ A5判・上製・336頁

10,450円(本体9,500円)

伊達政宗が送り出した外交使節である慶長遣欧使節(1613～1620年)がマドリッドからローマに至る際、通訳兼折衝役として半年間同行したイタリア人、シピオーネ・アマーティ(Scipione Amati)の日本像について分析。イタリアのコロナ図書館での新発見史料を精緻に読み解き、日欧交流史におけるあらたな歴史的視点を明らかにする。

ISBN978-4-653-04413-0 [19/3]

小野芳朗著

調と都市 一能の物語と近代化一

■ 四六判・上製・282頁

2,860円(本体2,600円)

都市形成史、環境史の研究者で、能役者でもある著者が独自の視点と知見で描き出す、能をとりまく人々と都市の物語。幕末から明治にかけての変動の時代、能役者だけにとどまらず、藩主として、官吏として、学者として、文人として、様々な形で能と関わった人々の人生を、能の調(しらべ)の織りなす空間の変遷と共に明らかにする。

ISBN978-4-653-04047-7 [10/11]

丸山健夫著

筆算をひろめた男

幕末明治の算数物語

■ 四六判・上製・254頁

2,640円(本体2,400円)

西洋数学の導入で活躍した福田理軒(1815～1889)は、時代の最先端を取り込みながら、研究から教育、出版までの総合ビジネスを展開した。激動の時代に生きた、学者であり教育者、そして経営者であった男の生涯を語りつつ、同時代の算数の例題を挙げ、そこから日本の社会の環境変化を追う。画期的視点による一冊。

ISBN978-4-653-04225-9 [15/3]

丸山健夫著

ペリーとヘボンと横浜開港

—情報学から見た幕末—

■ 四六判・上製・274頁

2,200円(本体2,000円)

横浜開港を軸に、ペリーとヘボンの来航にまつわる、知られざる人物ネットワークの点と線を明らかにする。辞書・通訳等の言語面をはじめ、当時の対外交流事情にまつわる興味深いエピソードをふんだんにもりこんだ本書は、情報学という視点から幕末を語る、他に類を見ない、知的好奇心を刺激する一冊である。

ISBN978-4-653-04035-4 [09/10][17/9]

光平有希著

「いやし」としての音楽

江戸期・明治期の日本音楽療法思想史

■ A5判・上製・292頁

6,380円(本体5,800円)

現在日本で行われている音楽療法がこれまで広く思われてきたような戦後アメリカを中心とした西洋諸国の音楽療法論の受容に端を発するものではなく、江戸期以前より蓄積されてきた思想的土壌の上に明治期西洋医学を受容し、独自性をもって発展してきたものであることを、緻密な調査により解明する。

ISBN978-4-653-04368-3 [18/9][19/8]

光平有希編著

ポップなジャポニカ、五線譜に舞う

19～20世紀初頭の西洋音楽で描かれた日本

■ A5判・上製・306頁

3,960円(本体3,600円)

国際日本文化研究センターに所蔵される日本を題材にしたシートミュージック(西洋で大眾向けに出版されたピアノや歌の小楽曲の楽譜)205点を対象に、19世紀初頭から音楽史・音楽産業史上の転換期と考えられる第一次世界大戦頃までの足跡を目錄風に辿る。音楽での描かれ方から当時の西洋人の「日本」像を明らかにする画期的試み。

ISBN978-4-653-04535-9 [22/3]

クレインス フレデリック著

十七世紀のオランダ人が見た日本

■ 四六判・上製・252頁

品 切

幕藩体制下の17世紀、鎖国の徹底により安定した平和を築いた日本と、日本との交易を独占し「黄金時代」と呼ばれる経済的・文化的隆盛期を築いたオランダ。旅行記や東インド会社の文書、イエズス会士の報告書など、日本情報の伝達経路をたどり、当時のオランダ人たちの日本観がどのように形成されたのかを明らかにする。

ISBN978-4-653-04046-0 [10/7]

クレインス フレデリック著

江戸時代における機械論的身体観の受容

■ 菊判・クロス装・472頁・函入・モノクロ図版227点

13,200円(本体12,000円)

人間の身体は動く機械である——17・18世紀西洋医学思想の礎をなす機械論的身体観は、江戸時代の蘭学者、医学者たちにとどのよう理解されたのか。蘭方医学教科書『医範提綱』や船載蘭書『プールハーフェ箴言解』を取り上げ、ヨーロッパ原典との照合を軸とした文献学的分析により日本近代医学の黎明を説き明かす画期的論考。

ISBN978-4-653-03958-7 [06/2]

松方冬子/フレデリック・クレインス編

日蘭関係史をよみとく

上巻—「つなぐ人々」

下巻—「運ばれる情報と物」

■ A5判・上製・上巻340頁・下巻256頁(分売可)

各4,620円(本体4,200円)

江戸時代の日本社会は、オランダ人が日本に来たことで変容し、日本文化は、オランダ人が持ち込んだモノによって変容した・・・杉田玄白が『蘭学事始』を書いてから二〇〇年、日本をはじめオランダ、アメリカなど世界の若手研究者が結集し、一次史料から掘り起こした、貿易と蘭学だけに捉われない、まったく新しい日蘭関係史の試み!

ISBN978-4-653-04310-2 (セット) [15/6]

人間文化研究機構／国立歴史民俗博物館
ライデン国立民族学博物館編
松井洋子／マティ・フォラー責任編集

ライデン国立民族学博物館蔵

ブロムホフ蒐集目録

ブロムホフの見せたかった日本

Japan through the Eyes of Blomhoff: The Blomhoff
Collection at the National Museum of Ethnology, Leiden

■ B5判・上製・本文304頁・カラー口絵16頁

10,120円(本体9,200円)
(残部僅少)

ライデン国立民族学博物館に所蔵されるブロムホフ・コレクションは、1817-23年にオランダ商館長を務めたブロムホフが日本滞在中に蒐集した品々で、衣服・生活道具・工芸品など庶民の日用品を中心としたコレクションである。本書では、これらの蒐集品についてブロムホフが残した手稿目録を翻刻・翻訳。19世紀初頭に来日したオランダ人が、江戸時代の日本から何を持ち帰り、それをどのように位置付けたのか。当時の日本の物質文化の実態と異文化への眼差しのありようを、蒐集者自身の語りから紐解く。付解説。

ISBN978-4-653-04126-9 [16/3]

京都府立大学和食文化学科学監修
佐藤洋一郎・母利司朗・平本 毅編

和食文化学入門

■ 四六判・並製・336頁

3,080円(本体2,800円)

作る・食べる・通わせる——3つのテーマ別に、文系・理系の枠を取り払い、さらには学術・実践の壁を越えて、「和食」という営みの総体を捉える「和食文化学」の試み。「学びの道しるべ」として編集された本書は、これから和食文化を学ぼうとする読者や、教養課程で和食を教えようとする大学教員のテキストとしても最適書である。

ISBN978-4-653-04429-1 [21/3]

東 昇著

京都の産物

献上・名物・土産

■ 四六判・並製・282頁

2,750円(本体2,500円)

京都(京都府全域)の各地域を軸に、近世・近代に特徴的な「献上・名物・土産」という枠組みから、京都各地の産物をめぐる歴史を語る。第I部：献上へ朝廷への鮎、宮内省への猪・鹿、将軍への鯛、藩主への鮎、第II部：名物で天橋立の知恵の餅、京都の松茸、第III部：土産で加佐郡の桐実、青谷の梅、宇治の喜撰糖について語る三部構成。

ISBN978-4-653-04564-9 [23/3]

上野益三監修／吉井始子編
吉井始子・上野益三・島田勇雄解題

食物本草大成 全12巻

■ A5判・上製・平均540頁(分売不可)

全12冊 104,500円(本体95,000円)

食品161種の「宜禁」について平易に詳述された、曲直瀬道三の『宜禁本草』(江戸初期刊)や、我が国で最初の本格的な食物本草書『閩南食物本草』(寛文11年刊)など、江戸期に刊行され、広く普及した著名な食物本草書30点を集成、影印して、詳細な解題を付す。当時の食養生を想察するための必需史料。

ISBN978-4-653-00301-4 [80/9][07/3]

吉井始子編
江戸時代料理本研究會 翻刻・解題・総索引

翻刻 江戸時代料理本集成 本巻10冊 別巻1冊

■ A5判・上製・平均320頁・挿絵多数(分売不可)

品 切

江戸期に板行された『料理物語』(寛永20年刊)や『豆腐百珍』他、献上から材料・調理・作法に至るまで定評ある料理の秘伝集・古典書50種を集大成。完璧な翻刻と、別冊として精密な解題、総索引を付す。その規模と質を誇る唯一の決定版。食物史・料理史はもとより、文化史・風俗史・生活史の基本資料。

ISBN978-4-653-00364-9 [78/10][07/5]

伊藤信博／クレール＝碧子・ブリッセ／増尾伸一郎編

『酒飯論絵巻』影印と研究

文化庁本・フランス国立図書館本とその周辺

■ B5判・上製・本文424頁・カラー影印18頁

15,400円(本体14,000円)

16世紀前半に、狩野元信らによって制作されたと言われる『酒飯論絵巻』。ユーモラスな絵巻の全貌を、文化庁本・フランス国立図書館本のカラー影印18ページによって一挙紹介するとともに、日本・フランスを中心とした内外の研究者が、文学・思想、美術史、風俗史・歴史の視点から分析。その豊かに文化的な背景を詳しく解説する!

ISBN978-4-653-04115-3 [15/2]

伊藤信博著

植物・食物の表象文化学

■ B5判・上製・360頁

19,800円(本体18,000円)

供物としての食物が重視され神仏・物の怪が未分化であった古代から、外食産業や博物学が発展を見せる近世まで。各時代の中で、食物や食材または薬の原料となる植物は、どのように人間とかわかり、その社会にどのような位置を占めていたのか。文学作品や宗教テキスト、絵画作品などの分析を通し、思想史および文化史的に追及する。

ISBN978-4-653-04128-3 [22/2]

佐藤洋一郎編

日本のイネ品種考

木簡からDNAまで

■ A5判・上製・本文264頁・口絵2頁

4,950円(本体4,500円)

イネの化石分析から、「ブランド米」の出現まで。イネの品種の栄枯盛衰はどのように繰り返されてきたのか。そのことは私たちの文化・社会にどのような影響を及ぼしたのか——考古学、自然科学、料理人それぞれの視点から、イネと米の来し方、行く末を展望する。

ISBN978-4-653-04414-7 [19/4]

南 基鶴著

蒙古襲来と鎌倉幕府

〔日本史研究シリーズ 2〕

■ A5判・クロス装・252頁

6,600円(本体6,000円)

蒙古襲来という未曾有の対外的危機は、中世日本の政治史及び対外関係史の展開にどのような作用を及ぼし、どのようにして鎌倉幕府の滅亡をもたらしたのか。幕府の対蒙古政策の性格を日本の政治社会体制の特性と関連づけて捉え、中世日本の対外関係のあり方と国際意識の新しい展開を、高麗との関係も含めて明らかにする等、新しい歴史像を提示した意欲作。

ISBN978-4-653-03285-4 [96/12][01/4]

李 啓煌著

文禄・慶長の役と東アジア

〔日本史研究シリーズ 3〕

■ A5判・クロス装・301頁

7,700円(本体7,000円)

文禄・慶長の役は単に朝鮮と日本の戦争ではなく、日本にとっては近世国家の創出にあたって生じたものであり、將軍権力の確立とも深く関連している。また朝鮮・明にとっては東アジアの国際秩序に対する日本の挑戦であった。三国の戦後処理をめぐる対立・葛藤を東アジア史の視点で掌握し、それぞれの国内情勢を踏まえて追求する。

ISBN978-4-653-03286-1 [97/1]

沈 箕載著

日朝外交史の研究

〔日本史研究シリーズ 4〕

■ A5判・クロス装・320頁

7,150円(本体6,500円)

幕末維新时期における日本政府(幕府・明治政府)の対朝鮮政策について、日本、朝鮮、そして鎖国下において対朝鮮貿易を独占した対馬藩(のちの厳原藩)の三者間がお互いいかなる認識を有し、かついかなる関係を築こうとしたかを軸に考証する。近代の日朝関係における大事件前夜を捉えた好著。

ISBN978-4-653-03308-0 [97/12]

矢木 毅著

評伝 成牛溪

朝鮮の孔子廟と儒学者

■ 四六判・上製・210頁

3,300円(本体3,000円)

中央政界と距離を置き、在野の儒学者として礼の実践に努めた成渾(号は牛溪)。しかし、親しく交流した李珥や鄭澈らの政界進出をきっかけに、否応なく儒教社会の党争へと巻き込まれていく——成渾の生前・没後における毀誉褒貶の歴史をたどり、党争に明け暮れた儒教社会の特質を浮かび上がらせる。

ISBN978-4-653-04536-6 [22/7]

【京大人文研東方学叢書 第一期 全10巻】

矢木 毅著

韓国の世界遺産 宗廟

王位の正統性をめぐる歴史

〔京大人文研東方学叢書1〕

■ 四六判・上製・224頁

3,300円(本体3,000円)

宗廟とは、歴代の王および王妃の位牌を祀る霊廟であり、その変遷は朝鮮王朝の歴史そのものともいえる。儒教知識人が繰り広げた宗廟の祭祀をめぐる議論を紹介しながら、その背景にある儒教思想に迫り、王位継承者の選定から知識人の競争まで—あらまし五百年におよぶ王朝国家の実像をあぶりだす。歴史にたち現れる朝鮮民族の姿とは。

ISBN978-4-653-04371-3 [16/11]

石川禎浩著

赤い星は如何にして昇ったか

知られざる毛沢東の初期イメージ

〔京大人文研東方学叢書2〕

■ 四六判・上製・272頁

3,300円(本体3,000円)

その名は轟けども姿の見えない毛沢東—政府官報に掲載された太っちょ毛沢東はいったい何者なのか。傑作ルポ『中国の赤い星』によってその素顔が明らかになるまで、偉大な革命家は世界で如何なるイメージをもたれていたのか。本場中国の人びとも—あるいは毛本人すら—知らない、若き日の毛のイメージを浮かび上がらせる。

ISBN978-4-653-04372-0 [16/11][18/2]

岡村秀典著

雲岡石窟の考古学

遊牧国家の巨石仏をさぐる

〔京大人文研東方学叢書3〕

■ 四六判・上製・本文288頁・カラー口絵4頁

3,520円(本体3,200円)

敦煌、龍門石窟とならび中国三大石窟の一つである雲岡石窟。京大人文研の前身、東方文化研究所の水野と長廣は、日中両国が戦火を交える最中、世界に前例のない石窟の悉皆調査に踏み出す—人文研に蔵する膨大な資料、写真群を整理してきた著者が、日中間で今なお平行線をたどる雲岡の編年説に挑む。200点を超える貴重な図版を収録。

ISBN978-4-653-04373-7 [17/6]

富谷 至著

漢倭奴国王から日本国天皇へ

国号「日本」と称号「天皇」の誕生

〔京大人文研東方学叢書4〕

■ 四六判・上製・224頁

品 切

いまなお説の一致をみない国号「日本」、称号「天皇」誕生の解明を念頭に、紀元前より数世紀にわたって繰り広げられた古代日本の対中国交渉の歴史にせまる。中華世界に従属した「倭」「王」は、いつどのように「日本」「天皇」への脱皮をほかったのか。そしてその思惑とは。多くの日本史研究者を悩ませてきた難題に、中国学者(シノロジスト)が挑む!

ISBN978-4-653-04374-4 [18/3][18/10]

武田時昌著

術数学の思考

交叉する科学と占術

〔京大人文研東方学叢書5〕

■ 四六判・上製・288頁

3,300円(本体3,000円)

科学と迷信の境界領域にはどのような思考が発揮されていたのか。自然科学の諸分野が「易」を中核とする占術と複合した中国特有の学問「術数学」。先秦に「方術」と呼ばれた自然探究の学問が、漢代思想革命を経て「術数学」へと変容する過程を描きながら、自然の摂理にもとづく社会のあり方、人間の生き方を追求した中国的思考のルーツにせまる。

ISBN978-4-653-04375-1 [18/10][20/8]

古勝隆一著

目録学の誕生

劉向が生んだ書物文化

〔京大人文研東方学叢書6〕

■ 四六判・上製・268頁

3,300円(本体3,000円)

書物は、どのように書かれ、整理され、系統立てられ、そして伝承されてきたのだろうか。前漢にはじまる皇室の図書事業は、やがて独立した「書物の学問」=「目録学」に発展し、過去から未来へと学問をつなぐ知の集積がはじまっていく。目録学の始祖とされる劉向は、何を考え、何を成し遂げたのか。多くの資料を渉猟し、目録学の誕生史を描き出す。

ISBN978-4-653-04376-8 [19/2][20/8]

永田知之著

理論と批評

古典中国の文学思潮

〔京大人文研東方学叢書7〕

■ 四六判・上製・290頁

3,300円(本体3,000円)

「道徳・倫理を離れた文学に価値はない」。儒教の枠組みのなかで多分に建前として語られるこうした言説は、時代に伴い多様化する作品と、如何に詩や文章をつくるかという技法論とに結びつき、複数の潮流を為す文学論を生み出していく。紀元前から二十世紀前期まで、長きにわたり語られてきた文学の系譜をたどる。

ISBN978-4-653-04377-5 [19/6]

船山 徹著

仏教の聖者

史実と願望の記録

〔京大人文研東方学叢書8〕

■ 四六判・上製・242頁

3,300円(本体3,000円)

仏教の歴史のなかに聖者はいたのか、いなかったのか。素朴な問いに端を発する仏教の聖者への関心は、やがて信仰の内実へと繋がる大きな問いへと発展していく——仏教史に名を残す学派の祖師や学僧たちはどのような修行を行い、いかなる宗教的階位に到達したのか。原典資料を読み解き、誤った理解が蔓延する仏教の聖者観を問い直す。

ISBN978-4-653-04378-2 [19/5]

宮宅 潔著

ある地方官吏の生涯

木簡が語る中国古代人の日常生活

〔京大人文研東方学叢書9〕

■ 四六判・上製・256頁

3,300円(本体3,000円)

歴史書からは十分に伝わってこない古代人の姿と彼らの日常生活。簡牘に記された「喜」という人物の生涯を軸として、古代社会を構成した市井の人々の姿をいきいきと描き出す。出土資料から見えてくるのは、歴史書に記された傑出した人物ではない、従来知りようのなかった基層社会を生きた古代人の姿である。

ISBN978-4-653-04379-9 [21/7][22/6]

井波陵一著

『紅樓夢』の世界

きめこまやかな人間描写

〔京大人文研東方学叢書10〕

■ 四六判・上製・260頁

3,300円(本体3,000円)

18世紀口語小説の最高峰『紅樓夢』。無類の愛読者であり、『新訳 紅樓夢』(第66回読売文学賞研究・翻訳賞)の訳者でもある著者が、作中の様々なエピソードを取り上げながら、人間の関係性を根底的に描いた作品の魅力語りをつくす。王国維「紅樓夢評論」を始めとする様々な研究・解釈からみえてくる『紅樓夢』の存在意義とは。

ISBN978-4-653-04380-5 [20/4]

【京大人文研東方学叢書 第二期 全10巻】

稲葉 穰著

イスラームの東・中華の西

七～八世紀の中央アジアを巡って

〔京大人文研東方学叢書13〕

■ 四六判・上製・本文270頁・カラー口絵4頁

3,520円(本体3,200円)

玄奘の立出から慧超の旅を経て、悟空の帰京まで——その勢力を西へ拡大した唐と、東へ伸長したアラブ・ムスリム。最新の考古学、貨幣学、言語学史料の研究成果を手がかりに、7～8世紀中央アジアにおける東西ユーラシアの衝突・交流・融合の歴史を描き出す。舞台はバミールの西、境界を越えて旅した者達の足跡を追う！

ISBN978-4-653-04523-6 [22/3]

【高田時雄 編 映日叢書 全8種】

尾崎雄二郎筆録・高田時雄編

小川環樹 中國語學講義

〔映日叢書第1種〕

■ 菊判・上製・324頁

3,300円(本体3,000円)

かつて中国文学の大学者、小川環樹の講義を碩学となった弟子、尾崎雄二郎が筆録していた。講義の口吻もそのまま忠実に記した、臨場感あふれるそのノートを、二人の弟子、高田時雄が編集、公刊する。今も変わらぬ基本的な知識は極めて要領よく解説され、現在の進歩した学界においてなお、新たな研究アイデアやヒントが散りばめられている。 ISBN978-4-653-04034-7〔11/9〕〔15/10〕

高田時雄編／坂内千里・森賀一恵校字

尾崎雄二郎
中國語音韻史の研究・拾遺

〔映日叢書第2種〕

■ 菊判・上製・260頁

3,300円(本体3,000円)

本書は中国語学者・尾崎雄二郎の未刊行論文をまとめたものである。生涯の主題ともいえる中国語音韻史についての10論攷と、文献学に関する6論攷を収録する。尾崎雄二郎が確立した音韻史研究における歴史音声学という観点・手法と、その文献学的関心をあわせて知ることができる。現在の、そして未来の研究者に推奨する一冊。

ISBN978-4-653-04252-5〔15/10〕

高田時雄編

橋川時雄 民國期の學術界

〔映日叢書第3種〕

■ 菊判・上製・322頁

4,180円(本体3,800円)

かつて長く北京に住んだ橋川時雄(中国古典文学・古代文献学者1894～1982)による、戦前期の雑誌新聞への寄稿記事・未刊の報告書を中心に、新中国成立以前(中華民国時期)の学術や文化の実情についての記述を収録する。日本人橋川時雄の眼に映じ、心に触れた民国学術界の諸側面が率直に描写された好資料。

ISBN978-4-653-04253-2〔16/11〕

高田時雄編

石濱純太郎 續・東洋學の話

〔映日叢書第4種〕

■ 菊判・上製・328頁

4,400円(本体4,000円)

東洋の古語と西域出土の仏典・古文獻の研究者として活動した石濱純太郎(1888—1968)による、東洋学に関する遺文を収録する。国内外の学者とその論著についての回想・書評・紹介からは、石濱の該博な知識と当時の学会の趨勢がうかがえる。未公開資料として、ロシアの中国学者ワシーリー・アレクセーエフ宛書簡(ロシア科学アカデミー所蔵・日本語訳)を収録。

ISBN978-4-653-04254-9〔18/10〕

高田時雄編

石濱純太郎 たいこどくしょき
大壺讀書記

〔映日叢書第5種〕

■ 菊判・上製・234頁

5,500円(本体5,000円)

東洋の古語と西域出土の仏典・古文獻の研究者として活動した石濱純太郎(1888—1968、雅号：大壺)の讀書記を中心とした遺文集。加えて、文字学や漢文、漢学に関する雑文、大阪の漢学の伝統について語る断章など、主著には採られなかった未刊行・未発表の文章を収録。前巻『續・東洋學の話』に続き、石濱純太郎の業績と思いに迫る一冊。

ISBN978-4-653-04255-6〔23/4〕

東洋史・ユーラシア史・考古学

永塚憲治編 日本医史学会関西支部 第7回医譚賞受賞

養生思想Ⅱ 房中術

『素女妙論』

〔京大人文研科学史資料叢書10〕

■ 菊判・クロス装・306頁

14,300円(本体13,000円)

先秦道家思想を淵源とする長生術は、男女の房事にも延年益寿の秘訣を見出した。古代の房中書は『医心方』房内篇に収められているが、明代にも専著が登場する。戦国時代の名医、曲直瀬道三も珍重し、和語に抄訳して『黄素妙論』を著している。

ISBN978-4-653-04750-6 [23/7]

同編集委員会編

山田慶児著作集 全8巻

■ 菊判・クロス装・本文二段組平均400頁

予価各巻14,300円(本体13,000円)

東アジア科学の総体あるいは個別理論に対して個性的な研究を展開し、思想史的アプローチによって科学文明の本質を探り続けた山田慶児。単行本未収録の論文から未発表原稿まで、氏の学術的業績の全貌と魅力を明らかにする。主要著作は著者による補記・補注を加えそれぞれ定本とし、各巻に解題・月報を付す。

〈詳細は巻頭頁〉

ISBN978-4-653-04600-4 [21/4～]

同編集委員会編

藪内清著作集 全8巻

■ 菊判・クロス装・平均450頁

全8冊 113,300円(本体103,000円)

叡智を極めた科学史の碩学、その全容が明らかになる——科学史の諸領域にわたり独自の史観を打ち立て、独創的な研究を生み出すと共に科学史を一つの学問分野として確立した藪内清(京都大学名誉教授、1906-2000)。単行本未収録の論文、入手困難な著作を中心に多岐にわたる氏の業績を編む。各巻解題・月報付。

〈詳細は巻頭頁〉

ISBN978-4-653-04440-6 [17/12～23/11]

大形 徹・武田時昌・平岡隆二・高井たかね編

東アジア伝統医療文化の多角的考察

■ B5判・クロス装・424頁

14,300円(本体13,000円)

中国伝統医学は、早期治療、予防医学または長生術、養生法、美容術といった多方面の研究に取り組み、道教、仏教、術数学と相互連関することでユニークな文化複合体を形成した。本書では、文理横断的な視点において具体的様相を探り、東アジア世界に開花した医療文化の構造的把握に挑む。京大人文研拠点共同研究の成果論文集。

ISBN978-4-653-04576-2 [24/2]

武田時昌編

天と地の科学

東と西の出会い

■ B5判・クロス装・290頁

14,300円(本体13,000円)

本書は、2019年に極少数部数頒布された同タイトルの研究報告書(京都大学人文科学研究所、非売品)から和文篇を抜き出し、修正を加えて再版するものである。天文と地理を一對とする多角的・複眼的なアプローチに汎アジア的な見地を取り入れ、中国や日本に開花した伝統科学文化の構造的把握に挑む。14本の文理横断的論考を収録。

ISBN978-4-653-04508-3 [21/3]

武田時昌編

術数学の射程

東アジア世界の「知」の伝統

■ B5判・クロス装・242頁

13,200円(本体12,000円)

本書は、2014年に極少数部数頒布された同タイトルの研究報告書(京都大学人文科学研究所、非売品)に修正を加えて再版するものである。東アジア科学史研究に術数学的アプローチを提言した日韓国際会議の成果報告論文集。東アジア世界の「知」の伝統を再発見する試み。16本の分野横断的論考を収録。

ISBN978-4-653-04507-6 [21/3]

サリナ
薩日娜著

第38回桑原賞受賞

日中数学界の近代

西洋数学移入の様相

■ A5判・クロス表紙・カバー装・424頁
9,350円(本体8,500円)

日本と中国は長い交流の歴史をもち、相互に大きな影響をもたらしてきた。本書は、明治=清末における数学界に目を向け、西洋学術の移入という共通の課題に直面した両国を比較的に論じる。和算・中算といった伝統数学は如何なる近代化の道を歩んできたのか。数学史の観点から両国交流の歴史を再構築する。

ISBN978-4-653-04335-5 [16/12]

ホウサ
宝鎖著

清末中国の技術政策思想

西洋軍事技術の受容と変遷

■ A5判・並製・192頁
4,950円(本体4,500円)

本書は、第二次アヘン戦争後から日清戦争直前にかけての清国の軍事技術政策を、特に海防策(外国からの侵略に備えた沿海防衛策)の観点から論じるものである。内憂鎮圧か、外憂への対応か、様々な課題に直面した清国の当事者、李鴻章の活動に焦点をあて、西洋の技術・学問の受容過程とともに、技術政策・軍事技術の変遷をたどる。

ISBN978-4-653-04437-6 [19/12]

桑山正進著

ヒンドゥークシュ南北 歴史考古学叢攷 全4巻

■ B5判・クロス装・平均450頁
予価各巻16,500円(本体15,000円)

ヒンドゥークシュ山脈南北地方、そこは大文明の地ではない。しかし、ここを押さえる政治勢力は、中央アジアばかりか東アジアまで及び、歴史の経過は大きく影響を被った。この地域は、アジアの歴史の鍵鎖である——考古学調査と文献精読の成果(すべて未単行の論考)を結集し、全4巻に編む。

(詳細は巻頭頁)

ISBN978-4-653-04590-8 [22/8~]

高田時雄解説

銅版画複製 乾隆得勝圖 全7種80枚

■ 645×504mm・全80枚・付別冊解説・函映入

へいでいさいきせんず
平定西域戦圖 全18枚 品切

たいわんせんず
平定臺灣戦圖 全12枚 品切

あんなんせんず
平定安南戦圖 全6枚 } 132,000円(残部僅少)

ちゆうびょうせんず
平定犏苗戦圖 全4枚

清朝の文化・軍事の絶頂期を統治した乾隆が、中央アジア征服を自祝するために制作し王侯や功臣に下賜した稀少な戦図群(西域・両金川・安南・台湾・苗疆・犏苗・廓爾喀)を、ロシア科学アカデミー-東洋写本研究所等の蔵品により原寸大にて複製刊行する。東西文化交流史上まれに見る珍品として世に名高い銅版画80枚。

ISBN978-4-653-04070-5 [09/7~12/10]

りょうきんせんたくしやうず
平定両金川得勝圖 全16枚 176,000円(残部僅少)

びょうきょうせんず
平定苗疆戦圖 全16枚 176,000円

くわくかよくしやうず
平定廓爾喀得勝圖 全8枚 110,000円

林巳奈夫著・岡村秀典編

中国古代車馬研究

■ 菊判・上製・764頁
19,800円(本体18,000円)

本書は、林巳奈夫(京大名誉教授、1925-2006)が晩年に取組んだ未刊の論集計画を忠実に引き継ぎ、新たに解題を附して刊行するものである。文字資料の解説と考古遺物・図像類の考証から、中国古代の国家、社会制度、文化事象の詳悉な析出を試みる。

編集・解題は岡村秀典。

ISBN978-4-653-04367-6 [18/10]

岡村秀典著

東アジア古代の車社会史

■ 菊判・クロス表紙・カバー装・468頁
13,200円(本体12,000円)

先史時代から魏晋南北朝時代まで、社会の発展に車はどのように寄与してきたのか。林巳奈夫『中国古代車馬研究』(2018)収録の原論文から半世紀、陸続と発表されてきた考古学調査と研究成果を集大成する。一国史の議論に閉ざされている古代日本の半車にも目を向けた意欲作。

ISBN978-4-653-04513-7 [21/7]

諫早直人・向井佑介編

馬・車馬・騎馬の考古学

東方ユーラシアの馬文化

■ 四六判・上製・312頁

3,520円(本体3,200円)

向井佑介著

中国初期仏塔の研究

■ B5判・クロス表紙・カバー装・本文316頁・カラー口絵8頁

9,350円(本体8,500円)

吉川忠夫・麥谷邦夫編

眞 誥 上・下

■ A5判・クロス表紙・カバー装・上巻608頁・下巻560頁(分売可)

各巻8,140円(本体7,400円)

京都大学人文科学研究所編

中國宗教文獻研究

■ B5判・クロス装・496頁

12,100円(本体11,000円)

仲村康太郎・成田健太郎校訂・訳注

毘沙門堂蔵 篆隸文体

■ 菊判・クロス装・256頁(うちカラー影印56頁)

9,900円(本体9,000円)

木津祐子編

京都大学文学研究科蔵

琉球写本『人中畫』四巻付『百姓』

■ A5判・上製・本文800頁・カラー口絵4頁・付解説

10,780円(本体9,800円)

大岩本幸次著

皇極經世解起數訣「聲音韻譜」校異記

■ B5判・並製・186頁

7,648円(本体6,953円)
(残部僅少)

最新の考古学研究と理化学的分析の成果のもと、馬の家畜化から車輛の導入、そして騎馬遊牧まで、馬と人とは歩んできた長い歴史を解きあかす。人類社会における馬の役割とその重要性とは——。馬を鍵として、ユーラシア諸地域の歴史・文化を横につないで理解するための新たな視座を提供する。

ISBN978-4-653-04539-7 [23/3]

塔はなぜ高くなったのか、双塔の伽藍はなぜ誕生したのか——日本考古学・古代史の分野において未解決の問題に解答を示しながら、インド起源の仏塔がいかに中国で受容され、朝鮮半島から日本へと伝播したかを解き明かす。考古資料、文献史料、画像資料の総合分析からみえてくる東アジアの寺院建築・伽藍配置がもつ本質的な意味とは。

ISBN978-4-653-04439-0 [20/3]

『眞誥研究(譯注篇)』(京都大学人文科学研究所、2000) 待望の再版。閲覧の便の向上を図るため、旧版の判型を改め上下冊とし、下巻末にはあらたに解説および訳文中の語句索引(旧版の注釈索引から変更)を付す。

ISBN978-4-653-04620-2(セット)[21/9]

「中国宗教文獻研究國際シンポジウム」(2004)において発表された論文のうち21篇を若干の改訂を加えて出版(英文・中文は和訳にて掲載)。仏教・道教・景教・マニ教・イスラム教、各分野における国内外第一線の研究者が精緻な文献学的研究に基づき中国宗教の世界を解き明かす珠玉の論文集。巻末に索引を付す。

ISBN978-4-653-03933-4 [07/2]

中国南齊・蕭子良撰『篆隸文体』。多数の意匠化された裝飾文字を記録したいわば書体の見本帳であり、その独自性において重要な価値を有する。中国では伝存せず、京都山科の毘沙門堂蔵写本(国指定重要文化財)が唯一の伝本とされる。本書では、写本全紙の影印をフルカラーで掲載し、翻刻、訳注を附す。

ISBN978-4-653-04566-3 [24/2]

琉球の久米村通事が官話学習教材として用いた琉球写本『人中畫』および『百姓』を、京都大学文学研究科蔵本により影印・翻刻し、解説を付して刊行する。現在では失われた原刊本の面目を伝える大きな資料的価値を有するとともに、両書の成立背景を探るうえで多くの手がかりを示す極めて良質の伝本である。

ISBN978-4-653-04027-9 [13/4]

本書は、言語史研究資料である「聲音韻譜」(古代中国語の音節総表、いわゆる「韻図」の一種で、当時の実際の言語音をかなり反映している重要な資料とされる。)の内容を、研究資料として活用しやすしい形式に整理しなおし、あわせて現存する各種テキストの特徴や、該書の編纂された当時の言語状況に言及する校勘記を付したものである。

ISBN978-4-653-04108-5 [11/2]

徳永宗雄編

ブリハッド・デーヴァター

THE BRHADDEVATĀ

■ B5判・クロス装・456頁

15,730円(本体14,300円)

カナダ編/チャンドラーナダ註/宮元啓一訳註

ヴァイシェーシカ・スートラ

—古代インドの分析主義的実在論哲学—

■ 四六判・上製・264頁

2,860円(本体2,600円)

吉田 豊著

好評2刷

ソグド語文法講義

■ A5判・クロス装・508頁

19,800円(本体18,000円)

Yutaka YOSHIDA (吉田 豊)著

Three Manichaean Sogdian letters unearthed in Bāzāklik, Turfan

ベゼクリク千仏洞出土のマニ教ソグド語手紙文研究

■ A4判・クロス表紙・カバー装・本文280頁・口絵14頁

10,450円(本体9,500円)

吉田 豊・古川攝一編

中国江南マニ教絵画研究

—Studies of the Chinese Manichaean paintings of South Chinese origin preserved in Japan—

■ A4判・上製・本文322頁・カラー口絵20頁

19,800円(本体18,000円)

近本謙介・影山悦子編

玄奘三蔵がつなぐ中央アジアと日本

■ A5判・上製・376頁

5,940円(本体5,400円)

岩尾一史・池田 巧編

チベットの歴史と社会 (全2冊)

■ A5判・上製・上巻360頁・下巻430頁・カラー口絵各4頁

上巻・下巻 品 切

インド最古の文献『リグヴェーダ』は神話・伝説の宝庫でもあるが、断片的なかたちで語られ、全容を把握し難いものも少なくない。『ブリハッド・デーヴァター』はそのような点を補うために編纂された書で、本書は編者がインドで発見した写本をもとにマクドネル版を根本的に改訂、ヴェーダ研究史上稀に見る成果といえる。(英文・梵文)

ISBN978-4-653-03481-0 [98/1]

古代インド哲学ヴァイシェーシカ学派の根本教典『ヴァイシェーシカ・スートラ』を、現存最古の註釈書を元読み解く。全体の構成がわかりにくく難解とされてきた本経典を、最古の註釈書、チャンドラーナダの解釈によって、スートラの全編を理解しようと試みる。随所に訳者註釈を加えた初めてのインド実在論哲学書現代語訳註。

ISBN978-4-653-04037-8 [09/7]

ソグド語研究の第一人者と知られる著者が、長年教壇で使用した教材の内容を書籍化。導入編「ソグド人とソグド語およびソグド語研究の工具書について」、本編「ソグド語文法」(第1～23課および各課の練習問題)、読本編(マニ教ソグド語のテキスト)、付録編などによって構成する。巻末には語彙表、ならびにソグド語の文法表を付載。

ISBN978-4-653-04188-7 [22/7][24/3]

1981年に中華人民共和国ウイグル自治区のトルファン市の北東に位置するベゼクリク千仏洞の遺跡から発見され、世界的に注目を集めながら本格的な紹介がこれまでなされなかったマニ教ソグド語文書3点をめぐって、そのテキスト・翻訳・註釈・語彙を提出し、その歴史的背景及びソグド語手紙文の書式一般を論じる。(英文)

ISBN978-4-653-04119-1 [19/1]

2007年以降、日本国内で相次いで中国江南制作のマニ教絵画の現存が確認され話題となった。本書では、マニ教の宇宙観の全体像を表わす「宇宙図」ほか、国内の貴重なマニ教絵画全8点の精細なカラー図版と、内外の研究者による最新の研究成果を一書にまとめる。発見当時の興奮と謎の解明への期待に満ちた、マニ教研究必備の資料!

ISBN978-4-653-04117-7 [15/3]

玄奘の足跡と記憶を追う——名古屋大学「文化遺産と交流史のアジア共創研究ユニット」による国際ワークショップの成果を書籍化! 玄奘が旅した中央アジアに関する論考から、旅行記や伝記が伝える玄奘の信仰、帰国後に行った訳経の影響、後の時代のトルファン、敦煌、日本に残された玄奘の記憶まで。玄奘が残した遺産を幅広く解説する。

ISBN978-4-653-04559-5 [23/12]

歴史学、宗教学、言語学、人類学など各分野の専門家が集結し、最近のチベット研究の成果をふんだんに盛り込んだ、日本のチベット学の現在を知るための書。本書は既に存在する解説書とは一線を画し、平易な概説と専門的な論文との間の架け橋となる。上巻には歴史篇・宗教篇を収録する。下巻には社会篇・言語篇と、文献案内および参考資料(チベット地域図・地名データ集、チベット文字のローマ字転写と発音表記)を収録する。

ISBN978-4-653-04560-1 (セット)[21/3][21/5]

ハンビッツ文化財団蔵／田中公明編

チベット仏教絵画集成 一タンカの芸術一

ART OF THANGKA from Hahn Kwang-ho Collection

- B4判変型(320×260mm)・クロス装・平均240頁(カラー図各100点)豪華貼函入
 第1～3巻 各14,300円(本体13,000円)
 第4～7巻 各16,500円(本体15,000円)
 全巻完結 全7巻揃108,900円(本体99,000円)

A.グリュンヴェーデル編

シナ・トルキスタンの古代仏教礼拝所

Grünwedel, Albert; ALTBUDDHISTISCHE KULTSTÄTTEN IN CHINESISCH-TURKISTAN

- B4判変型(337×257mm)・背つきクロス装・380頁・モノクロ挿図678点・カラー図版1頁・付冊冊和解説・クラフトカバー・函入(独文)
 38,500円(本体35,000円)
 〈残部僅少〉

斎藤 忠編

日本古墳文化資料綜覧

- B5判・クロス装・456頁
 13,200円(本体12,000円)
 〈残部僅少〉

韓国ハンビッツ文化財団の所蔵するタンカ(軸装のチベット仏教絵画)のなかから特に優れた作品、歴史的・図像学的に貴重な作品を厳選し、すべてカラーで複製、それぞれに和文および英文の解説を付す。広範なコレクションを主題別に分類した、この分野初の専門的図録である。

〈日本語版総発売元〉ISBN978-4-653-03515-2,03639-5-03732-3,03800-9,03960-0,-04124-5,-04127-6 [98/9～15/7]

1905～07年、ドイツ中央アジア探検隊を率いクチャ、カラシャール、トルファンを探検したA.グリュンヴェーデルがその調査成果を纏めた貴重な報告書。編者自身による地形図、洞窟プラン、壁画図像等の微細なスケッチが豊富に取められ独特の魅力を持つ。仏教文化、東西文化交流の分野における第一級資料の原寸完全複製版。

ISBN978-4-653-03490-2 [98/3]

明治初年より昭和26年までの日本古墳文化の資料を究明に整理したもので、「文献目録」「主要遺跡地名表」「主要遺物件名表」の3部から成る。昭和28年の初版発行時以後、変更のあった市町村名には現行の地名と対比しつつ改名されたものを記入し、またすべてに亘って初版での誤謬が訂正されている。

ISBN978-4-653-00783-8 [82/12]

斎藤 忠編

続日本古墳文化資料綜覧

- I 文献篇
 ■ B5判・クロス装・本文390頁・著者索引45頁・主要定期刊行物一覧
 15,400円(本体14,000円)
 〈残部僅少〉

前記の続篇(I)として昭和30年～同55年に至る「文献篇」を収録。特に30年以降、急激に増加した膨大な資料は、1万件にのぼるが、これらを一般・各種遺跡・各種遺物に分け、更に項目別・年次順・地方別に整理する。著者のライフワークの結晶ともいえる書で、研究史の資料また基本資料として有益。

ISBN978-4-653-01040-1 [85/2]

斎藤 忠編

続日本古墳文化資料綜覧

- II 遺跡篇
 ■ B5判・クロス装・332頁
 14,300円(本体13,000円)

昭和30年頃を契機として、考古学は著しく発達し、また各地で開発事業に伴う調査も増加の一途をたどっている。これらを全国的に目配りするのは、専門学者にも年々困難なこととなっている。本書は、このような課題に応えるものとして、まことに重宝な基礎的かつ不可欠の資料。上記文献篇所収の古墳・横穴等を中心に収録。

ISBN978-4-653-01720-2 [88/4]

檀原考古学研究所附属博物館編

賀 易 陶 磁

一奈良・平安の中国陶磁一

- A4判・本文344頁・図版204頁(カラー刷30頁・2色刷7頁)豪華装・貼函入
 51,262円(本体46,602円)

特別展「奈良・平安の中国陶磁—西日本の出土品を中心として—」をもとに、7～12世紀に中国から外国にもたらされた中国陶磁を対象として、内外の秀逸な論説をまとめるとともに、1000点余に及ぶ図版や数々の遺物実測図、最新資料を集大成し、詳細な年表を付した第一級の資料・論叢集。陶磁器・東洋美術・考古学等の研究に必備の一書。

ISBN978-4-653-02563-4 [93/6]

勝部明生著

海獣葡萄鏡の研究

- B5判・背つきクロス装・308頁(カラー口絵4頁・図版230点)
 21,340円(本体19,400円)
 〈残部僅少〉

海獣葡萄鏡とは中国唐代に盛行した鏡。白銅製で肉厚の鏡胎、背面紋様に葡萄唐草を一面に敷き、回転する唐草の間に主紋の狻猊と様々な禽獣を布置している。本書は日本及び中国の出土品、伝来品を約300点収録した初めての体系的な研究書であり、唐文化の様相はもとより古代日本の文化、更には両国の交流関係の研究に重要な資料である。

ISBN978-4-653-03196-3 [96/4]

中塚 武監修

気候変動から読みなおす日本史 全6巻

■ A5判・上製・平均300頁

全6冊 各巻3,960円(本体3,600円)
(第5巻 残部僅少/第2巻 品切)

古気候学・歴史学・考古学が連携し、気候変動から日本史を読みなおす。第1巻「新しい気候観と日本史の新たな可能性」、第2巻「古気候の復元と年代論の構築」、第3巻「先史・古代の気候と社会変化」、第4巻「気候変動と中世社会」、第5巻「気候変動から近世をみなおす—数量・システム・技術」、第6巻「近世の列島を俯瞰する—南から北へ」の全6巻。

ISBN978-4-653-04500-7 [20/6 ~ 22/6]

中條利一郎・酒井英男・石田 肇編

考古学を科学する

■ A5判・上製・292頁

2,200円(本体2,000円)

文献資料だけでは見えてこない「歴史」に迫る方法とは？ 主に中世の遺物に対して有効な、地磁気・ボーリング調査・DNA分析などの科学的的手法を解説し、その調査実例として鎌倉でのフィールドワークなどを紹介する意欲的な共著本。考古学を専門とする学生・研究者はもちろん、中世史・考古学愛好者ならば必読の一冊！

ISBN978-4-653-04048-4 [11/9]

佐藤洋一郎編

日本のイネ品種考

木簡からDNAまで

■ A5判・上製・本文264頁・口絵2頁

4,950円(本体4,500円)

イネの化石分析から、「ブランド米」の出現まで。イネの品種の栄枯盛衰はどのように繰り返されてきたのか。そのことは私たちの文化・社会にいかなる影響を及ぼしたのか——考古学、自然科学、料理人それぞれの視点から、イネと米の来し方、行く末を展望する。

ISBN978-4-653-04414-7 [19/4]

堀川 徹・大江泰一郎・磯貝健一編

シャリーアとロシア帝国

近代中央ユーラシアの法と社会

■ A5判・上製・312頁

4,400円(本体4,000円)

ロシア革命当時、中央アジア社会がさしたる混乱もなく社会主義を受け入れたのはなぜだったのか——未整理のまま眠っていたさまざまな未公開資料から、中央ユーラシアを舞台にシャリーア(イスラーム法)とロシア帝国の間で交わされた「対話」の実相に迫る。歴史学、法学の視座からまとめられた論文集。巻末に索引を付す。

ISBN978-4-653-04222-8 [14/3]

地球研ライブラリー⑦

佐藤洋一郎監修/鞍田 崇・木村栄美編

ユーラシア農耕史 全5巻

■ 四六判・上製・平均280頁

全5冊 15,620円(本体14,200円)

モンスーン・砂漠地帯で栽培されてきたイネ・ムギ・ウリ等の栽培作物とそこに生きる人々の農耕文化はどのように変遷してきたのか。ユーラシアにおけるここ一万年におよぶ農業という人の営みと環境の変化の関係を解き明かし、農耕のあるべき未来を探る。

ISBN978-4-653-04040-8 [09/1 ~ 10/1]

第1巻	モンスーン農耕圏の人びとと植物	3,080円(本体2,800円)
第2巻	日本人と米	3,080円(本体2,800円)
第3巻	砂漠・牧場の農耕と風土	3,080円(本体2,800円)
第4巻	さまざまな栽培植物と農耕文化	3,300円(本体3,000円)
第5巻	農耕の変遷と環境問題	3,080円(本体2,800円)

窪田順平監修/奈良間千之・承 志・渡邊三津子編
応地利明著

中央ユーラシア環境史 全4巻

■ 四六判・上製・平均330頁

第1巻 環境変動と人間 第2巻 国境の出現
第3巻 激動の近現代 第4巻 生態・生業・民族の交響

各巻3,080円(本体2,800円)

環境はいかに人間を変え、人間はいかに環境を変えたか。オアシス農業・遊牧の時代から、ロシア(ソ連)・清(中国)の間にはさまれて展開する近現代まで——山岳氷河地域・砂漠・草原など多様な環境に生きてきた人々の知恵と、現在・未来の課題を、歴史地理・考古学・自然科学の知見によって明らかにする。

ISBN978-4-653-04190-0 [12/4 ~ 12/12]

岸上伸啓編

北太平洋の先住民文化

歴史・言語・社会

■ A5判・上製・288頁

4,620円(本体4,200円)

国立民族学博物館(みんぱく)共同研究の成果を書籍化! 日本・ロシア・アメリカ・カナダといった環北太平洋地域における先住諸民族の文化・社会の変化と現状を、考古学・言語学・文化人類学の最新の知見をもとに比較検討するとともに、現在の博物館展示・先住民表象のあり方について批判的に考究。この地域の将来を構想する。

ISBN978-4-653-04565-6 [24/3]

宮宅 潔編

暴力のありか

中国古代軍事史の多角的検討

■ A5判・上製・440頁

5,500円(本体5,000円)

暴力は中国史に何をもたらしたのか——人々が受け入れ、承認し、さらには規定する暴力—公認された暴力—、とりわけ戦争という巨大な暴力は、中国古代の政治・経済・思想・社会を定義する強制力としていかなる機能を有したのか。軍事史研究に「軍事文化」の視点をも盛り込み、暴力により変容する社会と人間の様相を明らかにする。

ISBN978-4-653-04567-0 [24/4]

佐川英治編

多元的中華世界の形成

東アジアの「古代末期」

■ A5判・クロス表紙・カバー装・360頁

5,830円(本体5,300円)

宗教・社会・文化が大きく揺れ動いた東アジアの3~8世紀を「漢文化の継承と変容の時代」としてとらえ、広く周辺世界とのかかわりから歴史の展開を再定義する。西洋史における「古代末期」(Late Antiquity)の議論を中国史に想定したとき、今日の中国史、東アジア史、東部ユーラシア史研究に何をもたらすのか。

ISBN978-4-653-04537-3 [23/2]

角谷常子編

古代東アジアの文字文化と社会

■ A5判・クロス表紙・カバー装・292頁

4,950円(本体4,500円)

文字はさまざまな媒体に記される。本書ではその中でも石を主たる対象と位置付け、地域や時代をこえた比較研究を試みる。なぜ文字を残すのか、記録媒体として石を選ぶ/選ばないことは何を意味するのか。古代社会において展開された文字文化を通して、当時の社会、人的結合関係を明らかにする。

ISBN978-4-653-04381-2 [19/4]

矢木 毅著

評伝 成牛溪

朝鮮の孔子廟と儒学者

■ 四六判・上製・210頁

3,300円(本体3,000円)

中央政界と距離を置き、在野の儒学者として礼の実践に努めた成渾(号は牛溪)。しかし、親しく交流した李珥や鄭澈らの政界進出をきっかけに、否応なく儒教社会の党争へと巻き込まれていく——成渾の生前・没後における毀誉褒貶の歴史をたどり、党争に明け暮れた儒教社会の特質を浮かび上がらせる。

ISBN978-4-653-04536-6 [22/7]

土井正樹著

古代アンデスにおけるワリ国家の形成

小集落からみた初期国家の出現過程

■ B5判・クロス表紙・カバー装・本文328頁・カラー口絵3頁

19,800円(本体18,000円)

南米アンデス地域に生まれた最初の帝国といわれる「ワリ」。その核となる国家はどのように出現したのであろうか。建築、土器、石器など発掘資料の精緻な分析から、小集落に暮らす一般の人々と国家形成との長期にわたる関わりを明らかにし、社会的リーダーの役割のみを重視する国家形成論からの脱却をはかる。

ISBN978-4-653-04189-4 [22/2]

関 雄二編

アンデス文明

神殿から読み取る権力の世界

■ A5判・上製・本文480頁・カラー口絵4頁

8,690円(本体7,900円)

〈残部僅少〉

古代文化興亡の地、アンデス。その文明形成期における権力生成の過程を探求する。日本調査団独自の画期的な仮説として1998年に提示された「神殿更新」説の流れを汲みながら、このされた問題点や課題を克服するため、分野横断的に展開された最新の研究成果を発表する。本文図版・写真多数掲載、巻末に索引を付す。

ISBN978-4-653-04319-5 [17/3]

関 雄二監修／山本 睦・松本雄一編

アンデス文明ハンドブック

■ A5判・並製・392頁

3,740円(本体3,400円)

壮大な神殿の出現から、文化遺産をめぐる現在進行形の問題まで、アンデス考古学の最前線が、この一冊に凝縮。神殿はなぜ建設されたのか、国をつくった社会とつくりなかつた社会、考古学調査が現代社会におよぼすさまざまな影響など—アンデス文明の主要な時代とテーマを網羅し、その最新成果と研究の醍醐味を平明に解説する。

ISBN978-4-653-04519-9 [22/3]

河合洋尚・松本雄一・山本 睦編

景観で考える

人類学と考古学からのアプローチ

■ A5判・上製・280頁

4,400円(本体4,000円)

「景観」で何がわかるのか？ 現在の学術的な潮流のなかで、なぜ「景観」という概念が注目されているのか。人工と自然、人間と環境、物質と精神、可視性と不可視性といった二分法的な視点をこえて、人類学・考古学分野で新たな知見を生みつけている「景観」論の思考方法とその研究成果を横断的に紹介する。

ISBN978-4-653-04633-2 [23/12]

応地利明著

トンプクトゥ

交界都市の歴史と現在

■ B5判・クロス上製・紙カバー装・464頁

18,700円(本体17,000円)

14世紀～16世紀にかけて、地中海世界とブラック・アフリカとを結ぶ塩金交易をもとに「黄金郷」「イスラームの学林」として憧憬されつづけたトンプクトゥ。史資料と歴史研究の成果を踏まえて同交易の実態を探り、さらに近年の臨地調査をもとに、現在のトンプクトゥとそこに生きる人々の活動を実証的にかつ壮大なスケールで描き出す！

ISBN978-4-653-04314-0 [16/1]

多賀敏行著

「アラブの春」とは一体何であったのか

大使のチュニジア革命回顧録

■ 四六判・並製・242頁

2,090円(本体1,900円)
(残部僅少)

著者が大使として経験したチュニジア革命の全容を語る。激動の外交の現場、異国での危機状況に直面した当事者にしか語れない、臨場感にあふれた記録であり、歴史の一頁として、現代・未来の社会への警告として、残すべき貴重な体験の記録である。ケンブリッジ大学への留学体験の思い出と、後日談を語る回顧録を巻末に収録。

ISBN978-4-653-04369-0 [18/9]



【フィールドワーク選書 全20巻】

信田敏宏著

ドリアン王国探訪記

マレーシア先住民の生きる世界

〔フィールドワーク選書1〕

■ 四六判・並製・208頁

2,200円(本体2,000円)

現地の人々との関係で苦悩し一度は調査地の変更を迫られるなど挫折を経験した著者自身のエピソードを交えつつ、農業開発やイスラーム化といった村の直面している問題と、そのなかで伝統的な人のつながりや儀礼を大切にしながらいきいきと暮らす人々のすがたを、豊富な写真とともにわかりやすく紹介する。

ISBN978-4-653-04231-0 [13/11]

平井京之介著

微笑みの国の工場

タイで働くということ

〔フィールドワーク選書2〕

■ 四六判・並製・224頁

2,200円(本体2,000円)

タイの農村出身の女性たちは、近代的な工場労働にどのように適応し、その結果彼女たちの価値観はどのように変わったのか、あるいは変わっていないのか。逆に日系企業は現地の人々を雇用するなかで、どのように自己の会社文化を守り、または変えていったのか。タイ人・日本人双方の利害のあいだで、「働く」ということについて考える。

ISBN978-4-653-04232-7 [13/11]

岸上伸啓著

クジラとともに生きる

アラスカ先住民の現在

〔フィールドワーク選書3〕

■ 四六判・並製・200頁

2,200円(本体2,000円)

クジラを中心とする文化・社会を継承する先住民イヌピアット。多くは他の仕事を生業とする彼らが、いまなお捕鯨をその精神的な支柱とするのはなぜか。捕鯨の準備から狩猟・解体の現場、取獲祭・感謝祭などの祭事に密着し、村びとと対話を重ねるなかで明らかになった、捕鯨文化の実態を紹介する。

ISBN978-4-653-04233-4 [14/5]

印東道子著

南太平洋のサンゴ島を掘る

女性考古学者の謎解き

〔フィールドワーク選書4〕

■ 四六判・並製・224頁

2,200円(本体2,000円)

サンゴ島の人びとと発掘する欲びを分かち合うなかで、明らかにすることができた島の意外な歴史とは？ 現代文明との接触のなかでいまなお守られる島の豊かな衣食住のありかたと、考古学におけるフィールドワークの醍醐味を豊富な図版とともに紹介する。

ISBN978-4-653-04234-1 [14/2]

池谷和信著 **第7回日本タイトルだけ大賞受賞**

人間にとってスイカとは何か

カラハリ狩猟民と考える

〔フィールドワーク選書5〕

■ 四六判・並製・208頁

品 切

スイカ鍋・スイカ石鹸など多様な用途にスイカを利用する社会とは？ 高畑勲監督に「別の惑星でみられるような暮らしだ」と言わしめた、驚くべき砂漠の民の生活文化の全貌を豊富な写真とともに紹介。野生スイカから栽培スイカへ、カラハリから日本へといったスイカのきた道に思いをはせる。

ISBN978-4-653-04235-8 [14/6]

関 雄二著

アンデスの文化遺産を活かす

考古学者と盗掘者の対話

〔フィールドワーク選書6〕

■ 四六判・並製・216頁

2,200円(本体2,000円)

遺跡をめぐる破壊と対立を乗り越えた先にあるものとは？ 不法占拠民、盗掘者、先住民たちなどとの対話を重ねるなかで、知りえた多様な価値観・歴史観を解説。第一線の考古学調査のかたわらで、文化遺産を継承する意味を考え、実践する考古学者の奮闘を描く。

ISBN978-4-653-04236-5 [14/2]

野林厚志著

タイワンイノシシを追う

民族学と考古学の出会い

[フィールドワーク選書7]

■ 四六判・並製・224頁

2,200円(本体2,000円)

どうやって遺跡はできるのか？人間の行動とその結果残されるものとの関係を検証し、考古学遺跡の解釈に寄与することを目的とするエスノアーケオロジー。台湾の原住民族社会でイノシシ狩猟に密着し、社会のあり方と狩猟の関係を明らかにするとともに、原住民族の人びとが置かれてきた現実についても率直な語り口で綴る。

ISBN978-4-653-04237-2 [14/11]

飯田 卓著

身をもって知る技法

マダガスカルへの漁師に学ぶ

[フィールドワーク選書8]

■ 四六判・並製・226頁

2,200円(本体2,000円)

一本の論文を頼りにして辿りついた先は、インド洋航路の結節点・マダガスカル。海の遊牧民「ヴェズ」の暮らしに身を置く中で、次第に浮かび上がる人と海との関係性とは。小さな漁村で出会った漁師とともに、フィールドワークのノウハウを身をもって学ぶ。

ISBN978-4-653-04238-9 [14/11]

小長谷有紀著

人類学者は草原に育つ

変貌するモンゴルとともに

[フィールドワーク選書9]

■ 四六判・並製・224頁

2,200円(本体2,000円)

一度は途絶えたモンゴルへの道。ときに壁にぶつかりながらも、現地の人々や研究者仲間とともにいきいきと草原をひた走る！情熱の限りを注ぎ込んだモンゴル調査の豊富なエピソードを交えながら、期せずして展開してきた数々の活動を紹介する。そこから見えてくるフィールドワークの可能性とは。初公開となるフィールドノートを収録。

ISBN978-4-653-04239-6 [14/5]

竹沢尚一郎著

西アフリカの王国を掘る

文化人類学から考古学へ

[フィールドワーク選書10]

■ 四六判・並製・208頁

2,200円(本体2,000円)

過去にいくつもの王国が生まれながら、文書史料に乏しく、未発掘の地が多く残るマリ。アフリカの過去を知りたい——その一念で専門外であった発掘に乗り出した著者は多くの新発見に恵まれることとなる。そしてついに、西アフリカ初となる王宮を発見する——！

ISBN978-4-653-04240-2 [14/8]

寺田吉孝著

音楽からインド社会を知る

弟子と調査者のはざま

[フィールドワーク選書11]

■ 四六判・並製・220頁

2,200円(本体2,000円)

アメリカで出会った南インドの古典音楽。美しい音色に導かれた先は、濃密な師弟関係をもとに継承される伝統音楽の現場だった。師に音楽の技を学び、調査者として研究を重ねる。弟子と調査者のはざまに揺れ動く心情をつづりながら、複雑なカースト社会に迫り、混沌とした南インドの音楽世界を描き出す。

ISBN978-4-653-04241-9 [16/2]

上羽陽子著

インド染織の現場

つくり手たちに学ぶ

[フィールドワーク選書12]

■ 四六判・並製・208頁

2,200円(本体2,000円)

牧畜を主な生業とするラバーリーの人びと。彼らの染織品に魅せられた著者は、実際に刺繍、糸紡ぎ、牧畜用具づくりなど現地の製作者に教えを乞い、様々な手工芸技術の習得に取り組みなかで、ものづくりとは何か？を模索する。自らの手を使い、つくることを通して異文化を知っていく過程を丁寧に綴った一冊。

ISBN978-4-653-04242-6 [15/2]

佐々木史郎著

シベリアで生命の暖かさを感じる

[フィールドワーク選書13]

■ 四六判・並製・236頁

2,200円(本体2,000円)

極寒の地で、人間の生存限界を生き抜く——厳しい寒さに惹かれてシベリアの大地を踏んだのは1991年の暮れ。ポスト社会主義下の政治経済情勢に翻弄されながらも、大自然とともに生き、過酷な環境に適応してきた人びとのすがたを活写する。暗い、寒い、恐ろしい——つけられた負のイメージを覆す、シベリアの本当の暖かさとは。

ISBN978-4-653-04243-3 [15/2]

杉本良男著

スリランカで運命論者になる

仏教とカーストが生きる島

〔フィールドワーク選書14〕

■ 四六判・並製・220頁

2,200円(本体2,000円)

奇蹟的な出会いを繰り返し、はからずも人類学者は運命論者となる——スリランカ、インドでの30年の実地調査で足を踏み入れたのは、権謀術教うずまくイデオロギーと政治の世界だった。社会の基礎をなすカースト制度を読み解きながら、南アジア地域を覆うナショナリズムの趨勢とその生活に迫る。

ISBN978-4-653-04244-0 [15/5]

西尾哲夫著

言葉から文化を読む

アラビアンナイトの言語世界

〔フィールドワーク選書15〕

■ 四六判・並製・212頁

2,200円(本体2,000円)

「アラブの春」に連なる昨今の中東事情とアラビア語をめぐる複雑な社会状況を評述しながら、アラブ文化、中東イスラーム世界の深部へと分け入り、人びとの世界観を明らかにする。言語学の理論では説明できない現象が次々とおこる現場で、言語学者は何を感じ、何を考えたのか。言語研究のフィールドワークが切り拓く壮大な研究世界。

ISBN978-4-653-04245-7 [15/8]

宇田川妙子著

城壁内からみるイタリア

ジェンダーを問い直す

〔フィールドワーク選書16〕

■ 四六判・並製・224頁

2,200円(本体2,000円)

中世より続く城壁に囲まれた丘の上の小さな町で、人びとの生活に巻き込まれながら出会う様々な出来事をきっかけに、家族、ジェンダー、ローカル・コミュニティなど多様なテーマに関心を広げ、絶えず自己を省みながら考えを深めていく。そもそも文化を、他者を「理解」するとは何なのか——多くの気づきをもたらされる一冊。

ISBN978-4-653-04246-4 [15/8]

朝倉敏夫著

コリアン社会の変貌と越境

〔フィールドワーク選書17〕

■ 四六判・並製・232頁

2,200円(本体2,000円)

ソウルオリンピックに始まる韓国都鄙の変貌と、故国を離れてなお遅く生きる人びとをとおして、韓国社会の実像をその内側と外側から描き出す。時に向けられる反日感情に戸惑いや葛藤を抱きながらも、食卓を囲み、仕事を共にすることで次第に村の成員として認められていく——調査地が第二の故郷となるまでの三十年間の軌跡を描く！

ISBN978-4-653-04247-1 [15/11]

韓 敏著

大地の民に学ぶ

激動する故郷、中国

〔フィールドワーク選書18〕

■ 四六判・並製・232頁

2,200円(本体2,000円)

1980年代、改革开放路線を歩み始めた中国で、ひとりの女子大学生は自社会に対する疑問を解明するため人類学を志す。農民の視点から語られる革命の実態と国家のシンボルである毛沢東への人びとの視線の変遷を切り口に、社会主義革命の意義を見つめ直す。国家が語る歴史とは異なる、中国激動の時代、そのもうひとつの姿を伝える！

ISBN978-4-653-04248-8 [15/11]

吉田憲司著

仮面の世界をさぐる

アフリカとミュージアムの往還

〔フィールドワーク選書19〕

■ 四六判・並製・256頁

2,200円(本体2,000円)

邪術が息づくザンビア・チェワの社会で葬送儀礼として営まれる仮面舞踊。その秘密結社に加入し、調査研究を進める一方で、文化を展示する博物館のあり方を見据える。人びとの生活のなかで育まれてきた仮面の魅力を伝えるとともに、人と人の関わりをなかで他者と自己を掴んでいくフィールドワークの意義を感じさせる一書。

ISBN978-4-653-04249-5 [16/2]

白川千尋著

南太平洋の伝統医療とむきあう

マリアア対策の現場から

〔フィールドワーク選書20〕

■ 四六判・並製・220頁

2,200円(本体2,000円)

南太平洋の島国ヴァヌアツ共和国。そこでは、現在も伝統医療が積極的に用いられ、近代医療と並存していた。人びとの間で今なお伝統医療が協賛に利用されているのはなぜなのか？青年海外協力隊員として当地でマリアア対策を行っていた著者は、自身が伝統医療の治療を経験したことをきっかけに、調査を開始する。

ISBN978-4-653-04250-1 [15/5]

文化人類学・文明論

梅棹忠夫編著

新装版 日本の未来へ

司馬遼太郎との対話

■ 四六判・上製・264頁

2,420円(本体2,200円)

民族問題から日本論・日本人論まで——現代の混沌を予期、洞視していた司馬・梅棹の対談集。2000年にNHK出版より初版が世に送り出され、知的にして洒落な二人の語りに多くの読者が魅了されながらも今日入手が困難となっていた名著を、梅棹忠夫生誕百年を迎え、ついに復刊。20世紀を代表する思索家の知の饗宴が、いま魅る！

ISBN978-4-653-04398-0 [20/3]

杉島敬志編

コミュニケーション的存在論の人類学

■ A5判・上製・360頁

4,400円(本体4,000円)

存在は単独で存在するのではなく、コミュニケーションやゲームとともに立ち現れる——人類学理論の中心をなす「存在論」の議論を拡張し、現代人類学が進むべき未来を模索する。国立民族学博物館共同研究の成果を書籍化。

ISBN978-4-653-04387-4 [19/12]

片山一道著

ポリネシア海道記

不思議をめぐる人類学の旅

■ 四六判・上製・280頁

3,520円(本体3,200円)

ポリネシア人、彼らは何者なのか、どこから来たのか。そして、彼らはなぜ、どのようにモアイに代表される巨石文化を発展させたのか。自然人類学の泰斗がそのライフワークのエッセンスを詰め込んだ、地球の最果て、南太平洋・ポリネシアの小さな島々とそこに生きる人々の不思議な歴史を知るためのアンソロジー、「詩と真実」の記録。

ISBN978-4-653-04386-7 [19/7]

信田敏宏著

家族の人類学

マレーシア先住民の親族研究から助け合いの人類学へ

■ 四六判・上製・264頁

3,080円(本体2,800円)

マレーシアの「森の民」、オラン・アスリ。先住民である彼らが、その時々の権力や外圧に翻弄されながらも、家族・親族の強いつながりに支え合いながら生きのびてきた歴史を説き明かすとともに、NGOを介して外部世界との新たな関係の構築が試みられている現状を紹介。人類史的な視点で「助け合うこと」の過去と未来を考える。

ISBN978-4-653-04385-0 [19/7]

落合雪野・白川千尋編

ものづくりの植物誌

東南アジア大陸部から

■ A5判・上製・344頁

4,730円(本体4,300円)

国立民族学博物館共同研究の成果を書籍化。衣食住のあり様から信仰にいたるまで、人びとの生活や文化に深く根をはる植物たち。近代化が進む東南アジア大陸部において、植物と人との関係はどのような変容を遂げてきたのか。文化人類学、民族植物学などを専門とする17名の研究者が、豊富な写真とともに解説する。

ISBN978-4-653-04221-1 [14/5]

岸上伸啓編

北太平洋の先住民文化

歴史・言語・社会

■ A5判・上製・288頁

4,620円(本体4,200円)

国立民族学博物館(みんぱく)共同研究の成果を書籍化！日本・ロシア・アメリカ・カナダといった環北太平洋地域における先住諸民族の文化・社会の変化と現状を、考古学・言語学・文化人類学の最新の知見をもとに比較検討するとともに、現在の博物館展示・先住民表象のあり方について批判的に考究。この地域の将来を構想する。

ISBN978-4-653-04565-6 [24/3]

岸上伸啓編

捕鯨と反捕鯨のあいだに

世界の現場と政治・倫理的問題

■ A5判・上製・336頁

4,400円(本体4,000円)

捕鯨の何が問題なのか？ 先住民捕鯨の最前線から、反捕鯨運動まで。国立民族学博物館共同研究「捕鯨と環境倫理」の成果を書籍化。世界各地の捕鯨の現場や利用実態の報告、日本のIWC脱退を中心とした政治的問題の解説、反捕鯨運動・環境思想の視点からの考察など、さまざまな立場・専門の論者による寄稿16篇を収録する。

ISBN978-4-653-04389-8 [20/11]

川田牧人・白川千尋・関一敏編

呪者の肖像

■ A5判・上製・292頁

4,620円(本体4,200円)

呪者に焦点をあてた考察から「呪術とはなにか」という根源的な問いを探る。第I部「呪者に会う」で実際の呪者の人となり語り、第II部「呪術にせまる」で呪者のもつ〈わざ〉、呪術の具体像に迫り、第III部「呪者と呪術のあいだで」でこれまでの議論を総合・進展させ、終章「呪者の肖像のほうへ」で総括する。文化人類学必携の一冊。

ISBN978-4-653-04383-6 [19/2]

秋道智彌著

魚と人の文明論

■ A5判・上製・328頁

5,830円(本体5,300円)

魚と人のかかわりのなかで、われわれ地球の文明はどのような歩みをたどり、どこへ向かおうとしているのか。身近な食物資源であると同時に、博物学・芸術・信仰の対象としても扱われてきた魚の多面的な歴史を、豊富な図版・写真を用いて解説。学際的な見地から、魚・人・カミのかかわりを軸とした新たな文明像を提唱する。

ISBN978-4-653-04118-4 [17/11]

秋道智彌著

越境するコモンズ

資源共有の思想をまなぶ

■ A5判・上製・568頁

9,350円(本体8,500円)

東南アジア・オセアニアから富士山・三陸沿岸まで。地域を越えて、自然・文化の二元論を越えて——人類が築いてきた(あるいは失ってきた)共有のあり方とその変遷を、豊富な図表・写真とともに解説。震災後を視野にいられた新しい地球像・文明論を提言する。コモンズを通して地球史を見つめつづけてきた著者の最新成果にして集大成！

ISBN978-4-653-04116-0 [16/7]

韓敏著

記憶と象徴としての毛沢東

民衆のまなざしから

■ A5判・上製・344頁

4,400円(本体4,000円)

ナショナル・シンボルとしての毛沢東は、どのように一般社会に浸透し、民衆に受容されてきたのか。中華民国の孫文とベトナムのホーチミンと比較しながら、毛沢東の象徴的意味、個人崇拜の生成過程と持続するメカニズムを究明する。民衆の言説や生活実践からみえてくるのは、偉大なる指導者の集団的記憶とその時代的変化である。

ISBN978-4-653-04518-2 [22/3]

飯田卓編

文化遺産と生きる

■ A5判・上製・408頁

4,400円(本体4,000円)

建造物や遺跡といった旧来の文化遺産にとどまらず、芸能、祭事、または知識や慣習といった無形の遺産まで——世界各国の文化遺産の担い手にまなざしを向け、加熱する文化現象の舞台裏を描き出す。姉妹編「文明史のなかの文化遺産」とともに、文化遺産学にはじめて文化人類学的視点を導入した一書。国立民族学博物館(みんぱく)機関研究の成果を書籍化。

ISBN978-4-653-04361-4 [17/5]

飯田卓編

文明史のなかの文化遺産

■ A5判・上製・376頁

4,400円(本体4,000円)

建造物や遺跡といった旧来の文化遺産にとどまらず、芸能、祭事、または知識や慣習といった無形の遺産まで——世界各国の文化遺産の担い手にまなざしを向け、加熱する文化現象の舞台裏を描き出す。姉妹編「文化遺産と生きる」とともに、文化遺産学にはじめて文化人類学的視点を導入した一書。国立民族学博物館(みんぱく)機関研究の成果を書籍化。

ISBN978-4-653-04362-1 [17/5]

河合洋尚・松本雄一・山本 睦編

景観で考える

人類学と考古学からのアプローチ

■ A5判・上製・280頁

4,400円(本体4,000円)

「景観」で何がわかるのか？ 現在の学術的な潮流のなかで、なぜ「景観」という概念が注目されているのか。人工と自然、人間と環境、物質と精神、可視性と不可視性といった二分法的な視点をこえて、人類学・考古学の分野で新たな知見を生みつけている「景観」論の思考方法とその研究成果を横断的に紹介する。

ISBN978-4-653-04633-2 [23/12]

日高真吾編

継承される地域文化

災害復興から社会創発へ

■ A5判・上製・380頁

4,730円(本体4,300円)

民俗学の新たな地平をひらき、地域博物館の可能性を探る——「文化を未来へ継承することを目的として、保存と活用の両立を図る」という文化継承主義の立場から、平常時において埋没している地域文化を再発見し、日本各地の実践事例からその保存と活用のあり方を提示する。人間文化研究機構基幹研究プロジェクトの研究成果。

ISBN978-4-653-04509-0 [21/3]

是澤博昭・日高真吾編

子どもたちの文化史

玩具にみる日本の近代

■ A5判・上製・320頁

4,730円(本体4,300円)

大阪府から国立民族学博物館に寄贈された総数5万数千点に及ぶ膨大な資料群「時代玩具コレクション」。近代化とともに変容する玩具に映しだされた大人と子どもの対話を読み解き、子どもたちをめぐる当時の社会と、さらには文献資料にあらわれない近代日本の新たな社会像を浮かび上がらせる。国立民族学博物館共同研究の成果を書籍化。

ISBN978-4-653-04382-9 [19/3]

安井眞奈美／ローレンス・マルソー編

想像する身体

上巻一『身体イメージの変容』

下巻一『身体の未来へ』

■ A5判・上製・上巻336頁・下巻344頁・各巻カラー口絵2頁(分売可)

各4,730円(本体4,300円)

感染症、胎児観、中国医学、境界としての身体、セクシュアリティ、社会と身体、科学技術の発展——人文・社会科学と自然科学の叡智を結集した、国際日本文化研究センター共同研究「身体イメージの想像と展開—医療・美術・民間信仰の狭間で」の成果出版。既存の身体イメージを問い直し、次代を生きる身体の可能性を提示する。

ISBN978-4-653-04630-1 (セット) [22/12]

八木百合子著

アンデスの聖人信仰

人の移動が織りなす文化のダイナミズム

■ A5判・上製・224頁

3,960円(本体3,600円)

アンデスにおけるキリスト教信仰と、村落—都市間の人々の移動の意外な関係とは？ テロリズムの台頭をきっかけにした変動のさなかにあって都市と農村のあいだに生きる人々が力強く独自の信仰を発展させてきた実態と背景に迫る。この分野の第一人者である関雄二氏の「解説」を収録。現地の貴重な写真も多数掲載。

ISBN978-4-653-04251-8 [15/7]

応地利明著

トンブクトゥ

交界都市の歴史と現在

■ B5判・クロス上製・紙カバー装・464頁

18,700円(本体17,000円)

14世紀～16世紀にかけて、地中海世界とブラック・アフリカとを結ぶ塩金交易をもとに「黄金郷」「イスラームの学林」として憧憬されつづけたトンブクトゥ。史資料と歴史研究の成果を踏まえて同交易の実態を探り、さらに近年の臨地調査をもとに、現在のトンブクトゥとそこに生きる人々の活動を実証的にかつ壮大なスケールで描き出す！

ISBN978-4-653-04314-0 [16/1]

縄田浩志責任編集

アラブのなりわい生態系

第2巻 ナツメヤシ

第5巻 サンゴ礁

第3巻 マングローブ

第7巻 ジュゴン

第4巻 外来植物メスキート

*全10巻予定

■ 四六判・上製・平均280頁

各3,960円(本体3,600円)

総合地球環境学研究所プロジェクト「アラブ社会におけるなりわい生態系の研究—ポスト石油時代に向けて」の成果を書籍化！ 西アジア・北アフリカの乾燥地で人々の生産活動と自然との関わり(なりわい生態系)は、どのように展開してきたのか。豊富な図版写真とともに明らかにする。

ISBN978-4-653-04210-5 [13/12～]

社会・経済史・科学史

永塚憲治編 日本医史学会関西支部 第7回医譚賞受賞

養生思想Ⅱ 房中術

『素女妙論』

〔京大人文科学史資料叢書10〕

■ 菊判・クロス装・306頁

14,300円(本体13,000円)

先秦道家思想を淵源とする長生術は、男女の房事にも延年益寿の秘訣を見出した。古代の房中書は『医心方』房内篇に収められているが、明代にも専著が登場する。戦国時代の名医、曲直瀬道三も珍重し、和語に抄訳して『黄素妙論』を著している。

ISBN978-4-653-04750-6 [23/7]

同編集委員会編

山田慶児著作集 全8巻

■ 菊判・クロス装・本文二段組平均400頁

予価各巻14,300円(本体13,000円)

東アジア科学の総体あるいは個別理論に対して個性的な研究を展開し、思想史のアプローチによって科学文明の本質を探り続けた山田慶児。単行本未収録の論文から未発表原稿まで、氏の学術的業績の全貌と魅力を明らかにする。主要著作は著者による補記・補注を加えそれぞれ定本とし、各巻に解題・月報を付す。

ISBN978-4-653-04600-4 [21/4～]

同編集委員会編

藪内清著作集 全8巻

■ 菊判・クロス装・平均450頁

全8冊 113,300円(本体103,000円)

叡智を極めた科学史の碩学、その全容が明らかになる——科学史の諸領域にわたり独自の史観を打ち立て、独創的な研究を生み出すと共に科学史の一つの学問分野として確立した藪内清（京都大学名誉教授、1906-2000）。単行本未収録の論文、入手困難な著作を中心に多岐にわたる氏の業績を編む。各巻解題・月報付。

〔詳細は巻頭頁〕
ISBN978-4-653-04440-6 [17/12～23/11]

大形 徹・武田時昌・平岡隆二・高井たかね編

東アジア伝統医療文化の多角的考察

■ B5判・クロス装・424頁

14,300円(本体13,000円)

中国伝統医学は、早期治療、予防医学または長生術、養生法、美容術といった多方面の研究に取り組み、道教、仏教、術数学と相互連関することでユニークな文化複合体を形成した。本書では、文理横断的な視点において具体的様相を探り、東アジア世界に開花した医療文化の構造的把握に挑む。京大人文研究拠点共同研究の成果論文集。

ISBN978-4-653-04576-2 [24/2]

武田時昌編

天と地の科学

東と西の出会い

■ B5判・クロス装・290頁

14,300円(本体13,000円)

本書は、2019年に極少数数頒布された同タイトルの研究報告書（京都大学人文科学研究所、非売品）から和文篇を抜き出し、修正を加えて再版するものである。天文と地理を一对とする多角的・複眼的なアプローチに汎アジア的な見地を取り入れ、中国や日本に開花した伝統科学文化の構造的把握に挑む。14本の文理横断的論考を収録。

ISBN978-4-653-04508-3 [21/3]

武田時昌編

術数学の射程

東アジア世界の「知」の伝統

■ B5判・クロス装・242頁

13,200円(本体12,000円)

本書は、2014年に極少数数頒布された同タイトルの研究報告書（京都大学人文科学研究所、非売品）に修正を加えて再版するものである。東アジア科学史研究に術数学のアプローチを提言した日韓国際会議の成果報告論文集。東アジア世界の「知」の伝統を再発見する試み。16本の分野横断的論考を収録。

ISBN978-4-653-04507-6 [21/3]

サリナ
薩日娜著

第38回桑原賞受賞

日中数学界の近代

西洋数学移入の様相

■ A5判・クロス表紙・カバー装・424頁
9,350円(本体8,500円)

日本と中国は長い交流の歴史をもち、相互に大きな影響をもたらしてきた。本書は、明治=清末における数学界に目を向け、西洋学術の移入という共通の課題に直面した両国を比較的に論じる。和算・中算といった伝統数学は如何なる近代化の道を歩んできたのか。数学史の観点から両国交流の歴史を再構築する。

ISBN978-4-653-04335-5 [16/12]

ホウサ
宝鎖著

清末中国の技術政策思想

西洋軍事技術の受容と変遷

■ A5判・並製・192頁
4,950円(本体4,500円)

本書は、第二次アヘン戦争後から日清戦争直前にかけての清国の軍事技術政策を、特に海防策(外国からの侵略に備えた沿海防衛策)の観点から論じるものである。内憂鎮圧か、外憂への対応か、様々な課題に直面した清国の当事者、李鴻章の活動に焦点をあて、西洋の技術・学問の受容過程とともに、技術政策・軍事技術の変遷をたどる。

ISBN978-4-653-04437-6 [19/12]

光平有希著

「いやし」としての音楽

江戸期・明治期の日本音楽療法思想史

■ A5判・上製・292頁
6,380円(本体5,800円)

現在日本で行われている音楽療法がこれまで広く思われてきたような戦後アメリカを中心とした西洋諸国の音楽療法論の受容に端を発するものではなく、江戸期以前より蓄積されてきた思想的土壌の上に明治期西洋医学を受容し、独自性をもって発展してきたものであることを、緻密な調査により解明する。

ISBN978-4-653-04368-3 [18/9][19/8]

光平有希編著

ポップなジャポニカ、五線譜に舞う

19～20世紀初頭の西洋音楽で描かれた日本

■ A5判・上製・306頁
3,960円(本体3,600円)

国際日本文化研究センターに所蔵される日本を題材にしたシートミュージック(西洋で大衆向けに出版されたピアノや歌の小楽曲の楽譜)205点を対象に、19世紀初頭から音楽史・音楽産業史上の転換期と考えられる第一次世界大戦頃までの足跡を目錄風に辿る。音楽での描かれ方から当時の西洋人の「日本」像を明らかにする画期的試み。

ISBN978-4-653-04535-9 [22/3]

クレインス フレデリック著

江戸時代における機械論的身体観の受容

■ 菊判・クロス装・472頁・函入・モノクロ図版227点
13,200円(本体12,000円)

人間の身体は動く機械である——17・18世紀西洋医学思想の礎をなす機械論的身体観は、江戸時代の蘭学者、医学者たちにどのように理解されたのか。蘭方医学教科書『医範提綱』や船載蘭書『プールハーフェ箴言解』を取り上げ、ヨーロッパ原典との照合を軸とした文献学的分析により日本近代医学の黎明を説き明かす画期的論考。

ISBN978-4-653-03958-7 [06/2]

丸山健夫著

筆算をひろめた男

幕末明治の算数物語

■ 四六判・上製・254頁
2,640円(本体2,400円)

西洋数学の導入で活躍した福田理軒(1815～1889)は、時代の最先端を取り込みながら、研究から教育、出版までの総合ビジネスを展開した。激動の時代に生きた、学者であり教育者、そして経営者であった男の生涯を語りつつ、同時代の算数の例題を挙げ、そこから日本の社会の環境変化を追う。画期的視点による一冊。

ISBN978-4-653-04225-9 [15/3]

梅棹忠夫編著

新装版 日本の未来へ

司馬遼太郎との対話

■ 四六判・上製・264頁
2,420円(本体2,200円)

民族問題から日本論・日本人論まで——現代の混沌を予期、洞観していた司馬・梅棹の対談集。2000年にNHK出版より初版が世に送り出され、知的にして洒落た二人の語りにより多くの読者が魅了されたながらも今日入手が困難となっていた名著を、梅棹忠夫生誕百年を迎え、ついに復刊。20世紀を代表する思索家の知的饗宴が、いま甦る!

ISBN978-4-653-04398-0 [20/3]

牛村 圭編

文明と身体

■ 四六判・上製・296頁

3,960円(本体3,600円)

古代ローマから、第二次世界大戦まで。人類の歴史の流れで、人の自らの身体へのまなざしは如何なる変貌を遂げてきたのか。異文化異文明という他者どうしの出会いは、相互にどのような衝撃・変化を与えてきたのか。身体を一つの切り口にして、古今東西の事例に対して考察を加え、さらには近代日本の文明観を再検討する。

ISBN978-4-653-04397-3 [18/10]

ADAM FERGUSON著／天羽康夫編・解説

COLLECTION OF ESSAYS

■ A5判・382頁・付解説・人名索引

10,670円(本体9,700円)

「分業論」によってアダム・スミスにも影響を与えた英国の社会思想家、ファーガソン(1723～1816)の論文集。死後収集された一連の論文は、晩年に書かれた32篇から成り、最終論文集以降の思索の発展が見られる貴重なもの。本書は更に3篇を加え、編者による精密な注と解説、人名索引を付して全貌を明らかにする。(英文)

ISBN978-4-653-03168-0 [96/3]

中塚 武監修

気候変動から読みなおす日本史

全6巻

■ A5判・上製・平均300頁

全6冊 各巻3,960円(本体3,600円)
(第5巻 残部僅少／第2巻 品切)

古気候学・歴史学・考古学が連携し、気候変動から日本史を読みなおす。第1巻「新しい気候観と日本史の新たな可能性」、第2巻「古気候の復元と年代論の構築」、第3巻「先史・古代の気候と社会変化」、第4巻「気候変動と中世社会」、第5巻「気候変動から近世をみなおす—数量・システム・技術」、第6巻「近世の列島を俯瞰する—南から北へ」の全6巻。

ISBN978-4-653-04500-7 [20/6～22/6]

坪井秀人編

戦後日本を読みかえる

全6巻

■ 四六判・上製・平均270頁(分売可)

全6冊 各巻3,520円～4,180円
(本体3,200円～3,800円)
(第4巻 品切)

(戦後)は日本の内から外から、しかもそれぞれまったく違う力学のもとでその終末を迎えようとしているのかもしれない。しかし、このような現在だからこそ、(戦後)とはどのような時代だったのかを徹底的に検証し、考え直す時なのではないだろうか。人文学の知をここに集めて、臆することなく真っ向から(戦後)を読みかえることに挑んでみたい。—編者「序言」より (詳細は31頁)

ISBN978-4-653-04390-4 [18/6～19/3]

坪井秀人編

戦後日本の傷跡

■ A5判・上製・376頁

4,950円(本体4,500円)

傷跡——いまだ終わらない、完結しない過去、癒しがたく忘却することのできない経験が現在に息づく、現在進行形の語りによってしか語ることの出来ない、過去の時間と現在の時間が交錯する場所。戦争経験の傷跡を生き続けたアジアと日本の戦後社会を考察した24本の論考を収録。

ISBN978-4-653-04517-5 [22/2]

坪井秀人・瀧井一博・白石恵理・小田龍哉編

越境する歴史学と世界文学

■ A5判・上製・226頁

3,960円(本体3,600円)

移民、交易、翻訳、植民地文学、文化接触——新しい「世界」の捉え方を探求する、「国際日本研究」コンソーシアムの記録。旧来の西洋中心的な「アイデンティティ」観念は国民国家や冷戦構造の崩壊を受けて、どのように再編成されてゆくのか。テッサ・モリス・スズキによる特別寄稿のほか、歴史・文学研究の旗手たちによる論文等を収録。

ISBN978-4-653-04388-1 [20/3]

奥谷三穂・上杉和央編

くらしの景観

日本と中国の集落

■ A5判・上製・本文336頁・カラー図絵4頁

8,800円(本体8,000円)

現存する農村・漁村の伝統建築と集落景観、並びに生活文化の現状と課題について、建築、景観、環境、文化の各分野で活躍する日中の研究者や行政担当者、伝統村落再生プロジェクトのリーダーなどがそれぞれの現地で行った調査研究の成果。環境や暮らしに根ざした個々の集落の「らしさ」をいかに評価し、次世代に繋げていくかを考える。

ISBN978-4-653-04538-0 [22/3]

東昇著

京都の産物

献上・名物・土産

■ 四六判・並製・282頁

2,750円(本体2,500円)

京都(京都府全域)の各地域を軸に、近世・近代に特徴的な「献上・名物・土産」という枠組みから、京都各地の産物をめぐる歴史を語る。第Ⅰ部：献上で朝廷への鮎、宮内省への猪・鹿、将軍への鯛、藩主への鮎、第Ⅱ部：名物で天橋立の知恵の餅、京都の松茸、第Ⅲ部：土産で加佐郡の桐実、青谷の梅、宇治の喜撰糖について語る三部構成。

ISBN978-4-653-04564-9 [23/3]

籠谷直人・川村朋貴編

近代東南アジア社会 経済の国際的契機

■ A5判・上製・392頁

6,050円(本体5,500円)

18世紀から20世紀前半までの東南アジア・ジャワ島の社会経済に多様な側面からアプローチし、その形成と変容を総合的に分析する。蘭領東インド植民地の首都バタヴィアの、近代的植民都市への発展、華僑・華人ネットワークとの関係、国際経済上で果たした意義など、西欧とアジアを結ぶ貿易の中心地として栄えたその姿に多角的に迫る。

ISBN978-4-653-04718-6 [23/3]



美術史

えことば
絵詞研究会編

時雨物語絵巻の研究

■ A5判・クロス装・本文440頁・カラー口絵2頁
11,000円(本体10,000円)

本書は奈良絵本「しぐれ物語」の最古本とされる絵巻についての影印・釈文・現代語訳・諸本対照表／論文からなる研究書である。平安・鎌倉時代の王朝物語の流れをくみ、その形を色濃く残し、また珍しい表現技法で描かれた本絵巻を、文学・美学の両視点から多角的に分析・研究した、物語史・美術史研究に有益な一冊である。

ISBN978-4-653-04229-7 [16/7]

絵詞研究会編

中宮物語絵巻の研究

■ A5判・クロス装・本文218頁・全図版カラー口絵
5,060円(本体4,600円)

白描物語絵の系譜をひく室町初期の優品「中宮物語絵巻」(京都国立博物館保管)を美術・文学の両面から研究した成果。残念ながら物語の後半は失われているが、悲恋物語であると推論されている。影印・翻字・釈文・現代語訳と、解説として「中宮物語絵巻について」(若杉準治)他、5本の論説から多角的に孤本「中宮物語絵巻」にせまる好著。

ISBN978-4-653-03966-2 [06/5]

伊藤信博／クレール＝碧子・ブリッセ／増尾伸一郎編

『酒飯論絵巻』影印と研究

文化庁本・フランス国立図書館本とその周辺

■ B5判・上製・本文424頁・カラー影印18頁
15,400円(本体14,000円)

16世紀前半に、狩野元信らによって制作されたとされる『酒飯論絵巻』。ユーモラスな絵巻の全貌を、文化庁本・フランス国立図書館本のカラー影印18ページによって一挙紹介するとともに、日本・フランスを中心とした内外の研究者が、文学・思想、美術史、風俗史・歴史の視点から分析。その豊かに文化的な背景を詳しく解説する!

ISBN978-4-653-04115-3 [15/2]

伊藤信博著

植物・食物の表象文化学

■ B5判・上製・360頁
19,800円(本体18,000円)

供物としての食物が重視され神仏・物の怪が未分化であった古代から、外食産業や博物学が発展を見せる近世まで。各時代の中で、食物や食材または薬の原料となる植物は、どのように人間とかわり、その社会にどのような位置を占めていたのか。文学作品や宗教テキスト、絵画作品などの分析を通し、思想史および文化史的に追及する。

ISBN978-4-653-04128-3 [22/2]

狩野博幸著

荒ぶる京の絵師 曾我蕭白

■ 四六判・上製・本文216頁・口絵4頁
2,750円(本体2,500円)
<残部僅少>

京都国立博物館企画展『曾我蕭白―無頼という愉悦―』における関連講座の講義録。若くして頼るべき肉親を亡くし、たった一人画家として生きていくことを選んだ蕭白の悲哀と憤り、そして喜びを、豊富な作品紹介と文献考証を交え、ユーモアたっぷりに解き語る。新出含む39作品を収録。蕭白の新たな魅力に会える一冊。

ISBN978-4-653-03932-7 [07/1]

柘原 悟著

第13回徳川賞受賞

狩野探幽

御用絵師の肖像

■ A5判・上製・832頁
8,250円(本体7,500円)

17世紀画壇に多大な影響を与えながら、長く低い評価にさらされてきた狩野探幽(1602～1674)が、近年再評価されている。名家に早熟の天才として生まれ、当時に代表する御用絵師として、また一門のトップとして生きた探幽の画才のありよう、職業人としてのありよう、そして人間としてのありように、鋭く迫る。

ISBN978-4-653-04085-9 [14/6]

石上阿希・加茂瑞穂編

西川祐信『正徳ひな形』

— 影印・注釈・研究 —

■ B5判・上製・本文464頁・カラー口絵8頁

24,200円(本体22,000円)

菅野 陽著

江戸の銅版画〈新訂版〉

■ 四六判・上製・272頁・図版多数

2,640円(本体2,400円)

勝盛典子著

第23回國華賞受賞

近世異国趣味美術の
史的研究

■ B5判・上製・本文468頁・索引34頁・カラー図版90頁

18,700円(本体17,000円)

ブルーノ・J・リヒツフェルト/ウド・バイライス/日高薫責任編集
ヴェルツブルクシーボルト博物館/人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館編

異文化を伝えた人々Ⅲ

シーボルトの日本博物館

■ B5判・上製・本文146頁・カラー口絵16頁

品 切

人間文化研究機構/国立歴史民俗博物館

ライデン国立民族学博物館編

松井洋子/マティ・フォーラー責任編集

ライデン国立民族学博物館蔵

ブロムホフ蒐集目録

ブロムホフの見せたかった日本

Japan through the Eyes of Blomhoff: The Blomhoff
Collection at the National Museum of Ethnology, Leiden

■ B5判・上製・本文304頁・カラー口絵16頁

10,120円(本体9,200円)

(残部僅少)

ハンビッツ文化財団蔵/田中公明編

チベット仏教絵画集成 一タンカの芸術—

ART OF THANGKA from Hahn Kwang-ho Collection

■ B4判変型(320×260mm)・クロス装・平均240頁(カラー図各100点)豪華貼函入

第1〜3巻 各14,300円(本体13,000円)

第4〜7巻 各16,500円(本体15,000円)

全巻完結 全7巻揃108,900円(本体99,000円)

江戸時代における小袖のデザイン参考本として広く活用された雛形本。そのなかで、京の浮世絵師・西川祐信が手がけ、明治の世にまで大きな影響を与えながらも現存のきわめて少ない『正徳ひな形』を影印・翻刻・注釈編、論文編の二部構成によって詳説。底本は、株式会社千總および東京藝術大学附属図書館所蔵の善本を使用。

ISBN978-4-653-04469-7 [22/2]

ヨーロッパ銅版画の迫真性は日本に洋風画表現を生み出した。実用的な考えに左右されがちだった日本の銅版画に洋風画的構成を求め苦闘したのは、司馬江漢・亜欧堂田善、安田雷洲らをはじめとした江戸系の画家たちであった。実作者ならではの視点から創製期の銅版画家たちの業績に迫った労作を増補、人名・書名・作品名索引を付す。

ISBN978-4-653-03914-3 [03/3]

本書は日本で製作された異国趣味美術品をテーマに、舶載蘭書調査と顔料の科学的分析を主軸手法として、18-19世紀の美術史上における日欧文化交流の実態を明らかにする。海外美術の受容、その影響を受けた作品・輸出品について広汎な歴史的背景をおさえ、専門分野を横断する多様な作品群を網羅した、緻密かつ画期的な一冊。

ISBN978-4-653-04039-2 [11/3]

ドイツ人医師、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト(1796-1866)が収集した膨大かつ多様な日本資料についての、国立歴史民俗博物館・ミュンヘン五大陸博物館・ヴェルツブルク・シーボルト博物館などによるシーボルト蒐集資料に関する共同調査研究の成果。当時の日欧相互理解、博物館理論家・実践家としてのシーボルト像に迫る。

ISBN978-4-653-04557-1 [22/3]

ライデン国立民族学博物館に所蔵されるブロムホフ・コレクションは、1817-23年に出張オランダ商館長を務めたブロムホフが日本滞在中に蒐集した品々で、衣服・生活道具・工芸品など庶民の日用品を中心としたコレクションである。本書では、これらの蒐集品についてブロムホフが残した手稿目録を翻刻・翻訳。19世紀初頭に来日したオランダ人が、江戸時代の日本から何を持ち帰り、それをどのように位置付けたのか。当時の日本の物質文化の実態と異文化への眼差しを、蒐集者自身の語りから紐解く。付解説。

ISBN978-4-653-04126-9 [16/3]

韓国ハンビッツ文化財団の所蔵するタンカ(軸装のチベット仏教絵画)のなかから特に優れた作品、歴史的・図像学的に貴重な作品を厳選し、すべてカラーで複製、それぞれに和文および英文の解説を付す。広範なコレクションを主題別に分類した、この分野初の専門的図録である。(日本語版総発売元) ISBN978-4-653-03515-2,03639-5-03732-3,03800-9,03960-0,-04124-5,-04127-6 [98/9 ~ 15/7]

高田時雄解説

銅版画複製 乾隆得勝圖全7種80枚

■ 645×504mm・全80枚・付別冊解説・函映入

平定西域戦圖	全18枚	品切	
平定臺灣戦圖	全12枚	品切	
平定安南戦圖	全6枚	} 132,000円 (残部僅少)	
平定犏苗戦圖	全4枚		

清朝の文化・軍事の絶頂期を統治した乾隆が、中央アジア征服を自祝するために制作した王侯や功臣に下賜した稀少な戦図群(西域・両金川・安南・台湾・苗疆・犏苗・廓爾喀)を、ロシア科学アカデミー・東洋写本研究等所の蔵品により原寸大にて複製刊行する。東西文化交流史上まれに見る珍品として世に名高い銅版画80枚。

ISBN978-4-653-04070-5 (09/7～12/10)

平定兩金川得勝圖	全16枚	176,000円	(残部僅少)
平定苗疆戦圖	全16枚	176,000円	
平定廓爾喀得勝圖	全8枚	110,000円	

吉田豊・古川攝一編

中国江南マニ教絵画研究

—Studies of the Chinese Manichaean paintings of South Chinese origin preserved in Japan—

■ A4判・上製・本文322頁・カラー口絵20頁
19,800円(本体18,000円)

2007年以降、日本国内で相次いで中国江南制作のマニ教絵画の現存が確認され話題となった。本書では、マニ教の宇宙観の全体像を表わす「宇宙図」ほか、国内の貴重なマニ教絵画全8点の精細なカラー図版と、内外の研究者による最新の研究成果を一書にまとめる。発見当時の興奮と謎の解明への期待に満ちた、マニ教研究必備の資料!

ISBN978-4-653-04117-7 [15/3]

一水会編輯/島田康寛解説

復刻版 丹青

■ A4判変型・四方拵映入・総30頁
付別冊(解説・総目次・索引)
全5冊 59,400円(本体54,000円)

昭和13(1938)年から翌年にかけて発行された一水会による稀観雑誌『丹青』全5冊を、原装にて復刻。新たな洋画のあり方を模索した、有島生馬・石井柏亭・安井曾太郎・山下新太郎ら、日本洋画界を代表する画家らによるオリジナル版画やカラー口絵、美術評論、エッセイの他、印象派をはじめとする欧画家の口絵・手記も多数収録。

ISBN978-4-653-03989-1 (07/10)

独立美術協会編輯/島田康寛解説

復刻版 独立美術

■ B5判変型・総1,680頁・口絵多数
付別冊(解説・総目次・索引)
<合本クロス装>全3冊 88,000円(本体80,000円)
(原装復元映入)全15冊 94,600円(本体86,000円) (残部僅少)

独立美術協会が編集し、福沢一郎・三岸好太郎・里見勝蔵・野口弥太郎らを、各号一人ずつ特輯した昭和初期の美術機関誌。多数の図版の他、作家・美術論などを収録。当時の日本洋画界を知るうえで貴重資料となる本誌を、クロニック(月報)も含め、3冊に合本し復刻する。(原装復元映入)版(限定50部)も同時発売。

ISBN978-4-653-04005-7、04006-4 [08/2]

清水 勲編著

江戸戯画事典

■ A5判・上製・本文288頁・カラー口絵2頁
2,180円(本体3,800円)

葛飾北斎・歌川国芳・歌川広重・河鍋曉斎ら著名人から、無名絵師の手によるものまで、洒落と諷刺に富んだ総400点超の江戸時代の戯画作品を、鳥羽絵/狂画/草画といった当時の用語と、キャラクター/コマ表現/ナンセンス漫画といった現代の漫画用語で分類・解説する。江戸戯画の世界を漫画史の視点で読み解く、新たな試み。

ISBN978-4-653-04084-2 [12/8]

清水 勲編著

生誕150年記念出版

ビゴアの150年

—異色フランス人画家と日本—

■ A5判・上製・本文392頁・カラー口絵4頁
5,170円(本体4,700円)

明治15年から17年余り日本に滞在したフランス人画家ジョルジュ・フェルディナン・ピゴア(1860-1927)は、激動の時代にあった明治20年代の日本社会の姿を膨大な量の作品に残した。歴史教科書の諷刺画で有名なピゴアと日本との関わりを、150年にわたる年表と豊富な図版を交えて明らかにする、ピゴア資料の決定版!

ISBN978-4-653-04028-6 [11/9]

清水 勲編著

ビゴーを読む

—明治レアリスム版画200点の世界—

■ A5判・上製・本文368頁・カラー口絵2頁

4,950円(本体4,500円)

牧野圭一・上島 豊共著

視覚とマンガ表現

—科学とマンガのナベ(鍋?)ゲーシオン—

■ 四六判・上製・232頁

〈書籍版〉2,200円(本体2,000円)

〈電子書籍版〉配信中

津堅信之著

日本初の
アニメーション作家 北山清太郎

■ 四六判・上製・288頁

2,640円(本体2,400円)

清水 勲編著/鈴木理夫協力

戦後漫画の
トップランナー 横井福次郎

—手塚治虫もひれ伏した天才漫画家の軌跡—

■ 四六判・上製・本文244頁・カラー口絵1頁

2,970円(本体2,700円)

横田正夫著

アニメーションと
ライフサイクルの心理学

■ 四六判・上製・278頁

2,860円(本体2,600円)

伊藤公雄編

マンガのなかの〈他者〉

■ 四六判・上製・232頁

2,640円(本体2,400円)

表 智之・金澤 韻・村田麻里子共著

マンガとミュージアムが出会うとき

■ 四六判・上製・250頁

2,860円(本体2,600円)

諷刺画で知られるビゴーは創作版画でも優れた作品を残した。本書では、彼の来日前の作品から、日本滞在中に制作された刊行・未刊行を含む版画集の全点、帰国後の作品に至るまで、生涯で制作された版画のほぼ全点を図版・解説付で紹介。明治黎明期を生きた人々の姿を克明に描きだしたビゴー版画を、長年研究を続ける著者が読み解く。

ISBN978-4-653-04086-6 [14/4]

極端なデフォルメ表現で、感覚や欲望をダイレクトに表現するマンガ家の目には、モノがどのように見えているのだろうか? 色の見え方やヴァーチャルリアリティーの仕組み、錯覚、バラバラマンガが動いて見える現象など、人間の視覚にまつわる様々な不思議をマンガ家と物理学者がわかりやすく紐解く。「リアルな表現」の謎に迫る意欲作。

ISBN978-4-653-04012-5 [07/5]

大正6年、日本で最初にアニメーションを作った人物の一人・北山清太郎。教本も何もない中で、彼はどのようにしてアニメを完成させたか、また同時代の作家と比べ、圧倒的多数の作品を残したのはなぜか。本人の回想録や遺族・関係者の証言に基づいて考証する。北山の事跡を通じてアニメ大国日本の黎明期を照射した好著。

ISBN978-4-653-04020-0 [07/7]

戦後まもない頃「ふしぎな国のブッチャー」や「冒険ターザン」などの作品で日本人の心をとらえた横井福次郎。本格SF漫画を手がけ、手塚治虫に影響を与えるなど、漫画史上重要な足跡を残しながらも、天逝したため現代では顧みられることが少ない。本書では、多数の図版を交え、横井の魅力溢れる創造世界を探訪する。

ISBN978-4-653-04015-6 [08/1]

チェコの人形アニメ作家「イジー・トルンカ」、彼に師事した「川本喜八郎」、そしてテレビアニメ版「ゲゲゲの鬼太郎」を分析対象として取り上げ、「ライフサイクル」の概念を手がかりに、作り手の心の問題とアニメーション作品の相関を読み解いていく。心理学者の著者による、アニメーション研究の新たな試み。

ISBN978-4-653-04022-4 [08/3]

マンガは社会のさまざまな側面を映し出している。同時に、人々の意識やものの見方に深い影響を与えている。マンガに表れる〈他者〉イメージを、日・欧の研究者が比較文化・言語・ジェンダー論の視点から考察。マンガから「日本文化の特徴」やその「歴史的な変容」とをとらえることで、ビジュアル文化研究に新たな視座を投げかける。

ISBN978-4-653-04014-9 [08/10]

マンガミュージアムが設立され、博物館でマンガが展示されるなど、マンガが公共の場で紹介される機会が増えている。一方で、展示の現場では、マンガという大衆文化をミュージアムという公的な空間に置きなおすことによって様々な戸惑いが生じている。マンガとミュージアム、両者の特質について、三章にわたって考察する。

ISBN978-4-653-04017-0 [09/7]

横田正夫著

日韓アニメーションの心理分析

—出会い・交わり・閉じこもり—

■ 四六判・上製・280頁

2,970円(本体2,700円)

アニメーションに描かれる人間関係の3つの要素「出会い」「交わり」「閉じこもり」に着目し、日韓の作品を比較分析。韓国の作品と比べ、一見自閉の傾向を示す日本のアニメーションが、世界で受けているのはなぜか? 心理学の知見から「閉じこもり」の意味を問うとともに、日本人の心理的的特性を浮き彫りにする。

ISBN978-4-653-04023-1 [09/7]

川村邦光編

セクシュアリティの表象と身体

■ 四六判・上製・264頁

2,970円(本体2,700円)

近現代の大衆文化の中にみられる日本人のセクシュアリティとは? セクシュアルな表現を含んだ服飾・写真・人形・雑誌・演劇等を通じて、日本人が性や身体に寄せた関心と、それが時代の推移のなかで、どのように変容してきたかを考察。〈性〉をキーワードに時代・メディアを横断する、画期的なポピュラーカルチャー研究。

ISBN978-4-653-04019-4 [09/12]

塚田幸光著

シネマとジェンダー

—アメリカ映画の性と戦争—

■ 四六判・上製・274頁

3,080円(本体2,800円)

男らしくないカウボーイや過剰に体を鍛える男性、或いは戦闘的な女性や、逆に非常に〈女らしい〉女性—アメリカ映画の「性」の描きかたにはどのような意味があるのだろうか。「ジェンダー」「セクシュアリティ」という視座からアメリカ文化を考察するとともに、アメリカ文化の深層と映像表象との関係を追究する意欲作。

ISBN978-4-653-04060-6 [10/3][22/3]

吉村和真編著/清水 勲・内記稔夫・秋田孝宏著

好評5刷

マンガの教科書

—マンガの歴史がわかる60話—

■ 四六判・並製・224頁

2,200円(本体2,000円)

京都新聞連載コラム『マンガ50話』(06年3月～07年5月)に、新稿を加えて単行本化。今や現代人の生活に欠かせない文化であるマンガの歩みを、雑誌、新聞、貸本、TV等の、時代を映すメディアとのかかわりからわかりやすく紹介する。マンガ資料の保存・研究の重要性や、地方のマンガ文化にも触れられている、現代マンガのガイドブック。

ISBN978-4-653-04016-3 [08/7][23/10]

茨木正治編

マンガジャンル・スタディーズ

■ 四六判・並製・298頁

2,090円(本体1,900円)

〈残部僅少〉

日本マンガ学会カトウーン部会の研究成果を書籍化。歴史学・社会学・マスコミュニケーション論・テキスト分析等、人文・社会科学のあらゆる叡知を駆使し、カトウーン(1コマ漫画)等のコマ漫画とコミックの特質を具体的な作品を挙げながら横断的に考察。表面的な「マンガ史」では見えてこない、マンガというジャンルの奥深さに迫る。

ISBN978-4-653-04196-2 [13/4]

臨川選書

泉森 皎・伊藤勇輔著

遺物が語る **大和の古墳時代**

〔臨川選書 7〕

■ 四六判・並製・266頁

1,694円(本体1,540円)
〈残部僅少〉

藤ノ木古墳の冠・飾履などを含む大和地方の古墳から出土した遺物を、種類別122項目に亘って総覧する待望の書。遺物は更に用途によって埴輪、生活用具、服飾、武器・武具・馬具・葬送品に分類され、様々な角度から古墳時代の生活を浮き彫りにするとともに、付された重要遺物の写真は古代の美と雰囲気

ISBN978-4-653-02592-4 [93/12]

宇佐美 斉著

フランス詩 道しるべ

〔臨川選書 12〕

■ 四六判・並製・224頁・図版9点

2,310円(本体2,100円)

フランス詩についてのエッセイ集。第1部では広く詩歌の起源(呪術としてのうた)から説き起こし、韻文から散文への詩のことばの変遷を、シュルレアリスムの「イメージの詩学」に至るまで、比較文学的視点も交えて綴る。第2部は7人の詩人について原詩を豊富に引用しながら語り、前世紀前半から戦後に至るフランス詩の流れを辿る。

ISBN978-4-653-03307-3 [97/12]

小林文広著

明治維新と京都

—公家社会の解体—

〔臨川選書 14〕

■ 四六判・並製・230頁・図版多数

品 切

明治維新によって、千年以上続いた「都」としての地位から一転して「一都市」へと転落した京都は、旧来からのあらゆる特権の剥奪や身分集団の解体に直面する。本書は主に「公家社会」「官家士族」といった世界に焦点を当て、いわば無名の人物たちが、この時代いかに行動したかを通して、都市復興を目指した当時の京都の実像に迫る。

ISBN978-4-653-03497-1 [98/6] [16/10]

柏倉康夫訳・著

マラルメの「大鴉」

—エドガー・A・ポーの豪華詩集が生れるまで—

〔臨川選書 15〕

■ 四六判・並製・242頁・口絵2点

2,420円(本体2,200円)

エドガー・A・ポーに心酔し、その詩学から絶大な影響を受けたマラルメ。ポーの詩の仏訳出版という彼の長年の野心が初めて実現したのが、E.マネ画の豪華版『大鴉』の出版だった。19世紀フランスの豪華本出版史上にその名を残す版元R.レスクリードの未刊の書簡を基に、『大鴉』出版にまつわる興味深いエピソードが初めて明かされる。

ISBN978-4-653-03560-2 [98/10]

柏木隆雄著

イメージの狩人

—評伝ジュール・ルナール— 〔臨川選書 17〕

■ 四六判・並製・250頁

2,750円(本体2,500円)

日記や書簡からの引用をおりまぜて生涯を辿り、その時々を生み出された作品を取り上げ、時には原文を引いて文体の面白さを味わう。『にんじん』の冒頭章「にわとり」の持つ意味は?多くの友人を持つ現実と裏腹に友人との訣別を作中に記す心情とは?等、ルナール独特の人間性とその作品についての魅力溢れる指摘に満ちた新しい評伝。

ISBN978-4-653-03635-7 [99/4]

山崎達雄著

らくちゅう ちり すて ぼ いま むかし
洛中塵捨場今昔

〔臨川選書 19〕

■ 四六判・並製・220頁

2,750円(本体2,500円)
〈残部僅少〉

都市として有数の歴史を誇る京都では、すでに江戸時代からごみ処理が都市問題として浮上していた。京都のごみ問題に携わってきた著者が、江戸時代の塵捨場、明治維新とごみのリサイクル、近代的な焼却炉の建設など、ごみとその処理をめぐる人々の活動を綴る。新しい視点で解き明かす、知られざる京都の近現代史。

ISBN978-4-653-03548-0 [99/9]

所 功著

菅原道真の実像

〔臨川選書 20〕

■ 四六判・並製・244頁

〈書籍版〉品切 〈電子書籍版〉配信中

早くから「文道の祖・詩境の主」と敬われ、今なお「天神さま」と仰かれる菅原道真を、平安宮廷の代表的な文人官吏として実証的に描き出す。「天神信仰」対象としての「伝説」道真ではなく、歴史上でいかに生きた人物か、という視点から、その人物像を史料を基に解き明かす。参考資料として学説史・年表・系図を付す。

ISBN978-4-653-03757-6 [02/4]

松本 昭著

増補 日本のミイラ仏

〔臨川選書 21〕

■ 四六判・並製・300頁

〈書籍版〉品切 〈電子書籍版〉配信中

人間が肉身のまま仏になる即身仏——霊山・出羽三山に数多く残る即身仏の調査をもとに、日本のミイラ仏研究の足跡を記した貴重な書。即身成仏の真髓を語る秀快上人をはじめ、「捨身入定」を実行した待定法師の最新調査成果を盛り込みながら、神秘的ヴェールに包まれていたミイラ仏の謎に迫り、その思想的な背景を探る。

ISBN978-4-653-03805-4 [02/10]

関沢まゆみ著

隠居と定年

—老いの民俗学的考察— 〔臨川選書 22〕

■ 四六判・並製・200頁

2,530円(本体2,300円)

高齢化社会を迎えた今日、定年後の生き方は大きな社会的関心事となっている。温故知新の学問、民俗学の立場から日本の伝統的村落社会に残る隠居の慣習に豊かな老いのあり方のヒントを探り、都市部・海外へも視野を広げる。自らの老い・死を自覚した時、新たな生き方を見出す人間の姿を浮き彫りにする好著。

ISBN978-4-653-03915-0 [03/3]

宮川禎一著

龍馬を読む愉しさ

—再発見の手紙が語ること— 〔臨川選書 23〕

■ 四六判・並製・220頁

2,200円(本体2,000円)

〈残部僅少〉

坂本龍馬が家族や知人にあてた手紙には「幕末の英雄」というイメージに止まらない龍馬の人間の魅力が溢れている。京都国立博物館で龍馬関係資料を担当する学芸員が近年再発見された龍馬の書簡類をもとに新たな観点から龍馬像を再構築する。話題となった龍馬の妻「おりょう」の写真問題にも踏み込んだ見解を示す龍馬愛好家必見の書。

ISBN978-4-653-03918-1 [03/10]

山下道代著

伊勢集の風景

〔臨川選書 24〕

■ 四六判・並製・260頁

2,750円(本体2,500円)

〈残部僅少〉

『伊勢集』にまつわる様々な風景を、深い学識に支えられた、簡潔で読み易いながらもドラマティックな文章で語る。和歌の妙を解りやすくときほぐし、女流歌人伊勢の知られざるエピソードを紹介し、伊勢の造語、周辺人物、当時の生活・風俗・政治概況、後代の受容など多種多様な角度から『伊勢集』に迫る。

ISBN978-4-653-03919-8 [03/11]

山本光正著

江戸見物と東京観光

〔臨川選書 25〕

■ 四六判・並製・220頁

2,530円(本体2,300円)

東(旧来の江戸)から西(京王線・中央線沿線の「武蔵野」)へ、時代と共に変貌する行楽地、何度もの被災から蘇り、江戸城から六本木ヒルズまで新たな観光資源を生産し続ける巨大観光都市の魅力とは。近世旅日記の江戸見物と近代東京の観光案内書を手がかりに、観光地としての「江戸・東京」の特徴をあぶりだす。

ISBN978-4-653-03953-2 [05/2][13/6]

西海賢二著

近世のアウトローと周縁社会

〔臨川選書 26〕

■ 四六判・並製・200頁

2,090円(本体1,900円)

近世、巡礼・遍路・虚無僧・舞太夫・物貰い等、諸国を旅した民間宗教者は身分制の枠組みに収まらないアウトローのような立場の人々であった。様々な宗教的職能者がどのように各々々を廻り、地域社会がどう受け止めていたのか。宗教者と受け入れる村の関係を視点に据え、在地の民間信仰・芸能文化・支配体系のあり方と共に考える。

ISBN978-4-653-03961-7 [06/2][11/1]

西海賢二著

江戸の女人講と福祉活動

〔臨川選書 27〕

■ 四六判・並製・216頁

2,090円(本体1,900円)

江戸時代から近世にかけて農村を中心に活動の盛んだった女人講は、女性のみで構成してその特徴があるが、その活動内容は福祉活動と密接な関わりがあった。女人講の誕生からそのありようの移り変わりをさまざまな例を見ながら考察し、福祉活動という視座から女の人生の諸問題に迫る。

ISBN978-4-653-04083-5 [12/5] [13/1]

福原敏男・八反裕太郎著

祇園祭・花街ねりものの歴史

〔臨川選書 28〕

■ 四六判・並製・208頁

2,200円(本体2,000円)

江戸後期から、祇園祭では、遊郭より旧暦五月晦日と六月十八日に「祇園祭練物」といわれる仮装行列が行われていた。現在は中絶しているこの行事に関して、膨大な摺物等の残存資料を分析し、毎回異なる風流を体現していた祇園祭練物文化を考える。もうひとつの知られざる祇園祭について明らかにする、新しい京都文化史である。

ISBN978-4-653-04199-3 [13/10]

岡村敬二著

第25回高知出版学術賞受賞

京大東洋学者

小島祐馬の生涯

〔臨川選書 29〕

■ 四六判・並製・304頁

2,200円(本体2,000円)

京都帝国大学人文科学研究所初代所長を務めた東洋学者・小島祐馬(1881～1966)は、退官後、その学識と手腕を惜しまれつつも早々に故郷高知へ帰り、晴耕雨読の暮らしのかたわらで地域の人々との交流と文化の振興に尽くした。その生きかたの背景にあったのは何か。高知大学小島文庫に残る草稿やメモ類、また関係者の回想から丹念に綴る。

ISBN978-4-653-04114-6 [14/11]

西海賢二著

旅と祈りを読む

道中日記の世界

〔臨川選書 30〕

■ 四六判・並製・232頁

2,200円(本体2,000円)

古来より旅と祈りとは密接に結びついていた。近世には多くの旅の記録——道中日記が残された。みちのく、善光寺、富士山、四国遍路など、行き先もさまざまに、人知れず残されてきた道中日記を読むことで、現代にまでつながら旅と祈りの民俗に迫る好著。著者自身の実践経験を踏まえた講演記録も収録。

ISBN978-4-653-04223-5 [14/12]

広瀬浩二郎著

身体でみる異文化

目に見えないアメリカを描く〔臨川選書 31〕

■ 四六判・並製・200頁

2,035円(本体1,850円)

「身体でみる」+「異文化」。13歳で視力を失った著者による、アメリカ・シカゴでの在外研究記。マイノリティとしての実生活をいきいきと描きながら、聴覚や触覚、さらには皮膚感覚を駆使して、身体でとらえたアメリカでの思索の日々を綴る。視覚優位の時代だからこそ「身体でみる」「さわる」ことの重要性を説く。

ISBN978-4-653-04226-6 [15/3]

五島淑子著

江戸の食に学ぶ

幕末長州藩の栄養事情

〔臨川選書 32〕

■ 四六判・並製・200頁

2,310円(本体2,100円)

近年国際的にも高く評価されている「和食」。しかし、そもそも「和食」とはどのようなものなのか？本書では、主に天保期長州藩の地誌『防長風土注進案』を紐解き、食品と栄養の面から、現在の「和食」のもととなる近代化以前の日本の食事・食生活について明らかにする。現代の食事・食生活についても知識・理解を深めることのできる一冊。

ISBN978-4-653-04227-3 [15/4]

吉田 元著

京の酒学

〔臨川選書 33〕

■ 四六判・並製・256頁

2,200円(本体2,000円)

全盛期には市中に三百を超える酒屋がひしめきあい、日本一の酒としてその品質を誇っていた京都酒。しかし、度重なる戦乱と災害、伊丹や灘をはじめとする新興生産地の台頭によりやがて京都酒は衰退の時代を迎え——いにしえから今日にいたる酒づくりの歩みをたどりながら、洛中洛外京都酒の歴史を網羅し、その栄枯盛衰を描き出す！

ISBN978-4-653-04228-0 [16/1]

花園大学文学部監修／安永祖堂・松田隆行編

三国伝来 仏の教えを味わう

インド・中国・日本の仏教と「食」

〔臨川選書 35〕

■ 四六判・並製・208頁

2,310円(本体2,100円)

ブツから百丈懐海・道元、現在の禅寺での食事まで。インド・中国・韓国・台湾そして日本と、それぞれの国や地域によって多種多様に変遷を繰り返してきた食の実態から、寛容をもって発展してきた仏教の来た道・あり方をたどる！ 佐々木閑氏・中尾良信氏など一流の講師陣による連続講座を書籍化。

ISBN978-4-653-04435-2 [17/6]

多賀敏行著

「アラブの春」とは一体何であったのか

大使のチュニジア革命回顧録

■ 四六判・並製・242頁

2,090円(本体1,900円)

〈残部僅少〉

著者が大使として経験したチュニジア革命の全容を語る。激動の外交の現場、異国での危機状況に直面した当事者にしか語れない、臨場感にあふれた記録であり、歴史の一頁として、現代・未来の社会への警告として、残すべき貴重な体験の記録である。ケンブリッジ大学への留学体験の思い出と、後日談を語る回顧録を巻末に収録。

ISBN978-4-653-04369-0 [18/9]

東アジア恠異学会編

き 亀 ぼく ト

歴史の地層に秘められたうらないの技をほりおこす

■ B6判・上製・272頁

品 切

東アジアで古代より行われてきた古い“亀ト”。古代、中世では国家運営の重要な指針とされていたにも関わらず、亀トの技法は秘事・口伝であったため、全容は明らかにされていない。恠異学のもとより、歴史学・動物学・民俗学・考古学など学際的な共同研究のもとで、ウラを読む技と知を考える。

ISBN978-4-653-03962-4 [06/5]

渡辺紳一郎著／装画・棟方志功

おとなのおとぎ話

■ 四六判・並製・232頁

1,870円(本体1,700円)

NHK ラジオ放送のクイズ番組『話の泉』の名解答者として活躍した著者の短編エッセイ集。イタリア・フランス・中国などの歴史と文化に関する深い教養、マスコミ業界をはじめとする幅広い見聞にもとづいた、時に思わず吹き出すような大人のための「おとぎ話」の数々。博識にして洒落な人、渡辺紳一郎の世界をお楽しみ下さい。

ISBN978-4-653-03912-9 [02/11]



古版地図

京都大学附属図書館蔵／中井家旧蔵
川上 貢解説

洛中繪圖

寛永後 全74図
萬治前

■ 600×480mm・単色刷原寸大区分図69枚・彩色刷縮尺全体図2枚
割付基準線付全体図2枚・極上麻布1巻入・別冊解説34頁

90,776円(本体82,524円)
〈残部僅少〉

江戸幕府の畿内大工頭、中井家によって作成された京都市中図。現存最古といわれる宮内庁蔵の寛永14年写図はこの下絵と言われる。本図はその後に生じた変化を補正・追加したもので、寛永20年頃の状況を伝える貴重な資料である。縦6.315メートル、横3.108メートルの大図を69枚の原寸大区分図に複製、更に縮尺全体図を添えた。

ISBN978-4-653-00331-1 [79/9]

宮城県図書館蔵／織田武雄・秋山元秀解説
明萬曆30年(1602)刊

利瑪竇『坤輿萬國全圖』

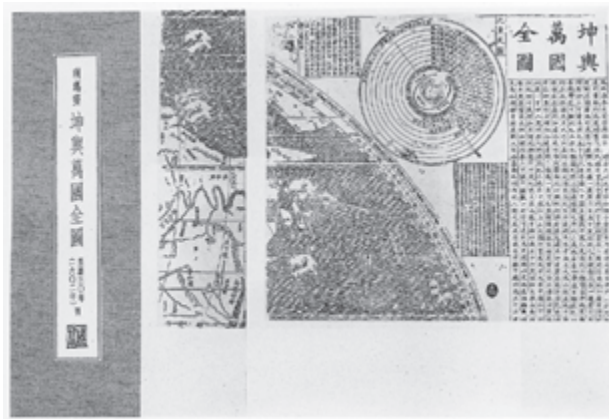
こんよばんこくぜんず
(マテオ・リッチ)

■ 500×700mm・コロタイプ・単色原寸大区分図32枚
割付基準線付全体縮小図2枚・極上麻布1巻入・別冊解説20頁

137,500円(本体125,000円)

イエズス会士、マテオ・リッチ、中国名利瑪竇(1552～1610)によって1602年(慶長7年)北京で刊行された、6幅からなる万国の大図。1584年オルテリウスが作成した世界図をはるかに凌ぐ精密なもので、当時の中国の地図学を完成させたものと言われている。本図の出現によって、地球が球体をなし、世界の陸地が五大州に区分されていることを始め、朝鮮が島でなく半島であること、日本が大陸に対して東西でなく、南北方向に位置していることも知ることができた。本図は世界地図史上の古文獻として、また大航海時代のアジア圏の極めて重要な資料である。伊達家よりもたらされた我が国現存唯一の完本、宮城県図書館蔵の重文を、原寸コロタイプ刷で32葉(枚)に分割、全体図、解説を付て刊行する。

ISBN978-4-653-03283-0 [96/11]



【版本地誌大系】

林 宗甫著／池田末則解説

大和名所記 全 20 卷 和州旧跡幽考 合本 1 冊

〔版本地誌大系 1〕

■ A5判・クロス装・954頁・付解説

15,950円(本体14,500円)

〈残部僅少〉

延宝九年(1681)刊の『大和名所記』をA5判に影印・複製、合本1冊とする。大和郡山の学者林宗甫の編著。いわゆる観光案内的のものではなく、大和国の名所旧跡を考証、各郡単位に網羅した最初の刊本である。「南都名所集」「奈良名所八重棧」と並び大和の歴史・文化を研究する上で欠くことのできない、画期的な地誌。

ISBN978-4-653-01672-4 [90/10][01/2]

暁 鐘成著／松山半山・浦川公佐画／管 宗次解説

淡路國名所圖繪 全 5 卷 合本 1 冊

〔版本地誌大系 5〕

■ A5判・クロス装・646頁・付解説

9,900円(本体9,000円)

嘉永4年(1851)序、明治27年(1894)刊行された『淡路國名所圖繪』を影印・複製。南海道の淡路国(現在の淡路島)の名所旧蹟・社寺仏閣また民俗・伝説・産物・名産を多数の挿画とともに詳述し、淡路を舞台とする古典の逸話や人物伝記をも収載する。淡路島の歴史的・風土的・文化的背景に留意しながら名所の数々を丹念に漁る好個の一篇。

ISBN978-4-653-03010-2 [95/6][02/3]

秋里籬島著／西村中和画／山本英二解説

木曾路名所圖會 全 6 卷 合本 1 冊

〔版本地誌大系 6〕

■ A5判・クロス装・710頁・付解説

10,670円(本体9,700円)

文化2年に刊行された『木曾路名所圖會』を影印・複製。本書は当時の中山道(木曾街道)を京から江戸へと編述。名所・社寺・山陵などの鳥瞰図を収載するほか、金石文・古歌・風俗・生活・年中行事などを多数の絵図と共に詳述する。街道をテーマとする図会の中でも特に著名な代表作であり、価値の高い史料となっている。

ISBN978-4-653-03098-0 [95/9][02/2]

高市志友等選／西村中和等画／須山高明・高橋克伸解説

紀伊國名所圖會 全 22 卷 合本 4 冊

〔版本地誌大系 9〕

■ A5判・クロス装・総3,114頁・付解説

全4冊 46,200円(本体42,000円)

文化8年(1811)初編が刊行されて以来、130年の年月を要して完成した『紀伊國名所圖會』全22巻を影印・複製、合本4冊とする。紀伊國の名所・旧蹟はもとより、伝説・奇話なども収載。また和歌・詩賦・俳諧・狂歌の類に至るまで代々の選集や名家の文集より抄出する。一国の地誌にとどまらず、文学・歴史・民俗の絶好の資料である。

ISBN978-4-653-03191-8 [96/3][05/12]

梶原景紹著／松岡信正等画／三谷敏雄解説

讃岐國名勝圖會 前編 全 5 卷 合本 1 冊

〔版本地誌大系20〕

■ A5判・クロス装・540頁

10,450円(本体9,500円)

嘉永7年(1854)刊の『讃岐國名勝図会』前編(後編は刊行されず)全5巻を影印・複製、合本1冊とする。前編では大内・寒川・三木・山田・香川の5郡を紹介。当地の名所旧蹟、寺社、風俗、故事などを土地に縁の人物による和歌・俳諧・漢詩をおりませ、豊富な挿絵と共に詳述する。地方史研究にとっても貴重な書である。

ISBN978-4-653-03634-0 [99/5]

大久保秀興・本林伊祐著

奈良名所 八重櫻 全12巻 合本1冊

〔版本地誌大系 別巻①〈古版地誌〉〕

■ 菊判・クロス装・368頁・付解説

11,000円(本体10,000円)

延宝6年(1678)刊行。奈良市中の社寺縁起と古跡の由来を菱川師宣画と見られる挿絵とともに紹介。一都市の記述に12冊を費やした内容は詳細を極め多岐に渡るもので、他に類を見ない。挿絵は編纂当時の状況を記す点や春日祭礼行列図等載せる点で文化・風俗資料としても重要。古版地誌中最も稀観と知られる貴重資料を影印。

ISBN978-4-653-04091-0 [10/1]

太田叙親・村井道弘著

南都名所集 全10巻 合本1冊

〔版本地誌大系 別巻②〈古版地誌〉〕

■ 菊判・クロス装・514頁・付解説

13,200円(本体12,000円)

延宝3年(1675)刊行。大和国内の寺社・名所旧跡を、古歌や著者自作の句を織り交ぜながら、豊富な挿絵とともに紹介。1～6巻までは題号のとおりに「南都」を、7巻以降は奈良を離れ、広く大和国全域を扱った地誌。同じ延宝年間に出版された「奈良名所八重櫻」と並び、大和地域の歴史・文化研究に欠かせない好資料を影印。

ISBN978-4-653-04092-7 [10/1]

雲水著/謡春庵周可著

吉野夢見草 全5巻 合本1冊
吉野山独案内 全6巻

〔版本地誌大系 別巻③〈古版地誌〉〕

■ 菊判・クロス装・524頁・付解説

13,200円(本体12,000円)

吉野山の案内記二種を影印・複製。「吉野夢見草」は元禄8年(1695)刊、名所吉野を涉猟し詠じた桜の詩歌とその旅程の記録を纏めたもので、現存の少ない稀観本。底本は天理図書館所蔵本。「吉野山独案内」は寛文11年(1671)刊、古歌・古詩等の引用に挿絵を交え、吉野山行旅の風俗をつぶさに伝える好資料。底本は京都大学文学研究科所蔵本。

ISBN978-4-653-04093-4 [10/5]

【地誌・郷土史料】

東京市役所(現東京都公文書館)編

東京市史稿〈産業篇〉

■ A5判・クロス装・図版入・カバー付

全26冊 510,089円(本体463,718円)

第1巻	古代～天正18年	12,815円(本体11,650円)
第2巻	天正18年6月～慶長14年	17,087円(本体15,534円)
第3巻	慶長15年～寛永11年	17,087円(本体15,534円)
第4巻	寛永12年～慶安2年	19,800円(本体18,000円)
第5巻	慶安3年～寛文元年	22,000円(本体20,000円)
第6巻	寛文2年～同12年	24,200円(本体22,000円)
第7巻	延宝元年～貞享4年	28,600円(本体26,000円)
第8巻	元禄元年～同10年4月	21,450円(本体19,500円)
第9巻	元禄10年5月～宝永5年	22,660円(本体20,600円)
第10巻	宝永6年～享保元年4月	22,440円(本体20,400円)
第11巻	享保元年5月～同9年5月	22,880円(本体20,800円)
第12巻	享保9年5月～同13年	21,780円(本体19,800円)
第13巻	享保14年～同18年3月	20,900円(本体19,000円)

江戸開府以前から明治末年に及ぶ江戸東京の根本資料『東京市史稿』の復刊。編年体で歴史事象を掲げ、関連史料を付載した本叢書は、江戸時代に関するかぎり未刊の「大日本史料」に代わる役目もはたしている。本篇には、産業のみならず政治にも係わる各種の史料が詳細に収録されている。

ISBN978-4-653-02539-9 [93/4～03/1]
いずれも残部僅少

第14巻	享保18年4月～元文元年10月	21,450円(本体19,500円)
第15巻	元文元年10月～寛保2年4月	20,900円(本体19,000円)
第16巻	寛保2年5月～延享2年	20,680円(本体18,800円)
第17巻	延享3年～寛延4年4月	19,360円(本体17,600円)
第18巻	寛延4年5月～宝暦5年3月	19,250円(本体17,500円)
第19巻	宝暦5年3月～同8年11月	16,720円(本体15,200円)
第20巻	宝暦8年11月～同12年5月	18,480円(本体16,800円)
第21巻	宝暦12年6月～明和3年3月	16,830円(本体15,300円)
第22巻	明和3年3月～同6年10月	17,820円(本体16,200円)
第23巻	明和6年10月～同9年3月	17,380円(本体15,800円)
第24巻	明和9年4月～安永3年11月	17,380円(本体15,800円)
第25巻	安永3年11月～同6年6月	15,400円(本体14,000円)
第26巻	安永6年7月～同8年11月	14,740円(本体13,400円)

東京市役所(現東京都公文書館)編

東京市史稿〈市街篇〉

■ A5判・クロス装・図版入・カバー付・附図はB5判
全73巻74冊・附図2冊

第1巻	古代～康正2年	17,087円(本体15,534円)	第37巻	文政12年4月～天保4年12月	17,820円(本体16,200円)
第2巻	長祿元年～慶長10年4月	18,156円(本体16,505円)	第38巻	天保5年1月～同10年7月	19,140円(本体17,400円)
第3巻	慶長10年4月～元和4年12月	20,350円(本体18,500円)	第39巻	天保10年8月～同13年4月	19,800円(本体18,000円)
第4巻	元和5年1月～寛永11年12月	20,350円(本体18,500円)	第40巻	天保13年5月～同14年12月	20,350円(本体18,500円)
第5巻	寛永12年1月～同20年12月	22,000円(本体20,000円)	第41巻	天保14年12月～弘化3年10月	21,450円(本体19,500円)
第6巻	寛永21年1月～明暦2年12月	22,000円(本体20,000円)	第42巻	弘化3年11月～嘉永3年12月	25,300円(本体23,000円)
附録	武蔵国絵図(970×930mm・多色刷) 武蔵田園簿(A5判・並製・274頁) 23,100円(本体21,000円) 東京地勢図(663×663mm・多色刷)		第43巻	嘉永4年1月～同7年5月	23,100円(本体21,000円)
第7巻	明暦3年1月～寛文2年2月	25,850円(本体23,500円)	第44巻	嘉永7年6月～安政3年12月	20,900円(本体19,000円)
第8巻	寛文2年2月～同12年1月	22,550円(本体20,500円)	第45巻	安政4年2月～同6年12月	23,540円(本体21,400円)
第9巻	寛文12年2月～天和2年3月	23,100円(本体21,000円)	第46巻	安政7年1月～文久3年4月	22,440円(本体20,400円)
第10巻	天和2年4月～元禄元年12月	24,750円(本体22,500円)	第47巻	文久3年4月～慶応元年12月	17,050円(本体15,500円)
第11巻	元禄2年1月～同6年12月	21,340円(本体19,400円)	第48巻	慶応2年1月～同4年4月	18,700円(本体17,000円)
第12巻	元禄7年1月～同10年5月	23,100円(本体21,000円)	第49巻	慶応4年4月～同4年8月	22,000円(本体20,000円)
第13巻	元禄10年5月～同12年4月	30,800円(本体28,000円)	第50巻	慶応4年8月～明治2年12月	24,200円(本体22,000円)
第14巻	元禄12年5月～同15年12月	28,160円(本体25,600円)	第51巻	明治3年1月～同4年5月	22,000円(本体20,000円)
第15巻	元禄15年12月～宝永2年8月	24,640円(本体22,400円)	第52巻	明治4年6月～同5年4月	23,760円(本体21,600円)
第16巻	宝永2年9月～同6年6月	24,530円(本体22,300円)	第53巻	明治5年5月～同5年12月	22,660円(本体20,600円)
第17巻	宝永6年7月～正徳3年閏5月	20,240円(本体18,400円)	第54巻	明治6年1月～同6年6月	25,300円(本体23,000円)
第18巻	正徳3年閏5月～享保2年5月	19,800円(本体18,000円)	第55巻	明治6年7月～同6年12月	24,200円(本体22,000円)
第19巻	享保2年6月～同5年12月	21,890円(本体19,900円)	第56巻	明治7年1月～同7年12月	24,200円(本体22,000円)
第20巻	享保6年1月～同9年4月	19,690円(本体17,900円)	第57巻	明治7年全年にわたる史料 ～同8年12月	23,100円(本体21,000円)
第21巻	享保9年閏4月～同12年12月	18,700円(本体17,000円)	第58巻	明治9年1月～同9年12月	26,400円(本体24,000円)
第22巻	享保13年1月～同18年2月	18,700円(本体17,000円)	第59巻	明治10年1月～同10年8月	21,450円(本体19,500円)
第23巻	享保18年3月～元文4年12月	19,800円(本体18,000円)	第60巻	明治10年9月～同11年2月	21,450円(本体19,500円)
第24巻	元文5年2月～永享3年11月	20,350円(本体18,500円)	第61巻	明治11年3月～同11年12月	19,800円(本体18,000円)
第25巻	永享3年12月～宝暦3年7月	20,570円(本体18,700円)	第62巻	明治12年1月～同12年10月	22,000円(本体20,000円)
第26巻	宝暦3年8月～同13年1月	18,150円(本体16,500円)	第63巻	明治12年11月～同13年9月	19,140円(本体17,400円)
第27巻	宝暦13年2月～明和8年12月	20,020円(本体18,200円)	第64巻	明治13年10月～同14年3月	18,700円(本体17,000円)
第28巻	明和9年1月～安永7年4月	18,260円(本体16,600円)	第65巻	明治14年4月～同14年12月	18,700円(本体17,000円)
第29巻	安永7年5月～天明6年4月	18,700円(本体17,000円)	第66巻	明治15年1月～同15年11月	19,360円(本体17,600円)
第30巻	天明6年6月～寛政3年4月	18,480円(本体16,800円)	第67巻	明治15年12月～同16年12月	18,040円(本体16,400円)
第31巻	寛政3年4月～同7年12月	19,140円(本体17,400円)	第68巻	明治16年12月～同17年12月	17,600円(本体16,000円)
第32巻	寛政8年1月～享和元年6月	19,690円(本体17,900円)	第69巻	明治17年12月～同18年9月	16,720円(本体15,200円)
第33巻	享和元年7月～文化3年12月	18,700円(本体17,000円)	第70巻	明治18年10月～同19年6月	17,160円(本体15,600円)
第34巻	文化6年1月～同14年6月	19,140円(本体17,400円)	第71巻	明治19年6月～同20年3月	16,280円(本体14,800円)
第35巻	文化14年7月～文政6年12月	17,600円(本体16,000円)	第72巻	明治20年4月～同20年11月	15,840円(本体14,400円)
第36巻	文政7年1月～同12年3月	18,150円(本体16,500円)	第73巻	明治20年11月～同21年4月	15,180円(本体13,800円)

附図第1 慶長江戸図・武州豊島郡江戸庄図
正保江戸図・寛文江戸図

享保年中江戸絵図・隅田川以東図 168頁 34,175円(本体31,068円)

附図第2 明治四年東京大絵図
東京市区改正旧設計図
東京市区改正新設計図

114頁 品切

宮崎県立図書館編

宮崎県史料

■ A5判・クロス装・総4,226頁

全8冊 83,600円(本体76,000円)
 〈残部僅少〉

高鍋藩と佐土原藩の藩史料を取録する。「高鍋藩史」は家中の動静、百姓逃散など藩が対処しなければならなかった諸事象万般を逐一記述する。「佐土原藩史」は嶋津家としての格式を備えた藩主や諸行事、幕府・諸藩との贈答を中心に藩政の動向を記録する。いずれも史料の価値は極めて高く、藩政史及び郷土史を研究する上で必備の史料。

ISBN978-4-653-03111-6 [95/10]

岐阜県地方課編

岐阜県町村合併史

■ A5判・クロス装・1,096頁・写真3頁・地図1枚

20,900円(本体19,000円)
 〈残部僅少〉

本書は、ふるく貞観年中の美濃信濃国境争いから説き起し、奈良朝の郡郷設置や荘園の沿革、江戸期の村落、明治大正期の町村併合分離の状況、そして昭和28年町村合併促進法へと現在の市町村形成に至る過程を詳細に追う。一読、岐阜県の行政区劃変遷の全てが判る貴重な資料。

(昭和36年刊の復刻)

ISBN978-4-653-01606-9 [87/8]

井上頼壽著

近江祭礼風土記 正・続

■ A5判・クロス装・(正編)412頁・写真6頁・(続篇)138頁

全2冊 10,780円(本体9,800円)
 続篇「近江祭礼風土記 農耕儀礼」3,300円(本体3,000円)

民俗学者として名高い著者は、深く愛した湖国各地をくまなく踏査し、古習神事の聞き取り、文献調査を重ねた。その中から、古代神事の息吹を多く伝える「祈年祭」の原型「オコナイ」を滋賀県神社庁の依頼を受けまとめた正篇。そして湖国全土の祭礼を記述することを旨とした続篇(農耕儀礼)の執筆が、惜しくも著者の絶筆となった。

ISBN978-4-653-03558-9(セット)、-03557-1(続篇)
 [01/4]

木村至宏・江竜喜之・西川丈雄著〔滋賀県〕

近江人物伝

■ A5判・クロス装・306頁・折込地図1枚

2,750円(本体2,500円)
 〈残部僅少〉

近江を制するものは日本を制す。その近江は古来多くの人物を産み育てた。本書は人物を古代から現代に至るまで多くより厳選した上で、正確な伝記を興味深く紹介し、歴史の中で果たした役割をも評価、人物を通して郷土の歴史にふれる。ひろく近江を理解するためには恰好の読物。

(昭和51年刊の復刻)

ISBN978-4-653-01537-6 [87/4]

橋川 正編／滋賀県野洲郡教育会発行〔滋賀県〕

野洲郡史

■ A5判・クロス装・総1,050頁

全2冊 28,600円(本体26,000円)

琵琶湖東岸に位置する野洲郡は、天安川にその名の起源を有し、その歴史は古事記にまで溯る。古代より交通の要衝として栄えた野洲郡の歴史を、有史以前から最近世まで、豊富な史料と古地図・古文書や出土品・仏像等の写真図版を交えて綴った、地方史研究に不可欠の好資料。

(昭和2年刊の復刻)

ISBN978-4-653-03487-2 [98/7]

井上頼壽著

京都古習志

■ A5判・クロス装・416頁・写真22頁

7,370円(本体6,700円)

京都府下、山城の村々における神社祭祀を、昭和初期、十数年にわたる綿密な聞きとり調査によって、克明に記述した民俗志の名著。祭祀組織「宮座」、そしてそこから派生した信仰組織、いわゆる「講」(伊勢講・祇園講・天神講・春日講など多数)を極めて丹念に記述する貴重な民俗資料。

ISBN978-4-653-01759-2 [01/3]

〔丹波・丹後資料〕

郷土と美術

自創刊号(昭和14年)
 至第48号(同18年)休刊迄

■ A5判・クロス装・1,158頁・写真140頁・合本2冊

全2冊 15,400円(本体14,000円)
 〈残部僅少〉

多岐にわたる内容をもりこむ両丹地方史研究誌。待望の声久しい戦中発行停止に至るまでの分野を復刻。編集主幹に澤村秀夫、当時の寄稿陣には永濱宇平、糸井仙之助、山本文顕、四方源太郎ら多彩なメンバーをむかえる。丹波・丹後の地理・歴史・産業・民俗・民話・人物等々の記述は研究に欠かせない良質の資料。

ISBN978-4-653-01502-3 [86/12]

本巻 野間光辰編／新索引 木田章義監修・林泰弘編

新修 京都叢書

本巻23巻
新索引2巻

■ A5判・クロス装・本巻平均590頁・新索引総898頁

(本巻)各巻5,500円～10,450円(本体5,000円～9,500円)
(第2巻・第10巻 残部僅少／第23巻 品切)
(新索引)24・25巻 27,500円(本体25,000円)

「京童」「京雀」等、京都に関わる江戸期の代表的な書物を集大成。洛中・洛外の社寺、名所旧跡、地誌、年中行事、諸職名匠、各町の由来、沿革と変遷など、近世京都の姿を余すところなく伝える。本文は原本との厳密な校訂を施し、異同は頭注に記した。新たに、「和歌・俳諧類索引」約4千項目を含む約5万項目を収録した新索引を刊行。

ISBN978-4-653-03944-0(全25冊)

-02596-2(本巻) -03943-3(新索引)〔67/9～06/4〕

第1巻	京童 京童跡追 京雀 京雀跡追	7,260円	第12巻	近畿歴賢記 菟藝泥赴 京城勝覽 追補 近畿歴賢記附文 京城勝覽挿繪	8,690円
第2巻	京羽二重 京羽二重(寶永板) 京羽二重織留 新益京羽二重織留大全	8,360円 (残部僅少)	第13巻	山城名勝志(乾)	7,260円
第3巻	京獨家内手引集 都すゝめ案内者 京町鑑	5,720円	第14巻	山城名勝志(坤) 附 山城名勝志圖	7,920円
第4巻	日次紀事	7,700円	第15巻	山州名跡志(乾)	7,150円
第5巻	名所都鳥 堀川の水 京内まいり 都名所車 都花月名所 洛陽十二社靈驗記	8,580円	第16巻	山州名跡志(坤)	5,500円
第6巻	都名所圖會 附 諸本對照表	10,450円	第17巻	京都坊目誌1	5,720円
第7巻	拾遺都名所圖會	8,360円	第18巻	京都坊目誌2	8,250円
第8巻	寶永花洛細見圖 扁額軌範 花洛繪馬評判	8,360円	第19巻	京都坊目誌3	8,800円
第9巻	都林泉名勝圖會 附 築山庭造傳(抄)	8,140円	第20巻	京都坊目誌4	8,250円
第10巻	雍州府志 附 初刻本鈔影	10,450円 (残部僅少)	第21巻	京都坊目誌5	8,800円
第11巻	京師巡覽集 洛陽名所集 出來齋京土産	8,800円	第22巻	扶桑京華志 山城名跡巡行志 山城名所寺社物語	8,580円
			第23巻	古地圖集 新撰増補京大繪 名所手引京圖鑑綱目 改正京町御繪圖細見大成 京都區分一覽之圖	品切
			第24巻 ・ 第25巻	新索引 (人名・地名・一般項目) 付和歌・俳諧類索引	27,500円

小林楓村編

西播史談会会報 播磨

自創刊号(昭和21年1月)
至第76号(同44年5月)終刊迄

■ A5判・クロス装・総4,022頁・合本6冊
全6冊 60,500円(本体55,000円)
(残部僅少)

播磨地方を中心にその歴史と民俗をさぐる本書は、小林楓村翁が独力、苦心の刊行を続けた郷土誌の雄である。翁の地道な研究・編纂活動の成果として、播磨の史蹟名勝・人物・伝説・民俗・風習・民謡・言語等多岐にわたる貴重な資料や報告を集成、今日の研究にとって不可欠な賜物といえよう。待望の合本復刻。

ISBN978-4-653-01555-0〔87/5〕

渡辺月石著/黒田敏夫解説

淡路 堅磐草

全10巻
合本2冊

付 蝦夷物語
■ A5判・クロス装・総1,284頁

全2冊 24,750円(本体22,500円)

淡路島の文人・渡辺月石によって江戸後期(天保3年)に記された郷土史を、今回初めて自筆稿本より完全復刻。歴史的・民俗学的に貴重な記述や、図解・挿図も数多く収載。巻頭に全巻目次をつけて利用の便を図った。高田屋嘉兵衛の弟からの聞き取りをまとめた『蝦夷物語』の翻刻を付す。

ISBN978-4-653-03917-4〔03/4〕

五ヶ谷村史編集委員会編・発行(奈良県)

五ヶ谷村史

■ A5判・クロス装・680頁・口絵カラー写真7頁
9,900円(本体9,000円)

昭和30年奈良市と合併するまで存在していた五ヶ谷村(現在の奈良県精華地区)は、古代は平城京から伊勢へと通ずる伊勢街道として栄え、白山比咩神社、春日神社ほか多くの社寺・文化財を有する歴史ある村落。本書は地理・人口・歴史・民俗・教育など、古代から現在に至るまで、五ヶ谷村をくまなく詳述する。
(総発売元)

ISBN978-4-653-03170-3 [94/7]

新訂大宇陀町史編集委員会編(奈良県)

新訂 大宇陀町史 史料編

第1巻(古代・中世・近世上)・第2巻(近世下)・第3巻(近代)
■ A5判・クロス装・平均1,100頁
全3冊 各巻12,572円(本体11,429円)

豊かな自然と歴史的文化遺産が数多く残る大宇陀町は、万葉の昔から歴史の舞台上に登場し、中世を経て、江戸時代には織田家松山藩の政治・経済の中心として栄えた。昭和34年「大宇陀町史」発刊以来、収集・調査によって蓄積された新史料の解明、研究成果の進展を加え、新たに「新訂大宇陀町史 史料編」(全3巻)を編集する。
(総発売元)

[96/3～02/9]

奈良県宇智郡役所編

奈良県 宇智郡 誌

■ A5判・クロス装・630頁・図版27点
10,340円(本体9,400円)

昭和32年の合併により消滅した宇智郡は、奈良県の中西端に位置し、現五條市のほぼ全域を占めていた。北に金剛、南に吉野の山並を望み、御霊信仰の中心地、修験道の拠点であったほか、天領に属し、皇族の遷転、名門の移居、豪族の割拠や興廃変転の数々の遺跡を残す。本書はそれらの得難い重要史料を満載する。
(大正13年刊の復刻)

ISBN978-4-653-02887-1 [94/11]

奈良県広陵町史編集委員会編

広陵町史

■ A5判・クロス装・894頁・図版309枚・口絵14枚
15,400円(本体14,000円)

昭和30年4月、馬見町・瀬南村・百済村が合併、翌年9月、更に箸尾町が加わって誕生した広陵町は、奈良盆地西方、馬見丘陵東部に位置し、菓山古墳、百済大寺など、多数の遺跡や歴史的建造物を残す。本書はこれらの遺物のほか、同町の風土、伝説、動植物、金石文に至る史実や産業の躍進をも収載する。
(昭和40年刊の復刻)

ISBN978-4-653-02888-8 [94/11]

田中家文書調査会編

宇和海浦方史料 三浦田中家文書

■ A5判・クロス装・平均600頁(分売可)
全4冊 51,700円(本体47,000円)

愛媛県宇和島市の田中家に伝存する文書は、近世庄屋文書の中でも随一の豊富な資料を有する。有力な網元でもあった同家の御用留的日記「御書出魁所此外珍事為覚悟代々記」や網元の経営記録で漁業史料の白眉「漁事繁栄記」等多数の文書を翻刻。宇和島藩政を反映する貴重な記録であり、漁村史から近世を照らし出す重要資料。

ISBN978-4-653-03555-8 [01/2～04/2]

第1巻	御書出魁所此外珍事為覚悟代々記 第一～三番 宝暦三年～享和三年／文化元年～天保十二年／天保十三年～文久三年	13,200円(本体12,000円)
第2巻	御書出魁所此外珍事為覚悟代々記 第四番 元治元年～明治三年 御廻文寄記録 弘化四年／嘉永元年・六年／安政三・五・六年／慶応元年	12,100円(本体11,000円)
第3巻	御布令控帳／田中氏要用記 諸廻船積出諸魚五分一銀ならびに臨時銀差上帳 他	13,750円(本体12,500円)
第4巻	漁事繁栄記／諸案文ならびに心得覚 床屋所文書引継目録 他	12,650円(本体11,500円)

刊行書目索引

この索引には2024年4月までの出版図書を掲載しております。現在品切の書目もございますが、ご要望多数の場合には重版致しますのでご意見をお聞かせください。

(2024年4月現在 *は品切, ☆は電子書籍版)

あ

アーネスト・ヘミングウェイ—21世紀から読む作家の地平	43
増補 藍住町史 (徳島県)	*
アイスラー 哲学辞典 増訂第四版 (全3冊)	
Wörterbuch der Philosophischen Begriffe	*
赤い星は如何にして昇ったか	
知られざる毛沢東の初期イメージ	60
赤い百合 (普及版)	*
赤い百合 (特装版)	43
群馬県 吾妻郡誌	*
赤穂郡誌・播州赤穂郡志 (兵庫県)	*
朝来志 (兵庫県)	*
増訂 浅見綱齋の研究	17
葦北郡誌 (熊本県)	*
馬酔木 (創刊～4巻3号、全32冊)	*
福井県 足羽郡誌 (全2冊)	*
校倉の研究	*
阿蘇郡誌 (熊本県)	*
アダム・スミス 『道徳感情論』	
初版 [1759年刊] 及び第2版 [1761年刊] (全2冊)	
The Theory of Moral Sentiments	*
渥美郡史 (愛知県) (全2冊)	*
アニメーションとライフサイクルの心理学	84
アニメーションの映画学	*
安濃郡誌 (三重県)	*
阿仏尼とその時代 『うたたね』が語る中世	33
天翔ける祈りの舞	
一チベット歌舞劇 アチュ・ラモ三話	*
暫定 天草切支丹史 (熊本県)	*
天草郡史料 (熊本県) (全2冊)	*
天田郡志資料 (京都府) (全2冊)	*
阿彌陀佛の研究 増訂版	*
網野町史 (京都府)	*
あめりか いきものがたり 動物表象を読み解く	42
1920～1930年代 アメリカ小説選集 第1集 (全8冊)	
American Fiction between the Wars, 1st Series	39
1920～1930年代 アメリカ小説選集 第2集 (全10冊)	
American Fiction between the Wars, 2nd Series	39
アメリカ南部小説の愉しみ	42
荒ぶる京の絵師 曾我蕭白	81
アラブのなりわい生態系 (全10冊)	76
「アラブの春」とは一体何であったのか	
大使のチュニジア革命回顧録	70,89
ある地方官吏の生涯	
木簡が語る中国古代人の日常生活	61
自筆草稿 アルチュール・ランボー詩集 (メッサン版) (全2冊)	43
アルト・クチャ (古庫車) ALT-KUTSCHA	*

阿波国最近文明史料 (徳島県)	*
阿波国徴古雑抄 (徳島県)	*
阿波郡誌 (徳島県)	*
淡路 堅磐草 (全2冊)	95
重修 淡路常磐草	*
淡路國名所圖繪	91
安房震災誌 (千葉県)	*
シャーウッド・アングスン全集 (全21冊)	
The Complete Works of Sherwood Anderson	*
アンデスの聖人信仰	
人の移動が織りなす文化のダイナミズム	76
アンデスの文化遺産を活かす	
考古学者と盗掘者の対話	71
アンデス文明 神殿から読み取る権力の世界	69
アンデス文明ハンドブック	70

い

家忠日記	*
何鹿郡誌 (京都府)	*
イギリスに捧げた歌 —フィリップ・ラーキンを読む—	43
伊具郡誌 (宮城県)	*
胆沢郡誌 (岩手県)	*
瀧山	10
石井積翠軒文庫善本書目 (全2冊)	*
石川県 石川郡誌	*
石濱純太郎 續・東洋学の話	62
石濱純太郎 大壺讀書記	3,62
入中論講釈 意趣再明	*
出石・但馬雑誌 (兵庫県) (創刊～19号、合本2冊)	*
泉鏡花作品研究 同時代背景の注釈的検討を通して	32
千葉県 夷隅郡誌	*
応永本 和泉式部物語	*
出雲に於ける上代玉作の遺跡と遺物の研究	*
イスラームの東・中華の西	
七～八世紀の中央アジアを巡って	61
伊勢参宮名所圖會	*
伊勢集の風景	87
伊勢と源氏	*
絵入卷子本 伊曾保物語 翻刻・解題・図版解説	*28
経厚講 伊勢物語聞書	
一乗拾玉抄 影印・一乗拾玉抄の研究 (全2冊)	15,26
藝州 嚴島圖會 (全2冊)	*
一色町誌 (愛知県)	*
糸島郡誌 (福岡県)	*
稲築町誌 (福岡県)	*
犬上郡誌・高宮町史 (滋賀県)	*
いはてしのふ	*

茨城県古文書集成 *

茨城県馬渡における埴輪製作址 *

遺物が語る 大和の古墳時代 86

異文化を伝えた人々
19世紀在外コレクション研究の現在 *

異文化を伝えた人々Ⅱ
ハインリッヒ・フォン・シーボルトの蒐集資料 *

異文化を伝えた人々Ⅲ シーボルトの日本博物館 * 82

兵庫県 揖保郡地誌 *

越前国 今立郡誌 (福井県) *

イメージの狩人 一評伝ジュール・ルナール 86

「いやし」としての音楽
江戸期・明治期の日本音楽療法思想史 57,78

入間郡誌 (埼玉県) *

石城郡誌 (福島県) *

岩国市史 上巻 (山口県) *

岩瀬郡誌 (福島県) *

磐田市誌 (静岡県) (全2冊) *

磐田ものがたり (静岡県) *

岩手郡誌 (岩手県) *

岩野泡鳴全集 (本巻16冊・別巻1冊) 38

石見銀山に関する研究 *

岩美郡史 (鳥取県) *

隠居と定年 老いの民俗学的考察 87

院政の研究 *

正徳二年版 陰徳太平記 (全2冊) *

インド古典論理学の研究 一陳那の体系一 *

インド染織の現場 つくり手たちに学ぶ 72

増補 印南郡誌 (全2冊) *

千葉県 印旛郡誌 (全2冊) *

蔭涼軒日録 (全5冊) *

蔭涼軒日録索引 51

う

ヴァイシェーシカ・ストラ
一古代インドの分析主義的実在論哲学 8,66

ウィルキー・コリンズ傑作選 (全12冊) 42

ユードーラ・ウェルティ全集 (全9冊)
The Complete Works of Eudora Welty *

上田秋成資料集 *

イーデイス・ウォートン全集 (全26冊)
The Complete Works of Edith Wharton *

ロバート・ベン・ウォレン
アメリカ南部小説の愉しみ② 42

ロバート・ベン・ウォレン長編小説全集 (全10冊)
The Complete Novels of Robert Penn Warren 39

京都府 宇治郡誌 *

牛込區史 (東京都) *

宇治誌・宇治郡名勝誌 *

宇多天皇の日記を読む
天皇自身が記した皇位継承と政争 47

歌の手引 *

奈良県 宇智郡誌 96

宇土市史 (熊本県) *

有部阿毘達磨論の研究 *

馬・車馬・騎馬の考古学 東方ユーラシアの馬文化 ... 4,65

The View from Kyoto:
Essays on Twentieth-Century Poetry 43

宇和海浦方史料 三浦田中家文書 55,96

雲岡石窟の考古学 遊牧国家の巨石仏をさぐる 60

運動の時代 31

元亀二年京大本 運歩色葉集 *

天正十七年本 運歩色葉集 *

雲門 10

え

英国回想録叢書 (全12冊) English Memoirs Series ... 40

英国教育問題特別調査報告書 (全25冊) Special Rep.
on Educ. Subj. (1896-1914, Board of Educ., G.B.) *

叡山文庫文書絵図目録 *

映日叢書 (全8冊) 3,62

英文學春秋 (創刊~11号) *

絵入卷子本 伊曾保物語 翻刻・解説・図版解説 * 28

エキノクス (創刊~21号) EQUINOXE : Revue
internationale d'etudes francaises *

江刺郡志 (岩手県) *

エセー (全6冊) Montaigne, Michel de : Essais *

キリシタン版 エソポのハプラス私注 *

慧超往五天竺國傳研究 *

越境するコモンズ 資源共有の思想をまなぶ 75

越境する歴史学と世界文学 32,79

エッチング (創刊~133号,合本4冊) *

江戸戯画事典 83

江戸見物と東京観光 87

江戸時代における機械論的身体観の受容 57,78

江戸時代の漁場争い 一松江藩郡奉行所文書から 33

江戸時代の交通文化 *

江戸時代の古版本 [新訂増補版] *

江戸時代の朝鮮通信使と日本文学 30

江戸時代料理本集成 [資料編] (全50種115冊) *

江戸時代料理本集成 [翻刻編] (全11冊) * 58

享保以後 江戸出版書目 (新訂版) 6

江戸の食に学ぶ 幕末長州藩の栄養事情 88

江戸の銅版画 (新訂版) 82

江戸の女人講と福祉活動 88

江戸幕府と情報管理 *

石川県 江沼郡誌 *

慧能 * 10

慧能研究 慧能の伝記と資料に関する基礎的研究 12

京都大学蔵 頼原文庫選集 (全10冊) 27

繪本 浅香山 35

繪本 時世粧 (全2冊) 35

繪本 江戸爵 (全3冊) *

繪本 常盤草 (全3冊) 35

繪本 十寸鏡 (全3冊) *

繪本 物見岡 (全2冊) *

繪本 大和童 (全3冊) *

繪本 狂歌 山満多山 (全3冊) *

繪本 世都乃時 (全3冊) *

校訂 延喜式 (全3冊) *

演劇の魅力 一明治・大正・昭和の東西演劇一 *

槐・現代文學 (創刊~7巻1号,合本10冊) *

お

王朝貴族の葬送儀礼と仏事 48

王朝時代の実像 (全15冊) 3,50

王朝再読 50

王の舞の演劇学的研究 56

近江国高島郡水尾村の古墳 *

近江祭礼風土記 (全2冊) 94

近江人物志 (滋賀県) *

近江人物伝 (滋賀県) 94

近江における宮座の研究 *

近江名所圖會 *

大海人皇子秘話 18

麻植郡誌 (徳島県) *

大分県郷土史料集成 (全3冊) *

大宇陀町史 (奈良県) *

新訂 大宇陀町史 本編 (奈良県) *

新訂 大宇陀町史 史料編 (奈良県) (全3冊) 96

新修 大垣市史 通史編 (岐阜県) (全2冊) *

大久保利通傳 (全3冊) *

大阪人物誌 (全2冊) *

大館常興日記 (全3冊) *

ジョイス・キャロル・オーツ作品選集 (全12冊)
The Selected Works of Joyce Carol Oates 39

オートクチュール 1870-1970
Vaudoyer, M.; Le Livre de la Haute Couture *

オーレル・スタイン発掘 中央アジア古代仏堂壁画
Wall Paintings from Ancient Shrines in Central Asia *

大沼郡誌 (福島県) *

福井県 大野郡誌 *

大原郡誌 (鳥根県) *

大曲町郷土史 (秋田県) *

大三輪町史 (奈良県) *

大村市史 (長崎県) *

静岡県 小笠郡誌 *

小川環樹 中国語學講義 62

隠岐 ふるさと案内記 (鳥根県) *

奥丹後震災誌 (京都府) *

フラナリー・オコナー全集 (全11冊)
The Complete Works of Flannery O'Connor 39

尾崎雅嘉著述三種 *

尾崎翠の詩学 2,32

尾崎雄二郎 中国語音韻史の研究・拾遺 62

小山内薫全集 (全8冊) *

教えを信じ、教えを笑う 13

牡鹿郡誌 (宮城県) *

京大東洋学者 小島祐馬の生涯 88

増訂 小田郡誌 (岡山県) (全2冊) *

乙訓郡誌 (京都府) *

おとなのおとぎ話 89

ユージン・オニール戯曲集 [Wilderness Edition]
(全12冊) The Plays of Eugene O'Neil *

若狭 遠敷郡誌 (福井県) *

小野鶴山の研究 17

オハイオ州サンダスキー郡図誌
New Historical Atlas of Sandusky County, Ohio *

オリヴェタン仏訳 旧・新約聖書 1535年版
La Bible d'Olivétan (Neufchâtel, 1535) 19

オルテリウス 『世界地図帳』 1570年初版複製版
Ortelius, A.; Theatrum Orbis Terrarum *

1595年アントワープ刊本複製版
オルテリウス 『世界地図帳』 *

尾張名所圖會 *

音楽からインド社会を知る 弟子と調査者ののはざま 72

遠賀郡誌 (福岡県) *

音曲玉淵集 *

新編 温泉郡誌 (愛媛県) *

陰陽道 術数と信仰の文化 50

か

怪異学の技法 * 55

怪異学の地平 * 55

改修 捷解新語 *

海獣葡萄鏡の研究 67

マイクロフィルム版 改造 (創刊~戦前終刊号,全94ルール) ... 37

マイクロフィルム版 改造 検索用CD-ROM 37

英国回想録叢書 (全12冊) English Memoirs Series 40

海南郷土史 (和歌山県) *

海部郡誌 (徳島県) *

街道絵図の成立と展開 53

甲斐名所圖會 *

外来植物メスキート 76

海陸前後集・我か庵 *

果園文庫蔵書目録 6

淡路 堅磐草 (全2冊) 95

學習研究 (創刊~20巻3号,全38冊) *

増補 雅言集覽 (全4冊) *

加古郡誌 (兵庫県) *

加西郡誌 (兵庫県) *

加佐郡誌 (京都府) *

かさぬ草紙 *

鹿島志・香取志 *

梶山雄一仏教哲学論集 Y.Kajiyama, Studies in
Buddhist Philosophy (Selected Papers) 8

春日社記録 (既刊3冊) *

上總金鈴塚古墳 *

糟屋郡志 (福岡県) *

和泉往来 *

家族の人類学
マレーシア先住民の親族研究から助け合いの人類史へ 74

定本 花袋全集 (本巻28冊・別巻1冊) 38

学校保健研究 *

刈田郡誌 (宮城県) *

加東郡誌 (兵庫県) *

新修 加東郡誌 (兵庫県) (全2冊) *

千葉県 香取郡誌 *

神奈川県夏島における縄文文化初頭の貝塚 *

刊行書目索引

金沢文庫研究 (創刊～235号,合本8冊) …………… *	帝國議會 貴族院委員會議事速記録 大正期 (全28冊) *
金沢文庫研究紀要 (1～13号,合本6冊) …………… *	帝國議會 貴族院委員會議事速記録 第1期マイクロ版 (昭和元年～同22年,全70リール) 及び総目次 (全5冊) *
金沢文庫資料全書 (全10冊) …………… * 11	木曾路名所圖會 …………… 91
鹿足郡誌 (鳥根県) …………… *	北埼玉郡史 (埼玉県) …………… *
狩野探幽 御用絵師の肖像 …………… 81	北太平洋の先住民文化 歴史・言語・社会 …… 69,74
石川県 河北郡誌 …………… *	日本初のアニメーション作家 北山清太郎 …… 84
嘉穂郡誌 (福岡県) …………… *	国立歴史民俗博物館蔵 貴重典籍叢書 (全40冊) …… 22,52
鎌倉年代記 並びに裏書・武家年代記並びに裏書・鎌倉大日記 …………… ☆ * 46	京都大学蔵 貴重連歌資料集 (全6巻7冊) …… 24
幕末明治 上方歌壇人物誌 …………… 26	吉記・吉続記 (全2冊) …………… *
加美郡誌 (宮城県) …………… *	エドガール・キネ全集 (全30冊) Quinet, E.; Œuvres Complètes …………… *
上閉伊郡志・巖手縣下閉伊郡志 …………… *	定本 木下利玄全集 (全2冊) …………… *
上山田町史 (長野県) …………… *	岐阜県町村合併史 …………… 94
仮面の世界をさぐる アフリカとミュージアムの往還 …… 73	龜卜 歴史の地層に秘められたうらないの技をほりおこす * 55,89
賀茂郡志 (広島県) …………… *	千葉県 君津郡誌 (全2冊) …………… *
歌謡 —文学との交響 …………… 34	ウイラ・キャザール作品集 [Autograph Edition] (全13冊) The Novels and Stories of Willa Cather …………… *
ガリレオ・ガリレイ全集 (全21冊) Le Opere di Galileo Galilei …………… *	九州に於ける装飾ある古墳 …………… *
ハンス・カロッサ全集 (全10冊) …………… ☆ * 41	オリヴェタン仏訳 旧・新約聖書 1535年版 La Bible d'Olivétan (Neuchâtel, 1535) …… 19
川上郡誌 (岡山県) …………… *	舊幕府 (創刊～5巻7号,合本4冊) …………… *
河内国府石器時代遺跡発掘報告・河内国南高安及喜志石器時代遺跡調査・河内国府肥後轟等にて発掘せる人骨 …………… *	帝國議會 教育議事總覧 (全5冊) …………… *
河内国府石器時代遺跡第二回発掘報告・河内国府石器時代人骨調査 …………… *	杏雨書屋藏書目録 (洋書・和書) …………… *
河内における古墳の調査 …………… *	狂歌書目集成 …………… *
河内野中古墳の研究 …………… *	狂歌人名辞書 …………… *
河内名所圖會 …………… *	京職と支配 平安京の行政と住民 …………… 50
瓦と古代寺院 …………… *	京大人文研科学史資料叢書 (全13巻) …… 3,63,77
続・瓦と古代寺院 …………… *	京大文学部国語国文資料叢書 (全53冊) …… *
増補 鑑鏡の研究 …………… *	第一期 (全10巻)・第二期 (全10巻) …… 13,60～61
韓國の世界遺産 宗廟 王位の正統性をめぐる歴史 …… 60	京大東洋学者 小島祐馬の生涯 …… 88
朝鮮王朝 韓国服飾圖録 …………… *	京大俳句 (創刊～8巻2号,合本12冊) …… *
近江 神崎郡志橋 (滋賀県) (全2冊) …………… *	経塚遺宝 …………… *
漢字文化三千年 …………… *	京都古習志 …………… 94
漢書律曆志の研究 …………… *	新修 京都叢書 (全25冊) …… 28,53,95
漢代の神神 …………… *	新撰 京都叢書 (全12巻13冊) …… *
勅仲記・冬平公記・匡遠記 (全3冊) …………… 45	京都大学蔵 頼原文庫選集 (全10冊) …… 27
漢巴四部四阿含互照録 …………… *	京都大学蔵 実隆自筆 和漢聯句訳注 …… *
漢倭奴国王から日本国天皇へ 国号「日本」と称号「天皇」の誕生 …… * 60	京都大学蔵 大惣本稀書集成 (全18冊) …… 27
看聞日記紙背 和漢聯句譯注 …………… 23	京都大学文学部国語国文資料叢書 (全16冊) …… *
	郷土と美術 (全4冊) …………… 94
	京都の産物 献上・名物・土産 …… 5,58,80
	京都府史蹟名勝天然記念物調査報告 (全23冊) …… *
	京の酒学 …………… 88
	享保以後 江戸出版書目 (新訂版) …… 6
	明治～昭和前期 漁業権の研究と資料(上・下) …… 55
	玉英記抄・聾盲記・後奈良天皇宸記・土右記・白河上皇高野御幸記 …… *
	魚魯愚鈔 (全5冊) …………… *
	上智大学 吉利支丹文庫 …………… *
	儀礼と仏像 …………… 13
	近世異国趣味美術の史的研究 …… 82
	近世學校教育の源流 …………… *
	近世宮廷の和歌訓練—『万治御点』を読む …… 33
	近世庶民史料所在目録 (全3冊) …… *

き

京都府 紀伊郡誌 …………… *
紀伊織風土記 (全5冊) …………… *
紀伊國名所圖會 (全4冊) …………… 91
記憶と象徴としての毛沢東 民衆のまなざしから …… 75
祇園祭・花街ねりもの歴史 …………… 88
気候変動から読みなおす日本史(全6冊) …… * 53,68,79
疑經研究 …………… *
新編 稀書複製會叢書 (全47冊) …………… *
奇説つれづれ草紙 …………… *
帝國議會 貴族院委員會議事録 明治期 (全29冊) …… *
帝國議會 貴族院委員會議事録 大正期 (全22冊) …… *

近代政党政治家と地域社会	33
近世日本と朝鮮漂流民	*
近世日本風俗繪本集成 (16種38冊)	* 35
近世のアウトローと周縁社会	87
近世俳諧の玉手箱(上・下)	25
日野龍夫教授退官記念 近世文學・近代文學論集	*
近世異国趣味美術の史的 연구	82
近代地図帳の誕生	*
近代東南アジア社会経済の國際的契機	5.80
近代日本と地域交通	
一伊勢電と大軌系(近鉄)資本の動向	54
金融事項参考書 (全14冊)	*

く

愚管記(全4冊)	46
俱舎教義	*
俱舎論語義解明 善説の陽光	*
郡上八幡町史(岐阜県)(全2冊)	*
クジラとともに生きる アラスカ先住民の現在	71
新修 恭仁山莊善本書影	*
九戸郡誌(岩手県)	*
京都府 熊野郡誌	*
熊本縣教育史(全3冊)	*
熊本市史(熊本県)	*
くらしの景観 日本と中国の集落	79
定本 エレン・グラスゴー全集 [Virginia Edition] (全12冊) The Works of Ellen Glasgow	*
鞍手郡誌(福岡県)	*
クララ・ホイットニーが綴った明治の日々	49
栗原郡誌(宮城県)	*
グリムのメルヘンと明治期教育学	
一童話・児童文学の原点	19.44
宮城県 黒川郡誌	*
軍記物語とその劇化	
一『軍記物語』から『太閤記』まで	*
調点語と調点資料(第1~55輯,合本14冊)	*
高野山西南院蔵 調点資料の研究	*
調点資料と調点語の研究	*
群馬県岩宿発見の石器文化	*
群馬県武井における二つの石器文化	*

け

藝苑(創刊号)	*
景観で考える 人類学と考古学からのアプローチ	5,70,76
経済地理学年報(創刊~20号,合本5冊)	*
継承される地域文化 災害復興から社会創発へ	76
慶長・元和 和漢聯句作品集	23
京阪書籍商史	*
京阪神聯合保育會雑誌(創刊~50号,合本5冊)	*
藝文(創刊~2号)	*
桂林集注	*
気仙沼町誌(宮城県)	*
増補 源語釋泉 附續源語釋泉	*

建治三年記・永仁三年記・斎藤基恒日記・ 親基日記・親元日記(全3冊)	46
高松宮御蔵河内本 源氏物語(全4帙12冊)	*
謙信公御書集・寛上公御書集(全3冊)	51
現代社会の仏教	13
槐・現代文學(創刊~7巻1号,合本10冊)	*
現代の洋画(創刊~28号,全29冊)	*
源氏物語の異本を読む 一「鈴虫」の場合	33
玄装三蔵がつなぐ中央アジアと日本	4.66
現世の活動と来世の往生	13
原典講読セミナー	33
銅版画複製 乾隆得勝圖(全7種80枚)	* 64,83
元禄歌舞伎傑作集(全2冊)	*

こ

英文 小泉八雲全集 [Large Paper Edition](全16冊) The Writings of Lafcadio Hearn	*
後期密教の研究上・下(全2冊)	*
皇位継承の記録と文學	
『栄花物語』の謎を考える	29.48
皇位継承の歴史と儀礼	16.53
皇極經世解起數訣「聲音韻譜」校異記	65
考古学を科学する	68
工場監督年報(第1~23回,全23冊)	*
幸田町史(愛知県)	*
上野志料集成(栃木県)	*
行動(創刊~3巻9号,全24冊)	*
高度経済成長の時代	31
甲南町史(滋賀県)	*
鴻巣町史(埼玉県)	*
弘法大師の教義概観	*
弘法大師の宗教 一生きぬく宗教一	*
弘法大師の入定観	*
高野山領莊園の研究	*
高野の三大寶	*
広陵町史(奈良県)	96
英文 コールリッジ全集 [Shedd Edition](全7冊) The Complete Works of Samuel Taylor Coleridge	*
『紅樓夢』の世界 きめこまやかな人間描写	61
幸若舞曲集(全2冊)	*
五ヶ谷村史(奈良県)	96
コギト(創刊~146号,合本16冊)	*
古鏡の研究	*
五経索引(全4冊)	*
古今切紙集	*
古今集抄	*
古今集註	*
古今集の研究	*
古今序注	*
古今伝授の史的 연구	*
國語國文(83巻7号~)	2.21
國語・國文(創刊~25巻12号,合本35冊)	*
國語國文の研究(創刊~49号,合本9冊)	*
國際日本文化研究センター所蔵 日本関係文圖書目録 -1900年以前刊行分- 第4巻(1853年以前)	*

シーボルト日本植物誌 (全3冊) von Siebold, Fr.; Flora Japonica..... *	衆議院委員会議録・参議院委員会議録 第5期マイクロ版 (昭和41年~同46年, 全72リール) 及び 総目次 (全5冊)..... *
寺院文献資料学の展開 (全12冊)..... 1,12	衆議院委員会議録・参議院委員会議録 第6期マイクロ版 (昭和46年~同50年, 全72リール) 及び 総目次 (全5冊)..... *
ジェンダーの生成 —古今集から鏡花まで..... 34	衆議院委員会議録・参議院委員会議録 第7期マイクロ版 (昭和50年~同55年, 全72リール) 及び 総目次 (全6冊)..... *
ジェンダーと生政治..... *31	衆議院委員会議録・参議院委員会議録 第8期マイクロ版 (昭和55年~平成元年, 全108リール) 及び 総目次 (全9冊)..... *
視覚とマンガ表現 —科学とマンガのナベ(鍋?)ゲーショ—..... ☆84	秋聲全集 (全18冊)..... *
信楽町史 (滋賀県)..... *	呪者の肖像..... 75
志がらみ草紙 (創刊号~59号, 全59冊)..... *	術数学の思考 交差する科学と占術..... 60
四季交加 (全2冊)..... *	術数学の射程 東アジア世界の「知」の伝統..... 63,77
時雨物語絵巻の研究..... 27,81	改訂 愁風小倉城 (福岡県)..... *
地獄への招待..... *	ジュール・ルナール全集 (全16冊)..... *40
自讃歌註..... *	ジュゴン..... 76
四書索引 (全2冊)..... *	出家作法..... *
詩人杉浦梅潭とその時代..... 34	十七世紀のオランダ人が見た日本..... *57
静岡県史料 (全5冊)..... *	『酒飯論絵巻』影印と研究
静岡県人物志..... *	文化庁本・フランス国立図書館本とその周辺..... 27,58,81
改定 史籍集覧 (全33冊)..... *	春記・春記脱漏及補遺..... *
兵庫県 宍粟郡誌..... *	順徳天皇とその周辺..... *
静岡県 志太郡誌..... *	ジョイス・キャロル・オーツ作品選集 (全12冊)
七年史 (全2冊)..... *	The Selected Works of Joyce Carol Oates..... 39
シリーズ 実践仏教 (全5冊)..... 13	松岡木戸公傳 (全2冊)..... *
詩的言語序説..... 32	貞享期芭蕉論考..... 24
シナ・トルキスタンの古代仏教礼拝所..... 67	戦災等による 焼失文化財 (増訂版) (全2冊)..... *
シネマとジェンダー —アメリカ映画の性と戦争..... 85	趙州..... *10
篠村史 (京都府)..... *	『勝宗十句義論』 Daśapadārthi ダシャパダールティ..... *
柴田郡誌 (宮城県)..... *	瀟湘八景 —詩歌と絵画に見る日本化の様相..... *
シバとハナ —神霊の祭りごと—..... *	小説不実梅..... *
シビオーネ・アマーティ研究	漢譯四本対照 攝大乘論 (改訂新版) 附西藏譯攝大乘論..... *
慶長遣欧使節とバロック期西欧の日本像..... 56	聖徳太子全集 (全4冊)..... *
シベリアで生命の暖かさを感じる..... 72	聖徳太子傳 (全2冊)..... *
島に住む人類 オセアニアの楽園創世記..... *	上道郡誌 (岡山県)..... *
新修 島根県史 (全10冊)..... *	浄土真宗玉林和歌集..... 15,26
清水市郷土研究 (静岡県)..... *	商売繁昌..... *
紙魚の昔がたり..... *	城壁内からみるイタリア ジェンダーを問い直す..... 73
紫明抄 上・下 (全2冊)..... *	小右記 (全3冊)..... *
下益城郡誌 (熊本県)..... *	正法眼蔵..... 15,21
社会経済史學 (創刊~16巻4号・合本28冊)..... *	称名寺大蔵經 重要文化財 宋版一切経目録..... 1,6,12
隋唐都洛陽上林園翻經館沙門 釈彦琮の研究..... 12	抄物を読む心 —『黄氏口義』提要と注釈—..... 21
尺度綜考 尺度考・里程考・地割考・都城考..... *	ウッドョークカラ 「正理經」再注 (全4冊)
釋教歌詠全集 (全6冊)..... *	The Nyāyāsū tras of Gautama..... *
シャリアとロシア帝国 近代中央ユーラシアの法と社会 周易抄..... *	女學雜誌 (創刊~526号, 全548冊)..... *
帝国議會 衆議院委員會議録 大正期 (マイクロ版)..... *	書紀集解 (全5冊)..... *
帝國議會衆議院委員會議録・帝國議會貴族院委員會議 事速記録	職原鈔の基礎的研究 (並びに校本)..... *
第1期マイクロ版 (昭和元年~同22年, 全70リール) 及び 総目次 (全5冊)..... *	調読 続日本紀..... *
衆議院委員會議録・参議院委員會議録 第2期マイクロ版 (昭和22年~同29年, 全95リール) 及び 総目次 (全8冊)..... *	植物・食物の表象文化学..... 28,59,81
衆議院委員會議録・参議院委員會議録 第3期マイクロ版 (昭和30年~同36年, 全82リール) 及び 総目次 (全7冊)..... *	食物本草本大成 (全12冊)..... 58
衆議院委員會議録・参議院委員會議録 第4期マイクロ版 (昭和36年~同41年, 全71リール) 及び 総目次 (全6冊)..... *	諸国一年見望物語..... *
	諸国図会 年中行事大成..... *
	ブリュネ 書誌辞典 (全9巻8冊)
	Manuel du Libraire et de l'Amateur de Livres..... *

除目大成抄 大間成文抄	＊	人類学者は草原に育つ 変貌するモンゴルとともに	72
書物 —その起源と発達—の物語— Black on White—the Story of Books	＊	人類の移動誌	＊
書物展望 (創刊～18巻2号, 合本26冊・別巻1冊)	＊		
白樺 (創刊～14巻8号, 全160冊)	＊		
新羅古瓦の研究	＊		
調と都市 能の物語と近代化	31,56		
白百合 (創刊～4巻6号, 全42冊)	＊		
増補 史料大成 (全48冊)	＊45		
史林談叢 一史学研究60年の回想—	＊		
シルクロード発掘70年 —雲岡石窟からガンダーラまで—	＊		
四禮の研究 冠婚葬祭儀礼の沿革と意義	＊		
紫波郡誌 (岩手県)	＊		
清原宣賢自筆伊路波分類辭書 塵芥	＊		
塵芥索引	＊		
神祇と祭祀	＊		
眞詰 (上・下)	65		
リームズ=ダウイ 新・旧約聖書 (全3冊) New Testament, Rhemes, 1582. Holic Bible, Doway, 1609-10.	＊		
写真でつづる 新宮の百年 (兵庫県)	＊		
眞言密教の教學	＊		
眞言密教の本質	＊		
新思潮 第一次～第四次 (全32冊)	＊		
神社古圖集	16		
神社古圖集 続編	＊		
眞宗教學の研究	＊		
眞宗史の研究	＊		
眞宗叢書 (全13冊)	＊		
新庄古老覚書	＊		
神職寶鑑	16		
天治本 新撰字鏡 増訂版	20		
天治本享和本 新撰字鏡國語索引	20		
新撰 姓氏録考証 (全2冊)	＊		
新撰 万葉集	＊		
身体でみる異文化 目に見えないアメリカを描く	88		
京都大学文学研究科蔵 琉球写本『人中畫』四巻付『白姓』	65		
塵添埴囊鈔・埴囊鈔	＊		
神道祭祀論考	＊		
神道史研究 (創刊～24巻6号, 合本18冊)	＊		
神道書籍目録 (全2冊)	＊		
神道大辞典 縮刷版	＊		
神道の今昔	18		
神道美術の研究	＊		
神会	＊10		
眞福寺善本叢刊 第一期 (全12冊)・第二期 (全13冊)	＊11		
眞福寺善本叢刊 第三期 (神道篇) (全4冊)	＊11,16		
神佛交渉史	＊		
神仏習合	＊		
神仏靈驗譚の息吹き —身代わり説話をを中心に—	15,18,29		
清末中国の技術政策思想 西洋軍事技術の受容と変遷	64,78		
エラスムス 新約聖書 ギリシャ語原典1516年版 Novum Instrumentum Omne	＊		
新謡曲百番	＊		
		す	
		水左記・永昌記	＊
		隋東都洛陽上林園翻經館沙門 釈彦琮の研究	12
		増訂 隋唐曆法史の研究	＊
		翠金亭戲畫譜	35
		菅原道真の実像	☆＊87
		古典インド医学綱要書 スシュルタ本集	＊
		復刻版 スタイル (創刊～6巻9号, 全64冊)	36
		ジョン・スタインベック全集 (全20冊) The Complete Works of John Steinbeck	＊
		石川県 珠洲郡誌	＊
		スバル (創刊～5年12号, 全60冊)	＊
		住吉名勝圖會	＊
		Three Manichaean Sogdian letters unearthed in Bāzāklīk, Turfan	66
		(ベゼクリク千仏洞出土のマニ教ソグド語手紙文研究)	
		スリランカで運命論者になる 仏教とカーストが生きる島	73
		駿河記 (静岡県) (全2冊)	＊
		静岡県 駿東郡誌	＊
		せ	
		評伝 成牛溪 朝鮮の孔子廟と儒学者	59,69
		聖トマス 経済学 —中世経済史の一文獻—	＊
		西洋印刷文化史 A History of Printing, its Development through Five Hundred Years	＊
		西洋服飾史辞典 Leloir, M.; Dictionnaire du Costume	＊
		青樓美人合 (全5冊)	35
		オルテリウス 『世界地図帳』 1570年初版複製版 Ortelius, A.; Theatrum Orbis Terrarvm	＊
		1595年アントワープ刊本複製版 オルテリウス 『世界地図帳』	＊
		世界の中の『源氏物語』—その普遍性と現代性—	26
		関ヶ原町史 (全6冊)	＊
		石頭	10
		セクシュアリティの表象と身体	85
		摂津高槻在東氏所蔵吉利支丹遺物・京都及其附近発見の切支丹墓碑・切支丹教名合字鞍及南蛮人絵鞍	＊
		雪峰	10
		攝津名所圖會 (全2冊)	＊
		新写永祿五年本 節用集	＊
		経亮本 節用集	＊
		説話の形成と周縁 古代篇・中近世篇	29,53
		世羅郡誌 (広島県)	＊
		禪學研究 (創刊～58号, 合本10冊)	＊
		禪学典籍叢刊 (全11巻13冊, 別冊1冊)	＊8
		清原宣賢自筆分類辭書 宣賢脚字書	＊
		戦後アメリカ小説選集 第1集 (全30冊) Postwar American Fiction 1945-1965, 1st Series	＊

戦後アメリカ小説選集 第2集 (全15冊)
 Postwar American Fiction 1945-1965, 2nd Series *

善光寺道名所圖會 *

戦後日本の傷跡 31,79

戦後日本を読みかえる (全6冊) * 31,79

戦後漫画のトップランナー 横井福次郎
 一手塚治虫もひれ伏した天才漫画家の軌跡 84

知識論決択広註 善釈要集 *

俱舍論語義解明 善説の陽光 *

選択される命 子どもの誕生をめぐる民俗 56

禪の中世 仏教史の再構築 13

千佛洞 一敦煌窟院出土の佛教絵画—
 The Thousand Buddhas *

天理図書館 善本写真集 (全50冊) *

専門商社から総合商社へ 一丸紅における事例研究— *

梵文 善勇猛般若波羅蜜多經 序論文付
 Suvikrāntavikrāmi-Pariprcchā Prajñāpāramitā-Sūtra *

そ

蔵英辞典 (イエシユケ) A Tibetan-English Dictionary 7

蔵英辞典 (ダス) Tibetan-English Dictionary 7

宋元版禪籍の文献史的研究 (全3冊) 1,8

創作 第一期 (全20冊) *

千葉県 匝瑳郡誌 *

曹山 10

国立国会図書館蔵 蔵書印譜 *

蔵書名印譜 *

叢書集 *

草創期のメディアに生きて 山田美妙没後100年展図録 ... 38

想像する身体 (上・下) 30,55,76

宗長秘歌抄 *

称名寺大蔵経 重要文化財 宋版一切経目録 1,6,12

蔵梵辞典 Tibetan-Sanskrit Dictionary 7

蔵梵辞典 補遺
 Tibetan-Sanskrit Dictionary Supplementary Volume 7

贈与論再考 人間はなぜ他者に与えるのか *

京都府 相楽郡誌 *

荒ぶる京の絵師 曾我蕭白 81

続・瓦と古代寺院 *

續史籍集覧 (全10冊) *

増補改訂 東アジア仏教の生活規則 梵網経
 最古の形と発展の歴史 1,13

増補 續史料大成 (全51冊) * 46

即身成佛の観行 *

ソグド語文法講義 66

ソグド人の美術と言語 *

續朝鮮資料による日本語研究 *

續豊山全書 (全21冊) *

祖国 (創刊~7巻1号,全58冊) 36

ソシオロジ *

養生思想Ⅱ 房中術『素女妙論』 3,63,77

曾禰好忠集 *

た

台記・台記別記・宇槐記抄 (全3冊) *

大乘院寺社雑事記 (全12冊) *

大乘院寺社雑事記総索引 人名篇/地名・件名篇 *

大乘莊嚴經論 (全2冊) Mahāyāna-Sūtrālaṃkāra 8

マイクロフィルム版 大正大禮記録 *

大神宮叢書 (全16冊) *

京都大学蔵 大惣本稀書集成 (全18冊) 27

大地の民に学ぶ 激動する故郷、中国 73

西藏語訳 大唐西域記 *

大日經の研究 14

大般涅槃経 Das Mahāparinirvānaśūtra *

梵文 大方廣佛華嚴經十地品
 Daśabhūmiśvaro Nāma Mahāyānaśūtram *

内裏名所百首 *

内裏名所百首注 *

大禮と朝儀 付有職故実に関する講話 16

タイワンインシシを追う 民族学と考古学の出会い 72

多可郡誌 (兵庫県) *

高田郡誌 (広島県) *

高松市史 (香川県) *

増補 高松藩記 (香川県) *

多紀郷土史考 (兵庫県) (全2冊) *

丹後國 竹野郡誌 (京都府) *

多元的中華世界の形成 東アジアの「古代末期」 4,69

校補 但馬考 (兵庫県) *

Daśapadārthi ダシャパダールティー
 「勝宗十句義論」 *

福島県 伊達郡誌 *

多度津町史 (香川県) *

旅と祈りを読む 道中日記の世界 88

玉造小町子壯衰書の研究 (全2冊) *

熊本県 玉名郡誌 *

玉野市史 (岡山県) *

田村郡郷土史 (福島県) *

「ためし」から読む更級日記
 漢文日記・土佐日記・蜻蛉日記からの展開 28,47

多聞院日記 附蓮成院記録 (全5冊) *

田安德川家蔵書と高乗敷文庫
 一二つの典籍コレクション 34

丹鶴図譜 *

丹鶴叢書 (全8冊・図譜1帖) *

丹後郷土史料集 (京都府) (全2冊) *

復刻版 丹青 83

増訂 丹波史年表 (京都府・兵庫県) *

丹波人物志 (京都府・兵庫県) *

ち

チェインバーズ百科事典 1728年 (全2冊)
 Cyclopædia or, an Universal Dicti. of Arts and Sci. *

親長卿記・同補遺・宣胤卿記・同補遺 (全5冊) 45

近松歌舞伎狂言集 (全2冊) *

親孝日記・親俊日記・結番日記・伺事記録 (全2冊) *

築上郡史 (福岡県) (全2冊) *

筑前国嘉穂郡王塚装飾古墳…………… *

筑前志 (福岡県)…………… *

筑前須玖史前遺跡の研究・須玖岡本発見の古鏡について…………… *

竹田画譜…………… *

竹柏園蔵書志…………… *

竹苞楼来翰集…………… *

カルナカゴミン 知識論評釈復註 Karnakagomin's Commentary on the Pramānavārttikavṛtti of Dharmakīrti *
 埼玉県 秩父郡誌…………… *

千葉県天神前における弥生時代中期の墓址群…………… *

千蔵絵画軸集成 (本巻2冊・図版1冊)
 Tibetan Painted Scrolls…………… *

西藏学文献史
 Materials for a History of Tibetan Literature…………… *

影印・北京版 西藏大蔵経 総目録・索引
 Peking ed.; The Tibetan Tripitaka Catalogue & Index…………… *

チベット絵画史…………… *

チベット・ネパールの仏教絵画
 The Buddhist Paintings of Tibet and Nepal…………… *

チベットの歴史と社会
 (上:歴史篇・宗教篇・下:社会篇・言語篇)…………… * 66

チベット仏教絵画集成 一タンカの芸術— (全7冊) Art of Thangka from the Hahn Kwang-ho Collection…………… 14,67,82

チベット仏教図像集成 (全3冊)
 Buddhist Iconography of Tibet…………… *

地方産業の発展と地主制…………… *

オーレル・スタイン発掘 中央アジア古代仏堂壁画
 Wall Paintings from Ancient Shrines in Central Asia…………… *

中央ユーラシア環境史 (全4冊)…………… 68

中央アジア史研究…………… *

中學教育史稿…………… *

中観学説決択集…………… *

中宮物語絵巻の研究…………… 27,81

中国江南マニ教絵画研究
 Studies of the Chinese Manichean paintings of South Chinese origin preserved in Japan…………… 14,66,83

中国古代車馬研究…………… 64

中國宗教文獻研究…………… 12,65

中國畫學書解題…………… *

中國畫學總論…………… *

森槐南遺稿 中國詩學概説…………… *

中国初期仏塔の研究…………… 14,65

中国禅宗史書の研究…………… 12

中国図書の歴史…………… *

中世の王朝物語 享受と創造…………… 26

中世寺院と民衆…………… *

増補 中世寺院と民衆…………… ☆15,56

中世神道の研究…………… *

中世禅籍叢刊 (全13冊)…………… * 9

中世禅の知…………… 14

中世禅への新視角 『中世禅籍叢刊』が開く世界…………… 9

中世日本文学の書誌学的研究…………… *

中世の王家と宮家 皇子たちの中世…………… 3,50

中世播磨と赤松氏…………… *

中世文学論の考究 中国詩・詩論の投影を中心として…………… *

中右記 (全7冊)…………… 45

中右記人名索引 上・下 (全2冊)…………… 51

長秋記 (全2冊)…………… *

長生郡郷土誌 (千葉県)…………… *

「朝鮮資料」による中・近世語の再現…………… 31

朝鮮人名辭書 (全2冊)…………… *

朝暎に類づく 太田村誌 (岩手県)…………… *

朝廷儀礼の文化史 節会を中心として…………… 53

重宝記資料集成 (本巻45冊・別巻1冊)…………… * 30,54

重宝記の調方記 一生活史百科事典発掘一…………… 30,54

眺望集 一古短冊聚英一 (正・続)…………… *

勅板集影…………… *

地理学史研究 (全2冊)…………… *

つてと

山城 綴喜郡誌 (京都府)…………… *

敦賀郡誌 (福井県)…………… *

アイスラー 哲学辞典 増訂第四版 (全3冊)
 Wörterbuch der Philosophischen Begriffe…………… *

田楽考…………… *

天正遣欧使節…………… *

天と地の科学 東と西の出会い…………… 63,77

天武天皇出生の謎…………… *

天明俳書集 (全8冊)…………… 25

天理図書館 善本写真集 (全50冊)…………… *

毘沙門堂蔵 篆隸文体…………… 21,65

東海道の創造力…………… 54

東京市史稿 (橋梁篇) (全2冊)…………… *

東京市史稿 皇城篇・遊園篇・港湾篇・上水篇・變災篇・救済篇・宗教篇 (全34冊・附図2枚)…………… *

東京市史稿 (産業篇)…………… 92

東京市史稿 (市街篇)…………… * 93

道元禪師全集 (全3冊)…………… 15

洞山…………… 10

「唐人殺し」の世界…………… *

當世詩林…………… *

東大寺宗性上人の研究並史料 (全3冊)…………… *

東大寺の瓦工…………… *

唐代の禅僧 (全12冊)…………… 10

アダム・スミス 『道徳感情論』初版 [1759年刊]
 及び第2版 [1761年刊] (全2冊)
 The Theory of Moral Sentiments…………… *

東都武家雅文壇考…………… 25

東洋天文学史研究…………… *

東洋歴史大辞典 縮刷版 (全3冊)…………… *

梶尾祥雲全集 (本巻6冊・別巻5冊)…………… * 14

西洞院時慶自筆 時慶記 (全10冊)…………… 52

徳川日本のナショナル・ライブラリー…………… 49

復刻版 独立美術 (原裝復元/合本)…………… 83

土佐国編年紀事略 (高知県)…………… *

栃木県出流原における弥生時代の再葬墓群…………… *

栃木縣史 (全17冊)…………… *

『とはずがたり』のなかの中世…………… *

トマス辞典 A Lexicon of St. Thomas Aquinas…………… *

富雄丸山古墳・西宮山古墳出土遺物	＊	「日記」と「随筆」ジャンル概念の日本史	29,49
登米郡史(宮城県)(全2冊)	＊	日記に魅入られた人々 王朝貴族と中世公家	48
豊田郡誌(広島県)	＊	日光山志	＊
シオドア・ドライサー全集(全20冊) The Works of Theodore Dreiser	＊	日中数学界の近代 西洋数学移入の様相	64,78
マーガレット・ドラブル作品集(全8冊) The Works of Margaret Drabble	40	二戸郡誌(岩手県)	＊
トランジション(全10冊) Transition	43	日本韻学史の研究(増訂版)(全3冊)	＊
ドリアン王国探訪記 マレーシア先住民の生きる世界	71	日本お伽噺(全24冊)	＊
敦煌秘籍留真	＊	日本楽道叢書(台本2冊)	＊
トンプクトゥ 交界都市の歴史と現在	70,76	国際日本文化研究センター所蔵 日本関係図文書目録 -1900年以前刊行分- 第4巻(1853年以前)	＊
な			
中川家文書	＊	日本教育史 増訂改版	＊
中蒲原郡誌(新潟県)(全6冊)	＊	日本教育史資料(全9冊)	＊
那賀郡誌(鳥根県)	＊	日本教育史資料書(全5冊)	＊
丹後國 中郡誌稿(京都府)	＊	文部大臣を中心として評論せる 日本教育之変遷	＊
長崎縣教育史(全2冊)	＊	日本近世教育史	＊
長崎縣郷土誌	＊	日本経営史における「家」の研究	＊
長崎縣人物傳	＊	日本現在在中國名畫目録	＊
長崎乃美術史	＊	日本國誌資料叢書(全12冊)	＊
仲多度郡史(香川県)	＊	日本古代の神と靈	18,55
長野県上ノ平の尖頭器石器文化	＊	日本古代の地域と交流	52
中之島誌 附中之島校園沿革誌(大阪府)	＊	日本語の起源と古代日本語	21
近江 長濱町志(滋賀県)(全4冊)	＊	日本語の史的研究	＊
和歌連歌用語辞書 流木集廣注	24	日本古墳文化資料綜覧	67
名古屋南部史(愛知県)	＊	續日本古墳文化資料綜覧 文献篇	67
増補 那須郡誌(栃木県)	＊	續日本古墳文化資料綜覧 遺跡篇	67
ナツメヤシ	76	訓読 日本三代実録	＊
名取郡誌(宮城県)	＊	日本宗教制度史料類聚考	＊
名張市史(三重県)	＊	日本莊園制論	＊
奈良名所 八重櫻	92	訓読 日本書紀	＊
福井県 南條郡誌	＊	兩足院藏 日本書紀抄	21
南都大安寺論叢	＊	日本書紀通證(全3冊)	＊
南都名所集	92	日本庶民教育史(全3冊)	＊
南方渡海古文獻圖録	＊	日本禪宗年表	＊
南北朝の宮廷誌 一二条良基の仮名日記	＊	日本人にとって日記とは何か	28,47
に			
西アフリカの王国を掘る 文化人類学から考古学へ	72	日本地誌提要	＊
西蒲原郡志(新潟県)	＊	日本中世住宅史研究	＊
西川祐信「正徳ひな形」影印・注釈・研究	82	日本都市中小工業史	＊
英文 錦絵から見た日清戦役史	＊	日本のイネ品種考 木簡からDNAまで	59,68
西筑摩郡誌(長野県)	＊	日本刀藏書印	＊
鳥根県 仁多郡誌	＊	「日本の伝統文化」を問い直す	30,56
日蘭關係史をよみとく(上・下)	57	日本のミイラ仏	＊
日蓮聖人のご真蹟	＊	増補 日本のミイラ仏	☆＊87
日蓮聖人の法華曼荼羅	＊	新装版 日本の未来へ 司馬遼太郎との対話	74,78
新訂増補 日宗龍華年表	＊	日本初のアニメーション作家 北山清太郎	84
日韓アニメーションの心理分析	＊	上代 日本佛教文化史(全2冊)	＊
一出会い・交わり・閉じこもり	85	日本文庫史研究(全2冊)	＊
日記から読む撰閣政治	47	日本法花験記	＊
日記で読む日本史(全20冊)	28~29,47~49	二本松藩史	＊
		日本密教學道史	＊
		日本昔噺(全24冊)	＊
		日本幼稚園史	＊
		日本林制史資料(全30冊)	＊
		日本倫理彙編(全10冊)	＊
		ニヤヤー・ストラ並びに諸註釈(全2冊)	＊
		Nyāyadarśanam	＊

丹生郡誌(福井県) *

ニューゲイトカレンダー大全(全5冊)
The Complete Newgate Calendar 40

人間にとってスイカとは何か
カラハリ狩猟民と考える * 71

ぬ・ね・の

沼隈郡誌(広島県) *

年中行事(第1~12冊) *

諸国図会 年中行事大成 *

年表 日本漫画史 *

石川県 能美郡誌 *

宣胤卿記・同補遺・親長卿記・同補遺(全5冊) 45

は

バーナード・マラマッド全集(全12冊)
The Complete Works of Bernard Malamud 39

パーニニの文法(全2冊) Pāṇini's Grammatik *

パーリ語辞典 Dictionary of the Pali Language *

パーリ語読本 A Pali Reader with Notes and Glossary
ラフカディオ・ハーン全集 [Large Paper Edition]
(全16冊) The Writings of Lafcadio Hearn *

俳書叢刊(全9冊) *

敵戦と占領 31

静岡県 榛原郡誌(全2冊) *

石川県 羽咋郡誌 *

バクサムジョンサン Pag Sam Jon Zang *

増補訂正 幕府時代の長崎 *

幕末維新 日朝外交史の研究 59

幕末経済史研究 *

幕末明治 上方歌壇人物誌 26

橋川時雄 民国期の學術界 62

芭蕉と元政 *

秦氏とカモ氏 *

八戸市史 通史編(青森県) *

八幡宇佐宮御託宣集 *

八幡宮巡拝記 *

花園天皇宸記・伏見天皇宸記(全2冊) 45

バブルと失われた20年 31

浜松市史(静岡県)(全2冊) *

西播史談会会報 播磨(兵庫県)(創刊~76号,合本6冊) 95

播磨國風土記新考 *

播磨考・姫路市町名字考(兵庫県) *

晴右記・晴豊記 46

播州名所巡覧圖繪 *

ハンス・カロツサ全集(全10冊) ☆ 41

版本地誌大系 91~92

版本番外謡曲集(全3冊) *

パスカル パンセ(草稿ファクシミリ版)
Original des Pensées de Pascal 19

播陽万宝智恵袋(全2冊) *

ひ

檜垣嬢集 *

東アジア古代の車社会史 64

東アジア伝統医療文化の多角的考察 63,77

東アジアの中の戦後日本 31

東アジア仏教の生活規則 梵網經 最古の形と発展の歴史 *

増補改訂 東アジア仏教の生活規則 梵網經
最古の形と発展の歴史 1,13

東茨城郡誌(茨城県)(全2冊) *

東磐井郡誌(岩手県) *

東白川郡史(福島県) *

丹波 水上郡志(兵庫県)(全2冊) *

ピゴーの150年 一異色フランス人画家と日本 83

ピゴーを読む 一明治レアリズム版画200点の世界 84

肥後に於ける裝飾ある古墳及横穴 *

彦根市史(滋賀県)(全3冊) *

備作人名大辭典(岡山県)(全2冊) *

毘沙門堂藏 篆隸文體 21,65

眉山全集(本巻7冊・附巻3冊) *

肥前風土記新考 *

紀州文献 日高近世史料(和歌山県) *

筆算をひろめた男 幕末明治の算数物語 57,78

備中国浅口郡津雲貝塚発掘報告・肥後国宇土郡
轟貝塚発掘報告 *

近江 日野町志(滋賀県)(全3冊) *

比婆郡誌(広島県) *

批評(創刊~6巻3号・復活2号,合本6冊) *

秘密事相の研究 *

秘密集會經要略 他三篇 *

秘密佛教史 *

秘密佛教の研究 *

新訂 姫路城史(全3冊) *

百韻連歌懐紙 *

百首歌 一折りと象徴 33

百丈 10

百人一首一夕話(全2冊) 25

百人女郎品定(全2冊) *

チェインバーズ 百科事典 1728年(全2冊)
Cyclopædia or, an Universal Dicti. of Arts and Sci. *

日向文献史料(宮崎県) *

The View from Kyoto:
Essays on Twentieth-Century Poetry 43

評伝 成牛溪 朝鮮の孔子廟と儒学者 59,69

病悩と治療 王朝貴族の実相 50

兵庫県神社誌(全4冊) *

京大本 平他字類抄 *

兵範記・江記・平知信朝臣記(全5冊) *

平田篤胤の研究 *

平田町史(岐阜県)(全2冊) *

廣島縣史(全4冊) *

ヒンドウークシュ南北歴史考古学叢攷(全4冊) 4,64

ふ

フェアブル『昆虫記』付フェアブル伝(全11冊)	
Fabre, J.-H.; Souvenirs Entomologiques	42
フィールドワーク選書(全20冊)	* 71~73
保存版 諷刺画研究	*
風姿花伝研究	30,56
風流四方屏風(全2冊)	35
深谷町誌(埼玉県)	*
福島県史(資料篇)(既刊3冊)	*
石川県 鳳至郡誌	*
武家手鑑	*
武家手鑑釋文	*
藤枝の伝説と童話(静岡県)	*
富士谷御杖の門人たち	26
京都府 伏見町誌	*
藤原定家研究 増補版	*
DVD-ROM 版 婦人画報(創刊~戦前終刊号)	37
DVD-ROM 版 婦人公論(創刊~戦前終刊号)	37
マイクロフィルム版 婦人世界(創刊~28巻5号,全69ルール)	37
扶桑五山記	*
仏教漢語 語義解釈	12
仏教混濁梵語文法および辞典(全2冊)	
Buddhist Hybrid Sanskrit Grammar and Dictionary	*
仏教小論集 Minor Buddhist Texts	*
仏教の聖者 史実と願望の記録	13,61
仏典とマインドフルネス 負の反応とその対処法	* 14
船井郡誌(京都府)	*
フラナリー・オコナー全集(全11冊)	
The Complete Works of Flannery O'Connor	39
リシュレ フランス語辞典 1759年版(縮刷版)(全3冊)	
Dictionnaire de la Langue Française de P.Richelet	*
ラファイ 仏語類義語辞典 Lafaye, B.; Dictionnaire des Synonymes de la Langue Française	*
フランス詩 道るべ	86
ブリハッド・デーヴァター-The Bṛhaddevatā	66
ブリュネ 書誌辞典(全9巻8冊)	
Manuel du Libraire et de l'Amateur de Livres	*
ブルースト書簡集(本巻26冊・別巻1冊)	
Correspondance et Souvenirs de Marcel Proust	*
古川市史 上巻(宮城県)	*
ライデン国立民族学博物館蔵 プロムホフ蒐集目録 プロムホフの見たかった日本 Japan through the Eyes of Blomhoff.The Blomhoff Collection at the National Museum of Ethnology, Leiden	6,58,82
文化遺産と生きる	75
文學界(創刊~58号,全58冊)	*
文翰雑編(全8冊)	*
豊後風土記新考	*
豊後磨崖石佛の研究	*
別本 ふんせう	*
文禄・慶長の役と東アジア	59
文明史のなかの文化遺産	75
文明と身体	32,79

へ

平安貴族社会と具注曆	47
平安期日記文学総説 一人称の成立と展開	29,48
平安期密教思想の展開 安然の真如論から覚鑊の身体論へ	2,13
平安宮廷の日記の利用法 『醍醐天皇御記』をめぐる	48
平安時代の国司の赴任 『時範記』を読む	* 48
平安前期対外姿勢の研究	52
平益攻藏古壘印選 園田湖城先生蒐藏中國古印集成(全4冊)	*
平曲正節(全3冊)	*
兩足院藏 平家物語(全3冊)	*
平戸記・妙槐記(全2冊)	45
碧山日録	46
碧冲洞叢書(全16冊)	24
ベスタロッター研究 文献解題 並びに伝記・書翰集 (全3冊) Pestalozzi-Bibliographie	*
Three Manichaean Sogdian letters unearthed in Bāzāklīk, Turfan (ベゼクリク千仏洞出土のマニ教ソグド語手紙文研究)	66
アーネスト・ヘミングウェイ—21世紀から読む作家の地平	43
ベリ—とヘボンと横浜開港 情報学から見た幕末	57
ヘルマン・ヘッセ全集(全16冊)	* 41
ヘルマン・ヘッセ エッセイ全集(全8冊)	41
ベルリ提督日本遠征記(全2冊)	*
弁慶物語	*
ヘンリー・ジェイムズ自伝 一ある少年の思い出	*

ほ

貿易陶磁 一奈良・平安の中国陶磁—	67
法眼	10
訪書餘録(全2冊)	*
法然上人傳の成立史的研究(全3冊)	*
ポップ・愛の書簡詩	*
暴力のありか 中国古代軍事史の多角的検討	69
新編 北羽發達史(秋田県)(全2冊)	*
捕鯨と反捕鯨のあいだに 世界の現場と政治・倫理的問題	75
法華経直談鈔(全3冊)	*
法華経直談鈔 古写本集成(全14冊)	*
法華経鷲林拾葉鈔(全4冊)	*
法華経を中心にしての大乗經典の研究	*
菩薩として生きる	13
北海道白滝服部台における細石器文化	*
保土ヶ谷区郷土史(神奈川県)	*
ポップなジャポニカ、五線譜に舞う 19~20世紀初頭の西洋音楽で描かれた日本	57,78
ヴァチカン図書館蔵 葡日辞書	20
三国伝来 仏の教えを味わう インド・中国・日本の仏教と「食」	89
微笑みの国の工場 タイで働くということ	71
ポリネシア海道記 不思議をめぐる人類学の旅	74
英語版 ポロブドゥール(全4冊)	*

刊行書目索引

梵英辞典 改訂増補版
The Practical Sanskrit-English Dictionary 7
本郷區史 (東京都) *

梵語文章論 Sanskrit Syntax *

本尊論資料 身延相傳・諸山相傳 *

梵藏漢和四訳対校 翻訳名義大集 *

東アジア仏教の生活規則 梵網經 最古の形と発展の歴史 *

増補改訂 東アジア仏教の生活規則 梵網經
最古の形と発展の歴史 1,13
梵網經の教え 今こそ活かす梵網戒 2,13

ま

マーガレット・ドラブル作品集(全8冊)
The Works of Margaret Drabble 40

真木和泉守全集 *

真木和泉守の研究 *

牧田諦亮著作集(全8冊) 10

松江藩經濟史の研究 *

松代町史 (長野県) (全2冊) *

松代町史 続巻 (長野県) *

松永市本郷町誌 (広島県) *

新訂 松永貞徳の研究 正・続 (全2冊) *

マテオ・リッチ 『坤輿萬國全圖』 90

中国江南マニ教絵画研究
Studies of the Chinese Manichaean paintings of
South Chinese origin preserved in Japan 14,66,83

真弓常忠著作選集 (全4冊) 18

バーナード・マラムド全集 (全12冊)
The Complete Works of Bernard Malamud 39

マラルメの「大鴉」 86

マンガジャンル・スタディーズ 85

マンガとミュージアムが出会うとき 84

マンガの教科書 —マンガの歴史がわかる60話 5,85

マンガのなかの〈他者〉 84

マンガローブ 76

曼殊院蔵書目録 *

曼殊院蔵 和漢聯句作品集 24

曼荼羅の研究 *

萬年艸 (創刊~12号) *

萬葉 (創刊~72号,合本6冊) *

鹿持雅澄自筆稿本 萬葉集古義 (全9冊) *

萬葉集叢書 (全11冊) *

萬葉集註釋 仙覺抄 *

万葉集の諸問題 *

万葉集論考 22

み

三池郡誌 (福岡県) *

宇和海浦方史料 三浦田中家文書 (全4冊) 55,96

御影町誌 (兵庫県) *

美方郡誌 (兵庫県) *

未刊隨筆百種 (全23冊) *

三崎郷土史考 (神奈川県) *

三田文學 (創刊~7巻2号,全80冊) *

御調郡誌 (広島県) *

密教思想と生活 *

密教占星法 (全2冊) *

密教法具 (全2冊) *

水戸派国学の研究 17

南会津郡誌 (福島県) *

南宇和郡誌 (愛媛県) *

南太平洋のサンゴ島を掘る 女性考古学者の謎解き 71

南太平洋の伝統医療とむきあう
マラリア対策の現場から 73

南桑田郡誌 (京都府) *

南多摩郡誌 (東京都) *

峰山郷土史 (京都府) (全2冊) *

兵庫県 美囊郡誌 *

宮崎県史料(全8冊) 54,94

丹後 宮津志 (京都府) *

名西郡志 (徳島県) *

明星 (創刊~100号,全100冊) 36

第二次 明星 (創刊~10巻2号,全48冊) *

身をもって知る技法 マダガスカルの漁師に学ぶ 72

年刊 民俗探訪 (昭和26年~45年度,合本4冊) *

む

ジョージ・ムーア全集 [The Carra Edition] (全22冊)
The Collected Works of George Moore *

宗像群誌 (福岡県) (全3冊) *

紫式部日記を読み解く
源氏物語の作者が見た宮廷社会 * 28,47

室町殿日記 (全2冊) *

室町前期 和漢聯句作品集 23

室町・戦国期儀礼秩序の研究 *

室町後期 和漢聯句作品集 23

京都大学蔵 むろまちものがたり (全12冊) 25

め

明治維新以後の長崎 *

明治維新と京都 —公家社会の解体— * 86

明治開化期と文学 —幕末・明治期の国文学 32

明治學制沿革史 *

明治~昭和前期 漁業権の研究と資料(上・下) 55

明治前期学校成立史 19

明治前日本医学史 (全5冊) *

明治前日本漁業技術史 *

明治前日本建築技術史 *

明治前日本鋳業技術発達史 *

明治前日本数学史 (全5冊) *

明治前日本生物学史 (全2冊) *

明治前日本天文学史 *

明治前日本土木史 *

明治前日本農業技術史 *

明治前日本薬物学史 (全2冊) *

明治前日本林業技術発達史 *

明治大学文学部考古学研究報告 第1冊~第8冊 *

明治の出版文化 —土傳古逸佛典開寶— *

鳴沙餘韻 —敦煌出土土傳古逸佛典開寶— *

めさまし草 (創刊～56号) *

メディアのなかのマンガ―新聞一コママンガの世界 *

メルヴィルの語り手たち 42

も

蒙古襲来と鎌倉幕府 59

両足院蔵 林宗二・林宗和自筆 毛詩抄(毛詩環翠口義) 22

増訂 最上郡史 (山形県) *

古活字版 藻塩草 改編 和歌藻しほ草 (全2冊) *

目録学の誕生 劉向が生んだ書物文化 60

物語がつくった驕れる平家
貴族日記にみる平家の実像 29,48

ものどくらしの植物誌 東南アジア大陸部から 74

桃生郡誌 (宮城県) *

紅葉山文庫と書物奉行 *

モリエール全集(全10冊) 40

増補改訂 森幸安の描いた地図 53

や

八木町誌 (京都府) *

八坂神社記録(全4冊) 46

新編 八坂神社記録 51

八坂神社の研究 *

新修 八坂神社文書 中世篇 51

新編 八坂神社文書(全2冊) 51

増補 八坂神社文書(全3冊) *

野洲郡史 94

康富記・親長卿記別記 (全4冊) *

八東郡誌 (島根県)(全2冊) *

八代郡誌 (熊本県) *

改訂 八名郡誌 (愛知県) *

藪内清著作集(全8冊) 3,63,77

山鹿素行の研究 17

山形市史(通史編) (山形県)(全3冊) *

やまがたの歴史 (山形県) *

山崎闇齋の研究 *

續 山崎闇齋の研究 16

緞々 山崎闇齋の研究 17

京都府 山科町誌 *

山田慶児著作集(全8冊) 3,63,77

山田美妙集(全12冊) 38

草創期のメディアに生きて 山田美妙没後100年展図録 38

大和唐古弥生式遺跡の研究 *

大和島庄石舞台の巨石古墳・石舞台古墳の巨石運搬法並に其の築造法・日本古墳巨大石室聚成、
日本方形古墳聚成 *

大和志・大和志料(奈良県)(全3冊) *

やまと錦(創刊号～第13号,全13冊) 36

遺物が語る 大和の古墳時代 86

大和の古墳を語る *

大和名所記 和州旧跡幽考 91

大和名所圖會 *

大和物語新釈 上巻 26

大和物語の研究(全2冊) *

山本郡郷土史(秋田県) *

ゆ

湯浅町誌 (和歌山県) *

湯山句鈔 *

ユーラシア農耕史(全5冊) 68

よ

洋学の書誌的研究 *

校註 謡曲叢書(全3冊) *

訓読 雍州府志 *

養生思想Ⅱ 房中術『素女妙論』 3,63,77

ヨーロッパ中世服飾史 *

欲望のコード
―マンガにみるセクシュアリティの男女差 *

戦後漫画のトップランナー 横井福次郎
―手塚治虫もひれ伏した天才漫画家の軌跡 84

横浜市史稿(神奈川県)(全11冊) *

京都府 與謝郡誌(全2冊) *

吉田郡誌(福井県) *

吉田神道の基礎的研究 *

吉津宜英著作集(全4冊) 10

吉野夢見草・吉野山独案内 92

良基・絶海・義満等一座 和漢聯句譯注 23

吉原戀の道引 *

四谷區史(東京都) *

米澤善本の研究と解題 附興譲館舊藏和漢書目録 *

読み解く『立正安国論』 15

予陽叢書(愛媛県)(全9冊) *

ら

ライデン国立民族学博物館蔵 プロムホフ蒐集目録
プロムホフの見たかった日本
Japan through the Eyes of Blomhoff: The Blomhoff
Collection at the National Museum of Ethnology, Leiden ... 6,58,82

洛中繪圖 寛永後萬治前 90

洛中塵捨場今昔 86

コリヤード 羅西日辞典 *

ラファイ 仏語類義語辞典 Lafaye, B.; Dictionnaire des
Synonymes de la Langue Française *

蘭語譯撰 *

自筆草稿 アルチュール・ランボー詩集
(メッサン版)(全2冊) 43

蘭例節用集 *

り

リームズ=ダウイ 新・旧約聖書(全3冊) New
Testament, Rhemes, 1582. Holie Bible, Doway, 1609-10. *

陸前濱乃法印神樂 *

理事功程 *

理趣經の研究 *

刊行書目索引

リシュレ フランス語辞典 1759年版(縮刷版)(全3冊) Dictionnaire de la Langue Française de P.Richelet …… *	和食文化学入門 …… 58
李朝時代の外国語教育 …… 31	和食文芸入門 …… 28
吏部王記 …… *	宮城県 亙理郡史 …… *
琉球王国那覇役人の日記 福地家日記史料群 …… 49	諸本集成 倭名類聚抄 本文篇 …… *
京都大学文学研究科蔵 琉球写本『人中畫』四巻 付『白姓』 …… 65	諸本集成 倭名類聚抄 外篇 …… 20
柳亭種彦 一読本の魅力 …… 30	諸本集成 倭名類聚抄 索引篇 …… 20
柳文抄 …… 22	我等(創刊~10号,全10冊) …… *
龍門文庫善本書目 …… *	
良恕閑書 上・下(全2冊) …… *	
両足院叢書 …… 15,21~22	
龍馬を読む愉しさ 一再発見の手紙が語ること …… 87	
リルケ書簡全集(全6冊) Rilke, Rainer Maria; Gesammelte Briefe …… *	
理論と批評 古典中国の文学思潮 …… 61	
臨濟 …… 10	
臨川選書 …… 86~89	

る・れ・ろ

類聚古集(全5冊) …… 22
シンクレア・ルイス全集(全24冊) The Complete Works of Sinclair Lewis …… *
ジュール・ルナール全集(全16冊) …… *40
ルネサンスを彩った人びと ある書籍商の残した『列伝』44
隸字 良尚法親王隸字手鑑 …… *
冷戦とアメリカ 覇権国家の文化装置 …… 43
歴代殘闕日記(全35冊) …… *
歴代宸記 …… *
連歌俳諧研究(創刊~40号,合本5冊) …… *
六条葵上物語 …… *
ロバート・ベン・ウォレン —アメリカ南部小説の愉しみ②— …… 42
ロバート・ベン・ウォレン長編小説全集(全10冊) The Complete Novels of Robert Penn Warren …… 39

わ

我國近世の専賣制度 …… *
和賀郡誌(岩手県) …… *
和歌俳諧人名辞書 …… *
若林強齋の研究 …… 17
續 若林強齋の研究 …… 17
和漢聯句の楽しみ 芭蕉・素堂両吟歌仙まで …… 23
看聞日記紙背 和漢聯句譯注 …… 23
京都大学蔵実隆自筆 和漢聯句訳注 …… *
慶長・元和 和漢聯句作品集成 …… 23
曼殊院蔵 和漢聯句作品集成 …… 24
室町前期 和漢聯句作品集成 …… 23
室町後期 和漢聯句作品集成 …… 23
良基・絶海・義満等一座 和漢聯句譯注 …… 23
貞和本和漢朗詠集 …… *
倭語類解研究 …… 31
和算圖書目録 …… *

臨川書店 全国販売協力店一覧

小社ではお客様よりご注文の書籍をできる限り早くご納品できるように、下記の書店様（並びに全国大学の生協書籍部・購買部様）に格別のご協力をいただいております。ご購入の図書が書店にない場合、至急取り寄せるようご用命下さい。

※店名・電話番号は2024年4月現在の情報です

札幌市	三省堂書店 札幌店	011(209)5600	千葉市	三省堂書店 ところ千葉店	043(245)8331
	紀伊國屋書店 札幌本店	011(231)2131	船橋市	旭屋書店 船橋店	047(424)7331
	MARUZEN & ジュンク堂書店 札幌店	011(223)1911	習志野市	丸善 津田沼店	047(470)8311
旭川市	コーチャンフォー 旭川店	0166(76)4000			
	ジュンク堂書店 旭川店	0166(26)1120	〈東京都〉		
帯広市	くまざわ書店 帯広店	0155(27)8221	千代田区	紀伊國屋書店 大手町ビル店	03(3201)5084
函館市	スーパーブックス 桔梗店	0138(34)5711		三省堂書店 神保町本店	03(3233)3312
	函館 蔦屋書店	0138(47)2600		三省堂書店 有楽町店	03(5222)1200
青森市	成田本店 しんまち店	017(723)2431		書泉グランデ	03(3295)0011
弘前市	ジュンク堂書店 弘前中三店	0172(80)6010		東京堂書店 神田神保町店	03(3291)5181
八戸市	八戸ブックセンター	0178(20)8368		丸善 丸の内本店	03(5288)8881
			中央区	教文館	03(3561)8447
盛岡市	エムズエキスポ 盛岡店	019(648)7100		丸善 日本橋店	03(6214)2001
	東山堂 肴町本店	019(623)7121		Book Cumu 朝日新聞本社店	03(3543)2428
	さわや書店 本店	019(653)4411	港区	小川書店	03(3451)2223
	ジュンク堂書店 盛岡店	019(601)6161		虎ノ門書房	03(3502)3461
仙台市	紀伊國屋書店 仙台店	022(308)9211	新宿区	紀伊國屋書店 新宿本店	03(3354)0131
	金港堂 泉パークタウン店	022(377)8088		ブックファースト 新宿店	03(5339)7611
	八文字屋書店 泉店	022(371)1988	台東区	リプロ 浅草店	03(3845)0321
	丸善 仙台アエル店	022(264)0151	墨田区	くまざわ書店 錦糸町店	03(5610)3034
	蔦屋書店 仙台泉店	022(772)2011	品川区	有隣堂 アトレ目黒店	03(3442)1231
秋田市	ジュンク堂書店 秋田店	018(884)1370	世田谷区	紀伊國屋書店 玉川高島屋店	03(3709)2091
				二子玉川 蔦屋家電 BOOK	03(5491)8550
山形市	八文字屋 本店	023(622)2150		三省堂書店 経堂店	03(5477)6781
福島市	西沢書店 大町店	024(522)0161	渋谷区	青山ブックセンター 本店	03(5485)5511
いわき市	ヤマニ書房 本店	0246(23)3481		蔦屋書店 代官山店	03(3770)2525
郡山市	ジュンク堂書店 郡山店	024(927)0440		紀伊國屋書店 西武渋谷店	03(5784)3561
宇都宮市	落合書店トナリエ店	028(600)2800	文京区	山喜房佛書林	03(3811)5361
水戸市	丸善 水戸京成店	029(302)5071	杉並区	八重洲ブックセンター ルミネ荻窪店	03(3392)8886
	川又書店 エクセル店	029(231)1073	中野区	ブックファースト 中野店	03(3319)5161
ひたちなか市	蔦屋書店 ひたちなか店	029(265)2300	豊島区	旭屋書店 池袋店	03(3986)0311
前橋市	煥乎堂 前橋本店	027(235)8111		ジュンク堂書店 池袋本店	03(5956)6111
	紀伊國屋書店 前橋店	027(220)1830	八王子市	くまざわ書店 八王子店	042(625)1201
さいたま市	押田謙文堂	048(641)3141	立川市	オリオン書房 ルミネ立川店	042(527)2311
	紀伊國屋書店 浦和パルコ店	048(871)2760		オリオン書房 ノルテ店	042(522)1231
	ジュンク堂書店 大宮高島屋店	048(640)3111		ジュンク堂書店 立川高島屋店	042(512)9910
	須原屋 本店	048(822)5321	武蔵村山市	オリオン書房 イオンモールむさし村山店	042(567)6911
	ブックデポ書楽	048(852)6581	武蔵野市	紀伊國屋書店 吉祥寺東急店	0422(21)1810
川越市	紀伊國屋書店 川越店	049(224)2573		ジュンク堂書店 吉祥寺店	0422(28)5333
流山市	紀伊國屋書店 流山おおたかの森店	04(7156)6111		BOOKS ルーエ	0422(22)5677
久喜市	蔦屋書店 フォレオ菖蒲店	0480(87)0800	府中市	啓文堂書店 府中本店	042(366)3151
			調布市	パルコブックセンター 調布店	042(489)5351
				くまざわ書店 調布店	042(490)2052
			国分寺市	紀伊國屋書店 国分寺店	042(325)3991
			多摩市	啓文堂書店 多摩センター店	042(372)2288
				丸善 多摩センター店	042(355)3220

全国販売協力店一覧

町田市	久美堂 本店	042(725)1330	名古屋	ウニタ書店	052(731)1380
国立市	増田書店	042(572)0262		紀伊國屋書店 mozo ワンダーシティ店	052(506)7671
横浜市	紀伊國屋書店 横浜店	045(450)5901		三省堂書店 名古屋本店	052(566)6801
	有隣堂 戸塚モディ店	045(881)2661		ジュンク堂書店 名古屋店	052(589)6321
	有隣堂 横浜駅西口ジョイナス店	045(311)6265		ジュンク堂書店 名古屋栄店	052(212)5360
	有隣堂 ルミネ横浜店	045(453)0811		ちくさ正文館 本店	052(741)1137
	有隣堂 伊勢佐木町本店	045(261)1231	豊橋市	丸善 名古屋本店	052(238)0320
	有隣堂 たまプラーザテラス店	045(903)2191	小牧市	精文館書店 豊橋本店	0532(54)2345
川崎市	丸善 ラゾーナ川崎店	044(520)1869		くまざわ書店 桃花台店	0568(78)1191
	有隣堂 アトレ川崎店	044(200)6831	大津市	大垣書店 フォレオ大津一里山店	077(547)1020
横須賀市	文教堂 横須賀 MORE' S 店	046(822)2655	彦根市	天晨堂 ビバシティブックセンター	0749(24)2118
鎌倉市	島森書店 鎌倉店	0467(22)0266	京都市	大垣書店 烏丸三条店	075(212)5050
藤沢市	ジュンク堂書店 藤沢店	0466(52)1211		大垣書店 京都本店	075(746)2211
	有隣堂 藤沢店	0466(26)1411		大垣書店 イオンモール KYOTO店	075(692)3331
相模原市	ACADEMIAくまざわ書店 橋本店	042(700)7020		大垣書店 イオンモール京都桂川店	075(925)1717
厚木市	有隣堂 厚木店	046(223)4111		カスガ東林書房	075(561)8990
海老名市	三省堂書店 海老名店	046(234)7161		其中堂	075(231)2971
新潟市	紀伊國屋書店 新潟店	025(241)5281		平安堂書店	075(221)3084
	ジュンク堂書店 新潟店	025(374)4411		朋友書店	075(761)1285
	萬松堂	025(229)2221		法藏館書店	075(343)0458
甲府市	朗月堂書店 本店	055(228)7356		丸善 京都本店	075(253)1599
長野市	平安堂 長野店	026(224)4545		ふたば書房 御池ゼスト店	075(253)3151
松本市	丸善 松本店	0263(31)8171		京都岡崎 葛屋書店	075(754)0008
富山市	紀伊國屋書店 富山店	076(491)7031	(大阪府)		
	BOOKS なかだ 掛尾本店	076(492)1192	北区	紀伊國屋書店 グランフロント大阪店	06(7730)8451
高岡市	文苑堂書店 福田本店	0766(27)7800		紀伊國屋書店 梅田本店	06(6372)5821
金沢市	うつのみや 金沢香林坊店	076(234)8111		ジュンク堂書店 大阪本店	06(4799)1090
	紀伊國屋書店 金沢大和店	076(220)1288		MARUZEN& ジュンク堂書店 梅田店	06(6292)7383
福井市	紀伊國屋書店 福井店	0776(28)9851	中央区	旭屋書店 なんば CITY 店	06(6644)2551
	勝木書店 SuperKaBoS 新二の宮店	0776(27)4678		紀伊國屋書店 本町店	06(4705)4556
岐阜市	喜久屋書店 大垣店	0584(77)1717		ジュンク堂書店 天満橋店	06(6920)3730
	丸善 岐阜店	058(297)7008	浪速区	ジュンク堂書店 難波店	06(4396)4771
静岡市	谷島屋 パルシェ店	054(204)5505	阿倍野区	西坂書店	06(6661)5708
	MARUZEN&ジュンク堂書店 新静岡店	054(275)2777		ジュンク堂書店 近鉄あべのハルカス店	06(6626)2151
	吉見書店 竜南店	054(246)2653	豊中市	田村書店 千里中央店	06(6831)5657
沼津市	マルサン書店 駅北店	055(922)7772	東大阪市	ヒバリヤ書店	06(6722)1121
浜松市	谷島屋 浜松本店	053(457)4165		栗林書房	06(6721)1150
			堺市	紀伊國屋書店 堺北花田店	072(246)5566
			神戸市	ジュンク堂書店 三宮駅前店	078(252)0777
				ジュンク堂書店 三宮店	078(392)1001
			芦屋市	ジュンク堂書店 芦屋店	079(31)7440
			西宮市	ジュンク堂書店 西宮店	0798(68)6300
				ブックファースト 阪急西宮ガーデンズ店	0798(62)6103
			姫路市	ジュンク堂書店 姫路店	079(221)8280
				森井書房	079(237)8400
			加古川市	紀伊國屋書店 加古川店	079(427)3311
			明石市	ジュンク堂書店 明石店	078(918)6670

全国販売協力店一覧

奈良市	ジュンク堂書店 奈良店 ジュンク堂書店 橿原店	0742(36)0801 0744(29)0781	大分市	紀伊國屋書店 アミュプラザおいた店 ジュンク堂書店 大分店 明林堂書店 大分本店	097(515)5050 097(536)8181 097(573)3400
和歌山市	宇治書店 帯伊書店	073(423)0353 073(422)0441	鹿児島市	紀伊國屋書店 鹿児島店 ジュンク堂書店 鹿児島店 丸善 天文館店	099(812)7000 099(216)8838 099(239)1221
鳥取市	宮脇書店 イオン鳥取店	0857(38)3798	那覇市	ジュンク堂書店 那覇店 くまざわ書店 那覇店	098(860)7175 098(852)1312
米子市	今井書店 錦町店	0859(37)6700			
岡山市	紀伊國屋書店 クレド岡山店 研文館吉田書店 丸善 岡山シンフォニービル店	086(212)2551 086(236)8880 086(233)4640			
広島市	紀伊國屋書店 広島店 廣文館 フジグラン広島店 ジュンク堂書店 広島駅前店 広島積善館 丸善 広島店	082(225)3232 082(543)4744 082(568)3000 082(248)3151 082(504)6210			
安芸郡	フタバ図書 TSUTAYA TERA 広島府中店	082(561)0770			
山口市	文榮堂 本店	083(922)5611			
徳島市	井関書店 小山助学館 本店 紀伊國屋書店 徳島店	088(652)7624 088(654)2135 088(602)1611			
高松市	宮脇書店 総本店 ジュンク堂書店 高松店	087(823)3152 087(832)0170			
丸亀市	紀伊國屋書店 丸亀店	0877(58)2511			
松山市	ジュンク堂書店 松山三越店	089(915)0075			
高知市	金高堂 本店 金高堂 朝倉ブックセンター	088(822)0161 088(840)1363			
北九州市	喜久屋書店 小倉店 積文館書店 クエスト 小倉本店	093(514)1400 093(522)3912			
福岡市	紀伊國屋書店 福岡本店 ジュンク堂書店 福岡店 積文館書店 新天町本店 福岡金文堂 本店 丸善 博多店	092(434)3100 092(738)3322 092(781)2991 092(741)2106 092(413)5401			
佐賀市	紀伊國屋書店 佐賀店	0952(36)8171			
長崎市	紀伊國屋書店 長崎店 好文堂書店	095(811)4919 095(823)7171			
佐世保市	くまざわ書店 佐世保店	0956(37)2895			
熊本市	紀伊國屋書店 熊本光の森店 蔦屋書店 熊本三年坂	096(233)1700 096(212)9111			